令和７年度　部局長の

「実行宣言」

松阪市

ごあいさつ

このたびは、『令和７年度　部局長の「実行宣言」』をご覧いただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5類化移行した以降、大きく変わる社会情勢に対応できるよう、さらなるこども・子育て施策の充実や、防災・減災対策、道路等の整備、高齢者支援や障がい者支援、雇用創出や環境保全などの市民の安全・安心のための施策や、地域との協働や公民連携の取組、デジタル技術の活用や新しい視点からみた情報発信など、様々な施策に取り組んでまいりました。

今回公表する『令和7年度　部局長の「実行宣言」』は、令和6年度の実行宣言及び事務・事業の評価や、令和7年度の実行宣言及び重点取組などを示しています。事務・事業の評価については、当初予算だけではなく、補正予算により実施した事業も対象としています。評価の結果、改善すべきものは、今年度の取組や「実施計画」に生かしてまいります。

今後の展望としては、「若者定住」の視点から産業用地の整備や奨学金の返済支援、まちの顔である駅周辺の賑わい創出などの事業展開により若者が地域に定住できるような環境を整え、「福祉社会の実現」の視点から、福祉まるごと相談室の全地域への配置や地域の福祉を支えている民生委員・児童委員へのサポートの充実、地域公共交通への支援など、包括的な福祉施策の推進、「公民連携」の視点から、民間の知恵と力を借りながら限られた資源を効果的に活用し、地域全体の生活の質の向上をめざします。

また、令和7年は松阪市制施行20周年イヤーです。これまでの20年間の歩みに感謝し、次の20年に向けて一層の努力を続けてまいります。

「シビックプライド」の視点から、市民の皆様とともに松阪市を全国に発信し、更なる発展をめざすほか、郷土への誇りや愛、そしてさらなる一体感を育んでいきます。

この激動の時代を乗り越えるために、PDCA サイクルによる改善を繰り返し、引き続き、「誰のため、何のため」の視点をもって市民のみなさまに「ここに住んで良かった」と実感していただける松阪市をめざしてまいります。

松阪市長　竹上真人

令和7年度　松阪市行政組織（令和7年4月1日時点）

- 秘書広報局
  - 秘書課
  - 広報広聴課
- 防災対策課
- 企画振興部
  - 経営企画課
  - デジタル未来戦略局
    - 市政改革課
    - 情報システム課
  - 地域づくり連携課
  - 嬉野地域振興局
  - 三雲地域振興局
  - 飯南地域振興局
  - 飯高地域振興局
- 総務部
  - 総務課
  - 財務課
  - 職員課
  - 契約監理課
  - 市民税課
  - 資産税課
  - 収納課
  - 債権回収対策課
- 環境生活部
  - 環境課
  - 清掃事業課
  - 清掃施設課
  - 戸籍住民課
  - 地域安全対策課
  - 人権・多様性社会課
- 健康福祉部
  - 健康福祉総務課
  - 障がい福祉課
  - 保護自立支援課
  - 高齢者支援課
  - 介護保険課
  - 保険年金課
  - 健康づくり課
  - こども局
    - こども未来課
    - こども家庭センター
    - 子ども発達総合支援センター
- 産業文化部
  - 商工政策課
  - 観光交流課
  - 地域ブランド課
  - 競輪事業課
  - 企業誘致連携課
  - 農水振興課
  - 林業振興課
  - 農村整備課
  - 文化課
- 建設部
  - 建設総務課
  - 土木課
  - 建設保全課
  - 地籍用地課
  - 住宅課
  - 都市計画課
  - 営繕課
  - 建築開発課
- 消防団事務局
- 会計管理課
- 市民病院事務部
- 上下水道部
- 教育委員会事務局
  - 教育総務課
  - 学校教育課
  - 学校支援課
  - 子ども支援研究センター
  - 生涯学習課
  - スポーツ課
  - 給食管理課
- 議会事務局
- 農業委員会事務局
- 監査委員事務局
- 選挙管理委員会事務局

目次

●『部局長の「実行宣言」』について	P6
●第1章　各部局の令和7年度「実行宣言」	P16
●第2章　各施策の「評価」と「実行宣言」	P22
1.輝くこどもたち	
①こども・子育て支援の推進	P23
②未就学児への支援	P25
③学校教育の充実	P27
2.いつまでもいきいきと	
①健康づくりの推進	P30
②地域医療の推進	P31
③地域福祉・生活支援の充実	P33
④高齢者福祉の推進	P35
⑤障がい福祉の推進	P37
3.活力ある産業	
①農業・水産業の振興	P38
②林業の振興	P40
③商工業の振興	P41
④企業誘致・連携の推進	P42
⑤観光・交流の振興	P43
⑥松阪牛・地域ブランドの振興	P44
⑦雇用・勤労者福祉の充実	P45
4.人も地域も頑張る力	
①市民活動・社会教育の推進	P47
②中山間地域の振興	P49
③文化の振興	P50
④スポーツと連動したまちづくりの推進	P51
⑤人権尊重・多様性社会の推進	P52
5.安全・安心な生活	
①交通安全対策の充実	P53
②防犯対策と消費者保護の充実	P55
③防災・危機管理対策の充実	P57
④浸水対策の充実	P59
6.快適な生活	
①自然と生活の環境保全	P61
②資源循環型社会の推進	P62
③地域公共交通の充実	P64
④都市空間・住環境の整備	P65
⑤道路等の整備	P67
⑥上下水道の整備	P69
7.市民に寄り添う市役所	
①行政サービスの充実	P71
②情報発信・プロモーションの充実	P77
③健全な財政運営	P79

●第3章　各所属の「評価」と「重点取組」			
秘書広報局		産業文化部	
秘書課	P83	商工政策課	P167
広報広聴課	P85	観光交流課	P170
防災対策課	P87	地域ブランド課	P173
企画振興部		競輪事業課	P175
経営企画課	P89	企業誘致連携課	P177
市政改革課	P91	農水振興課	P179
情報システム課	P93	林業振興課	P183
地域づくり連携課	P95	農村整備課	P187
嬉野地域振興局	P98	文化課	P190
三雲地域振興局	P100	建設部	
飯南地域振興局	P102	建設総務課	P193
飯高地域振興局	P104	土木課	P195
総務部		建設保全課	P198
総務課	P106	地籍用地課	P201
財務課	P108	住宅課	P203
職員課	P110	都市計画課	P205
契約監理課	P112	営繕課	P207
市民税課	P114	建築開発課	P209
資産税課	P116	消防団事務局	P211
収納課	P118	会計管理課	P214
債権回収対策課	P120	市民病院事務部	P216
環境生活部		上下水道部	
環境課	P122	上下水道総務課	P218
清掃事業課	P125	上水道建設課・北部上下水道事務所・西部水道浄化槽事務所	P219
清掃施設課	P127	水源管理課	P220
戸籍住民課	P130	下水道建設課・北部上下水道事務所	P221
地域安全対策課	P132	西部水道浄化槽事務所	P222
人権・多様性社会課	P134	教育委員会事務局	
健康福祉部		教育総務課	P225
健康福祉総務課	P136	学校教育課	P227
障がい福祉課	P139	学校支援課	P230
保護自立支援課	P142	子ども支援研究センター	P232
高齢者支援課	P144	生涯学習課	P234
介護保険課	P148	スポーツ課	P237
保険年金課	P151	給食管理課	P240
健康づくり課	P154	議会事務局	P242
こども未来課	P158	農業委員会事務局	P244
こども家庭センター	P162	監査委員事務局	P246
子ども発達総合支援センター	P165	選挙管理委員会事務局	P248

『部局長の「実行宣言」』について

『部局長の「実行宣言」』は、部局長及び理事が、年度期首に前年度実績を「評価」した上で、今年度の「目標」を設定する取組です。

1. 実施目的

『部局長の「実行宣言」』には、次の2つの目的があります。

①「評価」に基づく「見直し」の促進

各部局の前年度実績を「評価」し、改善点を明らかにすることで、事務・事業の実施手法等の「見直し」につなげ、効率的・効果的な市政運営をめざします。

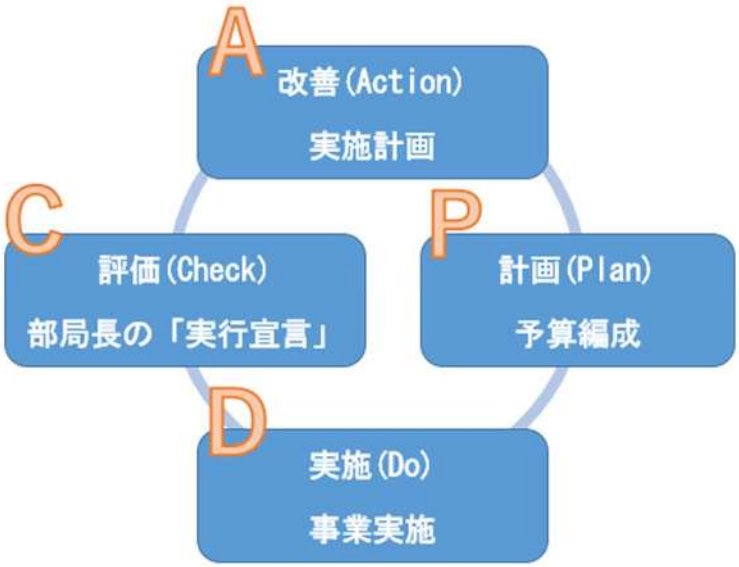
②目標管理型の部局運営の推進

「実行宣言（部局目標）」や各施策、事務・事業の「目標」を「見える化」することで、部局職員の目標管理意識を高め、施策や事務・事業を計画的に推進する組織をめざします。

【参考】市政運営における PDCA サイクルについて

市政運営全体の視点で見ると、PDCA サイクルにおける「計画（Plan）」は「予算編成」であり、『部局長の「実行宣言」』は「評価（Check）」にあたります。

松阪市では、総合計画に掲げる政策を効率的・効果的に達成していくために、『部局長の「実行宣言」』における施策や事務・事業の評価を、次年度の「予算編成」に活用できるよう、下図の PDCA サイクルに取り組んでいます。



2. 構成

『部局長の「実行宣言」』は次の３つの章で構成しています。

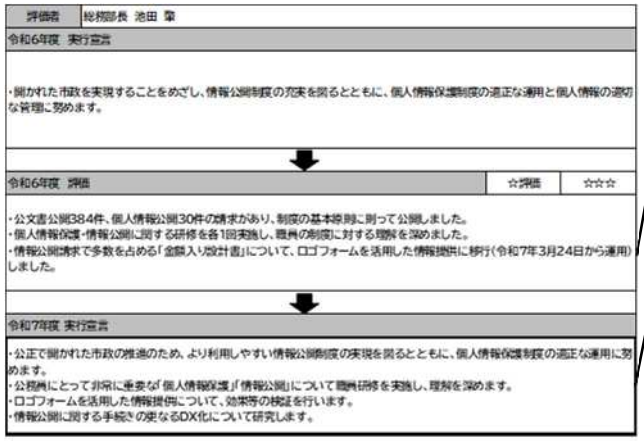
①第１章　各部局の「実行宣言」

今年度の「実行宣言」を、部局ごとに集約して掲載しています。

秘書広報局　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
危機管理特命理事兼 秘書広報局長 中西　章	①	・秘書業務の円滑な運営に努めるとともに、二役部長会議において各部局の情報共有を図ります。 ・あらゆる危機管理事案に対し迅速な対応により、早期の事態収拾を図ります。 ・カスタマーハラスメント対策として、関連するマニュアルの見直しなどを行い実効性を高めます。	7. 市民に寄り添う市役所 ① 行政サービスの充実
	②	・市民の皆様に必要な情報を正確に確実に伝えられるよう、様々な情報発信ツールの充実に努めます。 ・市の情報を正確に伝えるため、わかりやすい「広報まつさか」づくりに努めます。 ・「松阪ナビ」やＳＮＳからの情報発信を積極的に行います。	7. 市民に寄り添う市役所 ② 情報発信・プロモーションの充実

②第２章　各施策の「評価」と「実行宣言」

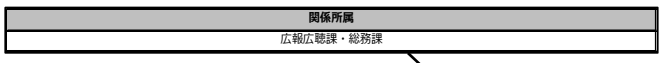
「松阪市総合計画」の施策ごとに、関連する部局の昨年度の「評価」と、今年度の「実行宣言」を記載しています。



評価者	総務部長 池田 章
令和6年度 実行宣言	
・開かれた市政を実現することをめざし、情報公開制度の充実を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用と個人情報の適切な管理に努めます。	
令和6年度 評価	☆評価　☆☆☆
・公文書公開384件、個人情報公開30件の請求があり、制度の基本原則に則って公開しました。 ・個人情報保護・情報公開に関する研修を各1回実施し、職員の制度に対する理解を深めました。 ・情報公開請求で多数を占める「金額入り設計書」について、ロゴフォームを活用した情報提供に移行（令和7年3月24日から運用）しました。	
令和7年度 実行宣言	
・公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努めます。 ・公務員にとって非常に重要な「個人情報保護」「情報公開」について職員研修を実施し、理解を深めます。 ・ロゴフォームを活用した情報提供について、効果等の検証を行います。 ・情報公開に関する手続きの更なるDX化について研究します。	

施策の進捗状況

	項目	情報公開・情報提供に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	総務部長 池田 章					
数値目標①	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目標	－	2.95 /5	3.00 /5	3.05 /5	3.10 /5	
	実績	2.95 /5	3.24 /5	－ /5	－ /5	－ /5	
	評価	－	S	－	－	－	
	今後の方針	情報公開制度の主旨に基づいた適正執行と並行して、情報提供範囲の拡大への取組により、引き続き市民満足度の向上に努めてまいります。					



関係所属
広報広聴課・総務課

令和６年度の評価
施策に関連する部局の昨年度の取組の評価（☆～☆☆☆☆☆）です。

令和７年度　実行宣言
施策に関連する部局の今年度の実行宣言です。

施策の進捗状況
『松阪市総合計画』の数値目標・実績・評価・今後の方針を記載しています。
＜目標種別及び評価について＞
・値を上げる目標（↑）又は値を下げる目標（↓）の場合、令和５年度の目標値・実績値と基準値との差により達成度を算出して評価しています。
（例）基準値 10、令和６年度目標 20、実績 15 の場合
(15-10)÷(20-10)＝0.5＝達成率 50%
⇒ C 評価
・値を維持する目標（→）の場合、目標値を達成していれば「S 評価」、達成していなければ「E 評価」としています。
・令和６年度の実績がない場合、実績欄及び評価欄ともに「－」表記としています。

関係所属
当該施策に関連する所属（基本的に課）を記載しています。

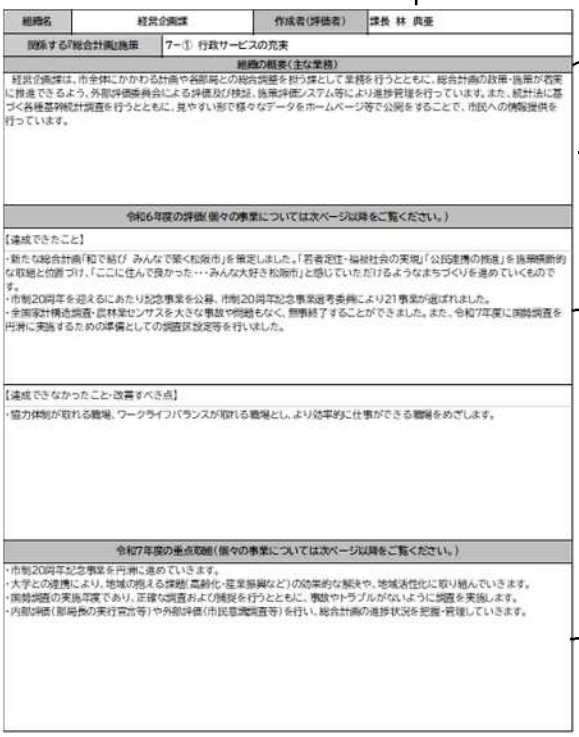
③第３章　各所属の「評価」と「重点取組」

「課長シート」と「事務・事業管理シート」で構成されます。「課長シート」では各所属が所管する事務・事業の前年度実績等を総括し、組織として「達成できたこと」及び「達成できなかったこと」を明らかにします。「事務・事業管理シート」では、個別の事務・事業に設定した前年度の「活動指標」、「目標」に対する「実績」及び「評価」を明らかにするとともに、今年度の各事務・事業の「活動指標」、「目標」を示します。

【課長シート】

作成者（評価者）
シート作成を担当した課長等の名前を記載しています。

関係する『総合計画』施策
所属に関係する『総合計画』施策を記載しています。



組織名	経営企画課	作成者(評価者)	課長 林 典亜
関係する『総合計画』施策	7ー① 行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

経営企画課は、市全体にかかわる計画や各部局との総合調整を担う課として業務を行うとともに、総合計画の政策・施策が着実に推進できるよう、外部評価委員会による評価及び検証、施策評価システム等により進捗管理を行っています。また、統計法に基づく各種基幹統計調査を行うとともに、見やすい形で様々なデータをホームページ等で公開をすることで、市民への情報提供を行っています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・新たな総合計画「和で結び　みんなで築く松阪市」を策定しました。「若者定住・福祉社会の実現」「公民連携の推進」を施策横断的な取組と位置づけ、「ここに住んで良かった…みんな大好き松阪市」と感じていただけるようなまちづくりを進めていくものです。
・市制20周年を迎えるにあたり記念事業を公募、市制20周年記念事業選考委員により21事業が選ばれました。
・全国家計構造調査・農林業センサスを大きな事故や問題もなく、無事終了することができました。また、令和7年度に国勢調査を円滑に実施するための準備としての調査区設定等を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・協力体制が取れる職場、ワークライフバランスが取れる職場とし、より効率的に仕事ができる職場をめざします。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・市制20周年記念事業を円滑に進めていきます。
・大学との連携により、地域が抱える課題(高齢化・産業振興など)の効率的な解決や、地域活性化に取り組んでいきます。
・国勢調査の実施年度であり、正確な調査および捕捉を行うとともに、事故やトラブルがないように調査を実施します。
・内部評価(部局長の実行宣言等)や外部評価(市民意識調査等)を行い、総合計画の進捗状況を把握・管理していきます。

組織の概要（主な業務）
組織の概要を紹介しています。

令和６年度の評価
令和６年度の取組について、【達成できたこと】【達成できなかったこと】という視点から総括します。※個別の事務・事業の評価については、「事務・事業管理シート」に示します。

令和７年度の重点取組
令和７年度に重点的に実施する取組について示しています。

【事務・事業管理シート】

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">関係施策</th><th colspan="5">令和6年度</th><th colspan="4">令和7年度</th></tr>
<tr><th>当初予算(千円)</th><th>最終予算(千円)</th><th colspan="3">活動指標</th><th>当初予算(千円)</th><th colspan="3">活動指標</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">広報松阪発行事業</td><td rowspan="3">7-②</td><td rowspan="3">30,506</td><td rowspan="3">29,308</td><td colspan="3">広報発行ページ数</td><td rowspan="3">31,851</td><td colspan="3">広報発行ページ数</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>32ページ/月</td><td>34ページ/月</td><td>A</td><td>32ページ/月</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">ホームページ管理運営事業</td><td rowspan="3">7-②</td><td rowspan="3">7,333</td><td rowspan="3">7,333</td><td colspan="3">情報書き込み件数</td><td rowspan="3">7,844</td><td colspan="3">情報書き込み件数</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>900件</td><td>1,390件</td><td>S</td><td>1,500件</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td rowspan="3">市民対話活動事業</td><td rowspan="3">7-②</td><td rowspan="3">1,129</td><td rowspan="3">1,129</td><td colspan="3">①市政バスの利用状況
②出前講座の利用件数</td><td rowspan="3">1,121</td><td colspan="3">①市政バスの利用状況
②出前講座の利用件数</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>①50件
②250件</td><td>①33件
②183件</td><td>C</td><td>①40件
②250件</td><td></td><td></td></tr>
</table>

関係施策

『総合計画』の政策体系における位置づけを示します。「７－②」は「政策７の施策②」を表します。

当初予算（千円）/最終予算（千円）

令和６年度の当初予算額・最終予算額と令和７年度の当初予算額を示します。最終予算額は、補正予算を反映した額になります。

令和７年度の「当初予算」欄について、令和６年度で終了の事業は「終了」、令和６年度に他の事業と統合した事業は「統合」と表記しています。

活動指標/目標/実績/評価

対象年度事業の「活動指標」「目標」「実績」「評価」を示します。ひとつの事業に対して「活動指標」を複数設定する場合もあります。

※『部局長の「実行宣言」では、各所属に予算配当されている事務・事業を「事務・事業管理シート」に一覧化していますが、これに加えて、職員の創意工夫により、別途予算を確保せずに実施している取組や、他の所属に配当されている予算を執行して、事務・事業を実施している取組について、特に注力しているものを「ゼロ予算事業」として「事務・事業管理シート」に表記しています。

※『令和7年度　部局長の「実行宣言」』の実績値は、令和7年６月時点のものです。

3. 評価基準

『部局長の「実行宣言」』で使用する評価基準は以下のとおりです。

【令和6年度の評価】

分類	評価の目安
☆☆☆☆☆	目標を遥かに上回る
☆☆☆☆	目標を大きく上回る
☆☆☆	概ね目標通り
☆☆	目標にやや及ばない
☆	目標を大きく下回る
-	評価対象外（未実施等により評価できない場合に使用）

【施策の進捗状況、事務・事業管理シートの評価】

分類	評価の目安
S	目標達成度100%以上（完全履行及び目標超過）
A	目標達成度90%以上100%未満
B	目標達成度70%以上90%未満
C	目標達成度50%以上70%未満
D	目標達成度30%以上50%未満
E	目標達成度30%未満
-	評価対象外（未実施等により評価できない場合に使用）

4. 令和6年度　各部局の達成状況

評価	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆
秘書広報局		1	1		
防災対策課			1		
企画振興部		3	2		
総務部			4		
環境生活部		1	3		2
健康福祉部	2	2	3		
産業文化部	1	2	6	2	
建設部			3	2	
消防団事務局			1		
市民病院事務部			1		
会計管理課		1			
教育委員会事務局		3	1		
上下水道部			2		
議会事務局			1		
農業委員会事務局			1		
監査委員事務局			1		
選挙管理委員会事務局		1			

5. 各部局担当政策・施策一覧

部局名	部局長		担当政策	担当施策
秘書広報局	秘書広報局長	中西　章	7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実
			7.市民に寄り添う市役所	②情報発信・プロモーションの充実
防災対策課	防災担当参事	中井　和史	5.安全・安心な生活	③防災・危機管理対策の充実
企画振興部	企画振興部長	藤木　洋司	7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実
			7.市民に寄り添う市役所	③健全な財政運営
	地域振興担当理事	蒲原　智之	4.人も地域も頑張る力	①市民活動・社会教育の推進
			4.人も地域も頑張る力	②中山間地域の振興
			7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実
総務部	総務部長	池田　肇	7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実
			7.市民に寄り添う市役所	②情報発信・プロモーションの充実
			7.市民に寄り添う市役所	③健全な財政運営
	税務担当理事	岡田　康	7.市民に寄り添う市役所	③健全な財政運営
環境生活部	環境生活部長	武田　誉利子	4.人も地域も頑張る力	⑤人権尊重・多様性社会の推進
			5.安全・安心な生活	①交通安全対策の充実
			5.安全・安心な生活	②防犯対策と消費者保護の充実
			6.快適な生活	①自然と生活の環境保全
			7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実
	清掃行政担当理事	福山　桂	6.快適な生活	②資源循環型社会の推進
健康福祉部	健康福祉部長	谷中　靖彦	2.いつまでもいきいきと	③地域福祉・生活支援の充実
			2.いつまでもいきいきと	①健康づくりの推進

部局名	部局長		担当政策	担当施策
健康福祉部	保険健康担当理事	大西　学	2.いつまでもいきいきと	②地域医療の推進
			2.いつまでもいきいきと	③地域福祉・生活支援の充実
			2.いつまでもいきいきと	④高齢者福祉の推進
	こども局長	西浦　美奈子	1.輝くこどもたち	①子ども・子育て支援の推進
			1.輝くこどもたち	②未就学児への支援
産業文化部	産業文化部長	岡田　久	3.活力ある産業	③商工業の振興
			3.活力ある産業	④企業誘致・連携の推進
			3.活力ある産業	⑤観光・交流の振興
			3.活力ある産業	⑦雇用・勤労者福祉の充実
			4.人も地域も頑張る力	③文化の振興
			5.安全・安心な生活	②防犯対策と消費者保護の充実
			6.快適な生活	③地域公共交通の充実
	競輪事業担当理事	松林　正人	7.市民に寄り添う市役所	③健全な財政運営
	農林水産担当理事	谷川　英次	3.活力ある産業	①農業・水産業の振興
			3.活力ある産業	②林業の振興
			3.活力ある産業	⑥松阪牛・地域ブランドの振興
建設部	建設部長	松本　尚久	5.安全・安心な生活	①交通安全対策の充実
			5.安全・安心な生活	④浸水対策の充実
			6.快適な生活	④都市空間・住環境の整備
			6.快適な生活	⑤道路等の整備
			7.市民のための市役所	①行政サービスの充実

部局名	部局長		担当政策	担当施策
消防団事務局	消防団事務局長	高橋　淳也	5.安全・安心な生活	③防災・危機管理対策の充実
市民病院事務部	市民病院事務部長	沼田　雅彦	2.いつまでもいきいきと	②地域医療の推進
会計管理課	会計管理者	前﨑　高志	7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実
教育委員会事務局	教育長 教育委員会事務局長	中田　雅喜 若山　幸則	1.輝くこどもたち	①子ども・子育て支援の推進
			1.輝くこどもたち	③学校教育の充実
			4.人も地域も頑張る力	①市民活動・社会教育の推進
			4.人も地域も頑張る力	④スポーツと連動したまちづくりの推進
上下水道部	上下水道事業管理者	塩野　直弘	5.安全・安心な生活	④浸水対策の充実
			6.快適な生活	①自然と生活の環境保全
			6.快適な生活	⑥上下水道の整備
議会事務局	議会事務局長	三木　敦	7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実
農業委員会事務局	農業委員会事務局長	山路　伸之	3.活力ある産業	①農業・水産業の振興
監査委員事務局	監査委員事務局長	尼子　宗成	7.市民に寄り添う市役所	③健全な財政運営
選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局長	湯川　一樹	7.市民に寄り添う市役所	①行政サービスの充実

第１章 各部局の令和７年度
「実行宣言」

秘書広報局　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
危機管理特命理事兼 秘書広報局長 中西　章	①	・秘書業務の円滑な運営に努めるとともに、二役部長会議において各部局の情報共有を図ります。 ・あらゆる危機管理事案に対し迅速な対応により、早期の事態収拾を図ります。 ・カスタマーハラスメント対策として、関連するマニュアルの見直しなどを行い実効性を高めます。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
	②	・市民の皆様に必要な情報を正確に確実に伝えられるよう、様々な情報発信ツールの充実に努めます。 ・市の情報を正確に伝えるため、わかりやすい「広報まつさか」づくりに努めます。 ・「松阪ナビ」やＳＮＳからの情報発信を積極的に行います。	７．市民に寄り添う市役所 ②　情報発信・プロモーションの充実
防災対策課　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
防災担当参事 中井　和史	①	・大規模災害発生に備えて、地域の初動対応力の向上を図るため、実災害を想定した実効性のある実動訓練を実施します。 ・大規模災害発生に備えて、ハザード関連地区を選定し、重点的かつ継続的に地域支援に取り組み「地区防災計画」の策定を推進します。 ・大規模災害発生に備えて、市の行う防災設備や備蓄品の整備事業と、市民や地域活動への助成等のソフト事業との両面から事前防災に取り組み、市民の防災ニーズに応えます。	５．安全・安心な生活 ③　防災・危機管理対策の充実
企画振興部　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
企画振興部長 藤木　洋司	①	・オンライン申請や書かない窓口の拡大など、市民にとってより利便性の高い窓口サービスの提供に取り組みます。 ・民間団体などの公益的活動をヒト・モノ・カネ・ノウハウの面から支える（仮称）コミュニティ財団の設立をめざし、市民や企業などへの啓発活動を行い、財団設立に向けた賛同者の掘り起こしを行います。 ・庁内ネットワーク基盤と各種システムを継続的かつ安定的に、安全に稼働させ、様々な住民サービスを途切れなく提供します。また、住民サービスの基盤となる住民情報システムの標準化・共通化対応を含む次期住民情報システムの更新業務を正確かつ確実に実施し、更新後も安定稼働をめざします。 ・市制２０周年記念事業の自主事業については、多くの方が参加いただける様に周知広報を行いトラブル等なく開催するとともに、市民公募事業については、団体等とも連絡調整をは図るとともに、様々な媒体でＰＲを行うなど伴走支援しシビックプライドの醸成を図ります。また、選考委員会において事業の振り返りを行い検証を行います。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
	②	・策定から１０年が経過する「松阪市公共施設等総合管理計画」の見直しを行うとともに、関係部局等と施設の統廃合や民間活力の活用などについて横断的な検討を行い公共施設のライフサイクルコストの削減に取り組みます。 ・デジタル技術や民間活力の活用などによる業務効率化に取り組み、職員の業務負担の軽減に努めます。また、各種データに基づく政策立案を推進するため、BIツールを用いた各種ダッシュボードの作成を進めるとともに、継続的なデータ分析の体制構築やデータの活用の在り方についても検討します。	７．市民に寄り添う市役所 ③　健全な財政運営
地域振興担当理事 蒲原　智之	③	・令和８年度から、地区市民センターと地区公民館を地域の拠点となるコミュニティセンターとして位置付け、その役割を一層充実させていくことをめざします。そのため、関係部署と緊密に協議を行い、効率的かつ効果的な組織体制の構築を進めます。 ・住民自治協議会が管理運営するセンターを令和９年度に１０地区以上をめざします。さらに、市民に対し、コミュニティセンター化に関する情報を広く発信していきます。	４．人も地域も頑張る力 ①　市民活動･社会教育の推進
	④	・松阪市香肌地域づくり協同組合との強力なパートナーシップを維持し、人材派遣を拡大することで、地元企業と連携した新たな雇用の創出に努めます。また、空家バンク制度の利用を推進し、移住者への適切なアドバイスやサポートを提供し、安心して移住できる環境を整えます。さらに、地域おこし協力隊において、中山間地域の魅力に関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口を増やす取組を行います。また、トレイルランニング大会やその他の地域資源を活かしたイベントの企画・実施を通じて、地域の魅力を発信します。 ・過疎地域移住定住土地活用事業において、飯高町宮前の土地を造成し、移住者・定住者向けの住宅用地等として有効活用していきます。	４．人も地域も頑張る力 ②　中山間地域の振興
	⑤	・各地域振興局管内の地域が抱える課題を明らかにし、住民自治協議会と協働して地元のイベントや祭りの企画・運営をサポートします。また、「福祉まるごと相談室」と連携して幅広い福祉サービスを提供し、地域住民一人ひとりが安心して暮らせる環境づくりに努めます。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
総務部　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
総務部長 池田　肇	①	・開庁時間の短縮とともに、1階に非常用発電装置を利用した照明設備を増設するなど、市民ニーズに対応できるより良い庁舎環境の維持に努めます。障がい者雇用率は、法定雇用率2.8%を達成いたします。 ・フレックスタイム制の導入、カスハラアンケートの実施により、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、働き方改革に取り組むことで魅力ある職場環境づくりをめざします。更に松阪市職員のあるべき姿を明示したパーパスを策定します。 ・市議会議員選挙後の新しい議員体制の下で、条例・予算等基本的な行政制度の説明を行います。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
	②	・公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努めます。 ・公務員にとって非常に重要な「個人情報保護」「情報公開」について職員研修を実施し、理解を深めます。 ・ロゴフォームを活用した情報提供について、効果等の検証を行います。 ・情報公開に関する手続きの更なるＤＸ化について研究します。	７．市民に寄り添う市役所 ②　情報発信・プロモーションの充実
	③	・健全な財政運営に寄与できるよう、実施計画及び予算編成ヒアリングにおいて、将来を見据えた実効的な「再定義」による見直し等に取り組みます。特に予算当初編成では、各部局に対し理解の得られる配分が行えるよう、前年度予算をもとに適切なシーリング幅の設定を行います。 ・実質公債費率（※公債費による財政負担の度合いを示す。財政再生基準は３５%以上、早期健全化基準は２５%以上とされており、１８%以上の場合には、起債に総務省の許可が必要となります。）を県内平均値以下に抑制できるように努めます。	７．市民に寄り添う市役所 ③　健全な財政運営
税務担当理事 岡田　康	④	・社会構造の変化に対応した、高い専門性による適正・公平な賦課（課税）徴収と納税者の利便性の向上に取り組み、納税者の信頼確保と安定的な財政運営のための自主財源の確保に努めます。	７．市民に寄り添う市役所 ③　健全な財政運営

環境生活部　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
環境生活部長 武田　誉利子	①	・「松阪市市民意識調査」の調査結果をもとに、男女共同参画社会の実現に向けた施策の指針とする「松阪市男女共同参画プラン」の改定を進めます。 　また、人権に関する啓発に取り組み、市民意識の高揚を図ります。	４．人も地域も頑張る力 ⑤　人権尊重・多様性社会の推進
	②	・今年度の実行宣言として、再度「交通事故死者数ゼロのまち」をめざし、関係機関が緊密に連携して様々な交通安全対策に取り組み交通死亡事故ワースト上位を脱却します。	５．安全・安心な生活 ①　交通安全対策の充実
	③	・地域・警察などの関係機関と協働及び連携し、防犯パトロールの強化や防犯啓発活動の充実等の取組により、こどもから高齢者まで全ての市民の願いである「犯罪のないまちづくり」の実現をめざします。	５．安全・安心な生活 ②　防犯対策と消費者保護の充実
	④	・日常における身近な省エネ行動の促進として家庭等における節水や節電など、一人ひとりの身近な省エネ行動の重要性を広報やイベント等で周知し、省エネ行動の実践を促していきます。また、松阪市地球温暖化対策実行計画に基づく公共施設のＬＥＤ化を進め、令和７年度には小中学校や幼稚園・保育園、放課後児童クラブ等のＬＥＤ化を完了します。加えて、施設の規模が大きいワークセンター松阪や清掃施設などのＬＥＤ化も推進していきます。	６．快適な生活 ①　自然と生活の環境保全
	⑤	・戸籍氏名のフリガナ記載について、通知書印刷発送、届出対応等、適正に実施します。 　また、住民情報システムの標準化対応を確実に実施し、更新後も安定稼働を行うとともに、他部署と情報共有を行うことで戸籍住民課が管轄する住民記録システムに混乱が生じないように運用を行います。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
清掃行政担当理事 福山　桂	⑥	・家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、清掃各施設において適切な処理をしていきます。 また、クリーンセンターにおける排出ガスや最終処分場における放流水の水質を法令や協定書に基づき基準値以下とし、周辺地域の環境保全を維持するとともに、施設等での火災防止のため、引き続き充電式小型家電並びに危険ごみ（リチウムイオン電池、スプレー缶等）の分別指導や啓発に取り組みます。 ・ごみ減量・３Ｒの推進の取組として、ＥＢＰＭに基づき引き続きナッジの視点も取り入れた啓発事業や取組を推進し、さらに（仮称）食品ロス条例の制定に向けた検討を進めてまいります。 ・新最終処分場の整備については、令和9年度の供用開始をめざし、適正な進捗管理に取り組んでまいります。	６．快適な生活 ②　資源循環型社会の推進
健康福祉部　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
健康福祉部長 谷中　靖彦	①	・地域共生社会をめざし、包括的な支援体制を構築するため、「福祉まるごと相談室」の市内全域１３か所設置に向けて残る３か所の設置を進めます。 ・福祉まるごと相談室では、地域課題やニーズ把握を行うとともに、子育て支援や健康づくり、介護予防の取組も行い、支え合いの地域づくりに繋げ、地域の福祉基盤の強化を進めます。特に、利用割合が低い子育て世帯への周知や利用向上を図るため、紙おむつ専用ゴミ袋の配布等で周知を図ります。 ・さらなる支援機関におけるネットワーク強化のため、昨年度に引き続き積極的に研修会(重層的支援ネットワーク会議等)を開催します。 ・いわゆるごみ屋敷対策として今後も支援チームによる定期訪問を重ね、丁寧な対応で当事者と関係を構築し、集積物の減少に向けた対応をします。 ・民生委員児童委員の一斉改選に向け、活動負担の軽減につながる行政サポート体制として「民生委員・児童委員休日サポートセンター」の開設や福祉まるごと相談室のより一層の支援体制など、地域福祉の担い手確保に取り組みます。 ・生活困窮者の自立促進を図るため、関係機関と連携し、相談者に寄り添った支援を行います。 ・「ひろがる・つながるフードドライブ連携協定」を締結したフードバンク愛知の協力のもと、生活困窮世帯への食品支援に向けて検討をすすめます。	2.いつまでもいきいきと ③　地域福祉・生活支援の充実
	②	・障がい者が日々の暮らしの中で抱えているニーズや課題にきめ細かく対応し、適切な障害福祉サービス等に結びつけていくための支援が提供できる体制や多種多様な相談に対応するため、令和８年度に障がい福祉課内に基幹相談支援センターを設置できるよう取り組みます。 ・サービス事業所への定期訪問や障害者自立支援協議会専門部会に関わり、より一層各サービス事業所との関係づくりに努めます。	２．いつまでもいきいきと ⑤　障がい福祉の推進
保険健康担当理事 大西　学	③	・「第３次松阪市健康づくり計画」の２年目として、さらに健康づくりを推進していくために、市民、地域、行政がどのような取組が必要であるかを市民とともに考え、引き続き全年代を通して重点施策「健康応援プロジェクト～血管を守ろう～」に取り組みます。 ・引き続き「ナッジ理論」を活用した啓発や、受診しやすい環境づくりなど、特定健康診査、がん検診等の受診率向上を図り、疾病予防、医療費抑制に取り組みます。	２．いつまでもいきいきと ①　健康づくりの推進
	④	・救急医療体制のあり方について、関係機関で連携し、協議を継続します。松阪市休日・夜間応急診療所の土曜日深夜帯診療を休止し、松阪地区の救急医療体制を将来に亘り、持続可能な体制とするための取組を行います。また取組にあたり、市民に分かりやすい周知を行います。引き続き、医療機関の適正受診や「かかりつけ医」について普及啓発を行います。	２．いつまでもいきいきと ②　地域医療の推進
	⑤	・「第１１次高齢者保健福祉計画及び第１０期介護保険事業計画」策定のための委員会の立ち上げ、各種調査等に取り組みます。 ・地域包括ケア推進会議を中心として、在宅医療と介護の分野における多職種間の連携を推進します。今年度は「災害時における地域包括ケアシステム」をテーマに、関係機関の災害時の対応に関する情報共有を図ります。 ・認知症当事者とその家族を支援するための仕組み「チームオレンジ」の啓発を図るとともに、「松阪市認知症基本計画」（令和８年度策定予定）策定に向け、「第１１次高齢者保健福祉計画」の調査において認知症に関する意識調査に取り組みます。 ・高齢化率の上昇に伴い、独居高齢者や認知症高齢者が増加し、社会的孤立、孤独が社会問題となっています。このため、成年後見制度、終活（もめん）ノート、エンディングサポート事業等の充実に加え、終活登録事業等、特に身寄りのない高齢者等の支援を行うため、包括的な相談・調整窓口の整備、総合的な支援パッケージを提供する取組を進めます。	２．いつまでもいきいきと ④　高齢者福祉の推進

健康福祉部　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
こども局長 西浦　美奈子	⑥	・令和７年度を始期とする「松阪市こども計画」をもとにこども施策に関わる各機関で、こどもをまんなかにこどもの権利を尊重した取組を進めます。 ・子育て支援のワンストップ拠点として「こども家庭センター」で、母子保健と児童福祉が連携して、妊娠を希望する方、妊娠期から子育て期のすべての世帯へ切れ目なく支援していきます。また、児童虐待相談に対して、引き続き児童相談所等の関係機関と連携をより密にして児童虐待の早期発見・早期解消に努めます。ひとり親家庭への支援、少子化対策推進としてパパ向け講座の開催などを継続実施していきます。 ・従前の児童発達支援地域スクール事業を見直し住民自治協議会等との共催方式にて実施することで子ども発達総合支援センターと地域の結び付きを強化します。 ・こども誰でも通園（試行的事業）は、令和８年度からの本格実施を見据え、全ての未就園児が利用できるよう実施施設の拡充、登録予約システムの導入を図り、こどもの成長の支援、育児の孤立感の軽減に努めます。	１．輝くこどもたち ①　こども・子育て支援の推進
	⑦	・引き続き、「みなみこども園」の令和９年４月開園をはじめとした、公立園の再編統廃合の取組を進めていくことで、こどもにとってより良い保育・教育環境を整備していきます。 　また、新たに始める事業として、「エプロン・手口拭きのサブスク利用補助」、「子育て支援センターの土日開所の拡充」、「保育コンシェルジュの設置による寄り添い型の窓口支援」など、より一層、子育て支援施策を充実させます。	１．輝くこどもたち ②　未就学児への支援
産業文化部　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
産業文化部長　岡田　久	①	・産業支援センターや商店街連合会と連携し、中心市街地の空家・空店舗への出店を促進し、松阪駅周辺に賑わいを創出します。	３．活力ある産業 ③　商工業の振興
	②	・新規企業立地及び既存企業の再投資の実現のため、企業、金融機関等への訪問や面談等による継続的な誘致活動を行うとともに新たな産業用地の整備を進め、地域の経済成長につながる企業の誘致に取り組みます。また、「中小企業伴走型ハンズオン支援事業」により、企業の経営力向上に取り組むほか、企業の技術や製品の販路拡大を支援する等、多面的な経営支援を行います。さらに、中小企業の子育て支援の促進に向けた取組やＪ－クレジットの事業者への販売促進に注力します。	３．活力ある産業 ④　企業誘致・連携の推進
	③	・公民連携を活用したインバウンド需要にも対応できる観光誘客プロモーション事業を引き続き展開し、国内外からの入込客数を増加させます。また、行きたくなるまち「まつさか」として、旅先に選んでいただけるよう、新しく取り組むイベント実施にあたり、民間事業者および関係各課と連携しながら観光客誘致につなげていきます。	３．活力ある産業 ⑤　観光・交流の振興
	④	・障がい者雇用では、法定雇用率２．５%の達成に向けて、令和６年度に新たに対象事業者となった企業を中心に、さらなる雇用促進を促すため、助成制度や支援制度について啓発を進めます。 　また、南三重地域若者地元定着事業では、就活ナビの求職者会員を増やすために新たな取組を推進していきます。	３．活力ある産業 ⑦　雇用・勤労者福祉の充実
	⑤	・国宝に指定された「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用や市制２０周年記念事業等を関係部署と連携しながら、進めていきます。また、令和６年度に改修した市民文化会館の利用を促進し、市民が文化芸術に触れることができる機会を創っていきます。	４．人も地域も頑張る力 ③　文化の振興
	⑥	・消費者被害やトラブルを未然に防ぐため、悪質商法の手口や対処法について効率的な周知方法を関係機関と連携しながら啓発をしていきます。引き続き消費生活センターでの相談解決度を高め、消費者被害を防ぎます。	５．安全・安心な生活 ②　防犯対策と消費者保護の充実
	⑦	・飯南管内の公共交通再編は、地域住民、関係者、関係機関と協議や連携を行い、令和８年度の運行開始ができるよう取り組みます。 ・地域に対し、地域公共交通カルテの周知説明や出前講座を実施するなど、市内で局地的に交通空白となっている地域において、地域主体の交通システムであるおでかけ交通の導入検討や、既存の公共交通の利用促進を支援します。	６．快適な生活 ③　地域公共交通の充実
農林水産担当理事 谷川　英次	①	・担い手への農地集積を進めるため、農業経営を効率的に行うための基盤整備を推進し、担い手の経営発展に向けた農業用機械・施設の導入について支援を行います。また、令和７年４月から農地の貸借手続きが変わり、農地中間管理機構を介した手続きに移行されたことから、担い手や地権者の方々には、必要に応じて制度の説明会などを開催するとともに、市の利用権設定が終了する際の切り替えにかかる事務手続き等については、寄り添ったきめ細やかな支援を行います。 ・中山間地域においては、猟友会の協力による有害鳥獣捕獲や、侵入防止策の設置、追い払い等による有害鳥獣対策を継続するとともに、獣害に強い薬用作物(ミシマサイコ)については、作付けの普及が進んでいないことから、農福連携なども視野に入れながら、生産者の拡大に向けた取組を進めます。 ・カーボンニュートラルの取組として、化学農薬や化学肥料を抑えた環境保全に効果の高い営農活動を推進します。 ・農家の負担軽減を図るため、農道や用排水路など農業施設の修繕等に対して支援を行います。 ・水産資源の保護と増殖に向けた取組について、種苗放流にかかる支援などを継続的に行うことで水産資源の回復と漁獲量の増加をめざします。	３．活力ある産業 ①　農業・水産業の振興
	②	・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援など、引き続き取組を進めます。 ・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、事業の一本化と併せて補助金単価の見直しによる支援の拡充を図るとともに、県内外に広くＰＲを行い地域材の需要拡大を図ります。（目標１１５棟） ・プロジェクト計画及び森林経営計画に基づき、令和５年度と令和６年度分のＣＯ２吸収量によるＪ－クレジットの創出を行います。	３．活力ある産業 ②　林業の振興
	③	・寄附者ニーズに応じた返礼品の拡充に加え、申し込みサイトで返礼品の表示、閲覧率を向上するためのサムネイル画像の改修とレビュー獲得（返礼品評価）に取り組むことで返礼品の魅力、発信力を高めていきます。また、寄附者の約５０%を占める関東圏において、「ふるさと納税大感謝祭」を開催し、さらなるファン獲得をめざします。 ・松阪牛の振興については、松阪牛発祥の地(飯南町深野)にスポットをあてた取組として、メディアや地域おこし協力隊などを活用した情報発信や、牛舎見学ツアーなどを企画し、昔ながらの肥育手法を見聞する機会を創出することで、松阪牛発祥の地における肥育農家存続の支援に繋げます。 ・松阪牛の指定と場であり、且つ松阪牛1頭1頭の個体情報や肥育農家情報など、導入から出荷までをデータ管理する松阪牛独自のトレーサビリティシステムである「松阪牛個体識別管理システム」を管理運用している(株)三重県松阪食肉公社を支援していきます。	３．活力ある産業 ⑥　松阪牛・地域ブランドの振興
競輪事業担当理事 松林　正人	④	・収益の増加・安定的な経営に努め、一般会計への繰り出しを強化するため、①モーニングからミッドナイトまで全ての時間帯での開催　②初開催の業界推進競輪（ＧⅢ）ミッドナイト競輪の円滑な実施③ネットユーザーへの車券購入促進や来場促進のための魅力ある企画の実施④幼児から大人まで各年齢層で楽しめる参加型イベント等を通じてサイクルスポーツの振興や新規顧客の獲得に努めるとともに「松阪サイクルトレーニングセンター」を活用し自転車競技者の育成を進めます。	７．市民に寄り添う市役所 ③　健全な財政運営

建設部　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
建設部長 松本　尚久	①	・地域の実情を把握し、引き続き通学路などの歩行空間や交通安全施設の整備を行うと共に、他部局と連携し、ＥＢＰＭによる事故減少の取組を推進します。	５．安全・安心な生活 ①　交通安全対策の充実
	②	・市管理河川等における河川整備や浚渫を着実に実施するとともに、国管理河川のネック点の解消に向けた協議を進めます。県・市で構成する松阪地区浸水対策検討会は今年度で終了しますが、新たな協議会を立上げ、市内の二級河川を対象に、引き続き床上浸水ゼロをめざした対策を実施していきます。	５．安全・安心な生活 ④　浸水対策の充実
	③	・都市空間の整備は、引き続き公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の修繕を実施します。松阪駅西地区の整備については、ワークショップを開催して基本構想の確認を行い、事業者の公募を進めます。 ・住環境の整備は、空家対策において、新事業である「空き家の終活　お助けプロジェクト」を軌道にのせ、空家の解消に繋げます。土地利用の再定義については、既存集落活性化型地区計画において、地域と話し合いを継続していきます。市営住宅については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画通り解体を進めます。	６．快適な生活 ④　都市空間・住環境の整備
	④	・計画的な道路の整備と、狭あい道路や歩行空間の確保など道路環境の改善を図ります。道路照明灯のＬＥＤ化については、最終年度であり、確実に整備を実施し、安全性を高め快適な道路環境を提供します。	６．快適な生活 ⑤　道路等の整備
	⑤	・事業執行に当たっては、所属課のニーズや利用者の目線に立ちながら、建築の専門家としてのアドバイスを加え、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所属課と連携を密にし、安全かつ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
消防団事務局　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
消防団事務局長 高橋　淳也	①	・地域防災体制の充実強化を図るために、消防団員の確保に取り組みます。 ・消防団協力事業所の新規認定数の向上に取り組み、消防団活動の活性化を図ります。 ・消防団活動の強化と効率化を図るために、消防施設の維持管理や適正な配置、そして、消防団車両や消防用機械器具の計画的な更新配備を進めます。 ・地域の消防力を低下させないことに配意しながら、地域の実情に応じた消防団組織の再編を進めます。 ・津波災害時における消防団員の活動要領や安全管理体制の確立を進めます。 ・災害時における消防団による避難行動要支援者への支援体制について引き続き研究します。	５．安全・安心な生活 ③　防災・危機管理対策の充実
会計管理課　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
会計管理者　前﨑 高志	①	・会計事務の業務量の削減に向け、効率化、事務改善に取り組みます。 ・会計事務に携わる職員の意識の醸成を継続して図ります。 ・公金の有利な預け入れに取り組みます。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
市民病院事務部　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
市民病院事務部長 沼田　雅彦	①	・令和８年４月１日から社会福祉法人恩賜財団済生会支部三重県済生会による指定管理が支障なく始められるように、実務的で具体的な協議・調整を継続します。 　また、指定管理者制度の活用においては、職員の待遇等の協議・調整が極めて重要であることから、引き続き指定管理者と協議・調整を進めるとともに、職員面談等をしっかり実施し、職員の意向の把握と疑問・不安の解消に努めます。 　さらに、医療、住まい、介護、生活支援、予防の切れ目のない地域包括ケアシステムの強化に向け、関係部門との連携に努めます。	２．いつまでもいきいきと ②　地域医療の推進
上下水道部　令和７年度　「実行宣言」			**関係施策**
上下水道事業管理者 塩野　直弘	①	・雨水施設ストックマネジメント計画に基づき大口ポンプ場（除塵設備）外の改築更新と、日常の維持管理による安定した排水運転の実施に取り組みます。 ・特定都市河川流域（中村川）及び、県河川４流域（三渡川、百々川、名古須川、愛宕川）の浸水対策を国・県と連携して進めます。	５．安全・安心な生活 ④　浸水対策の充実
	②	・令和７年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。また、持続可能な水道料金の研究に取り組んでまいります。 ・水道事業建設改良工事においては引き続き、安心・安全な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新とともに、避難所などの重要施設へ接続する水道管の耐震化と災害時用給水栓の整備を進めます。 ・公共下水道事業（汚水）は、経営戦略に基づき面整備工事による未普及対策、及び、マンホールトイレ設置などによる地震対策を進めます。また、浄化槽、農集、公共下水道による整備区域の見直し検討を継続します。 ・公共下水道事業（雨水）は、雨水幹線等の工事のほか、雨水管理総合計画に基づく松阪市公共下水道計画の見直しに着手します。	６．快適な生活 ⑥　上下水道の整備

教育委員会事務局　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
教育長 中田　雅喜 教育委員会事務局長 若山　幸則	①	・放課後児童クラブの運営について、指定管理者制度への早期移行に向けた取組を行います。 ・放課後児童クラブと学校との連携を強化し、学校の様子、クラブの様子等情報交流が図れる仕組みを作ります。	１．輝くこどもたち ①　こども・子育て支援の推進
	②	・小中学校の再編活性化については、令和８年４月開校予定の東部北小学校、東部南小学校、よねのしょう小学校において、子どもたちが新たな学校生活に円滑に移行できるよう、さらに具体的な協議・調整を進めます。閉校となる学校施設及び跡地の活用については、他の公共施設への転用や民間活用も含めた検討を地域とともに進めます。また、第2期の対象校としている学校（複式学級の発生が見込まれている小学校）とその関連校において協議を開始していきます。 ・子どもたちにとって生きるための礎となる「健やかな身体」を育むために健康教育の充実を図り、子どもたちが健康状態や心身の発達のついて自ら考え、自ら行動できる自己管理能力の育成に取り組みます。 ・学力向上については、モデル校を指定し、ＡＩによる分析データをフィードバックし、問題解決能力等を育成する研究を進めていきます。また、自己肯定感を高める指導方法の工夫・改善を進めます。さらに、様々な社会変化や技術革新に対応した教員の資質向上を図るために、教育イノベーションプロジェクトをはじめ、企業や大学と連携し、教科横断的な学習を進めるＳＴＥＡＭプロジェクトなど、現代的な諸課題の解決に求められる資質・能力の育成を図る研究・実践を進めていきます。 ・児童生徒用タブレット端末の利活用を進めるとともに、統合型校務支援システムを導入することで、子どもたちの学習状況や心身の状態のデータを可視化し、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を進める等、教育ログの活用により、教育の質の向上に取り組みます。 ・子どもたちにとって最適なICT環境を進めるとともに、学習の基盤となる情報活用能力の育成を進め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。 ・児童生徒用タブレット端末を活用し、ＬＴＥモデルの特性を活かし、経済格差が教育格差につながらないよう、ＩＣＴを活用した指導方法や教材の開発に取り組みます。 ・関係機関、関係施設と連携し、不登校児童生徒や、その保護者の支援を行う等、相談事業の充実に努めます。 ・安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります。	１．輝くこどもたち ③　学校教育の充実
	③	・松阪市公民館運営基本方針（仮称）の策定をし、主要５公民館の連携と各地域で行われる生涯学習の支援体制を整えます。 ・各地区の青少年健全育成会の組織体制について、現状を再確認し、必要に応じ見直しを行います。	４．人も地域も頑張る力 ①　市民活動･社会教育の推進
	④	・スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるように取り組みます。 ・「伝えたい！スポーツのチカラプロジェクト」では市制２０周年記念事業の「ダンスドリームプロジェクト」をＥＸＩＬＥのメンバー等のサポートを得て、市内公立中学校の保健体育のダンス授業で取り組みます。 ・みえ松阪マラソン２０２５については、定員を１．３万人の参加を得るため、初マラソン挑戦推進の取り組み、ＳＤＧｓ、公式イメージソングの発表、インフルエンサー等の情報発信、市制２０周年記念事業の一環としてスペシャルサンクスパレード開催に取り組みＲＵＮＮＥＴによる１２月開催のフルマラソン７，０００人以上の大規模大会の中で３年連続第１位をめざします。	４．人も地域も頑張る力 ④　スポーツと連動したまちづくりの推進
議会事務局　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
議会事務局長 三木　敦	①	・市民に負託された議会の広聴機能を強化するため、定期的に開催される議会報告会のあり方の見直しや、各種団体等市民との意見交換会等の開催について、議員との連携及び情報共有を図りながら取り組みます。 ・議会活動の「見える化」や市民参加を図るため、様々な媒体を活用して、議会活動に関する情報の積極的な発信に努めます。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
農業委員会事務局　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
農業委員会事務局長 山路　伸之	①	・農業委員・農地利用最適化推進委員と共に耕作放棄地等のフォローアップ（改善指導等）に努めていきます。	３．活力ある産業 ①　農業・水産業の振興
監査委員事務局　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
監査委員事務局長 尼子　宗成	①	・住民監査請求等の手続きや各種監査の意見書の作成について、予定期日内に適正に処理をします。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実
選挙管理委員会事務局　令和７年度　「実行宣言」			関係施策
選挙管理委員会事務局長 湯川　一樹	①	・選挙事務においては、選挙人や事務従事者等の投票所の環境を良好にするため、エアコンが設置されている公共施設へ変更するよう取り組みます。 ・選挙公報の配布においては、配布率の向上に取り組みます。 　また、将来の有権者に向けた啓発活動に積極的に取り組みます。	７．市民に寄り添う市役所 ①　行政サービスの充実

第２章 各施策の「評価」と「実行宣言」

1. 輝くこどもたち　①こども・子育て支援の推進

評価者	こども局長　西浦　美奈子

令和6年度　実行宣言

・子育て支援のワンストップ拠点として健康センターはるる内に「こども家庭センター」を設置し、妊娠を希望する方、妊娠期から子育て期の全ての世帯へ切れ目なく支援していきます。また、児童虐待相談に対して、引き続き児童相談所等の関係機関と連携をより密にして児童虐待の早期発見・早期解消に努めます。ひとり親家庭支援として養育費の支払い等に関する親支援講座の開催、少子化対策推進としてパパ向け教室の開催などを実施していきます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆☆

・「こども家庭センター」で、妊娠を希望する方、妊娠期、乳幼児の子育て期を対象に母子保健が予防的な支援を切れ目なく行いました。支援の必要な家庭には各種サービスや児童福祉の関わりにつなぎました。
・児童虐待相談件数は、252件と前年度の176件に比べて大きく増加しました。関係機関との連携による早期介入で、死亡等の重篤な案件の発生はありませんでした。
・新規事業として開始した「児童育成支援拠点事業」「親子関係形成支援事業（ペアレントプログラム）」では、課題を抱える家庭の支援につながりました。また、ひとり親家庭への支援情報等を発信するLINEアカウントを新規開設し、定期的な情報発信を行いました。
・育児前、育児中の男性を対象としたパパ向けの育児・家事講座を実施し、講座終了者を「スマイルパパ」と認定しました。
・第3期子ども・子育て支援事業計画を包含する「松阪市こども計画」の策定を行いました。

↓

令和7年度 実行宣言

・令和7年度を始期とする「松阪市こども計画」をもとにこども施策に関わる各機関で、こどもをまんなかにこどもの権利を尊重した取組を進めます。
・子育て支援のワンストップ拠点として「こども家庭センター」で、母子保健と児童福祉が連携して、妊娠を希望する方、妊娠期から子育て期のすべての世帯へ切れ目なく支援していきます。また、児童虐待相談に対して、引き続き児童相談所等の関係機関と連携をより密にして児童虐待の早期発見・早期解消に努めます。ひとり親家庭への支援、少子化対策推進としてパパ向け講座の開催などを継続実施していきます。
・従前の児童発達支援地域スクール事業を見直し、住民自治協議会等との共催方式にて実施することで子ども発達総合支援センターと地域の結び付きを強化します。
・こども誰でも通園（試行的事業）は、令和8年度からの本格実施を見据え、全ての未就園児が利用できるよう実施施設の拡充、登録予約システムの導入を図り、こどもの成長の支援、育児の孤立感の軽減に努めます。

評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則

令和6年度　実行宣言

・長期休業中子どもの居場所づくり事業の拡充として、市内3か所において定員180人程度を受け入れ、事故なく良質な保育ができるよう委託事業者や施設管理者等関係機関と調整を行い、事業を実施します。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・長期休業中子どもの居場所づくり事業は、市内3か所で165人の児童に安全・安心な居場所の提供ができました。また、利用者アンケートでは満足・やや満足が97%と概ね高評価を得ることができました。

↓

令和7年度 実行宣言

・放課後児童クラブの運営について、指定管理者制度への早期移行に向けた取組を行います。
・放課後児童クラブと学校との連携を強化し、学校の様子、クラブの様子等情報交流が図れる仕組みを作ります。

施策の進捗状況						
数値目標①	項　目	妊娠届出時面談におけるサポートプラン作成率			目標種別	→
	評価者	こども局長　西浦　美奈子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	100%	100%	100%	100%
	実　績	ー	100%	ー	ー	ー
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	全ての妊娠届出者に対し「子育てガイド＆たまひよプラン」を活用したサポートプランの作成を行いました。妊娠届出時、妊婦とともに立てたプランを赤ちゃん訪問時に一緒に確認し、保護者は子育ての見通しを持つことにつながり、必要なサービス、支援につなげることができました。				
数値目標②	項　目	児童虐待による死亡等重篤事例件数			目標種別	→
	評価者	こども局長　西浦　美奈子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	0　件	0　件	0　件	0　件
	実　績	0　件	0　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	こども家庭センターで、母子保健と児童福祉の一体的な支援を行うとともに各関係機関との連携により、引き続き死亡等重篤な案件を発生させないよう取り組みます。				
数値目標③	項　目	就学時等における発達に関する相談についての個別保護者アンケート満足度			目標種別	⤴
	評価者	こども局長　西浦　美奈子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	95.0　%	95.0　%	95.0　%	95.0　%
	実　績	90.0　%	93.1　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	C	ー	ー	ー
	今後の方針	教育支援委員会の審議結果について不安や疑問を抱える保護者の考えを傾聴し、最善の就学先が決定できるよう丁寧な説明を行います。				
数値目標④	項　目	こども誰でも通園制度の実利用者数			目標種別	⤴
	評価者	こども局長　西浦　美奈子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	25　人	50　人	75　人	100　人
	実　績	ー	68　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	令和8年度からの本格実施を見据え、全ての未就園児が利用できるよう実施施設の拡充、登録予約システムの導入を図り、こどもの成長の支援、育児の孤立感の軽減に努めます。				
数値目標⑤	項　目	指定管理者制度に変更した放課後児童クラブ数			目標種別	⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	0　クラブ	0　クラブ	0　クラブ	10　クラブ
	実　績	0　クラブ	0　クラブ	ー　クラブ	ー　クラブ	ー　クラブ
	評　価	ー	ー	ー	ー	ー
	今後の方針	令和7年度に放課後児童クラブ運営方針及び指定管理仕様書を作成し、令和8年度に指定管理の公募を行います。				

関係所属
こども家庭センター、こども未来課、子ども発達総合支援センター、保険年金課、生涯学習課、企業誘致連携課、学校支援課

1. 輝くこどもたち　②未就学児への支援

評価者	こども局長　西浦　美奈子

令和6年度　実行宣言

・引き続き公立園の再編統廃合の取組を進めるとともに、新たに始める子育て支援事業の「こども誰でも通園」、保育士確保対策事業では「保育のおしごと就職・相談会」や「保育園・幼稚園・認定こども園見学バスツアー」を開催し、より一層、子育て支援施策を充実させます。
・本年は大幅な児童手当の制度改正があることから、給付を円滑に実施します。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆☆

・「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」及び令和4年度に定めた閉園基準の該当園に現状と今後について報告をしました。
「阿坂幼稚園」が総園児数15人未満3年目となったことから、住民説明会を開催し、令和8年度末の閉園を報告しました。
「港幼稚園」が総園児数15人未満1年目となったことを地域及び保護者へ報告しました。
「射和幼稚園」及び「つばな保育園」については、地区の住民代表者へ、園児数等の現状説明と今後について説明させていただきました。
「みなみこども園」については、年度末に移転先を南小学校に決定し、移転改築について、「こども園と小学校の保護者」及び「学校運営協議会」へ意見聴取会を開催し、令和9年4月に開園を予定していることを説明しました。
・新規事業として実施した、「こども誰でも通園」については、県内唯一の実施自治体であり、不安の中の運営でありましたが、想定を上回る利用者があり、一定の効果が得られた結果となりました。
・「保育士確保対策事業」では、「保育のおしごと就職・相談会」や「保育園・幼稚園・認定こども園見学バスツアー」等を開催し、保育の仕事に就きたいと考えている学生、潜在保育士など192人の参加がありました。
・児童手当の制度改正についてはオンライン申請を導入したことなどにより、給付を円滑に実施することができました。
・毎年コツコツと、子育てに関する支援施策を積み重ねてきたことで、日経 xwoman（クロスウーマン）と日本経済新聞社が実施する「共働き子育てしやすい街」ランキングにて、当市が全国15位、東海地区4位、三重県内1位と2年連続の高評価をいただきました。

令和7年度 実行宣言

・引き続き、「みなみこども園」の令和9年4月開園をはじめとした、公立園の再編統廃合の取組を進めていくことで、こどもにとってより良い保育・教育環境を整備していきます。
　また、新たに始める事業として、「エプロン・手口拭きのサブスク利用補助」、「子育て支援センターの土日開所の拡充」、「保育コンシェルジュの設置による寄り添い型の窓口支援」など、より一層、子育て支援施策を充実させます。

施策の進捗状況

	項　目	保育園待機児童数（4/1国基準）				目標種別	→
	評価者	こども局長　西浦　美奈子					
数値目標①	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	0　人	0　人	0　人	0　人	
	実　績	0　人	0　人	ー　人	ー　人	ー　人	
	評　価	ー	S	ー	ー	ー	
	今後の方針	4月1日国基準の待機児童は令和元年度に発生しましたが、以降は受け入れ児童数に合わせた保育士を配置していることで待機児童は発生していません。 ただし、途中入園については毎年一定数の待機が発生していますことから、今後も入園申し込み状況等を注視しながら、待機児童対策を行っていきます。					

施策の進捗状況						
数値目標②	項　目	育児休業明け入園予約申し込みに対する利用児童数の割合			目標種別	⤴
	評価者	こども局長　西浦　美奈子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	60　%	73　%	86　%	100　%
	実　績	ー	63　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	園の受入体制が整わなかったため、入園できなかったケースが一定数ありました。令和7年度については、育児休業明けにスムーズな職場復帰ができるよう受け皿となる保育施設の確保に努めます。				
数値目標③	項　目	入園申し込みのオンライン申請率			目標種別	⤴
	評価者	こども局長　西浦　美奈子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	25　%	44　%	62　%	80　%
	実　績	7　%	20　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	B	ー	ー	ー
	今後の方針	昨年度より3倍増となった要因として、全保護者が設定している保育アプリ及び申請関係書類等を配布する際にもチラシ告知を行ったことによると考えております。次年度は、受付時に紙の申請書を渡す代わりにオンライン申請を案内するなどして、利用促進の取組を検討していきます。				
数値目標④	項　目	エプロン・手口ふきのサブスクに関する保護者満足度			目標種別	⤴
	評価者	こども局長　西浦　美奈子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	90　%	90　%	90　%	90　%
	実　績	ー	99　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	令和6年度については、利用希望者のみのアンケート結果のため満足度は高い結果となりました。 令和7年度より、エプロン・手口拭きについては全園児が加入をすることになりますが、利用料の半額を補助して実施することで保護者の負担軽減および保育士の業務負担の軽減を図ります。				

関係所属
こども未来課

1. 輝くこどもたち　③学校教育の充実

評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則

令和6年度 実行宣言

・小中学校の活性化については、子どもたちにとってより良い教育環境で学ぶことができる体制を構築するため、保護者の声を重視し、地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえて進めます。
・子どもたちが変化の激しい環境の中で、生涯を通して充実した生活ができるよう健康教育・安全教育の充実を図り、自己管理能力の育成に取り組みます。
・子どもたちが夢と希望をもち、自分の可能性を最大限に発揮できるよう、一人ひとりが自ら判断し対応できる力や、周りの人たちと協働して課題解決を図る力などを育み、確かな学力の育成を図ります。
・ICTを活用した教育活動の更なる発展をめざして、教育データの利活用の取組を拡大します。デジタル教材の活用によって蓄積されたデータを元に、子どもたち一人ひとりに応じた学習活動・課題を提供することで、最適な学習へ自ら調整する力の育成に取り組みます。また、これまで以上に多様な情報を取り扱う機会が増えるため、情報モラル・情報セキュリティ教育を通じて、情報活用能力の資質向上に努めます。
・安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆☆

・小中学校の再編活性化について、東部中学校区6小学校の再編、松ケ崎小学校と米ノ庄小学校の再編が決定しました。（令和8年4月開校予定）
・就学援助や健康診断等の事業を適切に実施し、経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者への支援、児童生徒及び教職員の心身の健康の保持増進に努めることができました。
・学力向上については、市標準学力調査等から把握した課題を踏まえ、授業改善に取り組むとともに、各種調査の教育ログを利活用した「個別最適な学び」を進めることにより、全国学力・学習状況調査の結果が、小学校において、9年連続、全国値を上回り、中学校においても、全教科平均が全国値を上回りました。中でも、正答率の低かった層における学力の向上が見られました。
・ICTを活用した教育活動の更なる発展をめざして、三重県内で唯一となる、リーディングDXスクール事業指定校の認定を受け、ICTの効果的な教育実践を創出・モデル化し、全国すべての学校における教育活動の高度化の実現に向けた取組を行いました。先進地視察などの情報収集及び公開授業研究会を実施し、市内を含め、全国から269人に参加いただき、松阪モデルについて実践事例の横展開を図りました。
・デジタルドリルやオンデマンド型学習配信サービス等を活用し、授業内だけでなく、朝活・夕活における学習、家庭学習などにおいても、個々の特性や習熟度に応じた学びの機会を提供することができました。
・中学校においは学習eポータルを導入し、文部科学省のシステムMEXCBTへのアクセスをできる環境を整えるとともに、一人一IDの運用を開始し、生徒の情報活用能力の育成に努めました。
・第3子以降の児童生徒を対象に給食費の無償化し、多子世帯の保護者負担を軽減を図りました。

令和7年度 実行宣言

・小中学校の再編活性化については、令和8年4月開校予定の東部北小学校、東部南小学校、よねのしょう小学校において、子どもたちが新たな学校生活に円滑に移行できるよう、さらに具体的な協議・調整を進めます。閉校となる学校施設及び跡地の活用については、他の公共施設への転用や民間活用も含めた検討を地域とともに進めます。また、第2期の対象校としている学校（複式学級の発生が見込まれている小学校）とその関連校において協議を開始していきます。
・子どもたちにとって生きるための礎となる「健やかな身体」を育むために健康教育の充実を図り、子どもたちが健康状態や心身の発達のついて自ら考え、自ら行動できる自己管理能力の育成に取り組みます。
・学力向上については、モデル校を指定し、AIによる分析データをフィードバックし、問題解決能力等を育成する研究を進めていきます。また、自己肯定感を高める指導方法の工夫・改善を進めます。さらに、様々な社会変化や技術革新に対応した教員の資質向上を図るために、教育イノベーションプロジェクトをはじめ、企業や大学と連携し、教科横断的な学習を進めるSTEAMプロジェクトなど、現代的な諸課題の解決に求められる資質・能力の育成を図る研究・実践を進めていきます。
・児童生徒用タブレット端末の利活用を進めるとともに、統合型校務支援システムを導入することで、子どもたちの学習状況や心身の状態のデータを可視化し、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を進める等、教育ログの活用により、教育の質の向上に取り組みます。
・子どもたちにとって最適なICT環境を進めるとともに、学習の基盤となる情報活用能力の育成を進め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。
・児童生徒用タブレット端末を活用し、LTEモデルの特性を活かし、経済格差が教育格差につながらないよう、ICTを活用した指導方法や教材の開発に取り組みます。
・関係機関、関係施設と連携し、不登校児童生徒や、その保護者の支援を行う等、相談事業の充実に努めます。
・安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります。

施策の進捗状況						
数値目標①	項　目	「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合※※全国学力・学習状況調査で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合			目標種別	↑
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	75.7　%	77.2　%	78.7　%	80.0　%
	実　績	74.2　%	73.4　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	キャリア・パスポートを活用し、自分の夢や未来への希望について話し合うなど、小学校から継続したキャリア教育に取り組みます。地元企業や地域で活躍する職業人等の協力を受けるとともに、家庭や地域、異校種の学校(園)と連携し、社会に開かれた教育活動に取り組みます。				
数値目標②	項　目	「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合※※全国学力・学習状況調査で、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合			目標種別	↑
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	83.5　%	84.6　%	85.8　%	87.0　%
	実　績	83.1　%	82.2　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	各中学校区の人権フォーラムの活動を通じて、子どもたちが「なかま」として認め合える関係を築き、自尊感情を高めることができるように取組みます。また、松阪市人権教育研究会の活動により、教職員の確かな人権感覚と指導力の向上を図ります。				
数値目標③	項　目	学級満足度尺度調査(Q-U)の満足度※学校生活・活動に満足し、意欲的に取り組んでいる子どもたちの割合			目標種別	↑
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	67.5　%	68.0　%	68.5　%	69.0　%
	実　績	67.0　%	68.0　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	Q-Uを活用した学級づくりや子どもたちの自尊感情とソーシャルスキルを育む取組を推進します。 相談体制の充実を図るとともに、メンタル不調の予兆の段階で早期に気付き、適切な助言や支援につなげるためのシステムの構築を進めます。				
数値目標④	項　目	「毎日朝食を食べている」と回答した児童生徒の割合			目標種別	↑
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	小　96.0　% 中　92.0　%	小　96.0　% 中　92.0　%	小　96.0　% 中　92.0　%	小　96.0　% 中　92.0　%
	実　績	小　92.8　% 中　91.0　%	小　92.0　% 中　90.9　%	小　ー　% 中　ー　%	小　ー　% 中　ー　%	小　ー　% 中　ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	朝食メニューコンクールに取り組むとともに、栄養教諭や食育担当等と連携し、授業において朝食の重要性を伝えていきます。				

施策の進捗状況						
数値目標⑤	項　目	むし歯のない児童生徒の割合				目標種別　⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	―	小　62.2　% 中　67.0　%	小　64.7　% 中　68.5　%	小　67.1　% 中　70.0　%	小　69.5　% 中　71.5　%
	実　績	小　59.8　% 中　65.5　%	小　62.3　% 中　71.2　%	小　―　% 中　―　%	小　―　% 中　―　%	小　―　% 中　―　%
	評　価	―	S	―	―	―
	今後の方針	各校における歯みがき指導を推進していくとともに、フッ化物洗口の実施校および実施学年を拡大していくことで、むし歯のない児童生徒の割合を高めていきます。				
数値目標⑥	項　目	食文化や行事食などの給食献立回数				目標種別　⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	―	36.0　回	40.0　回	45.0　回	50　回
	実　績	35.0　回	36.0　回	―　回	―　回	―　回
	評　価	―	S	―	―	―
	今後の方針	学校給食では、和食文化を積極的に取り入れているが、薄れてきつつある食文化もあることから、給食を通してそれらを伝えます。また、園児・児童・生徒の楽しみにしている行事食も含めて、四季を感じ魅力ある献立を追加していくことで、学校給食として食育に取り組みます。				
数値目標⑦	項　目	非構造部材の耐震対策実施済学校の割合				目標種別　⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	―	27.7　%	31.9　%	34.0　%	38.3　%
	実　績	25.5　%	27.7　%	―　%	―　%	―　%
	評　価	―	S	―	―	―
	今後の方針	学校施設は、児童・生徒が一日の大半をすごす学習・生活の場であるとともに、災害発生時には防災の拠点となることから、非構造部材の耐震対策を実施し、防災機能強化を図ります。				
数値目標⑧	項　目	教育データの利活用を通じて、学習指導や校務効率化に取り組んだ学校の割合				目標種別　⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	―	70.0　%	74.0　%	77.0　%	80.0　%
	実　績	―	72.3　%	―　%	―　%	―　%
	評　価	―	S	―	―	―
	今後の方針	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、教育の質を向上させていくため、児童生徒用タブレット端末を用いた効果的な実践例の創出・横展開を図るなど、ICT活用の日常化を進めます。また、統合型校務支援システムを導入し、教育データを活用することで、教育の質の向上に取り組みます。				

関係所属
教育総務課、学校教育課、学校支援課、子ども支援研究センター、給食管理課

2. いつまでもいきいきと　①健康づくりの推進

評価者	保険健康担当理事　大西　学

令和6年度　実行宣言

・「第3次松阪市健康づくり計画」の1年目として、3つの重点目標を推進します。
　1. おいしくバランスよく食べよう
　2. 毎日カラダを動かそう！+10(プラステン)
　3. 自分にあった健康管理をしよう
・引き続き、「ナッジ理論」を活用しながら、特定健康診査、がん検診等の受診率向上を図り、疾病予防、医療費抑制に取り組みます。

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・「第3次松阪市健康づくり計画」の1年目として、医師講演会や健康講座を開催し、重点施策「健康応援プロジェクト～血管を守ろう～」を推進しました。また、動画配信や運動講座を開催し「スポーツのチカラ」を活かした健康づくりや運動に関するボランティアの育成の取組みを行い、住民主体の健康づくりを推進しました。
・「ナッジ理論」を活用した特定健康診査やがん検診未受診者に対して、受診勧奨通知を行いました。
・特定健康診査については、受診率向上を図るため2か月間延長した結果、前年度より受診率を上げることができました。
・糖尿病性腎症重症化予防事業については、かかりつけ医等医療機関と連携し、受診勧奨や保健指導を実施しました。また、連携協定による慢性腎臓病と生活習慣に関する市民公開講座を開催し市民への啓発に取り組みました。

令和7年度 実行宣言

・「第3次松阪市健康づくり計画」の2年目として、さらに健康づくりを推進していくために、市民、地域、行政がどのような取組が必要であるかを市民とともに考え、引き続き全年代を通して重点施策「健康応援プロジェクト～血管を守ろう～」に取り組みます。
・引き続き「ナッジ理論」を活用した啓発や、受診しやすい環境づくりなど、特定健康診査、がん検診等の受診率向上を図り、疾病予防、医療費抑制に取り組みます。

施策の進捗状況

評価者	保険健康担当理事　大西　学

施策の進捗状況

	項　目	「毎日カラダを動かそう！+10(プラステン)」の取組に参加した人数				目標種別	⤴
数値目標①	評価者	保険健康担当理事　大西　学					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	6,200　人	6,800　人	7,400　人	8,000　人	
	実　績	0　人	6,520　人	ー　人	ー　人	ー　人	
	評　価	ー	S	ー	ー	ー	
	今後の方針	楽しく体を動かすことができるように、市民の健康づくりを支援・促進します。					

	項　目	フッ化物洗口を全学年で実施している小学校の割合				目標種別	⤴
数値目標②	評価者	保険健康担当理事　大西　学					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	36.1　%	52.7　%	67.7　%	80.6　%	
	実　績	19.4　%	36.1　%	ー　%	ー　%	ー　%	
	評　価	ー	S	ー	ー	ー	
	今後の方針	小学校でのフッ化物洗口事業の継続支援を行います。					

	項　目	特定健康診査受診率(40歳～74歳)				目標種別	⤴
数値目標③	評価者	保険健康担当理事　大西　学					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	44.3　%	47.4　%	50.5　%	53.6　%	
	実　績	40.6　%	41.1　%	ー　%	ー　%	ー　%	
	評　価	ー	E	ー	ー	ー	
	今後の方針	引き続き、新40歳到達者に受診案内通知を送付し、未受診者へ対しても「ナッジ理論」を活用したハガキ等で受診勧奨を行い、受診率向上に努めます。					

関係所属

保険年金課、健康づくり課

2. いつまでもいきいきと　②地域医療の推進

評価者	保険健康担当理事　大西　学

令和6年度　実行宣言

・持続可能な一次二次救急医療体制のあり方、一次二次の機能分担について、引き続き、関係機関と協議を行い、市民に分かりやすく周知を行うとともに、かかりつけ医の普及啓発を行います。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆☆

・松阪地区の二次救急病院と地域の医院・診療所の機能分担の推進と連携強化を進め、地域の救急医療体制整備を図るため、「一次二次救急医療体制のあり方」について、関係機関とともに調査、協議を行い、関係機関の合意を得、方向性を示しました。
　また、三基幹病院における救急搬送患者に対する選定療養費の取組等により、救急搬送患者のうち、傷病程度が軽症であった人の割合が昨年度に比べ5.6ポイント減少し、医療機関の適正受診に繋がる結果を得ることができました。

↓

令和7年度 実行宣言

・救急医療体制のあり方について、関係機関で連携し、協議を継続します。松阪市休日・夜間応急診療所の土曜日深夜帯診療を休止し、松阪地区の救急医療体制を将来に亘り、持続可能な体制とするための取組を行います。また取組にあたり、市民に分かりやすい周知を行います。引き続き、医療機関の適正受診や「かかりつけ医」について普及啓発を行います。

評価者	市民病院事務部長　沼田　雅彦

令和6年度　実行宣言

・少子高齢化が進展する松阪地域の医療ニーズにあった市民病院の機能転換を図るための一歩として、指定管理者制度の活用に向けた具体的な協議・調整を進めます。
　また指定管理制度の活用に向けては、職員の雇用や待遇等の協議・調整が極めて重要であり、職員面談等をしっかり行い、不安の解消に努めます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・令和6年度は、指定管理者制度の活用に向け、関係者との入念な協議を積み重ねながら、民間委託等検討委員会、指定管理者審査選定委員会といった公的手続きを経て、2月には指定管理者指定の議案を上程し、審議・採決の結果可決され、3月に指定管理者指定の通知と告示を行うことができました。
・職員面談等については、常時対応することを周知し、希望者と面談を重ねたほか、各所属の管理職との話し合いも行い、職員の意向等の把握に努めるとともに、疑問と不安の解消に努めました。

↓

令和7年度 実行宣言

・令和8年4月1日から社会福祉法人恩賜財団済生会支部三重県済生会による指定管理が支障なく始められるように、実務的で具体的な協議・調整を継続します。
　また、指定管理者制度の活用においては、職員の待遇等の協議・調整が極めて重要であることから、引き続き指定管理者と協議・調整を進めるとともに、職員面談等をしっかり実施し、職員の意向の把握と疑問・不安の解消に努めます。
　さらに、医療、住まい、介護、生活支援、予防の切れ目のない地域包括ケアシステムの強化に向け、関係部門との連携に努めます。

施策の進捗状況						
数値目標①	項目	「かかりつけ医がいる」と答えた人の割合			目標種別	⤴
	担当部局長	保険健康担当理事　大西　学				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	75.0　%	75.0　%	75.0　%	75.0　%
	実　績	74.1　%	74.9　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	B	ー	ー	ー
	今後の方針	身近にかかりつけ医を持ち、健康上の相談や受診ができるよう、普及啓発に努めます。				
数値目標②	指標名	救急搬送患者のうち、傷病程度が軽症であった人の割合(暦年)			目標種別	⤵
	担当部局長	保険健康担当理事　大西　学				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	53.5　%	53.5　%	53.5　%	53.5　%
	実　績	56.6　%	51.0　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	市民の適切な受診行動を促進するため、周知啓発を行います。				
数値目標③	指標名	救急医療対策を目的に、多職種連携した会議の開催回数			目標種別	⤴
	担当部局長	保険健康担当理事　大西　学				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上
	実　績	5　回	6　回	ー	ー	ー
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	松阪地区の救急医療体制のあり方について、関係機関で連携し、協議を継続します。				

関係所属
健康づくり課、市民病院事務部経営管理課

2.いつまでもいきいきと　③地域福祉・生活支援の充実

評価者	健康福祉部長　谷中　靖彦

令和6年度　実行宣言

・地域共生社会の実現をめざし、地域包括支援センターと連携を図りながら、「福祉まるごと相談室」の市内全域の設置を計画的に進めます。
・住民自治協議会との連携強化、並びに地域福祉の担い手である民生委員児童委員の活動支援に取り組みながら、地域における支え合い活動の普及を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりを進めます。
・生活困窮者の自立促進を図るため、関係機関と連携し相談者に寄り添った支援を行います。

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・令和6年度に計画していた福祉まるごと相談室を新たに4地区に設置し、10地区において属性や年齢を問わない包括的な支援体制を構築しました。
・福祉まるごと相談室では、地域の課題を地域とともに解決を図るため、住民自治協議会、民生委員児童委員協議会の定例会や地域行事等へ参加し、顔の見える関係づくりを進め、連携が進んでいる地域では、高齢者の見守り支援や居場所づくりなど、地域による支え合い活動の協議を展開することができました。
・重層的支援ネットワーク構築のための研修を8回開催し、参加者の9割が自分のためになった、今後の活動に役立つとの意見も多く、課題に対する体制づくりを進めることができました。
・いわゆるごみ屋敷対策として支援チームによる月3回以上の定期訪問を重ね、丁寧な対応で当事者との関係をつくり、関わった頃から集積物は増えることなく、減少に向けた対応ができました。
・令和7年12月の民生委員児童委員一斉改選に向け、なり手確保につなげるため、市長と語る会やアンケート調査により民生委員児童委員のニーズ把握に努め、見守り対象者の死亡・転出・介護施設への入所等の情報提供を手始めに活動に寄り添った行政サポート体制の次年度構築に向けて道筋をつけることができました。
・自立支援相談プランを90件作成し、内60件をハローワークへ支援要請で繋げ就労支援を行い自立促進に努めました。

令和7年度 実行宣言

・地域共生社会をめざし、包括的な支援体制を構築するため、「福祉まるごと相談室」の市内全域13か所設置に向けて残る3か所の設置を進めます。
・福祉まるごと相談室では、地域課題やニーズ把握を行うとともに、子育て支援や健康づくり、介護予防の取組も行い、支え合いの地域づくりに繋げ、地域の福祉基盤の強化を進めます。特に、利用割合が低い子育て世帯への周知や利用向上を図るため、紙おむつ専用ゴミ袋の配布等で周知を図ります。
・さらなる支援機関におけるネットワーク強化のため、昨年度に引き続き積極的に研修会（重層的支援ネットワーク会議等）を開催します。
・いわゆるごみ屋敷対策として今後も支援チームによる定期訪問を重ね、丁寧な対応で当事者と関係を構築し、集積物の減少に向けた対応をします。
・民生委員児童委員の一斉改選に向け、活動負担の軽減につながる行政サポート体制として「民生委員・児童委員休日サポートセンター」の開設や福祉まるごと相談室のより一層の支援体制など、地域福祉の担い手確保に取り組みます。
・生活困窮者の自立促進を図るため、関係機関と連携し、相談者に寄り添った支援を行います。
・「ひろがる・つながるフードドライブ連携協定」を締結したフードバンク愛知の協力のもと、生活困窮世帯への食品支援に向けて検討をすすめます。

施策の進捗状況

	項目	福祉まるごと相談室の相談対応件数			目標種別	⤴
	担当部局長	健康福祉部長　谷中　靖彦				
数値目標①	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	3,000 件/年	4,300 件/年	4,900 件/年	5,000 件/年
	実　績	1709 件/年	3,081 件/年	ー　件/年	ー　件/年	ー　件/年
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	地域との連携を深め、地域の困りごとの掘り起こしや相談者に寄り添った支援を継続していきます。				

施策の進捗状況						
数値目標②	項目	多機関協働による対応件数(重層的支援会議等)			目標種別	⤴
	担当部局長	健康福祉部長　谷中　靖彦				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	17 件/年	18 件/年	19 件/年	20 件/年
	実　績	14 件/年	19 件/年	ー　件/年	ー　件/年	ー　件/年
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	複合的な課題を抱えた困難事案に対して、多機関協働により効果的な支援ができるよう取り組みます。				
数値目標③	項目	ひきこもり支援推進事業における新規相談件数			目標種別	⤴
	担当部局長	健康福祉部長　谷中　靖彦				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	64 件/年	66 件/年	68 件/年	70 件/年
	実　績	63 件/年	63 件/年	ー　件/年	ー　件/年	ー　件/年
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	支援内容の充実を図りながら、相談者に寄り添った支援を継続していきます。				
数値目標④	項目	生活困窮者自立支援相談プラン作成件数			目標種別	⤴
	担当部局長	健康福祉部長　谷中　靖彦				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	85 件/年	85 件/年	85 件/年	85 件/年
	実　績	80 件/年	90 件/年	ー　件/年	ー　件/年	ー　件/年
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	相談者に寄り添った支援を行い、ハローワークへの就労支援要請に繋げていきます。				
数値目標⑤	項目	民生委員・児童委員選出率			目標種別	⤴
	担当部局長	健康福祉部長　谷中　靖彦				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	100 %	100 %	100 %	100 %
	実　績	97 %	97 %	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	令和7年12月の一斉改選に向け、民生委員児童委員の充足率100%をめざし取組を進めます。				

関係所属
健康福祉総務課、保護自立支援課

2. いつまでもいきいきと　④高齢者福祉の推進

評価者	保険健康担当理事　大西　学

令和6年度　実行宣言

・第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、介護給付の適正化と保険料収納の適正管理に努め、安定した介護保険事業を実施します。
・松阪市地域包括ケア推進会議を中心として、多職種連携による強みを生かし、在宅医療と介護の連携、権利擁護の推進を図ります。
・令和6年1月施行の「認知症基本法」の基本理念を踏まえ、従来からの認知症支援の「認知症高齢者等個人賠償責任保険」「おかえりSOSネットワークまつさか」に加え「チームオレンジ」を増やし認知症の当事者やその家族を地域で支援する体制を構築します。
・「松阪市版エンディングノート　もめんノート」の活用とともに「エンディングサポート事業」を周知し、必要な人に必要な支援を行います。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、介護給付の適正化と保険料収納の適正管理に努め、安定した介護保険事業の実施に取り組みました。
・松阪市地域包括ケア推進会議（年3回開催）、「在宅医療市民講演会」（260人参加）、「多職種勉強会」（年2回開催・244アカウント参加）を開催し、在宅医療と介護の連携、多職種間の情報共有と周知を図りました。
・認知症当事者とその家族を支援するための仕組み「チームオレンジ」は2か所を新たに立ち上げ、地域で支援する体制の構築と周知を図りました。
・「もめんノート」と「エンディングサポート事業」を周知し、必要な人に必要な支援を行いました。

令和7年度 実行宣言

・「第11次高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画」策定のための委員会の立ち上げ、各種調査等に取り組みます。
・地域包括ケア推進会議を中心として、在宅医療と介護の分野における多職種間の連携を推進します。今年度は「災害時における地域包括ケアシステム」をテーマに、関係機関の災害時の対応に関する情報共有を図ります。
・認知症当事者とその家族を支援するための仕組み「チームオレンジ」の啓発を図るとともに、「松阪市認知症基本計画」（令和8年度策定予定）策定に向け、「第11次高齢者保健福祉計画」の調査において認知症に関する意識調査に取り組みます。
・高齢化率の上昇に伴い、独居高齢者や認知症高齢者が増加し、社会的孤立、孤独が社会問題となっています。このため、成年後見制度、終活（もめん）ノート、エンディングサポート事業等の充実に加え、終活登録事業等、特に身寄りのない高齢者等の支援を行うため、包括的な相談・調整窓口の整備、総合的な支援パッケージを提供する取組を進めます。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	松阪市版エンディングノート活用方法を学んだ市民の数			目標種別	⤴
	評価者	保険健康担当理事　大西　学				
	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	3,100　人	3,200　人	3,300　人	3,500　人
	実　績	3,013　人	2,156　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	超高齢社会を迎え、ひとり暮らし高齢者の増加が予想されるため、「もめんノート」の記入の啓発と同時に、家族との「人生会議」の大切さを伝えていきます。				
数値目標②	項　目	認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入者数（実人数）			目標種別	⤴
	評価者	保険健康担当理事　大西　学				
	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	400　人	420　人	440　人	450　人
	実　績	341　人	404　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	超高齢社会を迎え認知症高齢者が増加する中、認知症になっても地域で安心して生活できるよう「認知症個人賠償責任保険」と「おかえりSOSネットワーク」の周知に努めます。				

施策の進捗状況						
数値目標③	項 目	介護予防活動のリーダー(介護予防いきいきサポーター)の数(実人数)			目標種別	⤴
	評価者	保険健康担当理事　大西　学				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	850 人	870 人	890 人	900 人
	実 績	826 人	863 人	ー 人	ー 人	ー 人
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	介護予防活動のリーダーを養成し地域の集うの場の拡充と充実を図り、健康寿命の延伸をめざし、高齢者自身が介護予防に向けた取組ができるよう努めます。				

関係所属
保険年金課、介護保険課、高齢者支援課

2. いつまでもいきいきと　⑤障がい福祉の推進

評価者	健康福祉部長　谷中　靖彦

令和6年度　実行宣言

・障がい者・障がい児一人ひとりの状況に合わせた多様な障害福祉サービスを確保するため、相談支援事業所と連携を図り適切な支援が提供できるように取り組みます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・計画相談支援や障害児相談支援の適切なサービス利用計画により、障がい者や家族の意向に沿った適切な障害福祉サービスや障害児通所支援等を行いました。
・障害者自立支援協議会専門部会に積極的に関わり、各サービス事業所（相談支援専門員・訪問介護・児童通所系・生活介護）との関係づくりに努めました。

令和7年度 実行宣言

・障がい者が日々の暮らしの中で抱えているニーズや課題にきめ細かく対応し、適切な障害福祉サービス等に結びつけていくための支援が提供できる体制や多種多様な相談に対応するため、令和8年度に障がい福祉課内に基幹相談支援センターを設置できるよう取り組みます。
・サービス事業所への定期訪問や障害者自立支援協議会専門部会に関わり、より一層各サービス事業所との関係づくりに努めます。

施策の進捗状況

	項　目	計画相談支援利用者数（人/月）				目標種別	⤴
数値目標①	評価者	健康福祉部長　谷中　靖彦					
	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	368　人/月	377　人/月	386　人/月	395　人/月	
	実　績	359　人	375　人/月	ー　人/月	ー　人/月	ー　人/月	
	評　価	ー	S	ー	ー	ー	
	今後の方針	障がいの特性に応じた多様なニーズに対応するため、相談支援体制の充実に取り組みます。					

	項　目	グループホーム利用者数（人/月）				目標種別	⤴
数値目標②	評価者	健康福祉部長　谷中　靖彦					
	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	185　人/月	195　人/月	205　人/月	216　人/月	
	実　績	175　人	181　人/月	ー　人/月	ー　人/月	ー　人/月	
	評　価	ー	C	ー	ー	ー	
	今後の方針	国の社会福祉施設等施設整備事業費補助金、三重県障害者グループホーム緊急整備事業費補助金の活用を勧め、施設の指定に向けた適切な情報提供等を行うことでグループホームの設置を推進します。					

	項　目	登録手話通訳者数（人）				目標種別	⤴
数値目標③	評価者	健康福祉部長　谷中　靖彦					
	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	12　人	14　人	15　人	16　人	
	実　績	14　人	14　人	ー　人	ー　人	ー　人	
	評　価	ー	S	ー	ー	ー	
	今後の方針	聴覚障がい者の意思疎通支援の充実に取り組みます。					

関係所属
障がい福祉課

3. 活力ある産業　① 農業・水産業の振興

評価者	農林水産担当理事　谷川　英次

令和6年度　実行宣言

・農業経営を効率的に行うための基盤整備を推進し、担い手の経営発展に向けた農業用機械・施設の導入について支援することで農地集積の拡大をめざします。
・カーボンニュートラルの取組として、化学農薬や化学肥料を抑えた環境保全に効果の高い営農活動を推進します。
・獣害に強い作物(ミシマサイコ等)について、生産者の拡大と作物栽培の普及に向け、更に取組を進めます。
・更なる農作物被害の減少をめざして、引き続き有害鳥獣の捕獲と防護柵による予防などに支援を行います。また、猟友会との連携強化を図るとともに、三重県協力のもと先進事例などの情報収集と研究を行い、より効果的な獣害対策をめざします。
・農道や用排水路など農業施設の修繕等を実施することで農家の負担軽減を図る支援に努めます。
・水産資源の保護と増殖に向けた取組について、継続的な支援を行うことで水産資源の回復と漁獲量の増加をめざします。

令和6年度　評価　☆評価　☆☆

・農地集積について、国の補助制度等を活用し、JAの共同乾燥施設の整備や、新市場の開拓(輸出)に取り組む認定農業者へのコンバイン導入、新規就農者のビニールハウス整備への支援などを行うことで、集積率は1.1%アップしましたが、目標達成には至りませんでした。
・環境保全型農業直接支払対策交付金を活用し、堆肥の施用を促進することによる化学肥料・化学農薬の使用抑制など、メタン排出量の削減に取り組む農業者への支援を行い、環境に配慮した営農活動を推進しました。
・獣害に強い薬用作物(ミシマサイコ)について、生産者の拡大と作物栽培の普及を図るため、現地見学会を3回実施することで、新たに1名の方が栽培を開始されました。
・有害鳥獣対策として、猟友会の協力のもと捕獲に努めるとともに被害農地への防護柵設置支援などを行い、農作物被害の軽減を図りました。米などの被害作物に係る単価の増により目標は達成できませんでしたが、被害面積と被害量は前年度より減少させることができました。
・水産資源の保護と増殖について、ガザミ28万尾の種苗放流や「砕石覆砂」を行い、水産資源の回復と漁獲量の増加に取り組みました。
・地域の農家組織が行う農道や用水路など農業施設の維持修繕等に対し、原材料支給等約120件、農業施設修繕に関する工事9件に支援を行い、農家の負担軽減を図りました。

令和7年度 実行宣言

・担い手への農地集積を進めるため、農業経営を効率的に行うための基盤整備を推進し、担い手の経営発展に向けた農業用機械・施設の導入について支援を行います。また、令和7年4月から農地の貸借手続きが変わり、農地中間管理機構を介した手続きに移行されたことから、担い手や地権者の方々には、必要に応じて制度の説明会などを開催するとともに、市の利用権設定が終了する際の切り替えにかかる事務手続き等については、寄り添ったきめ細やかな支援を行います。
・中山間地域においては、猟友会の協力による有害鳥獣捕獲や、侵入防止策の設置、追い払い等による有害鳥獣対策を継続するとともに、獣害に強い薬用作物(ミシマサイコ)については、作付けの普及が進んでいないことから、農福連携なども視野に入れながら、生産者の拡大に向けた取組を進めます。
・カーボンニュートラルの取組として、化学農薬や化学肥料を抑えた環境保全に効果の高い営農活動を推進します。
・農家の負担軽減を図るため、農道や用排水路など農業施設の修繕等に対して支援を行います。
・水産資源の保護と増殖に向けた取組について、種苗放流にかかる支援などを継続的に行うことで水産資源の回復と漁獲量の増加をめざします。

評価者	農業委員会事務局長　山路　伸之

令和6年度　実行宣言

・タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に積極的に活用してもらい、これまで以上に農地利用の最適化を効率的に推進していきます。

令和6年度　評価　☆評価　☆☆☆

・7月・9月に農業委員・農地利用最適化推進委員の合同総会及び合同研修会を開催し、タブレット端末の実地活用方法等の研修を行いました。その後は現地立ち会い等の際に、今までは紙資料にて現地立会いの資料等を郵送していましたが、それを電子データーにて送信するように変更し、紙資料の縮減に努めることができました。

令和7年度 実行宣言

・農業委員・農地利用最適化推進委員と共に耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等)に努めていきます。

施策の進捗状況						
数値目標①	項　目	市内耕地面積のうち、担い手農家への農地集積率			目標種別	⤴
	評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	58.5　%	61.3　%	64.0　%	66.8　%
	実　績	55.7　%	56.8　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	D	ー	ー	ー
	今後の方針	認定農業者数等が全国的に減少傾向にあるため、個々の農業者の経営基盤強化に向けた支援に努めることで、集積率の向上をめざします。				
数値目標②	項　目	野生鳥獣による農作物被害額			目標種別	⤵
	評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	10,965　千円	10,810　千円	10,655　千円	10,500　千円
	実　績	11,120　千円	12,608　千円	ー	ー	ー
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	猟友会と連携して有害鳥獣の捕獲に努め、また被害農地への防護柵設置に支援を行うことで農作物被害の軽減を図ります。				
数値目標③	項　目	ガザミなど種苗放流種の漁獲量			目標種別	⤴
	評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	10.5　トン	11　トン	11.5　トン	12　トン
	実　績	10　トン	12.2　トン	ー　トン	ー　トン	ー　トン
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	ガザミなど水産資源の増殖に向けた種苗放流にかかる支援を継続的に行い、安定した漁獲量の増加を図ります。				
数値目標④	項　目	耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等)			目標種別	→
	評価者	農業委員会事務局長　山路　伸之				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	55　件	55　件	55　件	55　件
	実　績	55　件	55　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	農業委員・農地利用最適化推進委員の協働による農地パトロールを実施し耕作放棄地のフォローアップに努めます。				

関係所属
農水振興課、農村整備課、農業委員会事務局

3. 活力ある産業　②林業の振興

評価者	農林水産担当理事　谷川　英次

令和6年度　実行宣言

・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援などを図ります。
・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、支援対象となる住宅の延床面積を70㎡以上から60㎡以上に緩和し、県内外に広くPRを行い地域材の需要拡大を図ります。(目標115棟)
・J-クレジットの更なる認証に向けて、プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めます。

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援などの効果により、素材生産量は増加しました。
・松阪の木を使用した住宅建築の支援棟数は74棟(目標115棟)で、建築資材等の価格高騰により着工時期を見合わせる事例が多く目標を達成することはできませんでしたが、県内外に広くPRを行ったことで、市外(県外含む)棟数の増加につながりました。
・J-クレジットの更なる認証に向けて、プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めました。

令和7年度 実行宣言

・素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援など、引き続き取組を進めます。
・木造住宅建築促進事業の目標達成に向け、事業の一本化と併せて補助金単価の見直しによる支援の拡充を図るとともに、県内外に広くPRを行い地域材の需要拡大を図ります。(目標115棟)
・プロジェクト計画及び森林経営計画に基づき、令和5年度と令和6年度分のCO2吸収量によるJ-クレジットの創出を行います。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	間伐による森林整備面積(累計)			目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	1,520　ha	2,280　ha	3,040　ha	3,800　ha
	実　績	762　ha	1,467　ha	ー　ha	ー　ha	ー　ha
	評　価	ー	A	ー	ー	ー
	今後の方針	未整備森林の公益的機能(動物が棲息する場の提供や、土砂災害防止、水質の浄化など)を発揮できるよう、森林所有者への意向調査に基づく整備面積の確保に努めます。				
数値目標②	項　目	主伐による木材生産量(累計)			目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	46,600　㎥	73,200　㎥	102,100　㎥	133,200　㎥
	実　績	22,233　㎥	53,091　㎥	ー　㎥	ー　㎥	ー　㎥
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き「緑の再生事業補助金」及び「森林作業道整備事業補助金」の活用を推進するとともに、架線集材と経営計画の樹立が円滑に行えるよう支援を進めます。				
数値目標③	項　目	適切な森林管理によるJ-クレジット創出量(累計)			目標種別	↑
	評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	1,591　t-CO2	7,160　t-CO2	7,160　t-CO2	14,260　t-CO2
	実　績	1,591　t-CO2	1,591　t-CO2	ー　t-CO2	ー　t-CO2	ー　t-CO2
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めるとともに、2年に1度の計画でJ-クレジットの創出に取り組みます。				

関係所属
林業振興課

3. 活力ある産業　③ 商工業の振興

評価者	産業文化部長　岡田　久

令和6年度　実行宣言

・中心市街地商店街において、商店街連合会と連携を取り、創業支援のためのチャレンジショップや若者が集える場所等、空き店舗活用に向けた有効な施策を探り、松阪駅周辺の賑わい創出を図ります。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・産業支援センターへの相談件数は、市内事業所が事業成長を図るための相談窓口としての利用、また、令和6年度より北部・香肌商工会でも月1回の出張相談窓口を開設し、相談を受け入れる体制を新設しながら、市内事業所への支援拡大を進めましたが、相談件数は目標数値に達しませんでした。
・創業支援においては、松阪商工会議所、北部・香肌商工会と連携をとり、創業者数は順調に推移し全体目標については、達成しましたが、若年層においては目標値には至りませんでした。
・商店街連合会と連携を取り、聞き取り調査やアンケートの実施を基に、有効な施策の検討を行いました。これらのことから空家・空店舗が増えつつある現状を改善するため、令和7年度には新たな事業として「昔の風情を生かした中心市街地の空家・空店舗改装補助金」を創設しました。

令和7年度 実行宣言

・産業支援センターや商店街連合会と連携し、中心市街地の空家・空店舗への出店を促進し、松阪駅周辺に賑わいを創出します。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	産業支援センターへの相談件数			目標種別	↑
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	975　件	980　件	990　件	1,000　件
	実　績	973　件	929　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	各補助金の内容を随時HPに掲載し、窓口用の補助内容一覧を作成して情報発信を行います。また、昨年に引き続き、各商工会にて月1回程度の出張相談窓口を開設し、市内事業所が経営相談をしやすい環境を整備し、経営支援を行います。				
数値目標②	項　目	創業支援から創業につながった人数(全体)			目標種別	↑
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	30　人	32　人	34　人	35　人
	実　績	20　人	33　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	関係団体と連携し、創業支援施策の周知と活用を図り、市内の創業者を増やしていきます。				
数値目標③	項　目	創業支援から創業につながった人数(若年層)			目標種別	↑
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	4　人	6　人	8　人	10　人
	実　績	2　人	3　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	C	ー	ー	ー
	今後の方針	関係団体と連携し、創業支援施策の周知と活用を図り、市内の創業者を増やしていきます。				

関係課
商工政策課

3. 活力ある産業　④ 企業誘致・連携の推進

評価者	産業文化部長　岡田　久

令和6年度　実行宣言

・新たな産業用地の整備を着実に進め、企業誘致につなげるとともに、引き続き中小企業の子育て支援を促進させる取組を進めます。また、松阪市地球温暖化対策実行計画に位置付けられているJ-クレジットの市内での有効活用を図るため、事業者への販売促進に注力します。

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・市内への「企業立地件数（累計）」、「市内事業者に対する連携支援件数（累計）」は目標値を達成しました。また、それらのバロメーター的指標である「企業等訪問延べ件数」は、令和6年度は461社となり、令和5年度に引き続き目標の400社を上回りました。
・新たな産業用地整備（ウッドピア松阪北地区）については、造成設計が完了したことから、造成工事に着手し、今後の企業誘致活動の進展に寄与しました。
・市内事業者の子育て応援の機運を醸成するため、仕事と子育ての両立支援に取り組む市内企業への奨励金制度（くるみん認定取得奨励金）の実施により、中小企業の子育て支援促進につなげました。
・「松阪市未来につなぐ森林管理J-クレジット」の販売募集を行ったところ、想定を上回る1,147トンの購入申込があり、森林整備の促進に貢献しました。
・ハンズオン支援事業を通じ、企業と市が一体となった活動を行い、多くの企業との公民連携が進みました。

令和7年度 実行宣言

・新規企業立地及び既存企業の再投資の実現のため、企業、金融機関等への訪問や面談等による継続的な誘致活動を行うとともに新たな産業用地の整備を進め、地域の経済成長につながる企業の誘致に取り組みます。また、「中小企業伴走型ハンズオン支援事業」により、企業の経営力向上に取り組むほか、企業の技術や製品の販路拡大を支援する等、多面的な経営支援を行います。さらに、中小企業の子育て支援の促進に向けた取組やJ－クレジットの事業者への販売促進に注力します。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	企業立地件数（累計）			目標種別	⤴
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	3　件	6　件	9　件	12　件
	実　績	2　件	3　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	企業情報の収集、及び産業用地情報の発信に努め、市内への新規企業進出、及び市内企業の再投資を促進します。				
数値目標②	項　目	市内事業者に対する連携支援件数（累計）			目標種別	⤴
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	17　件	25　件	33　件	40　件
	実　績	10　件	20　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	企業が直面する課題について、個社の実態を丁寧に聞き取り、最適な連携を提案します。				

関係所属
企業誘致連携課

3. 活力ある産業　⑤ 観光・交流の振興

評価者	産業文化部長　岡田　久

令和6年度　実行宣言

・公民連携を活用したインバウンド需要にも対応できる観光誘客プロモーション事業を展開し、国内外からの入込客数を増加させます。また、国宝に指定されることになった船形埴輪のPRに積極的に取り組み、部内各課と連携しながら観光客誘致につながる事業を展開します。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・観光施設の入込客数はコロナ前と比べ回復していませんが、観光消費額、宿泊者数についてはコロナ前を上回っている状況です。このことはプロモーションサイトやSNSでの情報発信、閑散期の冬のイベントなどによる、一定の効果があったものと理解しています。
・令和5年度は全国旅行支援により宿泊数が大幅に増加したが、支援終了後の令和6年度上半期の宿泊数は大幅に減少し、ココいこクーポンにより下半期回復したものの、前年度の宿泊者数を下回りました。
・令和6年度は新たな観光振興ビジョンを作成し、人流データ等各種データにより観光客の動向やニーズを分析したことで、今後、より効果的な事業展開につなげていきます。
・国宝船形埴輪のPR活動を文化課や民間団体と連携し、さまざまなイベントを行うことで、観光誘客につなげることができました。

令和7年度 実行宣言

・公民連携を活用したインバウンド需要にも対応できる観光誘客プロモーション事業を引き続き展開し、国内外からの入込客数を増加させます。また、行きたくなるまち「まつさか」として、旅先に選んでいただけるよう、新しく取り組むイベント実施にあたり、民間事業者および関係各課と連携しながら観光客誘致につなげていきます。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	モニタリング対象10施設入込客数増減率(平均)				目標種別 ⤴
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	102　%	105　%	108　%	110　%
	実　績	100　%	104　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	旅行者が松阪の歴史・文化に触れ、食を満喫し、自然を体験できる環境を提供するため、受入体制の整備や観光資源の磨き上げなどに取り組むとともに、「松阪市に行きたい」と旅先に選択していただけるよう引き続きPRに努めます。				
数値目標②	項　目	観光消費額(推計)増減率				目標種別 ⤴
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	102　%	105　%	108　%	110　%
	実　績	100　%	146　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	観光事業者等と連携し、市内で体験できる資源を発掘し、松阪を訪れた際の消費額増加に取り組むことで滞在時間の延伸を図ります。				
数値目標③	項　目	モニタリング対象宿泊施設宿泊者数増減率				目標種別 ⤴
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	105　%	110　%	115　%	120　%
	実　績	100　%	97　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	円安に伴うインバウンドの増加を見込み、国内外の旅行者に行きたいまちとして「松阪」を選んでもらうため、付加価値を付けた事業を推進します。				

関係所属
観光交流課

3. 活力ある産業　⑥ 松阪牛・地域ブランドの振興

評価者	農林水産担当理事　谷川　英次

令和6年度　実行宣言

・ふるさと納税の利用者が多い関東圏（都市部）における松阪市産の食材（主に松阪牛）を使った料理コースの提供など、寄附者ニーズの高い返礼品の研究と拡充を進めます。また、返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修を更に進めるとともに、人気ポータルサイトでのターゲティング広告を重点的に実施します。
・「松阪牛まつり」の開催をはじめ、松阪牛関連の各種イベントへの参加や、SNSによる情報発信を行い、インバウンド需要を見据えた更なる松阪牛のPRを図ります。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆☆

・返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修やWeb広告をはじめ、全国的な寄附者ニーズをふまえ、新たに拡充した松阪牛の部位、セット品が、牛肉、すき焼き部門で人気№1を獲得し、申し込みサイトでの効果的なPRにつながったことなどから、寄附額は目標額を大きく上回る24億7,500万円になりました。
・第73回松阪肉牛共進会を中心とした「松阪牛まつり」を開催し、目標を上回る40,000人の来場者がありました。また、松阪牛のPRとして、松阪牛関連の特設サイト「うまっつぁか！松阪牛」の更新を行うとともに、インフルエンサーによる松阪牛の美味しさや魅力などをSNSを活用して情報発信しました。

令和7年度 実行宣言

・寄附者ニーズに応じた返礼品の拡充に加え、申し込みサイトで返礼品の表示、閲覧率を向上するためのサムネイル画像の改修とレビュー獲得（返礼品評価）に取り組むことで返礼品の魅力、発信力を高めていきます。また、寄附者の約50%を占める関東圏において、「ふるさと納税大感謝祭」を開催し、さらなるファン獲得をめざします。
・松阪牛の振興については、松阪牛発祥の地（飯南町深野）にスポットをあてた取組として、メディアや地域おこし協力隊などを活用した情報発信や、牛舎見学ツアーなどを企画し、昔ながらの肥育手法を見聞する機会を創出することで、松阪牛発祥の地における肥育農家存続の支援に繋げます。
・松阪牛の指定と場であり、且つ松阪牛1頭1頭の個体情報や肥育農家情報など、導入から出荷までをデータ管理する松阪牛独自のトレーサビリティシステムである「松阪牛個体識別管理システム」を管理運用している（株）三重県松阪食肉公社を支援していきます。

施策の進捗状況

数値目標①

項　目	飯南町深野（松阪牛発祥の地）における特産松阪牛の肥育頭数				目標種別 ⤴
評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目　標	ー	40　頭	43　頭	47　頭	50　頭
実　績	37　頭	41　頭	ー　頭	ー　頭	ー　頭
評　価	ー	S	ー	ー	ー
今後の方針	特産松阪牛の素牛導入について、継続的な支援を行い、肥育頭数の増頭をめざします。				

数値目標②

項　目	ふるさと応援寄附金の額				目標種別 ⤴
評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目　標	ー	20　億円	21　億円	22　億円	23　億円
実　績	17　億円	24　億円	ー　億円	ー　億円	ー　億円
評　価	ー	S	ー	ー	ー
今後の方針	10月からの制度改正により各申し込みサイトのポイント制が廃止され、年末に加え9月にも寄附件数が集中することが予想されることから、これらの時期に合わせたWeb広告等を重点的に実施します。				

数値目標③

項　目	ふるさと応援寄附金の返礼品として「松阪牛」を選ばれた方の人数				目標種別 ⤴
評価者	農林水産担当理事　谷川　英次				
年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目　標	ー	62,000　人	65,000　人	68,000　人	71,000　人
実　績	53,000　人	75,000　人	ー　人	ー　人	ー　人
評　価	ー	S	ー	ー	ー
今後の方針	寄附者ニーズの高い部位、容量を中心とした返礼品の拡充をはじめ、返礼品の選択に大きく作用するサムネイル画像の改修やレビュー獲得に向けた取組を進め、松阪牛の価値、魅力を高めていきます。				

関係所属

地域ブランド課、農水振興課

3. 活力ある産業　⑦ 雇用・勤労者福祉の充実

評価者	産業文化部長　岡田　久

令和6年度　実行宣言

・令和6年4月より障がい者の法定雇用率が2.50%へ引き上げられました。このことから、ゼロ雇用事業所のみならず障がい者雇用を推進している企業にも、更なる雇用促進を促すよう助成制度や支援制度について啓発をしていきます。
　また、南三重地域若者地元定着事業では、就活ナビの求職者会員を増やすため新たな取組を進めます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・障がい者雇用率は前年度比で0.13%上昇し、「2.41%」となりました。しかし、令和6年4月より法定雇用率が2.30%から2.50%に引き上げられため、法定雇用率には到達できませんでした。このことにより、障がい者雇用率の算定義務企業の従業員数も43.5人以上から40人以上に変更されたことにより、対象事業者数が155社から168社に増加しました。一方、達成企業は104社から100社に減少し、法定雇用率達成企業の割合も67.1%から59.5%へと減少しました。そのような引き下げ要因が多い状況下で、管内の障がい者雇用率が0.13%上昇したことは、市内企業が障がい者雇用に理解を示し努力を続けた結果であると評価しています。引き続き、既存事業である優良事業所等の表彰制度やバスツアー(優良事業所訪問)の実施、ゼロ雇用事業所への訪問説明を行うとともに、障がい者雇用優良事業所を訪問し優良事例を研究する活動を、ハローワークや関係機関、民間事業者との連携を図りながら進めていきます。
・南三重地域若者地元定着推進事業においては、南三重就活ナビに掲載する事業所数が当初の目標数である240社を超えたため、事業の主軸を求職者の獲得及びマッチングによる地元就職に変更しました。令和6年度は、残念ながら就活ナビを通じた就職者は0人でした。県内大学の学生や合同企業説明会の来場者に対して南三重就活ナビのPRを行い、就活ナビの会員求職者数増加の取組みを進めるとともに、就活ナビを活用して南三重地域への就職者を増やす取組を進めます。

令和7年度 実行宣言

・障がい者雇用では、法定雇用率2.5%の達成に向けて、令和6年度に新たに対象事業者となった企業を中心に、さらなる雇用促進を促すため、助成制度や支援制度について啓発を進めます。
　また、南三重地域若者地元定着事業では、就活ナビの求職者会員を増やすために新たな取組を推進していきます。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	高校生の地元就職率			目標種別	↑
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(H30～R4平均値)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	45.5　%	46.0　%	47.0　%	48.0　%
	実　績	45.5　%	45.4　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	就職を希望する高校生の地元就職を促進する資料として、地元の求人予定企業を紹介するガイドブック「企業案内」を作成し、松阪管内及びその周辺の高等学校等へ配布する取組を行います。				
数値目標②	項　目	障がい者雇用率			目標種別	↑
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	2.50　%	2.50　%	2.70　%	2.70　%
	実　績	2.28　%	2.41　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	C	ー	ー	ー
	今後の方針	事業者及び市民に対して障がい者雇用の機運を醸成するとともに、障がい者の職業的自立を支援するために、ハローワーク等の関係機関と連携し、障がい者雇用の促進を図る事業に取り組みます。				
数値目標③	項　目	就労の広場からつながった就職者数			目標種別	↑
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	52 人/年	53 人/年	54 人/年	55 人/年
	実　績	50 人/年	51 人/年	ー 人/年	ー 人/年	ー 人/年
	評　価	ー	C	ー	ー	ー
	今後の方針	ハローワークや福祉関連の部署等と連携し、相談者に寄り添った支援を行い、1人でも多くの相談者が就労に繋がるよう取組を進めます。				

施策の進捗状況						
数値目標④	項　目	南三重就活ナビからつながった就職者数				目標種別　⤴
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	5 人/年	10 人/年	10 人/年	10 人/年
	実　績	3 人/年	0 人/年	ー 人/年	ー 人/年	ー 人/年
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	県内大学の学生や合同企業説明会の来場者に向けて南三重就活ナビのPRを行い、就活ナビの会員求職者数増加の取組を実施するとともに、就活ナビを活用して南三重地域への就職者を増やす取組を進めます。				

関係所属
商工政策課

4. 人も地域も頑張る力　①市民活動・社会教育の推進

評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之

令和6年度　実行宣言

・今年度、モデル地区が3地区となったことから地区市民センターや地区公民館などの公共施設については、地域づくりの拠点施設としての役割を持つコミュニティセンター化について更に検証し、住民自治協議会が持続的に運営し地域に応じた利活用ができるよう進めていきます。あわせて、直営によるコミュニティセンターの運営方法などを関係各課と協議し令和8年度の移行に向けて進めていきます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・令和8年度からのコミュニティセンター化の基本的な考え方や方向性について、令和6年9月の住民自治協議会会長会において説明をしました。その後、各住民自治協議会において個別の説明会も実施し、その中で、5つの協議会から令和8年度からの指定管理の申し出を受けました。
・モデル地区の検証においては、コミュニティセンターモデル地区実施検証検討会を有識者を含む5名で構成し、3回開催しました。「適切な管理運営の確認」、「市民サービスの向上につなげる利用者の拡大を目指すこと」、「制度運用上のメリットと課題の抽出」について検証を行い、2月26日に各住民自治協議会を対象とした報告会を開催しました。
・令和6年度には、松尾住民自治協議会と米ノ庄住民自治協議会がコミュニティセンターの指定管理を開始しました。

↓

令和7年度 実行宣言

・令和8年度から、地区市民センターと地区公民館を地域の拠点となるコミュニティセンターとして位置付け、その役割を一層充実させていくことをめざします。そのため、関係部署と緊密に協議を行い、効率的かつ効果的な組織体制の構築を進めます。
・住民自治協議会が管理運営するセンターを令和9年度に10地区以上をめざします。さらに、市民に対し、コミュニティセンター化に関する情報を広く発信していきます。

評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則

令和6年度　実行宣言

・地区公民館のコミュニティセンター化を見据え、松阪公民館を核とした体制を作り、生涯学習活動のさらなる推進に取り組みます。
・青少年育成事業について、近年の非行情勢を踏まえ、青少年に寄り添った新たな体制づくりに取り組みます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・松阪市公民館のあり方等について、社会教育委員へ諮問し答申が出されました。これを受け、松阪市公民館運営基本方針（仮称）の策定に向け、県内市町や先進地事例の情報収集、全公民館へアンケート調査を実施しました。
・青少年育成事業については、青少年センターを見直し、センター職員を不登校児の対応等、現在の社会情勢に沿った体制に改めました。

↓

令和7年度 実行宣言

・松阪市公民館運営基本方針（仮称）の策定をし、主要5公民館の連携と各地域で行われる生涯学習の支援体制を整えます。
・各地区の青少年健全育成会の組織体制について、現状を再確認し、必要に応じ見直しを行います。

施策の進捗状況						
数値目標①	項 目	指定管理者制度導入コミュニティセンター数			目標種別	⤴
	評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	3.0 地区	3.0 地区	8.0 地区	10.0 地区
	実 績	1.0 地区	3.0 地区	ー 地区	ー 地区	ー 地区
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	住民自治協議会が持続的に運営し地域に応じた利活用ができるよう進めていきます。				
数値目標②	項 目	地域づくり活動への参加率			目標種別	⤴
	評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	51.0 %	55.0 %	57.5 %	60.0 %
	実 績	50.4 %	51.2 %	ー %	ー %	ー %
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の支援と充実を図ります。				
数値目標③	項 目	市民活動センター活動団体の新規登録者数			目標種別	→
	評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	20団体／年	20団体／年	20団体／年	20団体／年
	実 績	20団体／年	25団体／年	ー	ー	ー
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	市民活動団体の活動の支援と活性化を図ります。				
数値目標④	項 目	講座開設数			目標種別	⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	950 講座	970 講座	990 講座	1,000 講座
	実 績	941 講座	957 講座	ー 講座	ー 講座	ー 講座
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	講座開設については、ICT機器を活用し主催以外の公民館でも受講できる体制を作ります。				
数値目標⑤	項 目	公民館講座満足度			目標種別	⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	87 %	88 %	89 %	90 %
	実 績	86 %	83 %	ー %	ー %	ー %
	評 価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	住民ニーズに沿った講座開設に努めていきます。				
数値目標⑥	項 目	図書館の電子図書の貸し出し人数			目標種別	⤴
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	1,200 人	1,500 人	1,800 人	2,000 人
	実 績	1,143 人	1,223 人	ー 人	ー 人	ー 人
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	電子図書の蔵書数を常時15,000タイトル以上保持していきます。				

関係所属
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局、生涯学習課

4. 人も地域も頑張る力　②中山間地域の振興

評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之

令和6年度　実行宣言

・中山間地域の地域資源を活用した取組を推進し、移住人口や関係人口の創出を図ります。その中でも、昨年度設立した「松阪市香肌地域づくり協同組合」と協働し、空家バンク制度を活用することで移住希望者を含む地域住民の雇用機会の創出及び安定を図ります。
　また、住民自治協議会、地域おこし協力隊と協働し空家の登録を推進するとともに、サテライトオフィスや田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口の創出を図ります。また、トレイルランニング大会の開催など、地域資源を生かしたイベントの実現に向けて地域とともに取組を進めます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆☆

・松阪市香肌地域づくり協同組合との協働を通じ、雇用機会の創出や空家バンク制度を活用した移住希望者の安定と情報発信を図りました。協同組合は、人材派遣職員を2名雇用し、地元事務所へ派遣しました。また、移住促進業務の空家バンク事業等で移住希望者への適切なアドバイスや対応を行うとともに、ホームページの整備などを通じて積極的な情報発信を行いました。また、地域おこし協力隊においても田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口を増やすための取組を行いました。
・地域資源を生かしたイベントについては、トレイルランニング大会を開催し、前年より参加者数を増加させ、地域の魅力発信を行いました。

令和7年度 実行宣言

・松阪市香肌地域づくり協同組合との強力なパートナーシップを維持し、人材派遣を拡大することで、地元企業と連携した新たな雇用の創出に努めます。また、空家バンク制度の利用を推進し、移住者への適切なアドバイスやサポートを提供し、安心して移住できる環境を整えます。さらに、地域おこし協力隊において、中山間地域の魅力に関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口を増やす取組を行います。また、トレイルランニング大会やその他の地域資源を活かしたイベントの企画・実施を通じて、地域の魅力を発信します。
・過疎地域移住定住土地活用事業において、飯高町宮前の土地を造成し、移住者・定住者向けの住宅用地等として有効活用していきます。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	空家バンク成約世帯数(累計)			目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	156　件	176　件	196　件	216　件
	実　績	136　件	164　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	松阪市香肌地域づくり協同組合と連携し、空家バンク制度を活用して移住者の増加をめざします。				
数値目標②	項　目	香肌地域づくり事業協同組合　派遣労働者数			目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	2　人	3　人	5　人	5　人
	実　績	0　人	2　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	組合員への人材派遣を通じて、担い手不足に悩む事業所の支援と、移住希望者の定職・定住の促進を図ります。				
数値目標③	項　目	観光施設の宿泊者数(飯南・飯高地域)			目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	19,704　人	20,136　人	20,568　人	21,000　人
	実　績	19,272　人	21,410　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	地域資源の活用と情報発信の拡充によって交流人口の増加を図ります。				

関係所属

地域づくり連携課、嬉野地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局

4. 人も地域も頑張る力　③ 文化の振興

評価者	産業文化部長　岡田　久

令和6年度　実行宣言

・国宝に指定されることになった「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用や開館30年を迎える松浦武四郎記念館の周年事業等を確実かつ効果的に実施するため関係部署による連携を促進します。また、市民文化会館大規模改修事業等により、安全安心に文化芸術に触れることができる環境整備をめざすとともに、文化財センター収蔵庫の全面運用開始により指定文化財等を適切に保存します。

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・国宝に指定された「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用についてはハード面（アクリル板の設置など）・ソフト面（ナイトミュージアムや豪商のまちキャンペーン、鈴の音バスツアー、民間ウォーキングイベントなど）両面で取組を進め、関係部署との連携のもと成果を挙げることができました。
・開館30年を迎える松浦武四郎記念館の周年事業等についても確実に実施しました。
・市民文化会館大規模改修事業等により安全安心な文化芸術環境を実現しました。また、文化財センター収蔵庫の全面運用開始についても確実に準備を進め、指定文化財等の適切な保存環境を整備しました。

令和7年度 実行宣言

・国宝に指定された「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用や市制20周年記念事業等を関係部署と連携しながら、進めていきます。また、令和6年度に改修した市民文化会館の利用を促進し、市民が文化芸術に触れることができる機会を創っていきます。

施策の進捗状況

数値目標①

項　目	文化活動の推進に対する市民満足度				目標種別	⤴
評価者	産業文化部長　岡田　久					
年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目　標	ー	17.0　%	18.0　%	19.0　%	20.0　%	
実　績	16.6　%	30.0　%	ー　%	ー　%	ー　%	
評　価	ー	S	ー	ー	ー	
今後の方針	市民が郷土の文化財に愛着や誇りが持てるよう、魅力のある企画展や情報発信を積極的に行っていきます。また、教育や観光等他分野との連携を進めていきます。					

数値目標②

項　目	松阪市民文化会館・コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の一日当たりの利用率（3館合計利用日数／3館合計開館日数）				目標種別	⤴
評価者	産業文化部長　岡田　久					
年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目　標	ー	82.0　%	83.0	84.0　%	85.0　%	
実　績	75.1　%	76.7　%	ー　%	ー　%	ー　%	
評　価	ー	E	ー	ー	ー	
今後の方針	令和7年度にリニューアルオープンしたクラギ文化ホールを中心に、魅力ある自主事業を展開するなど、より一層の施設利用を促進し、市の文化振興を図っていきます。					

数値目標③

項　目	過去一年間に学校以外で文化財施設に一回以上行ったことのある児童生徒の割合				目標種別	⤴
評価者	産業文化部長　岡田　久					
年　度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目　標	ー	児童　71　% 生徒　61　%	児童　72　% 生徒　62　%	児童　73　% 生徒　63　%	児童　75　% 生徒　65　%	
実　績	児童 70　% 生徒 62　%	児童　81　% 生徒　61　%	児童　ー　% 生徒　ー　%	児童　ー　% 生徒　ー　%	児童　ー　% 生徒　ー　%	
評　価	ー	S	ー	ー	ー	
今後の方針	これからの文化の担い手となる子どもが参加しやすい展示や講座等を開催します。					

関係所属
文化課

4. 人も地域も頑張る力　④ スポーツと連動したまちづくりの推進

評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則

令和6年度　実行宣言

・スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるように、スポーツと連動したまちづくりに引き続き取り組むとともに、更にスポーツを通じた健康増進に取り組んでいきます。特に、みえ松阪マラソン2024については、定員を12,000人に増やし、第2回大会の課題を踏まえ、特に初心者と女性ランナーにやさしい大会づくりに取り組みます。スポーツ施設については、快適にプレーできる環境の充実に取り組みます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆☆

・スポーツと連動したまちづくりについては、「伝えたいスポーツのチカラプロジェクト」を主体とし、松阪市・三重県出身のトップアスリートなどにお話を伺ったり、一緒に競技の体験を渡通じ、スポーツを持つ力を発信する「土性沙羅のスポーツ応援ch」を引き続き発信しました。また、小中学生を対象とした出前授業（のべ9校754人）、地域の方々の健康づくりを目的とした「さらトレ楽ちん講座」（11地域延べ331人）を実施しました。
・みえ松阪マラソンについては、第3回大会を12月15日に開催し10,903人の参加があり、RUNNETでは12月開催のフルマラソン7,000人以上の大規模大会の中で2年連続第1位の評価をいただき、約11億7,950万円の経済波及効果がありました。

令和7年度 実行宣言

・スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるように取り組みます。
・「伝えたい！スポーツのチカラプロジェクト」では市制20周年記念事業の「ダンスドリームプロジェクト」をEXILEのメンバー等のサポートを得て、市内公立中学校の保健体育のダンス授業で取り組みます。
・みえ松阪マラソン2025については、定員を1.3万人の参加を得るため、初マラソン挑戦推進の取り組み、SDGs、公式イメージソングの発表、インフルエンサー等の情報発信、市制20周年記念事業の一環としてスペシャルサンクスパレード開催に取り組みRUNNETによる12月開催のフルマラソン7,000人以上の大規模大会の中で3年連続第1位をめざします。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度			目標種別	↑
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	3.02　/5	3.05　/5	3.08　/5	3.10　/5
	実　績	3.00　/5	3.36　/5	ー　/5	ー　/5	ー　/5
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	スポーツ施設長寿命化計画に基づき、スポーツ施設の充実に本格的に取り組みます。				
数値目標②	項　目	スポーツボランティアへの参加意欲			目標種別	↑
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	33.0　%	33.6　%	34.2　%	35.0　%
	実　績	32.4　%	32.4　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	みえ松阪マラソンを核とし、市民の多くの方々にボランティア参加への魅力向上に努めます。				
数値目標③	項　目	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価			目標種別	↑
	評価者	教育長　中田　雅喜・教育委員会事務局長　若山　幸則				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	85.0　点	85.0　点	85.0　点	85.0　点
	実　績	80.9　点	86.9　点	ー　点	ー　点	ー　点
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	新たな視点の取組により、より完成度の高い大会をめざします。				

関係所属
スポーツ課、清掃事業課

4. 人も地域も頑張る力　⑤ 人権尊重・多様性社会の推進

評価者	環境生活部長　武田　誉利子

令和6年度 実行宣言

・新たな「松阪市人権施策基本方針」の具体的な施策展開を行うための「松阪市人権施策行動計画」を策定します。また、多様性社会づくりの推進においては、男女共同参画社会実現のため策定をしている「松阪市男女共同参画プラン」改定に向けての市民意識調査を行います。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・「松阪市人権施策基本方針」の具体的施策をすすめるため「松阪市人権施策行動計画」を策定いたしました。
　また、男女共同参画に関する市民意識調査については、令和6年9月から10月にかけて実施した松阪市市民意識調査内にて調査を行いました。

令和7年度　実行宣言

・「松阪市市民意識調査」の調査結果をもとに、男女共同参画社会の実現に向けた施策の指針とする「松阪市男女共同参画プラン」の改定を進めます。
　また、人権に関する啓発に取り組み、市民意識の高揚を図ります。

施策の進捗状況

数値目標①

項　目	人権が尊重されている社会になっていると感じる市民の割合				目標種別	⤴
評価者	環境生活部長　武田　誉利子					
年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目　標	ー	85.0 %	85.0 %	85.0 %	85.0 %	
実　績	33.1 %	ー %	ー %	ー %	ー %	
評　価	ー	ー	ー	ー	ー	
今後の方針	市民一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる差別をなくすための行動を促すとともに、すべての人々が希望と誇りをもって社会参加できる地域社会に向けて啓発活動を実施していきます。					

数値目標②

項　目	市役所利用者の通訳満足度				目標種別	⤴
評価者	環境生活部長　武田　誉利子					
年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目　標	ー	70.0 %	70.0 %	70.0 %	70.0 %	
実　績	ー %	ー %	ー %	ー %	ー %	
評　価	ー	ー	ー	ー	ー	
今後の方針	外国人住民に対し、通訳者を配置し母語による生活情報等の提供や説明、市窓口業務の支援を行い住民サービスの充実に努めます。					

数値目標③

項　目	家庭生活において男女の地位が平等になっていると思う市民の割合				目標種別	⤴
評価者	環境生活部長　武田　誉利子					
年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
目　標	ー	50.0 %	50.0 %	50.0 %	50.0 %	
実　績	28.7 %	29.3 %	ー %	ー %	ー %	
評　価	ー	E	ー	ー	ー	
今後の方針	家庭生活において、性別による固定的役割分担意識を見直すための意識啓発活動を実施していきます。					

関係所属
人権・多様性社会課

5. 安全・安心な生活　①交通安全対策の充実

評価者	環境生活部長　武田　誉利子

令和6年度　実行宣言

・関係機関が連携し、様々な交通安全対策に取り組み、「交通事故死者数ゼロ」をめざします。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆

・安全・安心フェスタまつさかや、各季(春・夏・秋・年末等)の交通安全運動等において松阪多気地区交通安全対策会議と協力し、交通ルール遵守や交通マナーの向上を訴え、地道な啓発活動を展開してきました。しかし、令和6年の交通事故死者数は前年より6人増の10人となり、人口10万人あたりの交通事故死者数のワースト順位が全国2位という不名誉な結果に終わりました。

↓

令和7年度 実行宣言

・今年度の実行宣言として、再度「交通事故死者数ゼロのまち」をめざし、関係機関が緊密に連携して様々な交通安全対策に取り組み交通死亡事故ワースト上位を脱却します。

評価者	建設部長　松本　尚久

令和6年度　実行宣言

・地域の実情を把握し、引き続き通学路などの歩行空間や交通安全施設の整備を行い、国道、県道については道路管理者に対し、しっかりと地域の要望を伝えていきます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆

・令和6年度は、通学路交通安全プログラムや地域と連携し、通学路のグリーンベルトなど安全対策に取り組み、歩道整備においては、東出線が完了し、目標を達成することができました。また、国道、県道においては、7件の要望を伝え、2路線について路肩の整備を実施していただきました。ただし、交通死亡事故が急増し、より一層の安全対策を行う必要があります。

↓

令和7年度 実行宣言

・地域の実情を把握し、引き続き通学路などの歩行空間や交通安全施設の整備を行うと共に、他部局と連携し、EBPMによる事故減少の取組を推進します。

施策の進捗状況

	項　目	交通安全教室延べ参加者数			目標種別	↑
	評価者	環境生活部長　武田　誉利子				
数値目標①	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	19,000　人	19,000　人	19,000　人	19,000　人
	実　績	12,612　人	12,218　人	ー　人	ー　人	ー　人
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	交通安全意識の浸透と、正しい交通ルールやマナーの周知徹底のため、引き続き交通安全教育指導員「とまとーず」を活用して、市内の保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、高齢者を中心に交通安全教室を行います。				

施策の進捗状況						
数値目標②	項 目	交通事故死傷者数(1月～12月)			目標種別	↓
	評価者	環境生活部長　武田　誉利子				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	285 人	280 人	275 人	270 人
	実 績	317 人	292 人	ー 人	ー 人	ー 人
	評 価	ー	B	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、幼児から高齢者まで全年代を対象とした「とまとーず」の交通安全教室、「四季の交通安全運動」等での啓発、推奨像伝達式等を継続的に実施し、地域、関係機関、行政が一体となって、様々な交通安全啓発活動に取り組みます。また、高齢者の死亡事故が多いことから、交通安全教室等を通じ、明るく目立つ色の服装と夜光反射材着用の啓発を行います。				
数値目標③	項 目	交通マナーが悪いと感じる市民の割合			目標種別	↓
	評価者	環境生活部長　武田　誉利子				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	28.5 %	27.0 %	26.0 %	25.0 %
	実 績	29.4 %	30.1 %	ー %	ー %	ー %
	評 価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、三重県全体で取り組んでいる「ハンドサインキャンペーン」、「まもってくれてありがとう運動」の周知を図り、「とまとーず」の交通安全教室で交通ルール遵守と交通マナーの大切さを訴えます。自動車、二輪車、歩行者全ての交通マナー向上に取り組みます。				
数値目標④	項 目	通学路の安全対策(グリーンベルト等の路面標示・転落防止柵等の設置)			目標種別	↑
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	6 路線	8 路線	10 路線	12 路線
	実 績	4 路線	6 路線	ー 路線	ー 路線	ー 路線
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、学校、地域、警察と連携した交通安全対策に努めます。				
数値目標⑤	項 目	通学路における路肩拡幅又は歩道整備完了路線			目標種別	↑
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	1 路線	2 路線	2 路線	3 路線
	実 績	0 路線	1 路線	ー 路線	ー 路線	ー 路線
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	地域のニーズを反映し、歩行空間を確保することで安全性の向上に寄与します。				
数値目標⑥	項 目	交通安全対策に対する市民満足度			目標種別	↑
	評価者	環境生活部長　武田　誉利子				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	2.76 /5	2.79 /5	2.82 /5	2.85 /5
	実 績	2.73 /5	2.75 /5	ー /5	ー /5	ー /5
	評 価	ー	C	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、関係機関、関係団体等と連携し、交通安全啓発等に取り組んでまいります。				

関係所属
地域安全対策課、建設保全課

5. 安全・安心な生活　②防犯対策と消費者保護の充実

評価者	環境生活部長　武田　誉利子

令和6年度　実行宣言

・地域、警察等の関係機関との協働及び連携を更に強化し、子どもから高齢者まで全ての市民の願いである「犯罪のないまちづくり」の実現をめざします。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆

・地域、警察などの関係機関と協働し、防犯パトロールの強化や住民への啓発活動などを通じて市民の防犯意識の向上に努めました。しかし、令和6年の刑法犯認知件数（前年の826件から939件）、特殊詐欺等被害件数（前年の32件から46件）ともに増加する結果となりました。特に特殊詐欺の手口が巧妙化していることに加え、新たな犯罪としてSNS型投資・ロマンス詐欺も発生しているため、引き続き防犯対策と特殊詐欺対策の強化が必要です。

↓

令和7年度 実行宣言

・地域・警察などの関係機関と協働及び連携し、防犯パトロールの強化や防犯啓発活動の充実等の取組により、こどもから高齢者まで全ての市民の願いである「犯罪のないまちづくり」の実現をめざします。

評価者	産業文化部長　岡田　久

令和6年度　実行宣言

・消費者被害やトラブルを未然に防ぐため、悪質商法の手口や対処法について効率的な周知方法を考えるとともに、巧妙化する悪質商法の事例を研究し、引き続き消費生活センターでの相談解決度を高め、消費者被害を防ぎます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・「消費生活センター相談件数」は令和5年度に引き続き令和6年度も相談件数が増加しています。相談内容の内訳としては、通信販売やSNS、インターネット通販のトラブルが多く、再相談となる事案が増加していることから、1件あたりの相談の難易度が上昇していることが伺えます。
・この状況の中で「消費生活センター解決度」は目標値の99.0%を上回り、相談件数が増加しているにもかかわらず、解決度がさらに向上していることから、消費生活相談員がスキルアップを図り、最新の悪質商法等にも対応していると評価します。

↓

令和7年度 実行宣言

・消費者被害やトラブルを未然に防ぐため、悪質商法の手口や対処法について効率的な周知方法を関係機関と連携しながら啓発をしていきます。引き続き消費生活センターでの相談解決度を高め、消費者被害を防ぎます。

施策の進捗状況						
数値目標①	項 目	刑法犯認知件数(自転車盗)(1月～12月)			目標種別	⤵
	評価者	環境生活部長　武田　誉利子				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	105 件	100 件	95 件	90 件
	実 績	110 件	144 件	ー 件	ー 件	ー 件
	評 価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	可能な限り青色防犯パトロールを増加させ、地域の安全確保に努めます。さらに、出前講座を通じて地域住民の防犯意識を高めてもらうことで、コミュニティ全体で犯罪抑止に向けた意識を強化します。これらの取組を通じて、安全で安心なまちづくりをめざします。				
数値目標②	項 目	特殊詐欺件数(1月～12月)			目標種別	⤵
	評価者	環境生活部長　武田　誉利子				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	5 件	5 件	5 件	5 件
	実 績	32 件	46 件	ー 件	ー 件	ー 件
	評 価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	「特殊詐欺等被害防止機器購入補助金」制度を活用し、自動応答録音機能を有する電話機器等の導入費用を補助や警察やその他の関係機関と連携し、街頭での啓発活動を積極的に実施します。さらに、SNSを活用して重要な情報を発信し、住民に対して注意喚起を行います。加えて、「広報まつさか」での特集記事や、デジタルサイネージを活用した情報提供を行うことで、広く市民に対する防犯意識の向上を図ります。				
数値目標③	項 目	出前講座件数(防犯対策)			目標種別	⤴
	評価者	環境生活部長　武田　誉利子				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	15 件	15 件	15 件	15 件
	実 績	10 件	13 件	ー 件	ー 件	ー 件
	評 価	ー	C	ー	ー	ー
	今後の方針	現時点では、すべての出前講座に対する申し込みが実施されており、今後もこの方針を維持していきます。さらに、松阪警察と連携し老人クラブ連合会や松阪市シルバー人材センターの総会などの場を通じて、講話の機会を設けます。				
数値目標④	項 目	消費生活センター解決度			目標種別	→
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	99.0 %	99.0 %	99.0 %	99.0 %
	実 績	99.4 %	99.7 %	ー %	ー %	ー %
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	消費者の疑問や不安を解消し、年々複雑化・巧妙化する消費者トラブルの被害を未然に防ぐため、相談内容に応じた情報提供や助言を行うとともに、適切な専門機関への「つなぎ」を実施します。				
数値目標⑤	項 目	消費生活センター相談件数			目標種別	⤴
	評価者	産業文化部長　岡田　久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	1,450 件	1,450 件	1,475 件	1,500 件
	実 績	1,447 件	1,599 件	ー 件	ー 件	ー 件
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	積極的に専門的なセミナーや研修等に参加し、常に最新の情報を把握するとともに知識の向上を図ることで、絶えず変化する消費者問題に対応した相談業務に努めます。				

関係所属
地域安全対策課、商工政策課

5. 安全・安心な生活　③防災・危機管理対策の充実

評価者	防災担当参事　中井　和史

令和6年度　実行宣言

・大規模災害発生に備えて、市民にもわかりやすい避難所開設マニュアルの作成に取り組みます。
・大規模災害発生に備えて、地域における防災初動体制の強化を図るため、実災害を想定した実効性のある訓練を実施します。
・大規模災害発生に備えて、ハザード関連地区を選定し、重点的かつ継続的に災害対策支援に取り組みます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・災害発生に備え住民の初動時に活用するわかりやすいカード式避難所開設マニュアル（初動編）を新たに作成し、住民主体で開設する学校等の各避難所に備えた結果、地域の初動対応力向上の効果をもたらしました。
・令和6年度松阪市総合防災訓練において市内全域の住民自治協議会を対象として、地域特性に合わせた津波避難訓練や住民主導による避難所開設訓練など実動訓練の実施した結果、訓練参加者2,432名に対し地域防災力の向上の効果をもたらしました。
・それぞれの地域が持つ災害リスクや、地域の特性に応じた災害時行動を定めた「地区防災計画」の策定に向けて、防災職員が積極的に支援に取り組んだ結果、本年度は4地区において地区防災計画が策定となり、地区防災力の向上をもたらしました。
・防災・減災の基礎となる「市民の防災意識の高揚」と「自助・共助」による初動体制の強化を目的として、地域へ出向し防災講話や地域防災訓練支援、学校等への防災教育を計110回行った結果、市民参加者7,708人に対し防災力の向上の効果をもたらしました。
　これらにより災害発生に向けての市民の防災知識の向上や、災害発生時の初動対応力は向上しているものと考えますが、「地域防災力向上」の目標は短期に達成されるものでは無いため、継続的に、繰り返し行うことが肝要であることから、更なる地域防災力の向上に向けて引き続き防災対策事業に取り組みます。

↓

令和7年度 実行宣言

・大規模災害発生に備えて、地域の初動対応力の向上を図るため、実災害を想定した実効性のある実動訓練を実施します。
・大規模災害発生に備えて、ハザード関連地区を選定し、重点的かつ継続的に地域支援に取り組み「地区防災計画」の策定を推進します。
・大規模災害発生に備えて、市の行う防災設備や備蓄品の整備事業と、市民や地域活動への助成等のソフト事業との両面から事前防災に取り組み、市民の防災ニーズに応えます。

評価者	消防団事務局長　高橋　淳也

令和6年度　実行宣言

・地域防災力を強化するため、松阪市消防団の組織力の向上を図ります。
・災害時における「避難行動要支援者」の避難・救助の在り方について研究します。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・地域防災力を強化するため、松阪市消防団の組織力の向上を図ります。
　年間事業計画に基づいた訓練や研修会等を実施することができ、消防団員の災害対応能力の向上と士気高揚が図れました。
　消防団員の確保については、各種イベントや街頭において、機能別団員として予防広報団員による積極的な広報活動により、住民への消防団活動への理解や関心を広めることができ、消防団活動の活性化に取り組むことができましたが、消防団員数の増加にはつながりませんでした。
　消防用機械器具を計画的に更新配備することができ、消防団の活動拠点となる消防団車庫2棟の更新や小型動力ポンプ付積載車2台の更新、また、消防水利についても、良好な状態で使用できるよう適切な維持管理に努め、消防体制の充実強化を図ることができました。
　消防団協力事業所の認定事業所は、新たに2事業所が認定され、数値目標には達成できましたが、事業所に勤務する消防団員の退団により認定基準に適合しなくなった事業所もあり、結果的には1事業所の増加となりました。
　住民自治協議会に参画する消防団員（分団長以上）7人が新たに防災士の資格を取得し、地域の防災リーダーとして活動ができるよう環境整備を図り、住民の防災意識への向上につながりました。
・災害時における「避難行動要支援者」の避難・救助の在り方について研究します。
　消防団による避難行動要支援者の避難支援体制について、消防団と協議を重ね、避難行動要支援者リストを作成しました。
　津波災害時の消防団活動・安全管理マニュアルの見直しを図り、消防団会議や毎年実施する新入団員訓練には、教育項目に津波災害時の消防団活動（30分ルール）を加え、津波災害時における消防団活動の安全管理について周知することができました。

↓

令和7年度 実行宣言

・地域防災体制の充実強化を図るために、消防団員の確保に取り組みます。
・消防団協力事業所の新規認定数の向上に取り組み、消防団活動の活性化を図ります。
・消防団活動の強化と効率化を図るために、消防施設の維持管理や適正な配置、そして、消防団車両や消防用機械器具の計画的な更新配備を進めます。
・地域の消防力を低下させないことに配意しながら、地域の実情に応じた消防団組織の再編を進めます。
・津波災害時における消防団員の活動要領や安全管理体制の確立を進めます。
・災害時における消防団による避難行動要支援者への支援体制について引き続き研究します。

施策の進捗状況						
数値目標①	項 目	災害に対する備えをしている市民の割合			目標種別	⤴
	評価者	防災対策担当参事　中井　和史				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	40.1 %	43.2 %	46.3 %	50.0 %
	実 績	37.7 %	50.0 %	ー %	ー %	ー %
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	地域等へ出向し実施する対面での防災啓発に加えて、市広報誌に防災コラムを連載し、継続的に広く市民に災害への備えを促します。				
数値目標②	項 目	市の防災対策への市民満足度			目標種別	⤴
	評価者	防災対策担当参事　中井　和史				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	2.93 /5	2.95 /5	2.98 /5	3.00 /5
	実 績	2.90 /5	2.82 /5	ー /5	ー /5	ー /5
	評 価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	大規模災害発生に備えて、市の行う防災設備や備蓄品の整備事業と、市民や地域活動への助成等のソフト事業との両面から事前防災に取り組み、市民の防災ニーズに応えます。				
数値目標③	項 目	住民自治協議会における地区防災計画の策定率			目標種別	⤴
	評価者	防災対策担当参事　中井　和史				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	20.1 %	27.9 %	32.6 %	34.9 %
	実 績	16.3 %	25.6 %	ー %	ー %	ー %
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	「地区防災計画」の策定に向けハザード関連地区を選定し、重点的かつ継続的に地域支援に取り組みます。				
数値目標④	項 目	消防団員数			目標種別	→
	評価者	消防団事務局長　高橋　淳也				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	1,250 人	1,250 人	1,250 人	1,250 人
	実 績	1,203 人	1,191 人	ー 人	ー 人	ー 人
	評 価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	各種イベントや街頭において、女性分団や機能別団員(予防広報団員)による積極的な広報活動、また、様々な媒体を活用した積極的な広報活動を行い、消防団員の確保に取り組みます。				
数値目標⑤	項 目	消防団協力事業所の認定数			目標種別	⤴
	評価者	消防団事務局長　高橋　淳也				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	31 事業所	32 事業所	33 事業所	34 事業所
	実 績	30 事業所	31 事業所	ー 事業所	ー 事業所	ー 事業所
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	企業や事業所に消防団活動への理解と協力を得られるよう働きかけ、被雇用者が入団しやすく、そして、消防団活動がしやすい環境づくりに取り組みます。				

関係所属
防災対策課、消防団事務局

5. 安全・安心な生活　④浸水対策の充実

評価者	建設部長　松本　尚久

令和6年度　実行宣言

・市管理河川等における河川整備や浚渫を実施するとともに、国・県管理の河川については、事業の促進を行います。県・市で構成する松阪地区浸水対策検討会においては、令和7年度の最終年度に向け、床上浸水ゼロをめざした対策を実施します。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆

・甚太川をはじめとした市管理河川における河川整備、浚渫については、計画通り事業の実施を行い、国・県管理の河川についても、事業促進について9回の要望活動を行いました。松阪地区浸水対策検討会では、最終年度に向け、概ね計画通りの進捗を図ることができました。しかし、重要度の高い浸水対策事業に対する市民満足度においては、台風10号の影響もあり低下する結果となりました。

↓

令和7年度 実行宣言

・市管理河川等における河川整備や浚渫を着実に実施するとともに、国管理河川のネック点の解消に向けた協議を進めます。県・市で構成する松阪地区浸水対策検討会は今年度で終了しますが、新たな協議会を立上げ、市内の二級河川を対象に、引き続き床上浸水ゼロをめざした対策を実施していきます。

評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘

令和6年度　実行宣言

・雨水施設ストックマネジメント計画に基づき、ポンプ場の適切な維持管理、長寿命化に取り組みます。
・気候変動の影響を見据えた「事前防災」を計画的に進めるための、下水道による都市浸水対策の中長期的な計画である「雨水管理総合計画」を策定します。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・ストックマネジメント計画に基づき宮町ポンプ場の放流ゲートの更新を行いました。また、ポンプ場施設の不具合に対しては、迅速な修繕等での対応を行い安定した排水運転ができました。
・下水道による浸水対策の中長期的な計画であり、流域水害対策計画にも位置付けた雨水管理総合計画を策定しました。

↓

令和7年度 実行宣言

・雨水施設ストックマネジメント計画に基づき大口ポンプ場（除塵設備）外の改築更新と、日常の維持管理による安定した排水運転の実施に取り組みます。
・特定都市河川流域（中村川）及び、県河川4流域（三渡川、百々川、名古須川、愛宕川）の浸水対策を国・県と連携して進めます。

施策の進捗状況						
数値目標①	項 目	排水ポンプ及び樋門(15施設)の大雨時の稼働率			目標種別	→
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	100%	100%	100%	100%
	実 績	100%	100%	ー	ー	ー
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、定期点検の実施と計画的なポンプ場等の設備更新により、確実な施設の稼働に努めます。				
数値目標②	項 目	準用河川甚太川河川改修工事の整備率			目標種別	↑
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	25.0　%	50.0　%	75.0　%	100.0　%
	実 績	0.0%　%	30.0　%	ー	ー	ー
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	ハード対策を着実に推進していくと共に、ハザードマップの更新などソフト対策も進め、流域の関係者すべてが連携して浸水対策を進めていきます。				
数値目標③	項 目	雨水排水施設(6機場)の大雨時の稼働率			目標種別	→
	評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	100%	100%	100%	100%
	実 績	100%	100%	ー	ー	ー
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	ポンプ場施設が常時排水運転できるよう施設の維持管理に努め、ストックマネジメント計画に基づく改築更新を進めます。				

関係所属
農村整備課、建設総務課、土木課、建設保全課、上下水道部

6. 快適な生活　①自然と生活の環境保全

評価者	環境生活部　武田　誉利子

令和6年度　実行宣言

・松阪市地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設へのLED照明の導入を進めます。
特に消費電力の大きい小中学校の体育館のLED化を推進します。

令和6年度　評価　☆評価　☆☆☆

・令和6年度においては、小中学校体育館 30校、幼稚園10園、その他公共施設10施設のLED化を完了し、消費電力の削減、並びに温室効果ガス排出量の削減に寄与するとともに、R12(2030)年までに100%という目標の早期実現にも大きく貢献しました。

令和7年度 実行宣言

・日常における身近な省エネ行動の促進として家庭等における節水や節電など、一人ひとりの身近な省エネ行動の重要性を広報やイベント等で周知し、省エネ行動の実践を促していきます。また、松阪市地球温暖化対策実行計画に基づく公共施設のLED化を進め、令和7年度には小中学校や幼稚園・保育園、放課後児童クラブ等のLED化を完了します。加えて、施設の規模が大きいワークセンター松阪や清掃施設などのLED化も推進していきます。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	温室効果ガス排出量(市全域)R12(2030)年までに47%削減(H25(2013)年基準)			目標種別	⤴
	評価者	環境生活部　武田　誉利子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	20.2　%	23.0　%	25.8　%	954.9千t-CO_2 ※基準年から 37.1%減
	実　績	1,254.8千t-CO_2 (R3)※基準年から 17.4%減	16.9　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	国や県などが公表する各部門における排出量(2年前の実績数値)から算定した「松阪市における温室効果ガス排出量」を指標とし、「地域脱炭素ロードマップ」や「松阪市地球温暖化対策実行計画」に沿った取り組みを推進することで脱炭素社会の実現をめざします。				
数値目標②	項　目	公共施設のLED化(R12(2030)年までに100%)			目標種別	⤴
	評価者	環境生活部　武田　誉利子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	44.7　%	70.4　%	99.0　%	100.0　%
	実　績	30.6　%	44.7　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	「松阪市公共施設における照明のLED導入基本方針」をもとに、引き続き公共施設のすべての照明のLED化を推進します。				
数値目標③	項　目	公用車のEV化(R12(2030)年までに100%)			目標種別	⤴
	評価者	環境生活部　武田　誉利子				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	10.1　%	21.7　%	45.0　%	59.4　%
	実　績	3.0　%	10.1　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	「松阪市公用車のEV導入基本方針」をもとに、引き続き、代替車がない場合や災害対応のために一定数保有するガソリン車を除き、すべての公用車のEV化を推進します。				

関係所属
環境課

6. 快適な生活　②資源循環型社会の推進

評価者	清掃行政担当理事　福山　桂

令和6年度　実行宣言

・家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、清掃各施設にて適切な処理をしていきます。また、焼却施設に係る排出ガスや放流水の水質を法令や協定書に基づき基準値以下とする管理を行い、周辺地域の環境保全を維持するとともに、施設等での火災防止のため、引き続き充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、スプレー缶等)の分別指導や啓発に取り組みます。
・ごみ減量・3Rの推進では、ナッジを活用した新たな啓発事業や市民意識調査をもとに市民ニーズを検証した事業の研究等、また、市民の皆様の暮らしの中で、身近な脱炭素化の取組(食品ロス削減・ごみの堆肥化等)を実感していただけるような取組を検討していきます。
・リサイクルセンターについては、敷地内の老朽施設の除却等を年次的に計画していきます。
・新最終処分場の整備計画用地の取得は、令和6年度上半期までに全ての用地を取得できるように取り組みます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・クリーンセンター、最終処分場における排出ガスや放流水の水質を法令・協定書に基づく基準値以下となるよう適切に管理を行い、いずれの数値も基準値以下を達成し、周辺地域の環境保全を維持することができました。
・施設等における火災防止については、HP・広報・振興局だより・出前講座等(年間48回)において、充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、スプレー缶等)の分別指導や啓発に取り組みましたが、クリーンセンターでの火災検知器の作動による高速回転式破砕機の緊急停止回数が136回と前年度比48回の増となりました。
・ごみ減量・3Rの推進においては、市内スーパーに松阪市の一世帯あたりのごみ処理経費を掲示するなどの啓発に取り組み、市民一人あたりのごみ排出量を前年度対比で15g減量(680g→665g)することができました。
・また、さらなる市民のごみ減量への意識向上を図るため、ナッジを活用し松阪市指定ごみ袋の名称を「もえるごみ専用」から「もやすしかないごみ専用」に変更することといたしました。
・脱炭素化においては、食品ロス削減の取組として「残さず食べよう」「持ち帰り」協力店・事業所を令和6年10月より募集し、年間100軒の目標に対し、6か月間(令和6年3月末時点)で96軒を達成、またごみの堆肥化においても生ごみたい肥化補助金の件数を令和5年度86件から令和6年度182件(96件の増)とし、市民・事業者等の意識の向上に努めました。
・リサイクルセンターについては、年次計画どおりに第2管理棟の解体・除却を令和7年度に実施いたします。
・新最終処分場の整備計画用地の取得は、令和6年9月20日をもって100%(121,852.83㎡)を購入、用地買収を完了することができました。

令和7年度 実行宣言

・家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、清掃各施設において適切な処理をしていきます。
また、クリーンセンターにおける排出ガスや最終処分場における放流水の水質を法令や協定書に基づき基準値以下とし、周辺地域の環境保全を維持するとともに、施設等での火災防止のため、引き続き充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、スプレー缶等)の分別指導や啓発に取り組みます。
・ごみ減量・3Rの推進の取組として、EBPMに基づき引き続きナッジの視点も取り入れた啓発事業や取組を推進し、さらに(仮称)食品ロス条例の制定に向けた検討を進めてまいります。
・新最終処分場の整備については、令和9年度の供用開始をめざし、適正な進捗管理に取り組んでまいります。

施策の進捗状況

	項　目	資源化率（総ごみ量のうち総資源化量の占める割合）			目標種別	⤴
	評価者	清掃行政担当理事　福山　桂				
数値目標①	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	12.2　%	13.0　%	13.7　%	24.0　%
	実　績	9.90　%	9.57　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	ごみの分別や出し方について、より効果的な周知・啓発を検討します。				

施策の進捗状況						
数値目標②	項 目	家庭系ごみ(集団回収を含む)1人1日当たりのごみ排出量			目標種別	⤵
	評価者	清掃行政担当理事　福山　桂				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	682 g	666 g	650 g	646 g
	実 績	680 g	665 g	ー g	ー g	ー g
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	家庭系ごみ削減の新たな取組や、食品ロス削減の啓発を強化していきます。				
数値目標③	項 目	市民意識調査に係る廃棄物(ごみ)対策に対する満足度			目標種別	⤴
	評価者	清掃行政担当理事　福山　桂				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	3.22 /5	3.25 /5	3.27 /5	3.30 /5
	実 績	3.19 /5	3.15 /5	ー /5	ー /5	ー /5
	評 価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	社会情勢や市民ニーズの変化をとらえ、サービス向上のための施策を検討します。				
数値目標④	項 目	最終処分量の減量			目標種別	⤵
	評価者	清掃行政担当理事　福山　桂				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	6,546 t/年度	6,257 t/年度	5,969 t/年度	1,200 t/年度
	実 績	6,922 t/年度	6,527 t/年度	ー t/年度	ー t/年度	ー t/年度
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	最終処分量を減量するため、一般廃棄物排出量の削減に取り組みます。				

関係所属
清掃事業課、清掃施設課

6. 快適な生活　③地域公共交通の充実

評価者	産業文化部長　岡田　久

令和6年度　実行宣言

・おでかけ交通の確保について、地域の要望を聞き取りニーズを把握し、新たにコミュニティ交通を導入したいと考えている地域には、その特性や実情にあった形態での導入を検討していきます。
・また、バス利用者数の増加を図るために今年度の路線バス運賃無料デーの実施においては、コミュニティバス沿線にある商業施設や文化・観光施設等と連携し、利用促進の効果的な取組に努めます。

令和6年度　評価	☆評価	☆☆

・おでかけ交通の確保について、地域の要望を聞き取る際の指標として「地域公共交通カルテ」を策定し、43の全住民自治協議会へ配布しました。今後、要望がある地域には、このカルテを基に、地域の特性に合った公共交通の導入を共に検討していきます。
・バス無料デーについては、通常時の同じ曜日と比較して4.0倍の利用がありました。当日は、道の駅飯高駅でのクーポン配布企画や飯南ふれあい祭、観光協会主催の観光ツアーなど、様々な機関と連携し、利用促進を図りました。

令和7年度 実行宣言

・飯南管内の公共交通再編は、地域住民、関係者、関係機関と協議や連携を行い、令和8年度の運行開始ができるよう取り組みます。
・地域に対し、地域公共交通カルテの周知説明や出前講座を実施するなど、市内で局地的に交通空白となっている地域において、地域主体の交通システムであるおでかけ交通の導入検討や、既存の公共交通の利用促進を支援します。

施策の進捗状況

	項　目	住民1人あたり公共交通機関年間利用回数				目標種別	→
数値目標①	評価者	産業文化部長　岡田　久					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	8.00　回	8.00　回	8.00　回	8.00　回	
	実　績	7.16　回	7.50　回	ー　回	ー　回	ー　回	
	評　価	ー	D	ー	ー	ー	
	今後の方針	鈴の音バス停留所がある商業施設等と連携して、当該施設内で回数券の出張販売を行うなど、バス利用者数の増加を図ります。					
	項　目	路線バス年間利用者数				目標種別	→
数値目標②	評価者	産業文化部長　岡田　久					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	1,136　千人	1,136　千人	1,136　千人	1,136　千人	
	実　績	998　千人	1,027　千人	ー　千人	ー　千人	ー　千人	
	評　価	ー	E	ー	ー	ー	
	今後の方針	松阪駅前バスのりばにデジタルサイネージを設置することにより、観光客や市民に対して分かりやすい交通案内を実現し、利用者増加をめざします。					
	項　目	鈴の音バス(市街地循環線)地域負担率				目標種別	→
数値目標③	評価者	産業文化部長　岡田　久					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	39.9　%	39.9　%	39.9　%	39.9　%	
	実　績	28.5　%	29.2　%	ー　%	ー　%	ー　%	
	評　価	ー	E	ー	ー	ー	
	今後の方針	利用者増加による運賃収入の確保や、協賛金をいただいている企業に引き続き丁寧にお願いし、財源の確保に努めます。					

関係所属
商工政策課

6. 快適な生活　④都市空間・住環境の整備

評価者	建設部長　松本　尚久

令和6年度　実行宣言

・都市空間の整備は、令和6年度より公園施設長寿命化計画に基づく公園整備をスタートさせます。また、管理者の異なる公園のあり方については、今年度、方針を決定していきます。松阪駅西地区複合施設計画についても、アンケートやヒアリングを行い、今年度、方針を決定していきます。
・住環境の整備は、空家対策において、不良空家の減少をめざし、補助金活用の一層の周知を行うとともに、ニーズに沿った新しい制度の検討を行います。市街化の見直しや土地利用の再定義においては、都市計画マスタープランの作成に併せ、松阪市の課題解決に向けた取組を行います。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・都市空間の整備については、公園施設長寿命化計画に基づき、計画通り2施設について修繕を実施しました。管理者のことなる公園のあり方については、令和7年度から建設部にて予算計上を行い、計画通りに進めることができました。松阪駅西地区複合施設計画については、約200社にアンケート、約20社にヒアリングを行い、着実に事業を推進することができました。
・住環境の整備については、C判定空家等の解消数が未達となりましたが、市街化の見直しや土地利用の再定義においては、既存集落活性化型地区計画において、前向きに検討をいただく地区と継続的な話し合いを進めています。

令和7年度 実行宣言

・都市空間の整備は、引き続き公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の修繕を実施します。松阪駅西地区の整備については、ワークショップを開催して基本構想の確認を行い、事業者の公募を進めます。
・住環境の整備は、空家対策において、新事業である「空き家の終活　お助けプロジェクト」を軌道にのせ、空家の解消に繋げます。土地利用の再定義については、既存集落活性化型地区計画において、地域と話し合いを継続していきます。市営住宅については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画通り解体を進めます。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	C判定空家等(※)の解消数(累計) ※住めない空家(居住するには建て替え又は相当な修繕等が必要)			目標種別	↑
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	120　軒	180　軒	240　軒	300　軒
	実　績	60　軒	104　軒	ー　軒	ー　軒	ー　軒
	評　価	ー	B	ー	ー	ー
	今後の方針	新規事業のPRを行うと共に、無料相談会や補助金活用のPRを実施し、C判定空家の減少をめざします。				
数値目標②	項　目	老朽化住宅からの住替え件数(累計)			目標種別	↑
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	88　戸	89　戸	94　戸	96　戸
	実　績	82　戸	84　戸	ー　戸	ー　戸	ー　戸
	評　価	ー	D	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、入居者のニーズに沿った住み替え先の提案など、親身な交渉を行い、計画的な住み替えを進めます。				

施策の進捗状況						
数値目標③	項 目	宝塚団地・上川町団地の解体棟数（累計）			目標種別	⤴
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年 度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	12 棟	14 棟	18 棟	22 棟
	実 績	8 棟	12 棟	ー 棟	ー 棟	ー 棟
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	松阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な解体を実施します。				
数値目標④	項 目	公園施設長寿命化工事の実施数			目標種別	⤴
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年 度	令和5年度（基準）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	2 施設	72 施設	246 施設	318 施設
	実 績	0 施設	2 施設	ー 施設	ー 施設	ー 施設
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	松阪市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な施設整備の維持管理や更新を実施します。				

関係所属
土木課、住宅課、都市計画課、建築開発課

6. 快適な生活　⑤道路等の整備

評価者	建設部長　松本　尚久

令和6年度　実行宣言

・計画的な道路の整備と、歩行空間の確保など道路環境の改善を図ります。引き続き、道路照明灯のLED化に取り組み、安全性を高め快適な道路環境を提供します。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・道路の整備については、一部未達の路線もありましたが、概ね計画通り進めることができました。道路照明等のLED化についても計画通り実施することができました。

↓

令和7年度 実行宣言

・計画的な道路の整備と、狭あい道路や歩行空間の確保など道路環境の改善を図ります。道路照明灯のLED化については、最終年度であり、確実に整備を実施し、安全性を高め快適な道路環境を提供します。

施策の進捗状況

数値目標①	指標名	舗装修繕延長				目標種別 ⤴
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	2.6　km	3.6　km	4.6　km	5.0　km
	実　績	1.3　km	2.4　km	ー　km	ー　km	ー　km
	評　価	ー	B	ー	ー	ー
	今後の方針	緊急輸送道路の老朽化した舗装の修繕工事を実施し、災害発生時の輸送ルートの確保を図ります。				
数値目標②	指標名	狭あい道路整備促進補助金　補助件数(累計)				目標種別 ⤴
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	210　件	250　件	290　件	330　件
	実　績	172　件	197　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評　価	ー	C	ー	ー	ー
	今後の方針	狭あい道路の整備を促進することで、地域の安全性や快適性の向上を図ります。				

施策の進捗状況						
数値目標③	指標名	2巡目点検に基づき対策が必要な橋りょうの修繕数(累計)			目標種別	↑
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	4　橋	12　橋	20　橋	26　橋
	実　績	0　橋	4　橋	ー　橋	ー　橋	ー　橋
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	道路メンテナンス事業補助金を活用して、早期の修繕を実施し長寿命化を図ります。				
数値目標④	指標名	道路整備の完成路線数			目標種別	↑
	評価者	建設部長　松本　尚久				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	2　路線	3　路線	5　路線	6　路線
	実　績	0　路線	2　路線	ー　路線	ー　路線	ー　路線
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	地域と対話しながら、緊急性や道路利用に沿った整備方法を決定し、快適に利用できる道路整備を進めます。				

関係所属
建設総務課、土木課、建設保全課、建築開発課

6. 快適な生活　⑥上下水道の整備

評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘

令和6年度　実行宣言

・令和6年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。
・県営水道料金改定においては、引下げに向け、しっかりと要求をしていきます。
・水道事業建設改良工事においては引き続き、安全・安心な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新を進めます。
・下水道整備においては、下水道未普及地域を解消するための整備のほか、集中浄化槽を備えた団地の公共下水道への接続に向け、効率的な整備を進めていくとともに、経営戦略に基づいた整備区域の見直しに着手します。
・公共下水道雨水事業計画に基づき、雨水管渠整備を進めます。
・令和5年度に引き続き、公共用水域の水質保全を図るため、生活排水施設の適切な維持管理を行うとともに、広報等を活用した生活排水に関する啓発を行い、生活排水処理施設の整備を進めていきます。

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・水道事業については、経常収支比率(103.3%)、営業収支比率(97.9%)で営業損失が生じたが経常収支比率は100%以上を保てました。営業損失が生じた主な要因は給水人口の減に伴う給水収益の減であり、今後、詳細な検証を実施し対策を進めていく必要があります。
・県営水道料金改定においては、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間は据え置くこととなりました。引き下げには至りませんでしたが、今後も受水費の引き下げ要望は継続していきます。
・基幹管路の耐震化については令和5年度末の耐震適合率39.7%を令和6年度末では1.8ポイント増の41.5%、470mの整備目標であった老朽管の更新については491mの整備し、目標値以上に進めることができました。
・下水道整備においては、国の交付金が縮減される中、阿形町(桜通団地)などへの整備を実施し令和6年度末の普及率は前年度比0.1ポイント増の63.2%となりました。また汚水整備区域の見直し業務に着手しました。
・公共下水道(雨水)事業計画に基づき、桜町1号雨水幹線及び石津町外で雨水整備を実施しました。
・「飯南かわら版」や「飯高とっときたより」などを通して生活排水に関する啓発を行いました。また、1年を通して施設の点検、清掃など維持管理に努め、令和6年度は17基の公共浄化槽を新規整備し、公共用水域の水質保全の向上を図りました。

令和7年度 実行宣言

・令和7年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。また、持続可能な水道料金の研究に取り組んでまいります。
・水道事業建設改良工事においては引き続き、安心・安全な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新とともに、避難所などの重要施設へ接続する水道管の耐震化と災害時用給水栓の整備を進めます。
・公共下水道事業(汚水)は、経営戦略に基づき面整備工事による未普及対策、及び、マンホールトイレ設置などによる地震対策を進めます。また、浄化槽、農集、公共下水道による整備区域の見直し検討を継続します。
・公共下水道事業(雨水)は、雨水幹線等の工事のほか、雨水管理総合計画に基づく松阪市公共下水道計画の見直しに着手します。

施策の進捗状況

数値目標①	項　目	水源の水質事故件数			目標種別	→
	評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	0件	0件	0件	0件
	実　績	0件	0件	ー	ー	ー
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、水源の水質事故0件に努めます。				

施策の進捗状況						
数値目標②	項　目	基幹管路の耐震化率			目標種別	⤴
	評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	40.9　%	41.0　%	41.6　%	42.1　%
	実　績	39.7　%	41.5　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化を進めていきます。				
数値目標③	項　目	下水道普及率			目標種別	⤴
	評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	62.6　%	63.0　%	63.4　%	63.7　%
	実　績	63.1　%	63.2　%	ー　%	ー　%	ー　%
	評　価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	松阪市公共下水道経営戦略に基づき、管渠整備を進めていきます。				
数値目標④	項　目	上水道の整備に対する市民満足度			目標種別	⤴
	評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	3.71　/5	3.81　/5	3.90　/5	4.00　/5
	実　績	3.61　/5	3.40　/5	ー　/5	ー　/5	ー　/5
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	引き続き、上水道の耐震化や災害時用給水栓の整備を進め、市民満足度の向上に努めていきます。				
数値目標⑤	項　目	下水道の整備に対する市民満足度			目標種別	⤴
	評価者	上下水道事業管理者　塩野　直弘				
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目　標	ー	3.30　/5	3.36　/5	3.42　/5	3.50　/5
	実　績	3.24　/5	3.17　/5	ー　/5	ー　/5	ー　/5
	評　価	ー	E	ー	ー	ー
	今後の方針	汚水管渠整備を進めるとともに、不明水対策や地震対策としてマンホールトイレ工事など実施し、市民満足度の向上に努めていきます。				

関係所属
環境課、上下水道部

7. 市民に寄り添う市役所　①行政サービスの充実

評価者	危機管理特命理事兼秘書広報局長事務取扱　中西　章

令和6年度　実行宣言

・政策調整秘書業務の円滑な運営に努めるとともに、危機管理事案に対し迅速な対応により、早期の事態収拾を図ります。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・二役部長会議においては、毎週定期的に開催することで、各部局の情報を横断に共有することができました。
・二役のスケジュールにおいては、各種外部団体等からの依頼や部局との協議などの情報整理を行い、適切に対応を行いました。
・危機管理事案の対応においては、情報の一元管理を徹底し、速やかな報告、対応を行うことで、市民等への影響の拡大防止と事態収束に向けた対応を行いました。

↓

令和7年度 実行宣言

・秘書業務の円滑な運営に努めるとともに、二役部長会議において各部局の情報共有を図ります。
・あらゆる危機管理事案に対し迅速な対応により、早期の事態収拾を図ります。
・カスタマーハラスメント対策として、関連するマニュアルの見直しなどを行い実効性を高めます。

評価者	企画振興部長　藤木　洋司

令和6年度 実行宣言

・新たな総合計画を、スケジュールどおりに着実に進め策定をしていきます。
・市民の利便性向上のため、「オンライン申請」、「書かない窓口」、「遠隔窓口システム」などの更なる拡大や活用を行います。また、市民との接点となるこれらの取組と、その後の内部事務処理業務等が誤りなく効率的に行えるよう、全体業務フローの最適化について検討していきます。
・庁内ネットワーク基盤と各種システムを継続的・安定的かつ安全に稼働させ、様々な住民サービスを途切れなく提供いたします。また、住民サービスの基幹となる住民情報システム等の標準化・共通化対応を確実に進めます。
・既成概念にとらわれることなく、民間団体・企業からの提案やアイディアを柔軟に市政運営に取り込み、市民サービスの充実や業務の効率化などにつなげます。
・コミュニティファンドに関する検討を引き続き行い、市民や民間企業など様々な立場からの考えを集約しながら、公益性の高い活動を行う団体等を支援・育成するための具体的な松阪市モデルのコンセプト案の取りまとめを行います。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・新たな総合計画は、未来を語る会やパブリックコメント、審議会等も実施し市民の声も取り入れ、予定通りに完成させることができました。
・オンライン申請総合窓口「ちゃちゃっと手続き」から申請可能な手続きを、151件から240件へと拡大するとともに、「遠隔窓口システム」の安定稼働や郵便局への窓口業務委託の運用などにより、市民の利便性向上を図りました。また、フロントヤード改革検討ワーキングチームを設け、窓口利用体験調査などを実施し、今後の取り組み項目の検討を行いました。
・庁内ネットワーク基盤および各種システムを、トラブルや事故なく安定的に管理運営し、住民サービスの提供を途切れることなく行うことができました。標準化・共通化対応に向けた準備をスケジュール通りに進めることができました。
・共創デスクを通じて民間事業者から24の提案を受け付け、関係部局に展開することで、18の提案を公民連携の具体的な取り組みに結びつけることができました。
・市民、住民自治協議会、NPO、企業、金融機関、学識経験者などで構成するコミュニティファンド研究会において、公益的活動を支える新たな仕組みについて調査・検討を行い、令和7年1月に最終報告書を取りまとめることができました。

↓

令和7年度 実行宣言

・オンライン申請や書かない窓口の拡大など、市民にとってより利便性の高い窓口サービスの提供に取り組みます。
・民間団体などの公益的活動をヒト・モノ・カネ・ノウハウの面から支える（仮称）コミュニティ財団の設立をめざし、市民や企業などへの啓発活動を行い、財団設立に向けた賛同者の掘り起こしを行います。
・庁内ネットワーク基盤と各種システムを継続的かつ安定的に、安全に稼働させ、様々な住民サービスを途切れなく提供します。また、住民サービスの基盤となる住民情報システムの標準化・共通化対応を含む次期住民情報システムの更新業務を正確かつ確実に実施し、更新後も安定稼働をめざします。
・市制20周年記念事業の自主事業については、多くの方が参加いただける様に周知広報を行いトラブル等なく開催するとともに、市民公募事業については、団体等とも連絡調整をは図るとともに、様々な媒体でPRを行うなど伴走支援しシビックプライドの醸成を図ります。また、選考委員会において事業の振り返りを行い検証を行います。

7. 市民に寄り添う市役所　①行政サービスの充実

評価者	地域振興担当理事　蒲原　智之

令和6年度 実行宣言

・各住民自治協議会と協働し、運営、課題解決、情報共有、活動支援の更なる充実を図ります。また、令和5年度の地域振興局管内の一部の出張所の廃止に伴い、より一層地域の支援に努め、「福祉まるごと相談室」と連携して地域が抱える課題を明らかにし、地域住民への支援を図ります。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・各住民自治協議会の地区担当を配置し、継続的な支援を行いました。また、廃止した出張所には引き続き職員を配置し、住民からの相談や要望に対応しました。
　さらに、「福祉まるごと相談室」との連携においては、「福祉まるごと相談室」に地域づくり支援職員を配置し、それぞれの住民自治協議会の地区担当として住民を支援しました。これにより、住民自治協議会との連携が一層強化され、地域全体の福祉向上に貢献することができました。

↓

令和7年度 実行宣言

・各地域振興局管内の地域が抱える課題を明らかにし、住民自治協議会と協働して地元のイベントや祭りの企画・運営をサポートします。また、「福祉まるごと相談室」と連携して幅広い福祉サービスを提供し、地域住民一人ひとりが安心して暮らせる環境づくりに努めます。

評価者	総務部長　池田　肇

令和6年度　実行宣言

・社会情勢や多様化する市民ニーズに対応できる環境づくりに努めます。

令和6年度 実行宣言

・職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、働き方改革に取り組むことで魅力ある職場環境づくりをめざします。また職員一人ひとりが仕事への意欲・能力を向上させ、行政課題の解決を図る人材の育成と確保に努めます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・市民ニーズに対応できる環境づくりとして、非常用発電装置の改修、及び地震時の飛散防止等対策である本庁舎本館の防犯透明飛散防止フィルムを設置しました。
・職場環境としては、障がい者雇用率は2.82%(前年度2.74%)で、昨年度に引き続き法定雇用率を達成できました。またフレックスタイム制度の構築、パーパス作成のためのアンケートの実施、採用面では任用猶予制度やキャリアリターン採用(1名)を実施しました。

↓

令和7年度 実行宣言

・開庁時間の短縮とともに、1階に非常用発電装置を利用した照明設備を増設するなど、市民ニーズに対応できるより良い庁舎環境の維持に努めます。障がい者雇用率は、法定雇用率2.8%を達成いたします。
・フレックスタイム制の導入、カスハラアンケートの実施により、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮し、働き方改革に取り組むことで魅力ある職場環境づくりをめざします。更に松阪市職員のあるべき姿を明示したパーパスを策定します。
・市議会議員選挙後の新しい議員体制の下で、条例・予算等基本的な行政制度の説明を行います。

7. 市民に寄り添う市役所　①行政サービスの充実

評価者	環境生活部　武田　誉利子

令和6年度　実行宣言

・個別訪問による申請や若年層にも目を向けて出張申請会を実施します。令和5年度の出張申請回数195回に対し、令和6年度においては令和5年度実績以上開催することを目標にします。
・令和6年度末におけるマイナンバーカード交付率83%以上をめざします。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・令和6年度の出張申請回数は、前年度から大幅に増加した令和5年度の195回を目標としてきたが、令和6年度は年度当初から更なる開催を計画し、目標を更に大きく上回る351回の出張申請を実施しました。
また、令和6年度末におけるマイナンバーカードの交付率は、個別出張申請に加え、はるるでの乳幼児健診、私立保育園での出張申請を行うなどした結果、90.69%に達しました。

↓

令和7年度 実行宣言

・戸籍氏名のフリガナ記載について、通知書印刷発送、届出対応等、適正に実施します。
　また、住民情報システムの標準化対応を確実に実施し、更新後も安定稼働を行うとともに、他部署と情報共有を行うことで戸籍住民課が管轄する住民記録システムに混乱が生じないように運用を行います。

評価者	建設部　松本　尚久

令和6年度　実行宣言

・引き続き、事業執行に当たっては、社会の状況や所属課のニーズを的確に反映するとともに、専門家としてのアドバイスを加え、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所属課と連携を密にし、安全かつ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・所属課とのスケジュール調整や施工状況の情報共有は、定例打合せに出席をお願いするなど、連携強化に努めました。また、所属課のニーズについても協議を重ね、一部修正する部分もありましたが、概ね反映することができました。すべての工事において、工期内の完了を達成することができました。今後も、設計段階においては、所属課のニーズの集約や優先順位を明確にし、完成形のイメージを共有した上での事業執行に努めていきます。

↓

令和7年度 実行宣言

・事業執行に当たっては、所属課のニーズや利用者の目線に立ちながら、建築の専門家としてのアドバイスを加え、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所属課と連携を密にし、安全かつ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。

7. 市民に寄り添う市役所　①行政サービスの充実

評価者	会計管理者　前﨑　高志

令和6年度　実行宣言

・会計事務の業務量の削減に向け、効率化、事務改善に取り組みます。
・会計事務に携わる職員の意識の醸成を継続して図ります。
・公金の有利な預け入れに取り組みます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆☆

・令和6年6月から公共料金口座振替サービスを導入しました。これにより納付書の作成、審査、納入済通知書の整理等が不要となり、事務の効率化が大幅に進みました。
・会計事務に関する職員の意識の醸成については、グループウエアによる会計事務情報「会計管理課からのお願い」の提供（10回）と2年ぶりにLoGoフォームを使用して「財務スタディ100」を実施し、職員の財務・契約・会計処理等に対する意識および知識の向上に努めました。
・地方債や地方公共団体金融機構債など6本の債券の購入や金利上乗せサービスの定期預金を利用し、安全で堅実な資金運用を行いました。

令和7年度 実行宣言

・会計事務の業務量の削減に向け、効率化、事務改善に取り組みます。
・会計事務に携わる職員の意識の醸成を継続して図ります。
・公金の有利な預け入れに取り組みます。

評価者	議会事務局長　三木　敦

令和6年度　実行宣言

・市議会による議員定数等の見直しについて、議会基本条例に基づく学識経験者等で構成する調査機関の設置から検討、決定までのサポートを行います。
・タブレット端末等を活用した、更なる効果的かつ効率的な議会運営に取り組むとともに、議会活動の「見える化」を図るため、様々な媒体を活用して、議会活動に関する情報の積極的な発信に努めます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・議員定数、報酬及び政務活動費の見直しについて、学識経験者4人で構成する「松阪市議会議員定数等の在り方調査会」を昨年8月に設置し、4回にわたり会議を開催し、議員定数については現行から4人減の範囲、報酬は生活保障等を鑑み増額、政務活動費は金額を据え置き活用方法を検討との意見書（答申）が議会に提出されました。意見書に基づき議会で協議した結果、議員定数は次期選挙から28人を24人に、報酬は特別職報酬等審議会で審議、政務活動費は現在、議会改革特別委員会で審議ということで、一定のサポートができたと評価します。
・議案のタブレット採決システムを昨年9月定例会から本格導入し、議事運営の効率化及び市民に向けた情報発信の充実を図ることができました。
　また、昨年度に引き続き、常任委員会等のYouTubeライブ配信を行うことにより、市民に向けた議会活動の積極的な情報発信の充実に努めることができました。

令和7年度 実行宣言

・市民に負託された議会の広聴機能を強化するため、定期的に開催される議会報告会のあり方の見直しや、各種団体等市民との意見交換会等の開催について、議員との連携及び情報共有を図りながら取り組みます。
・議会活動の「見える化」や市民参加を図るため、様々な媒体を活用して、議会活動に関する情報の積極的な発信に努めます。

7. 市民に寄り添う市役所　①行政サービスの充実

評価者	監査委員事務局長　尼子　宗成

令和6年度　実行宣言

・住民監査請求時の各手続きを、その期限内での処理に努めるほか、各監査の意見書作成を予定期日内の完成に努めます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・住民監査請求が1件提出されましたが、期限内にすべての手続きを遂行し、適正に処理をしました。

↓

令和7年度 実行宣言

・住民監査請求等の手続きや各種監査の意見書の作成について、予定期日内に適正に処理をします。

評価者	選挙管理委員会事務局長　湯川　一樹

令和6年度　実行宣言

・選挙事務については、高齢者や障がいのある方に配慮した対応に取り組みます。
　また、将来の有権者に向けた啓発活動に積極的に取り組みます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・投票所入場券の封筒において、選挙の案内の音声コードを印字し、音声コードの場所を示す切り欠きを入れて、希望者には、点字シールを貼り付ける等、高齢者や障がいのある方に配慮した対応に努めました。
　また、学校の協力を得て、出前授業による模擬選挙や生徒会選挙を実施し、新規としては、4校で実施し啓発に努めました。

↓

令和7年度 実行宣言

・選挙事務においては、選挙人や事務従事者等の投票所の環境を良好にするため、エアコンが設置されている公共施設へ変更するよう取り組みます。
・選挙公報の配布においては、配布率の向上に取り組みます。
　また、将来の有権者に向けた啓発活動に積極的に取り組みます。

施策の進捗状況						
数値目標①	項 目	市民意識調査の各政策満足度平均				目標種別 ⤴
	評価者	企画振興部長　藤木　洋司				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	3.01 /5	3.04 /5	3.07 /5	3.10 /5
	実 績	2.98 /5	3.12 /5	ー /5	ー /5	ー /5
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	社会の変化や多様化するニーズに対応しながら、ここに住んで良かったと思える松阪市をめざします。				
数値目標②	項 目	電子申請できる手続きの種類				目標種別 ⤴
	評価者	企画振興部長　藤木　洋司				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	200 手続き	250 手続き	300 手続き	350 手続き
	実 績	151 手続き	240 手続き	ー 手続き	ー 手続き	ー 手続き
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	市役所に行かなくても様々な手続きができるよう、さらにオンライン申請(電子申請)の拡大・拡充を進め、市民の利便性向上に取り組みます。				
数値目標③	項 目	マイナンバーカード交付率				目標種別 ⤴
	評価者	環境生活部　武田　誉利子				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	83.0 %	85.5 %	88.0 %	90.0 %
	実 績	80.6 %	90.69 %	ー %	ー %	ー %
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	啓発、出張申請等により更なる交付率アップをめざします。				

関係所属
秘書課、経営企画課、情報システム課、市政改革課、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局、 総務課、財務課、職員課、契約監理課、戸籍住民課、建設総務課、営繕課、会計管理課

7. 市民に寄り添う市役所　② 情報発信・プロモーションの充実

評価者	危機管理特命理事兼秘書広報局長事務取扱　中西　章

令和6年度　実行宣言

・市政に関する情報を確実にお届けするため、総合アプリ「松阪ナビ」やSNS（インスタグラム、Xなど）、行政情報チャンネルによる情報発信を積極的に行います。また、情報入手のツールとして最も活用されている「広報まつさか」をもっと伝わる広報紙とするため、市民アンケートを活用し改善に向けた情報収集を行います。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・「松阪ナビ」の周知については、「広報まつさか」に計6回掲載するとともに、「牛まつり」にも出店し利便性を市民に周知しました。
・行政チャンネルについては、行政からの発信とともに、地域の話題や活躍する市民にスポットを当てた番組づくりを行いました。
・広報まつさかを横書きに統一し、左開きに変更しました。

↓

令和7年度 実行宣言

・市民の皆様に必要な情報を正確に確実に伝えられるよう、様々な情報発信ツールの充実に努めます。
・市の情報を正確に伝えるため、わかりやすい「広報まつさか」づくりに努めます。
・「松阪ナビ」やSNSからの情報発信を積極的に行います。

評価者	総務部長　池田　肇

令和6年度　実行宣言

・開かれた市政を実現することをめざし、情報公開制度の充実を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用と個人情報の適切な管理に努めます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆

・公文書公開384件、個人情報公開30件の請求があり、制度の基本原則に則って公開しました。
・個人情報保護・情報公開に関する研修を各1回実施し、職員の制度に対する理解を深めました。
・情報公開請求で多数を占める「金額入り設計書」について、ロゴフォームを活用した情報提供に移行（令和7年3月24日から運用）しました。

↓

令和7年度 実行宣言

・公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努めます。
・公務員にとって非常に重要な「個人情報保護」「情報公開」について職員研修を実施し、理解を深めます。
・ロゴフォームを活用した情報提供について、効果等の検証を行います。
・情報公開に関する手続きの更なるDX化について研究します。

施策の進捗状況						
数値目標①	項 目	市ホームページにおける月平均閲覧数			目標種別	→
	評価者	危機管理特命理事兼秘書広報局長事務取扱　中西　章				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	220,000　件	220,000　件	220,000　件	220,000　件
	実 績	219,906　件	223,360　件	ー　件	ー　件	ー　件
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	古い情報の整理を行うとともに、新しい情報の積極的な発信を行います。				
数値目標②	項 目	松阪ナビダウンロード数			目標種別	⤴
	評価者	危機管理特命理事兼秘書広報局長事務取扱　中西　章				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	35,000　DL	42,000　DL	45,000　DL	45,000　DL
	実 績	31,642　DL	38,956　DL	ー　DL	ー　DL	ー　DL
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	「広報まつさか」などで、簡単で便利な「松ナビ」の周知に努めます。				
数値目標③	項 目	情報公開・情報提供に対する市民満足度			目標種別	⤴
	評価者	総務部長　池田　肇				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	ー	2.95　/5	3.00　/5	3.05　/5	3.10　/5
	実 績	2.95　/5	3.24　/5	ー　/5	ー　/5	ー　/5
	評 価	ー	S	ー	ー	ー
	今後の方針	情報公開制度の主旨に基づいた適正執行と並行して、情報提供範囲の拡大への取組により、引き続き市民満足度の向上に努めてまいります。				

関係所属
広報広聴課、総務課

7. 市民に寄り添う市役所　③健全な財政運営

評価者	総務部長　池田　肇

令和6年度　実行宣言

・市民サービスの維持・向上を図りつつ、引き続き適正な予算編成・執行管理を行い、健全な財政運営に努めます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

【歳入】

・予算の収支均衡を図る中で、財政調整基金を年度間の調整財源として最大限活用しながらも、可能な限り抑制しました。また、市債については、合併特例事業債の発行期限の最終年度であったため、発行可能額上限まで有効に活用しました。

【歳出】

・物価高騰対応重点支援給付金事業等の国の交付金等を有効に活用するため、追加上程を行うなど迅速な対応に努めました。予算規模は拡大したものの、結果的に財政調整基金を積み立てることができました。また「再定義」を意識して、事業の廃止・統合など見直しを行うことで、総事業数を減少させることができました。

令和5年度　財政力指数(※1)	0.586（県内平均 0.630）
令和5年度　経常収支比率(※2)	88.7（県内平均 91.6）
令和5年度　公債費負担率(※3)	10.1（県内平均 13.5）
令和5年度　実質収支比率(※4)	5.8（県内平均 5.0）
令和5年度　実質公債比率(※5)	1.5（県内平均 6.5）

※1 地方公共団体の財政力を示す指数であり、通常、 基準財政収入額/基準財政需要額で求められた数値の過去3年間の平均値をいう。
※2 財政構造の弾力性を測定する比率であり、経常経費充当一般材/(経常一般財源総額(収入額)＋臨時財政対策債)×100で求められる。人件費、扶助費、公債費等の経常経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税を中心とした経常一般財源がどの程度充当されたかを見る指標で、この比率が低いほど、普通建設事業等の臨時的経費に充当できる経常一般財源に余裕があり、財政構造が弾力性に富んでいることを示す。
※3 当該団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標の一つで、次の算式で求められる。
公債費充当一般財源/一般財源総額×100
　この比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいるといえ、一般的には、財政運営上15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされている。
※4 実質収支の標準財政規模に対する割合をいう。概ね3～5%程度が望ましいと考えられている。
なお、実質収支が赤字の場合の実質収支比率が一定の限度を超える団体は、翌年度の地方債の発行が制限される。
※5 公債費による財政負担の度合いを示す。財政再生基準は35%以上、早期健全化基準は25%以上とされており、18%以上の場合には、起債に総務省の許可が必要となります。

令和7年度 実行宣言

・健全な財政運営に寄与できるよう、実施計画及び予算編成ヒアリングにおいて、将来を見据えた実効的な「再定義」による見直し等に取り組みます。特に予算当初編成では、各部局に対し理解の得られる配分が行えるよう、前年度予算をもとに適切なシーリング幅の設定を行います。
・実質公債費率(※5)を県内平均値以下に抑制できるように努めます。

評価者	税務担当理事　岡田　康

令和6年度　実行宣言

・高い専門性を発揮した適正公平な賦課徴収とより便利な納税環境づくりに取り組み、引き続き安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。

令和6年度　評価　　☆評価　☆☆☆

・急速に変化する社会経済情勢に対応した適正、公平な課税と滞納者の積極的な状況把握と納付能力を的確に見極めるなど配慮しながら1,000件を超える差押を行うなど徴収強化に努めました。
・市民サービスの向上として、申告受付の一部予約制の導入や納税機会の拡充など納税者の利便性の向上に努めました。
・物価高騰、円安などの経済情勢による経済活動、市民生活への影響などから市税等の財源確保が心配されましたが、市税等の現年度分の収納率目標値を概ね達成する見込みです。

令和7年度 実行宣言

・社会構造の変化に対応した、高い専門性による適正・公平な賦課(課税)徴収と納税者の利便性の向上に取り組み、納税者の信頼確保と安定的な財政運営のための自主財源の確保に努めます。

7. 市民に寄り添う市役所　③健全な財政運営

評価者	企画振興部長　藤木　洋司

令和6年度　実行宣言

・公共施設の在り方について関係部局等と横断的な検討を行うとともに、民間事業者のノウハウやアイディア等も取り入れながら、公共施設におけるサービスの維持・向上やライフサイクルコストの削減に取り組みます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆

・実施計画や予算編成時におけるヒアリングを通して、各施設の在り方について検討するとともに、公共施設を所管する関係部局等と横断的な協議を行い、ライフサイクルコストの削減に取り組みました。その結果として、保育園の用途廃止や市営住宅の廃止などにより約18.2億円のライフサイクルコストを削減しました。

↓

令和7年度 実行宣言

・策定から10年が経過する「松阪市公共施設等総合管理計画」の見直しを行うとともに、関係部局等と施設の統廃合や民間活力の活用などについて横断的な検討を行い公共施設のライフサイクルコストの削減に取り組みます。
・デジタル技術や民間活力の活用などによる業務効率化に取り組み、職員の業務負担の軽減に努めます。また、各種データに基づく政策立案を推進するため、BIツールを用いた各種ダッシュボードの作成を進めるとともに、継続的なデータ分析の体制構築やデータの活用の在り方についても検討します。

評価者	競輪事業担当理事　松林　正人

令和6年度　実行宣言

・収益の増加・安定的な経営に努め、一般会計への繰り入れを強化するため、①モーニングからミッドナイトまで全ての時間帯での開催　②初開催の（GⅢ）施設整備等協賛競輪の円滑な実施③ネットユーザーへの車券購入促進や来場促進のための魅力ある企画の実施④幼児から大人まで各年齢層で楽しめる参加型イベント等を通じてサイクルスポーツの振興や新規顧客の獲得に努めるとともに自転車競技者の育成を進めます。

↓

令和6年度　評価	☆評価	☆☆☆☆☆

・６億５千万円を一般会計に繰り入れ健全な財政運営に資することができました。令和６年度の総売上額は約３３４億円、対前年度比で約５５億円の増となりました。令和５年度に更新した年間最高売上額約２８０億円をさらに更新することができました。初開催の（GⅢ）施設整備等協賛競輪「レオニズカップ」売上４５億円、開設記念（GⅢ）売上６５億円はそれぞれ目標額を上回ることができ売上増になりました。
・全てのＳＮＳを活用して参加選手の紹介やイベント、ファンサービス情報を全国のネットユーザーに発信し、若年層並びに新規ユーザーの満足度の向上に努めました。また、全ての開催に企業協賛を得ることで来場者やネット投票者へのファンサービスが充実できました。視聴者プレゼントの総応募者数は１１，５１０人、前年度から２，１７８人の増となりました。
・恒例の補助輪外しや自転車乗り方教室などのサイクルイベントのほか令和５年度に引き続き「夏祭りｉｎ松阪けいりん」を開催、また、２回のGⅢの開催に合わせて、「秋祭りin松阪けいりん」、「冬まつりｉｎ松阪けいりん」を開催し、年間を通して家族連れで賑わう競輪場を創出しました。サイクルイベント等参加者数は、のべ７６８人、夏祭り、秋祭り、冬祭りにはそれぞれ、のべ５，０００人以上の参加がありサイクルスポーツの振興や新規顧客の獲得に努めることができました。
・主に競輪選手等のフィジカル強化のための「松阪サイクルトレーニングセンター」が完成し、ソフト面での取組である松阪サイクルクラブとの連動により自転車競技者の育成支援を進める準備ができました。

↓

令和7年度 実行宣言

・収益の増加・安定的な経営に努め、一般会計への繰り出しを強化するため、①モーニングからミッドナイトまで全ての時間帯での開催　②初開催の業界推進競輪（GⅢ）ミッドナイト競輪の円滑な実施③ネットユーザーへの車券購入促進や来場促進のための魅力ある企画の実施④幼児から大人まで各年齢層で楽しめる参加型イベント等を通じてサイクルスポーツの振興や新規顧客の獲得に努めるとともに「松阪サイクルトレーニングセンター」を活用し自転車競技者の育成を進めます。

施策の進捗状況							
数値目標①	項　目	市債残高(一般会計)※臨時財政対策債を除く				目標種別	→
	評価者	総務部長　池田　肇					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	263億以下	263億以下	263億以下	263億以下	
	実　績	263億	262億※	ー	ー	ー	
	評　価	ー	S	ー	ー	ー	
	今後の方針	臨時財政対策債を除く市債残高が、263億円を超えないようにするとともに、引き続き交付税措置のある市債の活用に努めます。(※実績は3月補正後の予算額。決算額は、予算額未満となります。)					
数値目標②	項　目	市税の現年度課税分の収納率				目標種別	⤴
	評価者	税務担当理事　岡田　康					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	98.82　%	98.85　%	98.87　%	98.90　%	
	実　績	98.79　%	98.81　%	ー　%	ー　%	ー　%	
	評　価	ー	C	ー	ー	ー	
	今後の方針	社会構造の変化に対応する専門性を発揮した適正・公正な課税と徴収強化に努め、継続的なデジタル化などDXの推進により、課税と徴収の効率化・高度化を図り、更に納税者の信頼と利便性を高め、安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。					
数値目標③	項　目	公共施設トータルコスト削減目標に対しての達成率				目標種別	⤴
	評価者	企画振興部長　藤木　洋司					
	年　度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目　標	ー	17.9　%	20.4　%	22.9　%	25.4　%	
	実　績	15.4　%	18.8　%	ー　%	ー　%	ー　%	
	評　価	ー	S	ー	ー	ー	
	今後の方針	公共施設の統廃合、当該施設で行われている業務の見直しや新たな民間活力の積極的な活用など、様々な視点から施設の管理運営の効率化に取り組んでいきます。					

関係所属
財務課、市民税課、資産税課、収納課、債権回収対策課、市政改革課、総務課、競輪事業課

第３章 各所属の「評価」と「重点取組」

組織名	秘書課	作成者(評価者)	課長　上西　伸幸
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要(主な業務)

秘書課は、市政運営の根幹である市長及び副市長の政策形成や政策判断などをサポートする調整的役割を担う秘書業務及び危機管理案件等の情報管理や関係部局との内部統制を行う部署です。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・年間を通じて横断的・効率的な二役部長会議を行うことで、市幹部相互の意思疎通が図れました。
・各種団体等や各部局からの様々な依頼に対して、二役のスケジュール管理を効率よく行えました。
・市制施行20周年を迎えるにあたり、令和7年2月9日に記念式典を開催しました。関係各課と連携しながら市政功労者の推薦や当日の招待者への対応など適切に対応できました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・今年度は三重県下14市の副市長が松阪市に集合し「副市長懇談会」が開催されます。これは県下14市を持ち回りで開催される会議であり副市長という重要人物が来松されることから安全な会議の開催が重要です。

【秘書課】事務・事業管理シート

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">関係施策</th><th colspan="5">令和6年度</th><th colspan="4">令和7年度</th></tr>
<tr><th>当初予算(千円)</th><th>最終予算(千円)</th><th colspan="3">活動指標</th><th>当初予算(千円)</th><th colspan="3">活動指標</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">市制20周年記念式典事業</td><td rowspan="3">7-①</td><td rowspan="3">659</td><td rowspan="3">659</td><td colspan="3">市政功労者数(人、団体)</td><td rowspan="3">終了</td><td colspan="3">ー</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>20組以上</td><td>83組</td><td>S</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">市政功労等顕彰事業</td><td rowspan="3">7-①</td><td>当初予算(千円)</td><td>最終予算(千円)</td><td colspan="3">活動指標</td><td>当初予算(千円)</td><td colspan="3">活動指標</td></tr>
<tr><td rowspan="2">464</td><td rowspan="2">464</td><td colspan="3">市政功労者数(人、団体)</td><td rowspan="2">169</td><td colspan="3">市政功労者数(人、団体)</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3</td><td rowspan="3">秘書一般経費</td><td rowspan="3">7-①</td><td>当初予算(千円)</td><td>最終予算(千円)</td><td colspan="3">活動指標</td><td>当初予算(千円)</td><td colspan="3">活動指標</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7,052</td><td rowspan="2">7,052</td><td colspan="3">市政等の啓発広告の掲載件数</td><td rowspan="2">6,920</td><td colspan="3">三重県政及び東海市長会への要望件数</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>25件</td><td>24件</td><td>A</td><td>各3件</td><td></td><td></td></tr>
</table>

組織名	広報広聴課	作成者（評価者）	課長　森本 康代
関係する『総合計画』施策	7－②　情報発信・プロモーションの充実		

組織の概要（主な業務）

広報広聴課では様々なツールを組み合わせ、迅速な情報発信と多くの市政情報を積極的に提供する広報業務や、市民の皆さまからの意見を聴く広聴業務を行っています。市民の皆さまに関心の高い情報収集・情報発信を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・広報まつさかを横書きに統一し、左開きに変更しました。これに伴い、自然な目線の動きで閲読できるようになり、読みやさ、見やすさの向上を図りました。
・ホームページの検索結果一覧に、「観光サイト」バナーを設置し、観光サイトへの入口をさらにわかりやすくしました。
また、「カルーセル」や「コレミテ！まつさか」にイベント枠を追加し、市内のイベント情報を見つけやすくしました。
・松阪ナビの周知を広報まつさかや行政チャンネルで定期的に行い、利用促進を図り、前年度比で1,279人ダウンロード増となりました。（R5年度6,035人　R6年度7,314人）
・松阪市行政チャンネルでは、松阪市民病院と連携した「みんなの医学講座」、みえ松阪マラソンのPR番組「みえ松阪マラソンCLUB」などの新番組を開始しました。令和5年度から「土性沙羅のスポーツのチカラ応援ch」などの魅力ある番組制作に取り組み、市公式YouTubeの登録者数が1年間で1,300人増加しました。また、YouTubeの視聴回数についても、前年度比で約10万回増加したことから、令和4年に収益化を開始して以降、初めて年間を通して12万円以上の収益を得ることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・広報まつさかの文字の多さやページ数の多さが課題となっているため、読みやすく見やすくするという観点で、掲載記事の精査を行う必要があります。
・ホームページについては、以前から指摘があるように、ページ数の多さや類似ページの点在など、「見やすさ・検索しやすさ」が課題となっています。また、広報広聴課の担当する行政チャンネルを紹介するページがまだまだ整理されておらず、今後すみやかに改善を図っていきます。
・SNSでの行政情報発信について、伝わりやすく見て楽しくなるような行きたくなるような情報発信に取り組むことの重要性を、各担当課に周知徹底していく必要性がさらに高くなっています。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・広報紙のさらなる見やすさ、読みやすさの向上のため、記事の精査を行います。
・ホームページの見やすさ、検索のしやすさをさらに充実させ、情報発信をします。
・行政チャンネルの特集番組など魅力ある番組制作に努め、公式YouTubeを活用して情報発信に取り組みます。

【広報広聴課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	広報松阪発行事業	7-②	30,506	29,308	広報発行ページ数			31,851	広報発行ページ数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					32ページ/月	34ページ/月	A		32ページ/月			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	ホームページ管理運営事業	7-②	7,333	7,333	情報書き込み件数			7,844	情報書き込み件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					900件	1,390件	S		1,500件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	市民対話活動事業	7-②	1,129	1,129	①市政バスの利用状況 ②出前講座の利用件数			1,121	①市政バスの利用状況 ②出前講座の利用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①50件 ②250件	①33件 ②183件	C		①40件 ②250件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	行政情報番組制作事業	7-②	33,127	33,232	自主制作特集本数			31,145	自主制作特集本数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					40本	55本	S		40本			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	広報一般経費	7-②	5,564	5,564	各部局からの情報提供件数(投げ込み件数)			6,366	各部局からの情報提供件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,500件	1,495件	A		1,500件			

組織名	防災対策課	作成者(評価者)	防災担当参事　中井　和史
関係する『総合計画』施策	5－③　防災・危機管理対策の充実		

組織の概要(主な業務)

防災対策課は『災害時の人的被害ゼロ』を防災ビジョンに掲げ、「災害に強い安全なまちづくり」の実現に向け、防災・減災の基礎となる「市民の防災意識の高揚」と「自助・共助」による初動体制の強化を進め市民・地域とともに防災対策に努めています。令和3年3月「松阪防災の日」「松阪防災週間」制定に伴い、家庭や地域で防災について話し合い、防災の日常化に向けて防災訓練や啓発活動などの取組を実施しています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・災害発生に備え住民の初動時に活用するわかりやすいカード式避難所開設マニュアル(初動編)を新たに作成し、住民主体で開設する学校等の各避難所に備えた結果、地域の初動対応力向上の効果をもたらしました。
・令和6年度松阪市総合防災訓練において市内全域の住民自治協議会を対象として、地域特性に合わせた津波避難訓練や住民主導による避難所開設訓練など実動訓練の実施した結果、訓練参加者2,432名に対し地域防災力の向上の効果をもたらしました。
・それぞれの地域が持つ災害リスクや、地域の特性に応じた災害時行動を定めた「地区防災計画」の策定に向けて、防災職員が積極的に支援に取組んだ結果、本年度は4地区において地区防災計画が策定となり、地区防災力の向上をもたらしました。
・防災・減災の基礎となる「市民の防災意識の高揚」と「自助・共助」による初動体制の強化を目的として、地域へ出向し防災講話や地域防災訓練支援、学校等への防災教育を計110回行った結果、市民参加者7,708人に対し防災力の向上の効果をもたらしました。
　これらにより災害発生に向けての市民の防災知識の向上や、災害発生時の初動対応力は向上しているものと考えますが、「地域防災力向上」の目標は短期に達成されるものでは無いため、継続的に、繰り返し行うことが肝要であることから、更なる地域防災力の向上に向けて引き続き防災対策事業に取り組みます。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・大規模災害発生に備えて、地域の初動対応力の向上を図るため、実災害を想定した実効性のある実動訓練を実施します。
・大規模災害発生に備えて、ハザード関連地区を選定し、重点的かつ継続的に地域支援に取り組み「地区防災計画」の策定を推進します。
・大規模災害発生に備えて、市の行う防災設備や備蓄品の整備事業と、市民や地域活動への助成等のソフト事業との両面から事前防災に取り組み、市民の防災ニーズに応えます。

【防災対策課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	防災一般経費	5-③	14,700	14,386	防災担当職員の防災士資格取得率			15,084	防災担当職員の防災士資格取得率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50.0%	100.0%	S		50.0%			
2	防災啓発事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			18,654	16,478	防災出前講座への女性参加率			17,386	災害に対する備えをしている市民の割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50.0%	45.0%	A		50.0%			
3	防災訓練事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,000	1,000	防災関係機関との総合防災訓練			1,000	防災関係機関との総合防災訓練			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			
4	一般木造住宅耐震診断事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			25,393	45,197	耐震診断の受診戸数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					500戸	430戸	B		―	―	―	
5	防災設備等管理事業費	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			64,562	63,063	同報系防災行政無線及び移動系無線(IP無線)の稼働率			63,945	同報系防災行政無線及び移動系無線(IP無線)の稼働率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
6	一般木造住宅耐震補強等事業費補助金	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			77,940	97,912	耐震施策(除却含む)事業の補助件数			81,313	耐震診断の受診戸数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					231件	176件	B		300戸			
7	防災行政無線整備事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			11,000	9,889	防災行政無線中継局2局の更新工事の進捗率			88,616	防災行政無線中継局2局の更新工事の進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50.0%	50.0%	S		100.0%			
8	高齢者世帯家具転倒防止支援事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			650	650	家具固定実施件数			650	家具固定実施件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50戸	30戸	C		50戸			
9	国民保護法推進事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			206	206	国民保護協議会の開催			206	国民保護協議会の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			
10	地域防災計画策定事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			3,681	3,215	防災会議委員への防災情報提供			4,679	防災会議委員への防災情報提供			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			
11	災害用備蓄管理事業	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			31,056	29,723	災害用備蓄品配備計画に基づく備蓄率(食糧)			17,795	災害用備蓄品配備計画に基づく非常食の備蓄率(食糧)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
12	地域防災活動推進助成金	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,570	933	助成金交付団体数			1,670	助成金交付団体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20団体	23団体	S		20団体			
13	避難路沿道建築物耐震診断補助金	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			2,127	0	耐震診断受診件数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1件	0件	E		―	―	―	
14	避難路沿道建築物耐震改修等事業費補助金	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			5,668	0	耐震補強設計の補助件数			31,633	耐震診断受診件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1件	0件	E		1戸			
15	耐震シェルター設置事業補助金	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			0	5,000	耐震シェルター設置事業補助件数			8,000	耐震シェルター設置戸数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5件	4件	B		8戸			

【防災対策課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	防災出前講座や地域訓練への参加・支援・指導	5-③			出前講座・地域訓練支援回数				出前講座・地域訓練支援回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50回	110回	S		50回			
2	親子防災キャンプの実施	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
					親子で参加できる防災講座の実施				親子で参加できる防災講座の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20組	23組	S		20組			

組織名	経営企画課	作成者(評価者)	課長　林　典亜
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要(主な業務)

経営企画課は、市全体にかかわる計画や各部局との総合調整を担う課として業務を行うとともに、総合計画の政策・施策が着実に推進できるよう、外部評価委員会による評価及び検証、施策評価システム等により進捗管理を行っています。また、統計法に基づく各種基幹統計調査を行うとともに、見やすい形で様々なデータをホームページ等で公開をすることで、市民への情報提供を行っています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・新たな総合計画「和で結び　みんなで築く松阪市」を策定しました。「若者定住・福祉社会の実現」「公民連携の推進」を施策横断的な取組と位置づけ、「ここに住んで良かった・・・みんな大好き松阪市」と感じていただけるようなまちづくりを進めていくものです。
・市制20周年を迎えるにあたり記念事業を公募、市制20周年記念事業選考委員により21事業が選ばれました。
・全国家計構造調査・農林業センサスを大きな事故や問題もなく、無事終了することができました。また、令和7年度に国勢調査を円滑に実施するための準備としての調査区設定等を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・協力体制が取れる職場、ワークライフバランスが取れる職場とし、より効率的に仕事ができる職場をめざします。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・市制20周年記念事業を円滑に進めていきます。
・大学との連携により、地域の抱える課題(高齢化・産業振興など)の効果的な解決や、地域活性化に取り組んでいきます。
・国勢調査の実施年度であり、正確な調査および捕捉を行うとともに、事故やトラブルがないように調査を実施します。
・内部評価(部局長の実行宣言等)や外部評価(市民意識調査等)を行い、総合計画の進捗状況を把握・管理していきます。

【経営企画課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	市制20周年記念イベント推進事業	7-①	373	5,862	記念事業選定			18,515	市民意識調査における地域への愛着のある人の割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20事業	21事業	S		73.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	定住自立圏構想推進事業	7-①	370	274	具体的取組の平均進捗率			496	具体的取組の平均進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	80.7%	B		50.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	松阪市政推進会議事業	7-①	817	616	市政に対する提案および改善案の実行数			801	市政に対する提案および改善案の実行数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3件	2件	C		3件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	総合計画策定事業	7-①	10,279	5,529	各施策の平均達成度			5,443	各施策の平均達成度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25.0%	集計中			50.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	若者チャレンジ松阪創造事業	7-①	0	0	―			311	平均参加人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		15人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	企画一般経費	7-①	4,363	3,186	各施策の平均達成度			4,051	各施策の平均達成度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0.0%	集計中			50.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	統計調査一般経費	7-①	3,612	3,612	調査員の登録数			3,481	調査員の登録数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					162人	162人	S		162人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	各種基幹統計調査事業	7-①	17,746	17,746	調査員の登録数			101,529	調査員の登録数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					162人	162人	S		162人			

組織名	市政改革課	作成者（評価者）	デジタル未来戦略局長　中井　弘明
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		
	7－③　健全な財政運営		

組織の概要（主な業務）

市政改革課は、「行革DX係」と「施設マネジメント係」の2係で構成し、「事務事業の見直し」、「DXの推進」、「公民連携」、「組織の見直し」等の行財政改革や、市が保有する公共施設の「適正配置」、「長寿命化」、「有効活用」等を主導します。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・オンライン申請総合窓口「ちゃちゃっと手続き」の申請可能な手続き数を、前年の151件から240件に拡大するとともに、郵便局への窓口業務委託や「遠隔窓口システム」の円滑な運用により、市民の便利性を向上しました。また、フロントヤード改革検討ワーキングチームを設け、窓口利用体験調査等を実施し、窓口業務の改善点について検討を行いました。
・EBPM（データに基づく政策立案）推進のため、先進自治体における取組を調査するとともに、ビジネスインテリジェンスツールである「Tableau」を用いた試行を行い、令和7年度からの導入・運用に向けた課題整理を行いました。
・令和5年度に引き続き、市民、住民自治協議会、NPO、企業、金融機関、学識経験者などで構成するコミュニティファンド研究会を運営し、公益的活動を支える新たな仕組みとしてのコミュニティファンドについて議論を行い、令和7年1月に最終報告書を取りまとめました。
・市民病院への指定管理者制度導入などに対する伴走支援を行うとともに、小・中学校の再編活性化をはじめとした公共施設の統廃合などについて、関係部局と横断的な協議を行い、公共施設のライフサイクルコストの削減に取り組みました。その結果として、保育園の用途廃止や市営住宅の廃止などにより約18.2億円のライフサイクルコストを削減しました。
・職員アワード表彰の一環として、職員提案を募集し、11件の提案を受け付け、このうち3案件を具体的な取組に結びつけました。
・共創デスクを通じて民間事業者から24件の提案を受け付け、そのうち18案件を担当部局との具体的な協力に結びつけ、7事業者とは連携協定の締結にいたりました。
・一般職員等を対象にLoGoフォーム操作研修、LoGoチャットアシスタントAI操作研修、データ利活用研修、BPRサービスデザイン研修を開催し、デジタル技術の活用や改革意識の向上を図りました。さらに、DXチャレンジャー職員に対しては、外部機関への研修参加やデジタル技術等の展示会などへの派遣を行い、より専門的な人材育成を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・コミュニティファンドに関する調査・研究に取り組んできましたが、その必要性等に関し、市民や企業などへのPRまでには至っていないことから、この取組に関する理解や共感を得ていく取組が必要です。
・職員の適正数に関し、定員モデルによる試算や類似団体との比較検討を行ったが、明確な要因分析や最適化すべき部署や業務等に関して結論を得るまでには至りませんでした。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・オンライン申請の拡大を進めるとともに、様々なデジタル技術の導入や民間活力の活用などについて検討を行い、市民の利便性向上と職員の業務負担の軽減に取り組みます。
・民間団体などの公益的活動をヒト・モノ・カネ・ノウハウの面から支える（仮称）コミュニティ財団の設立をめざし、市民や企業などへの啓発活動を行い、財団設立に向けた賛同者の掘り起こしを行います。
・「Tableau」を導入し、市が保有する様々なデータから各種ダッシュボードを作成し、関係部局にその情報を共有・提供していきます。また、特定のテーマや仮説に基づくデータ分析について関係部局と協力しながら取り組み、施策の決定や事業の優先順位、各事業の見直しなどに有益な情報の提供に努めます。
・関係部局等と施設の統廃合や民間活力の活用などについて横断的な検討を行い公共施設のラフサイクルコストの削減に取り組むとともに、策定から10年が経過する「松阪市公共施設等総合管理計画」の見直しを行います。
・行政組織の在り方や人員配置等に関する調査・研究に取り組み、限られた人員で効率的に業務が行える体制作りを図ります。

【市政改革課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	行財政改革推進事業	7-①	2,697	1,561	行革取組みを実施した所属割合			1,286	行革取組みを実施した所属割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	コミュニティファンド推進事業	7-①	2,203	1,666	コミュニティファンド組成報告書作成			953	(仮称)コミュニティ財団設立			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		ー			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	公共施設マネジメント推進事業	7-③	3,206	1,641	公共施設トータルコスト削減施設数			2,878	公共施設トータルコスト削減施設数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10件	11件	S		10件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	公共施設点検管理事業	7-③	24,000	20,614	質の高い点検調査の実施			40,728	質の高い点検調査の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					40施設	40施設	S		63施設			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	DX推進事業	7-①	6,397	5,058	行政手続きのオンライン化(累計)			7,906	行政手続きのオンライン化(累計)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200申請	240申請	S		250申請			

【市政改革課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	「市民のための市役所」に向けた組織のあり方	7-①			検討課題に対する取組割合				検討課題に対する取組割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	「民間活力の導入」の推進	7-①			新規民間活力導入事業数				新規民間活力導入事業数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1件	2件	S		1件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	有料広告事業等の推進	7-②			広告等媒体数				広告等媒体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					15件	16件	S		15件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	「公共施設マネジメント」に関する職員研修の実施	7-②			公共施設マネジメント研修の理解度				公共施設マネジメント研修の理解度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	100.0%	S		80.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	施設カルテの更新・公表	7-②			施設カルテの更新・公表				施設カルテの更新・公表			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			

組織名	情報システム課	作成者(評価者)	課長　三村　幸也
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要(主な業務)

情報システム課は、市の根幹となる窓口業務で利用する住民情報システム、内部業務で利用するグループウェアシステムなどの各システム、これらの基盤となる庁内ネットワーク基盤等を市の業務に支障が出ないよう管理、運用しています。また、市民の方々の大切な情報資産を守るために技術的な対応を通じて情報セキュリティ対策にも取り組んでいます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・令和7年10月に本格運用を予定している次期住民情報システム(標準化および共通化を含む)の更新業務を確実に進めました。
・職員証で認証する複合機33台のうち、令和元年度に導入した複合機11台に4台を追加した合計15台の更新を正確かつ確実に実施し、更新後も安定した運用管理を行いました。
・平成30年度に導入したLGWAN(総合行政ネットワーク)用機器の更新を正確かつ確実に実施し、更新後も安定した庁内LGWAN環境の運用管理を行いました。
・福祉まるごと相談室をはじめとする各拠点の新設・変更・閉鎖等にあわせて、計画的に庁内ネットワークの整備を行いました。
・テレワークシステム・Web会議用機材の貸出し及び運用管理を行い、業務環境の利便性向上を図りました。
・RPA・会議録・AI-OCR・ビジネスチャットツール・生成AIシステム等の運用管理を行い、業務環境の利便性向上を図りました。
・職員のセキュリティ意識の高揚を図るために、複数回にわたって職員の情報セキュリティ研修を実施しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・導入されている各種システム(アプリ)等を職員が十分に活用できるようにするため、ITリテラシーの向上を図っていく必要があります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・職員が内部情報システム操作用として使用している職員用パソコン合計1,950台のうち、令和元年度・2年度に導入した合計1,650台に30台を追加した職員用パソコン1,680台の更新を正確かつ確実に実施し、更新後も安定した運用管理を行います。
・住民サービスの基盤となる住民情報システムの標準化・共通化対応を含む次期住民情報システムの更新業務を正確かつ確実に実施し、更新後もシステムの安定稼働及び安定した運用管理を行います。

【情報システム課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	庁内OA化推進事業	7-①	75,528	75,528	職員用パソコン貸与数			99,297	職員用パソコン貸与数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,980台	1,980台	S		1,980台			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	システム管理事業	7-①	206,103	204,411	基幹業務システムの稼働率			316,195	基幹業務システムの稼働率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					99.9%	99.9%	S		99.9%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	庁内ネットワーク管理事業	7-①	248,753	248,753	庁内ネットワークの稼働率			245,969	庁内ネットワークの稼働率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					99.9%	99.9%	S		99.9%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	社会保障・税番号制度システム改修事業	7-①	16,978	14,390	①情報連携(提供)を実施した件数 ②情報連携(照会)を実施した件数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①150,000件 ②15,000件	①205,048件 ②58,288件	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	プリンタ等統合事業	7-①	5,677	5,677	高機能複合機等の保守			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					33台	37台	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	住民情報システム標準化事業	7-①	3,476	3,476	住民情報システム標準化の進捗率(本移行)			349,131	住民情報システム標準化の進捗率(本移行)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70.0%	73.9%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	IT推進一般経費	7-①	3,695	3,695	セミナー、研修会等への参加回数(延べ)			3,695	セミナー、研修会等への参加回数(延べ)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20回	77回	S		20回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	住民情報システム更新事業	7-①	―	―	―			103,367	住民情報システム更新の進捗率(本移行)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			

組織名	地域づくり連携課	作成者(評価者)	課長　世古　元志
関係する『総合計画』施策	4－① 市民活動・社会教育の推進		
	4－② 中山間地域の振興		

組織の概要(主な業務)

地域づくり連携課は、地域の特性を生かした住民主体の自律的なまちづくりを推進しています。そのために地域の拠点となる公共施設のコミュニティセンターの整備、住民自治協議会や自治会等の地縁団体や市民活動団体の支援をはじめ、これらの地域団体と企業、行政が連携・協働し、まちづくりに取り組んでいます。

また、少子高齢化や人口減少が進む中山間地域を活性化する取組の一つとして移住促進の取組を進めています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・公共施設のコミュニティセンター化の取組については、徳和・松尾・米ノ庄地区の3か所で住民自治協議会が指定管理者となりコミュニティセンターのモデル地区として運営を行いました。また、コミュニティセンターモデル地区実施検証検討会を立上げ、同センターの運営状況等について検証を行い、メリットや課題等を住民自治協議会と共有し、今後の制度構築を進めました。
・住民自治協議会との連携・協働により、協議会への参加率が向上しました。
・地域おこし協力隊によるSNSを活用した情報発信やイベント開催により、地域の情報を多くの方に伝えることができました。
・移住促進については、令和6年6月に運営開始した松阪市香肌地域づくり協同組合に委託し、居住面や就労面についてワンストップで行うことにより、より円滑な相談支援体制の充実を図りました。
・鎌中地域交流センターを拠点として、地域(鎌田中学校区:第四・港・第一)と学校の連携支援を行うことができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・移住支援補助金については、移住に関する地域要件を中山間地域から松阪市内全域に拡大するなどの要件緩和を図りましたが、利用がありませんでした。今後、補助金のさらなる周知を図っていく必要があります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・地域の活動拠点として活用できるコミュニティセンターへの移行を図ります。
・重層的支援の体制整備とコミュニティセンター化を関係部局と連携し、一体的な取組として推進します。
・コミュニティセンターへの移行に向けた、建物等の改修を計画的に行い、市民が利用しやすい施設に改善します。
・地域おこし協力隊による情報発信やイベントやセミナーの開催により、移住しやすい環境整備及び移住施策の理解の促進に努めます。
・松阪市香肌地域づくり協同組合と連携し、居住面や就労面等の総合的なサポートを進めるとともに、空家バンクの登録・契約件数の増加等により、移住や定住の促進を図ります。

【地域づくり連携課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	地域マネジメント推進事業	4-①	1,393	1,393	市民アンケートにおける「住民自治協議会」の認知度(R3～)			642	市民アンケートにおける「住民自治協議会」の認知度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	72.2%	A		80.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	地区集会所建設補助金	4-①	12,999	12,999	補助団体数			17,034	補助団体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10団体	15団体	S		10団体			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	広報活動交付金	4-①	136,144	136,144	年3回の適正交付			136,144	年3回の適正交付			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回/年	3回/年	S		3回/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	住民自治協議会活動交付金(R2:住民協議会活動交付金)	4-①	103,453	103,782	市民アンケートにおける「住民自治協議会」への参加率(R3～)			124,012	市民アンケートにおける「住民自治協議会」への参加率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					51.0%	51.2%	S		55.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	地域の元気応援事業市民活動サポート補助金	4-①	300	300	市民活動サポート部門の応募数			200	市民活動サポート部門の応募数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6団体	3団体	C		6団体			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	過疎地域移住定住土地活用事業	4-②	880	880	事業の進捗率			22,900	事業の進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	市民活動センター管理運営事業	4-①	21,961	21,961	市民活動センター活動団体の新規登録件数			23,483	市民活動センター活動団体の新規登録件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20団体／年	25団体／年	S		20団体／年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	指定管理者選定委員会事業	4-①	0	0	指定管理者選定委員会の開催件数			85	指定管理者選定委員会の開催件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	0回	―		2回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	地域づくり連携一般経費	4-①	2,863	2,863	ペーパーレス化　用紙の削減(コピーカウント料)			4,023	ペーパーレス化　用紙の削減(用紙の枚数)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					55,000枚	27,392枚	S		77,000枚			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	コミュニティ助成事業補助金	4-①	9,000	5,600	コミュニティ助成事業への応募団体数			52,500	コミュニティ助成事業への応募団体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4団体	17団体	S		4団体			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	空家バンク活用補助金	4-②	6,700	6,700	メディアや会議等を通じた広報活動の実施			6,700	メディアや会議等を通じた広報活動の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	5回	S		5回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	移住定住促進事業	4-②	7,173	7,173	契約成立件数			6,962	空家バンク契約成立件数(累計)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20件	28件	S		176件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	地域おこし協力隊活動事業	4-②	7,380	7,380	SNS等での情報発信件数			8,330	SNS等での情報発信件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					400回	864回	S		400回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	地域おこし協力隊活動補助金	4-②	6,000	6,000	移住定住を促進するイベントの実施			6,000	移住定住を促進するイベントの実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	19回	S		5回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	移住支援補助金	4-②	10,044	10,044	移住支援補助金の利用件数			5,044	移住支援補助金の利用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5組	0組	E		5組			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	田舎暮らしと温泉が楽しめるサテライトオフィス推進事業	4-②	1,216	1,216	レンタルオフィスの稼働率			1,216	レンタルオフィスの稼働率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60.0%	100.0%	S		60.0%			

【地域づくり連携課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	松阪市住民自治協議会連合会運営交付金	4-①	13,615	13,615	事業の実施率			15,279	事業の実施率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	地区市民センター管理運営事業	4-①	99,561	99,561	地区市民センター利用件数			108,646	地区市民センター利用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					9,000件	8,654件	A		9,000件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	地区市民センター施設整備事業	4-①	4,820	3,583	整備計画における施設の改修(R3~)			終了	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1件	1件	S		ー	ー	ー	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	コミュニティセンター管理運営事業	4-①	34,921	34,592	指定管理者制度導入コミュニティセンター数			38,938	指定管理者制度導入コミュニティセンター数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3地区	3地区	S		3地区			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	コミュニティセンター施設整備事業費	4-①	0	0	ー			51,010	整備計画における施設の改修			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					ー	ー	ー		1件			

【地域づくり連携課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	地域交流センター	4-①			地域と学校が連携した取り組み				地域と学校が連携した取り組み			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10回	39回	S		10回			

組織名	嬉野地域振興局	作成者（評価者）	局長　駒田　浩久
関係する『総合計画』施策	4－①　市民活動・社会教育の推進		
	4－②　中山間地域の振興		
	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

嬉野地域振興局は管内の行政サービスと防災の拠点です。住民自治協議会の「地域計画」実現に向け、地域や市民団体との連携・協働で取り組み、また地域特性を生かした住民主体の自律的なまちづくりを推進する拠点施設としての役割を持つコミュニティセンター化を進めています。管内では中山間地域である嬉野宇気郷、中郷地区は人口減少対策のための移住促進、中川地区は都市化に伴う地域コミュニティ機能の脆弱対策、中原地区は浸水対策など、各地区が抱える多様な課題の解決に向け、地域や防災関係団体、関係課等と連携し、各地域振興局や関係部局と情報共有を図りながら、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・住民自治協議会会長会や自治会部会理事会を定期的に開催し、各住民自治協議会との情報共有を図り、地域の課題解決や地域づくり活動を支援することができました。
・7月の「嬉野おおきん祭り」、10月の「うれしのHalloweenフェスティバル」では多数の方々にご来場頂けたことで、市民参加型のイベントとして地域間、世代間の交流を図ることができました。
・貴重な地域資源を次世代に継承していくための、八田城山公園と髭山等の遊歩道の環境整備、市の花である「ヤマユリ」自生地ややまゆり園の獣害防護柵と国重要文化財の鴟尾レプリカモニュメントの点検・管理等、看板等の取替を行い、訪れる方のための環境整備と、なめり湖公園での「なめり湖桜まつり」開催を支援することで、地域の魅力アップに努めました。
・地域づくり連携課や地域おこし協力隊と連携して人口減少著しい中山間地域への移住促進のため、臨時空き家相談会などを開催し、移住や空家に係る相談者の増加と空家バンクに1件の登録と1件の成約ができました。
・振興局における市民サービス向上等を検討する嬉野三雲連携会議を12回開催し、災害対策や地域防災の対応、地域活性化のための行事や住民自治協議会との連携などについて協議・情報共有し、行政サービスの機能強化を図りました。
・情報発信のため、振興局だより「うれし伝」を毎月、年間12回発行し、管内の様々な行事や地域活動の紹介など情報発信して、地域コミュニティの醸成を図りました。
・「福祉まるごと相談室嬉野」では、相談者に寄り添いつつ、相談案件に対するアウトリーチを積極的に行い、住民自治協議会や社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの方々と連携を図りながら活動を進めることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・地域づくり活動を進める人材の減少や高齢化等により、終了となったイベントもあり、次世代に負担なく地域資源を継承していけるかが課題となってきていることから、各種事業の内容や手法について見直しを進めます。
・地域資源の保全や整備を進めるとともに、各種イベントを通じて地域がより一層活性化する支援を行います。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・各住民自治協議会、市民活動団体との情報共有を図り、地域の課題解決、活動支援の更なる充実を図ります。
・各住民自治協議会や地域団体と協働しながら地域資源の整備を進めるとともに、魅力化を図り、情報発信を強化します。
・松阪市香肌地域づくり協同組合、地域おこし協力隊、地域づくり連携課、飯高・飯高地域振興局と連携し、中山間地域の活性化・移住促進を進めていきます。また、移住者を受け入れる空家の確保が課題となっていることから、中山間地域（嬉野宇気郷、中郷）にある各住民自治協議会とも連携して空家バンクへの登録物件、成約物件を増やします。
・市民サービス向上に向けて、三雲地域振興局との情報共有と連携を図ります。
・「福祉まるごと相談室嬉野」では、各関係機関との連携を強化しながら、常にアウトリーチの視点を持ち、本人や地域のニーズ、生活課題を丁寧に把握することを心掛けて、さらなる支援体制の充実に努めます。
・コミュニティセンターへの移行に向けて住民自治協議会が持続的に施設の管理運営を行い、地域づくりの拠点施設として地域独自の利活用出来るように協議を進めます。

【嬉野地域振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	嬉野地域振興局管理運営事業	7-①	39,406	37,020	市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数			40,125	市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		6回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	嬉野地域振興局施設整備事業	7-①	―	―	―			6,780	事業の進捗管理回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		3回以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	嬉野地域振興局旧議会棟解体事業	7-①	13,200	13,200	事業の進捗管理回数			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回以上	3回	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	地域活性化事業	4-①	17,160	17,160	イベント参加者数(11事業)			18,510	イベント参加者数(11事業)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					28,700人	29,229人	S		23,650人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	中山間地域活性化事業補助金	4-②	6,427	4,984	イベント参加者数(12事業)			7,080	イベント参加者数(15事業)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					9,400人	9,440人	S		8,500人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	中川新町地域交流センター管理運営事業	7-①	8,876	8,697	施設利用率(部屋、時間区分から算出)			9,705	施設利用率(部屋、時間区分から算出)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					26.0%	25.4%	A		29.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	地域集会所管理事業	4-①	900	900	地域集会所の譲渡件数			900	地域集会所の譲渡件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1箇所	0箇所	E		1箇所			

【嬉野地域振興課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	三雲地域振興局との情報共有と連携の推進	7-①			連携会議回数				連携会議回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		6回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	嬉野管内独自の広報誌「うれし伝」の発行	7-②			広報誌発行回数				広報誌発行回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	うれしのを美しくする運動の活性化	6-②			参加者数				参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5,000人以上	5,212人	S		5,000人以上			

組織名	三雲地域振興局	作成者（評価者）	局長　北浦　達也
関係する『総合計画』施策	4－① 市民活動・社会教育の推進		
	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

三雲地域振興局は、各種手続きなどの行政サービスの提供と地域の安全を守る防災対策を行う拠点であり、2階には三雲天白公民館も併設され、生涯学習活動の拠点ともなっています。また、三雲管内の4つの住民自治協議会の運営や活動を支援するとともに、協働して地域づくりや地域振興に取り組んでいます。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・管内各住民自治協議会との情報共有を図り、運営や活動の支援を継続的に行うとともに、「振興局だよりみくも」を発行し、地域情報の発信を行い、地域振興が図れました。
・ハートフルみくも保健福祉センターでは、指定管理者と施設利用について協議を行いました。結果、施設運営について共通認識が図れました。
・第30回武四郎まつりを開催し、多くの方にお越しいただき、郷土の偉人である松浦武四郎の功績とともに地域との協働と文化の交流が図れました。
・三雲、嬉野の北部地域としての地域間の連携強化として、嬉野地域振興局や建設、農林、教育の各事務所等との合同会議を毎月開催し、各地域の取組など情報共有し、連携強化に繋がりました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和6年8月の「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」及び「台風10号」の襲来を受け、三雲地域振興局の体制から改善の必要性がありました。三雲地域振興局の対応マニュアル整備、嬉野地域振興局との地域間連携など課題改善を図っていきます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・管内各住民自治協議会との情報共有を図り、運営や活動の支援を継続的に行うとともに、「振興局だよりみくも」を発行し、地域情報の発信を行います。
・「福祉まるごと相談室」では、地域住民の抱える問題に対し、関係機関と連携しながら必要な支援につなげていきます。また、民生委員児童委員活動での困りごとに対しサポートをしていきます。
・郷土の偉人である松浦武四郎を多くの方に知っていただくため、地域と協働し「武四郎まつり」を開催します。
・嬉野地域振興局や関係部局との情報共有と連携に努めます。

【三雲地域振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	三雲地域振興局管理運営事業	7-①	26,410	25,309	市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数			28,519	市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					12回	12回	S		6回		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
2	三雲地域振興局施設整備事業	7-①	－	－	年度内の工事進捗率			1,430	年度内の工事進捗率		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					－	－	－		100.0%		

【三雲地域振興課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	三雲管内独自の振興局だより「みくも」を年12回発行	7-②			月1回の発行				月1回の発行		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					12回	12回	S		12回		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
2	各地域の団体(住民自治協議会、自治会、消防団等)との連携・協力体制	4-①			各団体との連携のための会議等への出席回数（住民自治協議会、自治会、消防団、その他団体）				各団体との連携のための会議等への出席回数（住民自治協議会、自治会、消防団、その他団体）		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					20回以上	24回	S		20回以上		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
3	地域活性化事業として「武四郎まつり」等を開催	4-①			武四郎まつりの参加者数				武四郎まつりの参加者数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					4,000人以上	5,700人	S		5,000人以上		

組織名	飯南地域振興局	作成者(評価者)	局長　堀川　幸生
関係する『総合計画』施策	4－① 市民活動・社会教育の推進		
	4－② 中山間地域の振興		
	7－① 行政サービスの充実		

組織の概要(主な業務)

飯南地域振興局は管内の行政サービスと防災の拠点となっており、人口減少、少子高齢化という過疎地域特有の課題解決のため、飯高地域振興局及び特定地域づくり事業協同組合などの関係機関と連携し、地域の働き手や移住者への就労支援などを行い、地域経済の活性化を図るとともに、地域資源を活用して観光交流人口や関係人口、移住人口の増加につながる事業に取り組んでいます。

また、地域と連携・協働しながら、地域住民の活動への支援と安全・安心な暮らしの確保、豊かな自然の活用や歴史文化の継承などの事業にも取り組んでいます。さらに、地域を担う人材を育成する飯南高等学校の活性化と魅力化に向けた取組を支援しています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・飯高地域振興局と連携し、香肌峡の自然等の地域資源を生かし観光交流人口の増加を図るため、「第4回まつさか香肌峡サイクリング大会」を開催し、県内外から223名が出走され、香肌峡および飯南飯高地域の情報発信や知名度向上に努めました。
・「まつさか香肌イレブンプロジェクト」の一環として、飯高地域振興局や地元住民自治協議会等と連携して『第2回まつさか香肌峡トレイルラン大会』を開催し、281人が出走され、地域住民との交流や観光施設の利用増につなげることができました。
・過疎地域の活性化を図るため、「過疎地域の持続的な発展を考える会」を年3回開催し、過疎地域持続的発展計画を評価するとともにその実現に向けた取組について意見交換を行いました。
・飯南地域振興局に令和5年7月「福祉まるごと相談室」を設置し、令和6年度には新規81件を含め429件の相談があり、住民の困りごとに対して社会福祉協議会、行政職員などによる地域に寄り添った支援を行いました。
・「いいなん・ふれあい祭り」を開催し、飯南地域内外から多くの方にお越しいただくとともに運営委員や参加された方々による様々な演出を行うことができ、地域の活性化に寄与しました。(来場者数:2,500人)
・令和6年5月に「特定地域づくり事業協同組合」が認定され、6月から飯南飯高地区の事業所に2名の人材の派遣を行うことで、地域の担い手を確保することができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・飯南高等学校の魅力化と活性化、地域を担う人材育成のため県外生徒募集に取り組んできました。飯南高校に関心を示す生徒はいましたが入学に至らなかったため、令和5年度で地域みらい留学への取組を終了したことにより、飯南高等学校との連携会議が減少しました。今年度は、飯南高等学校が取り組むイベントなどで連携し、地域を活性化していきます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・第5回まつさか香肌峡サイクリング大会を開催し、香肌峡や飯南飯高地域の魅力を情報発信するとともに交流人口の増加に努めていきます。
・「いいなん・ふれあい祭り」を開催し、ステージや出店を通じて多くの方々へ参加を呼び掛けるなど「地域とともに作りあげる祭り」をめざすと同時に、地域の良さをPRし来場者と住民の交流を図っていきます。
・飯南産業文化センターのホール吊り天井改修と照明設備のLED化を実施することで、より安全安心で快適に利用できる環境を整備していきます。

【飯南地域振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	飯南地域振興局管理運営事業	7-①	26,827	27,784	飯南飯高連携会議の開催			26,444	飯南飯高連携会議の開催		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					12回	12回	S		6回		
2	飯南地域振興局施設整備事業	7-①	―	―	―			1,656	計画、契約、着工、施工、完成時の確認		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					―	―	―		5回		
3	飯南産業文化センター管理運営事業	7-①	12,947	12,947	会館利用率(部屋、利用時間帯から算出)			13,122	会館利用率(部屋、利用時間帯から算出)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					25.0%	23.8%	A		25.0%		
4	飯南産業文化センター施設整備事業	7-①	3,586	2,698	計画、契約、着工、施工、完成時の確認			59,512	計画、契約、着工、施工、完成時の確認		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					5回	5回	S		5回		
5	飯南コミュニティセンター管理事業	7-①	2,633	2,633	庁内の整理整頓とチェック			2,686	庁内の整理整頓とチェック		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					12回	12回	S		12回		
6	過疎地域交流施設管理運営事業	4-②	5,548	5,548	半期ごとの点検			5,611	半期ごとの点検		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					2回	2回	S		2回		
7	過疎地域魅力アップ推進事業	4-②	4,444	4,444	4半期ごとの工程管理			4,444	参加者の満足度		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					4回	4回	S		85.0%		
8	田舎暮らし交流移住促進事業	4-②	8,468	7,706	調整企画会議と進捗管理			8,410	調整企画会議と進捗管理		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					12回	12回	S		12回		
9	特定地域づくり事業協同組合支援事業	4-②	19,711	19,711	派遣職員数			―	―		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					2人	2人	S		―	―	―

【飯南地域振興課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	飯南かわら版の発行	7-②			毎月発行				毎月発行		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					12回	12回	S		12回		
2	飯高地域振興局との情報共有と連携の推進	7-①			連携会議の開催				連携会議の開催		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					12回	12回	S		6回		
3	飯南高校活性化のための検討	4-②			連携及び支援強化のための会議への参加				連携及び支援強化のための会議への参加		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					6回	5回	B		6回		

組織名	飯高地域振興局	作成者(評価者)	局長　野呂　幸伸
関係する『総合計画』施策	4－① 市民活動・社会教育の推進		
	4－② 中山間地域の振興		
	7－① 行政サービスの充実		

組織の概要(主な業務)

飯高地域振興局管内は市面積の約4割という広範囲な行政エリアを有し、その9割以上を山林が占める中山間地域で、地域振興局が行政サービス及び防災の拠点となっています。人口の急減に伴い、少子高齢化が著しく進み、集落機能や生活環境の維持、防災対策などの課題に取り組むとともに、飯南地域振興局や様々な部署と連携して、香肌峡の自然や歴史文化などの地域資源を活用し、観光交流人口や移住・定住人口の増加及び地域の担い手の確保を目標に掲げ、地域活性化に取り組んでいます。さらに、地域を担う人材を育成するため県立飯南高等学校の活性化と魅力化に向けた取組を支援しています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・令和6年7月に事業を開始した松阪市香肌地域づくり協同組合の安定的な運営に向け、担当課職員が協同組合事務局と情報共有を行って方向性や事業内容などの協議を重ねました。その結果として、派遣職員2名を雇用して組合員4者に派遣を実施するなど、地域産業の維持活性化の取り組みを進めることができました。
・令和7年2月23日に第2回まつさか香肌峡トレイルラン大会を開催しました。前日の積雪によりコースを大幅に変更する等の対応を行いましたが、参加者からは大会運営やコース設定について概ね好評のご意見をいただくことができました。
　また、大会の開催にあたり宮前まちづくり協議会をはじめとする地域団体等のご協力をいただいたり、ゼッケンに選手の出身自治体名を明記するアイデアをいただいたりするなど、地域と行政が一体となって選手のおもてなしや地域活性化に務めることができました。
・コミュニティセンター化も踏まえた松阪市総合開発センターへの川俣地区の地域拠点移転に向け、住民説明会を実施し了承をいただくなど取組を進めることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・地域活動拠点のコミュニティセンター化について各住民自治協議会との協議等を重ねてきましたが、施設の状況等を勘案した結果、直営によるコミュニティセンター化への取組を進めていきます。
・飯南高等学校の活性化に向けて県外からの入学を募る「地域みらい留学」に地域・学校・行政が連携して取り組んできましたが入学に至らなかったことから令和5年度で終了しました。今後は、飯南高校連携会議や飯南高校チャレンジデー等の様々な機会を通じて飯南高等学校との連携と地域活性化を図っていきます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・第3回まつさかトレイルラン大会の開催に向け、地元住民自治協議会や地域団体、ボランティアスタッフ等と連携を密にして大会の成功をめざすとともに、香肌峡をはじめとする当地域の知名度アップと交流人口の増加、移住定住の促進につなげていきます。
・松阪市香肌地域づくり協同組合と連携して空き家バンク利用促進などを図りながら移住定住に向けた取組を進めます。
・松阪市香肌地域づくり協同組合との協力のもと派遣職員の増員を図り、地域産業の維持・活性化に努めます。
・地域住民自治協議会や地域団体と協議を進め、飯高管内におけるコミュニティセンター化を進めます。
・第2次医療救護所の設置に向けた検討など、災害時の地域住民の安全を守る取組を進めます。

【飯高地域振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	飯高地域振興局管理運営事業	7-①	41,462	41,462	市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催			45,079	市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		6回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	飯高山岳救助隊支援事業補助金	4-②	236	236	登山道巡視等活動回数			236	登山道巡視等活動回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	5回	S		5回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	飯高総合開発センター管理事業	7-①	6,807	6,807	庁舎内の整理整頓とチェック			6,807	庁舎内の整理整頓とチェック			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	飯高総合開発センター施設整備事業	7-①	―	―	―			4,500	施設整備の進捗管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		4回			

【飯高地域振興課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	出張所(川俣、森、波瀬)業務の効率化	7-①			局内ワーキングの開催				旧出張所(川俣、森、波瀬)業務の連携連絡			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6回	6回	S		3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	過疎地域の持続的発展を考える会	4-②			会議の開催				会議の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	3回	S		2回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	飯高管内独自の振興局だより「飯高とっときだより」の発行	7-②			年12回発行				年12回発行			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	飯南地域振興局との情報共有と連携の推進	7-①			連携会議の開催				連携会議の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		6回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	飯南高校活性化のための検討及び支援	4-②			連携及び支援強化のため定例会議を開催				連携及び支援強化のため定例会議を開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6回	6回	S		6回			

組織名	総務課	作成者（評価者）	課長　松井　祐介
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		
	7－②　情報発信・プロモーションの充実		

組織の概要（主な業務）

総務課は条例、規則、規程、要綱などの制定や改正、市の業務における法務相談など、市の事務・事業に関連する法務全般について支援しています。
また、市の事務・事業に関し市民への説明責任を明らかにし、市民の市政へ理解と信頼を深めるための情報公開制度の推進や、市の取り扱う個人情報の適正な管理・保護に関する業務を行っています。
そのほかに、社会に有益な人材の育成を目的とする給付型の奨学金の給付、市の文書の保管・収受・発送及び各課からの依頼による印刷業務並びに公平委員会、固定資産評価審査委員会及び行政不服審査委員会事務局などの事務も担っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・大学奨学金を給付し、社会に貢献するための学びを応援しました。
・情報公開を進め、開かれた市政に寄与しました。
・弁護士法務相談を実施し、57件の法的問題の解決に寄与しました。
・個人情報保護、情報公開に関する研修を実施し、職員の制度に対する理解を深めました。
・条例、規則等の改正にかかる相談、助言、指導にあたり、適正な法令事務を執行しました。
・庁内外あての文書等を適切かつ正確に発送、収受するとともに、保管状況を保ちました。
・各課からの依頼に応じ、緊急な案件であっても可能な限り正確かつ早期に印刷し提供しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・情報公開制度研修及び個人情報保護研修の受講職員満足度が目標を下回りました。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・公平かつ公正な行政運営は、法令の正確な理解と正しい運用の下にあり、職員としての知識と理解を高めるため、法令データの正確な提供に努めます。また、より高度な法的対応が求められる場合、リーガルアドバイザーや顧問弁護士の適切な支援を提供します。
・文書管理をはじめとして、庁内での文書印刷業務、逓送便業務など、各所属の日常業務を支える役割を着実に果たします。
・令和6年度末に開始したロゴフォームを活用した情報提供（金額入り設計書）について効果を検証し、市民満足度の向上をめざします。
・各部局で作成されている「業務マニュアル」について現在の利用状況等を検証し、今後の活用について研究します。

【総務課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	大学奨学金給付事業	7-①	6,247	5,767	奨学生応募者の人数			5,407	奨学生応募者の人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30人	47人	S		30人			
2	個人情報保護・情報公開事業	7-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			2,164	2,164	情報公開制度研修の受講職員の満足度			2,182	情報公開制度研修の受講職員の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					85.0%	80.3%	A		85.0%			
3	弁護士法務支援事業	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			2,004	2,004	法務相談により政策決定がなされた案件数			2,004	法務相談により政策決定がなされた案件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					48件	57件	S		48件			
4	文書管理事業	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			16,210	15,701	文書管理に関する職員研修の実施回数			17,714	文書管理に関する職員研修の実施回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			
5	行政不服審査事業	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			210	210	行政不服審査制度にかかる研修会の実施及び参加回数			232	行政不服審査制度にかかる研修会の実施及び参加回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	1回	C		2回			
6	総務一般経費	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			15,506	15,506	部局長の実行宣言の振り返りの評価			15,432	部局長の実行宣言の振り返りの評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆☆	S		☆☆☆			
7	公平委員会事業	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			488	488	委員会及び研修会への参加回数			603	委員会及び研修会への参加回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	5回	S		5回			
8	固定資産評価審査委員会事業	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			168	168	委員会事務局員の研修参加回数			178	委員会及び研修会への参加回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	―	―		2回			

組織名	財務課	作成者（評価者）	課長　中尾　珠巳
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		
	7－③　健全な財政運営		

組織の概要（主な業務）

財務課は、持続可能で健全な財政運営をめざした適正な予算編成・執行管理に努めるとともに、公有財産の適正かつ効率的な管理、市民の利便性・効率性の高い庁舎機能の確保を図り、「市民に優しく親しまれる市役所づくり」の実現をめざしています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・決算ベースをもとにした要求基準を設定し、当初予算編成に取り組みました。また、施策評価システムの施策達成度と市民意識調査の結果を予算へ反映することで、事業内容や効果を再検証する機会となりました。また、実施計画に引き続き再定義を実施し、経費削減の観点からも見直しを行い、事業統合や事業内容の見直しによる歳出の削減に取り組みました。
・再定義の取組の一つとして、実施計画提出資料と予算要求時の提出資料の統一化を図りました。同時に、予算要求時の提出資料を見直し、提出種類を削減することによって、各所属の資料作成に要する時間の削減に努めました。
・財政状況の公表を6月と12月の年2回、広報松阪と一緒にご家庭へ届けることができました。
・市民からの意見等への対応、また職場内のGX・DXへの取り組みなど、課単位の問題解決などを協議するため、職場ミーティングを開催し、情報共有や意見交換とともに解決策を全員で考えることに努めました。
・公用車の安全運転利用を推進し、事故件数の削減に努めました。（9件→7件）
・カーボンニュートラル宣言に基づく取組として、電気自動車2台と充電設備2台分を増設しました。
・自家発電設備本体の改修及び重油給油口を交換し、災害時の機能強化に努めました。
・隣接地の安全確保のため、民家に近接している殿町山林の伐採を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

財産管理委員会を1回開催しましたが、具体的に新たな未利用地の活用はできませんでした。
未利用地の活用のため、1件の土地入札を行いましたが、応札がありませんでした。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・実施計画と予算編成の流れをスムースにし、作成及びヒアリング時の事務効率をあげるため、令和6年度に引き続き様式の見直しを行います。
・庁内清掃業務に対して障がい者を雇用しており、働きやすい職場環境の整備に努めます。
・カーボンニュートラル宣言の取組として、環境課と協力し充電設備の導入を行います。
・災害時の機能強化のため、1階フロアに自家発電設備を利用した照明設備を増設します。
・通学路に隣接する市有地の樹木伐採を行います。
・老朽化した建物の解体に着手し、土地の有効活用に努めます。（旧立野町別館、旧市民病院看護宿舎）

【財務課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度					
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
1	財政管理事業	7-③	8,756	8,756	財政状況の公表				8,394	財政状況の公表				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					2回	2回	S			2回				
2	庁舎等維持管理事業	7-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			151,988	145,484	市民からの意見等への対応協議の実施				181,756	市民からの意見等への対応協議の実施				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					12回	12回	S			12回				
3	庁舎等整備事業	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			42,000	78,870	予定工事の進捗率				7,650	予定工事の進捗率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					100.0%	100.0%	S			100.0%				
4	市有財産管理事業	7-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			18,616	16,847	未利用地の処分				19,116	未利用地の処分				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					1件以上	0件	E			1件以上				
5	車両管理事業	7-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			24,812	24,812	集中管理車の事故10件未満				統合	―				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					9件	7件	S			―	―	―		
6	財産管理一般経費	7-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			349	349	市民からの意見等への対応協議の実施				統合	―				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					12回	12回	S			―	―	―		
7	旧立野町別館解体事業費	7-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			―	―	―				140,000	予定工事の進捗率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					―	―	―			50.0%				
8	旧市民病院看護師宿舎解体事業費	7-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			―	―	―				36,000	予定工事の進捗率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					―	―	―			20.0%				

【財務課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度					
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
1	財産管理推進委員会	7-③			未利用地の活用、対策					未利用地の活用、対策				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					2回以上	1回	C			2回以上				

組織名	職員課	作成者(評価者)	人事育成担当参事　橋本　尚由
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		
	7－③　健全な財政運営		

組織の概要(主な業務)

職員課は、「定員適正化方針」に沿った職員採用による人材の確保と、市民ニーズや行政課題に柔軟かつ迅速に対応できる職員の人材育成をめざしています。また、各部局の業務量に見合った適正な人員を配置に取り組むとともに、職員の健康管理にも配慮しつつ「最少の経費で最大の効果」が得られるよう努めています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・障がい者雇用については、雇用計画に基づき各部で障がい者雇用率が達成できるよう取組を強化します。また、雇用率の改正に合わせ達成できるよう努力していきます。(R6　現在:2.82%、目標値　令和6年度:2.8%、令和7年度:2.8%)
・職員採用については、引き続き社会福祉士やシステムエンジニアなど専門職枠を設け、必要な人材確保に努め、退職した職員の再雇用を進めるキャリアリターン制度による採用を実施、採用にこぎつけました。
・令和5年度から開始した課題発見型インターンシップ実習を履修した12名中、応募者が8名おり、採用に関する新たな入り口を提供し、実際応募に繋げることができました。引き続き令和6年度も実施し、採用方法の多様化を行うこととしました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・定年退職前の壮年世代の退職が多く、また、若年層の急な退職等もあり、業務量に見合う適正な人員確保がかないませんでした。
・健康診断については、人間ドック受診者を含め全職員が受けましたが、二次検査等受診結果通知書の提出率は29.3%(R4は24.38%,R5は34.4%)と、一昨年度からは上回るもの昨年より低下し目標の50%に届きませんでした。引き続き職員の健康管理意識を高めるため、今後とも提出率の引き上げに努めます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・パーパスの策定　当課が事務局を預かるパーパス策定を10月までに実行し、パーパスの各種計画への浸透、理解を進めるべく事業の実施を図ります。
・窓口受付時間の短縮　10月1日から実施する窓口受付時間の短縮について市役所内外を問わず周知を図り、スムーズな導入を図るべく、方策を検討し、実施します。 また、短縮により生じた余剰時間を用いて業務改善を検討する等の趣旨があることも同様に周知を図ります。
・障がい者雇用率の目標到達　雇用計画に基づき各部で障がい者雇用率が達成できるよう取り組みを強化します。また、雇用率の改正に合わせ達成できるよう努力していきます。(R6　現在:2.82%、目標値　令和7年度:2.8%(算定方法の経過措置が外れる)、令和8年度:3.0%)

【職員課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
1	被災地支援事業	7-①	3,848	1,617	派遣職員の年度末勤務成績報告書の評定				ー	ー			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S			ー	ー	ー	
2	職員研修事業	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			6,558	3,646	職員アンケート調査による研修の理解度				5,186	職員アンケート調査による研修の理解度			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					90.0%	92.7%	S			90.0%			
3	職員採用試験事業費	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			4,411	3,327	採用試験総受験者数				5,062	採用試験総受験者数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					350人	347人	A			350人			
4	職員通信教育講座受講補助金	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			376	376	通信教育受講者修了者数				466	通信教育受講者修了者数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					50人	39人	B			50人			
5	職員資格取得等補助金	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			90	30	資格取得等助成金制度申請者				統合	ー			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					2人	3人	S			ー	ー	ー	
6	職員福利厚生事業費	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			194,061	145,434	産休・育休による欠員に対する補充率				228,636	産休・育休による欠員に対する補充率			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S			100.0%			
7	安全衛生事業費	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			11,033	10,485	二次検査等受診結果通知書の提出率				12,279	二次検査等受診結果通知書の提出率			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					50.0%	29.3%	C			50.0%			
8	当直関連業務事業費	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			8,749	8,749	宿日直の業務日誌及び報告事項のチェック				9,278	宿日直の業務日誌及び報告事項のチェック			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					週5日	週5日	S			週3日			

【職員課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
9	人事評価制度事業費	7-①	3,548	3,548	職員アンケート調査による人事評価支援研修の理解度				3,630	職員アンケート調査による人事評価支援研修の理解度			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					95.0%	91.0%	A			95.0%			
10	人事管理一般経費	7-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			15,010	22,794	仕事に創意工夫を凝らし、業務の改善や新しい仕事の進め方に積極的に取り組んでいる職員の割合				17,218	部局長の実行宣言「施策7-①」に対する評価			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					60%以上	58.1%	A			☆☆☆☆☆			

組織名	契約監理課	作成者（評価者）	課長　池内　正樹
関係する『総合計画』施策	7－① 行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

契約監理課は、市が発注する公共工事、物品調達等の入札及び契約に関する業務並びに市が整備する道路や建物の工事検査を主な業務としています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

（電子入札システム事業）
・入札参加者の負担軽減、事務の効率化を一層図るため、新しい電子入札システムを令和5年3月より運用開始しました。
・電子入札執行率は、工事は実績99.5%（目標100%）でおおむね達成しました。また、物品は実績96.4%（目標100%）でおおむね達成しました。
（契約監理事業）
・事業者の負担軽減のため、電子契約を物品・業務委託から試行導入を10月より開始しました。電子契約率としては、3.3%（目標5.0%）で、おおむね達成しました。また建設工事の電子契約導入についても令和7年度から運用開始するべく、関係法令の整備等を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・発注公告後に業者からの質問等により、積算誤り等が発覚し、入札中止とするケースが何件かあったことから、その原因等について関係各課と共有し、チェック体制強化、見直し等により再発防止を促進し、適正な入札事務の執行に努めます。
・また、インセンティブ型入札の発注件数は5件（目標8件以上）で、競争性確保の観点から、その後の発注を見合わせたことから、今後、インセンティブ方式の参加条件等にかかる研究が課題となっています。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・電子契約率を上げるために、積極的に電子契約締結を啓発します。
・電子入札システムによる発注作業、開札等ミスが無いよう事務適正化に努めます。
・各課との連携や複数人によるチェックなど体制を強化し、入札・契約業務を適正に実施します。
・入札後の契約事務負担軽減、事務の効率化を一層図るため、電子契約の実施をめざします。
・働き方改革等により、早期発注による工事の平準化と工事の週休2日制の取組を一層促進します。
・職員のスキルアップや情報共有を目的とした研修を実施します。

【契約監理課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	電子入札システム事業	7-①	7,762	7,762	①電子入札執行率(工事関係) ②電子入札執行率(物品関係)			統合	―		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					100.0%	①99.5% ②96.4%	A		―	―	―
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
2	契約監理事業	7-①	9,564	9,564	電子契約率			22,207	電子契約率		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					5.0%	3.3%	C		40.0%		

組織名	市民税課	作成者(評価者)	課長　高村　直樹
関係する『総合計画』施策	7－③　健全な財政運営		

組織の概要(主な業務)

市民税課は、個人市県民税、法人市民税、軽自動車税(環境性能割・種別割)、市たばこ税について適正な課税を行い、公正かつ公平な税負担による安定的な自主財源の確保に努めています。
また、税務証明の交付においては、マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの税務証明書交付や窓口における税務証明書交付手数料のキャッシュレス決済導入など、行政サービスの利便性向上に努めています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・税務窓口における税務証明発行時の渡し間違い件数は0件でした。
・税務一般経費の適切な執行により、公平かつ適正な賦課事務を遂行することができました。
・個人市民税の未申告調査による所得把握率は72.3%(目標値67.0%)でした。
・軽自動車税の課税に対する審査申出容認件数は0件でした。
・情報発信については、市のホームページ、行政チャンネル、広報紙を活用して、様々な税に関する情報を正しく理解いただくよう周知に努めることができました。(ホームページ20項目更新、行政チャンネル1回放送、広報紙15回掲載)
・職員のスキル向上を目的として、職員が講師を務める研修を12回開催しました。また、職員の知識を深めるため各種専門研修に延べ27名の職員を参加させることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・歳入予算の主要財源である市税の確保を図るため、法令等に従った適正な課税を行うとともに未申告者の所得把握調査を行い、公平性の確保に努めていきます。
・税証明に関して、複数職員による内容確認を徹底することで誤発行を起こさないよう努めていきます。
・税制改正等への対応として、情報収集を迅速に行い、適切な対応に努め、関係部署との緊密な情報共有を図ります。また、税に関する専門的な知識を習得するため、研修会や説明会への積極的な参加や他自治体との情報交換に取り組み、正確な職務知識の習得に努めレベルアップに取り組みます。
・市民生活に関係する制度等の内容や影響について、ホームページ・広報紙などの様々な媒体により周知を行うとともに、DXによる業務の効率化や行政サービスの向上に努めていきます。
・社会情勢や経済状況等の変化を常に注視し、税収への影響を迅速に判断することで速やかに税収見込の修正を行い、財政運営に活かしていきます。

【市民税課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	税務証明交付事業	7-③	2,884	2,821	税諸証明発行時の渡し間違い件数			1,524	税諸証明発行時の渡し間違い件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	税務一般経費	7-③	16,812	16,741	税務一般経費の執行誤りの件数。			18,841	税務一般経費の執行誤りの件数。			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	市民税賦課事業	7-③	82,850	76,834	未申告調査による所得把握率			75,275	未申告調査による所得把握率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					67.0%	72.3%	S		67.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	軽自動車税賦課事業	7-③	17,380	17,547	課税に対する審査申出容認件数			20,728	課税に対する審査申出容認件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			

組織名	資産税課	作成者（評価者）	課長　西井　哲史
関係する『総合計画』施策	7－③　健全な財政運営		

組織の概要（主な業務）

資産税課は、固定資産税（土地・家屋・償却資産）や都市計画税（土地・家屋）の課税事務を行います。
賦課基準日（毎年1月1日）時点で土地・家屋・事業に使う機械などの償却資産を所有している方へ課税するため、土地の分筆・合筆、家屋の新築・取り壊し、償却資産の増加・減少、また売買や相続等による所有者変更などの状況の変化を正確かつ速やかに把握することが重要であり、複雑な税制度を理解し、地方税法等の改正に的確に対応することも求められます。現地調査や航空写真を活用した現況把握などを行うとともに、所有者及びその関係者からの申告・届出などに基づき、適正かつ公平な課税に努めます。
また、地震、風水害、火災などの災害により、固定資産（土地、家屋、償却資産）に被害があった場合、被害の状況を把握するための現地調査を行います。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・固定資産課税台帳に登録された価格等について評価の見直しなどにより変更となった案件についても理解が得られるよう丁寧な説明が行えたことから令和6年度は3年に一度の評価替えを行いましたが、不服審査の申し出はありませんでした。
・地方公共団体に対し、標準化基準に適合した情報システムの利用が義務付けられ、現在使用している住民情報システムからの切り替えが必要となったことから、事業者や関係者と協議検討を重ね、国からの情報収集も行いながらシステム移行への準備を行いました。
・令和5年度に引き続き、新潟県小千谷市で開催された「住家の被害認定調査実地研修会」に2名の職員を派遣し、中越大震災により被災した建物や研修建物を利用した被害認定調査の調査方法を習得しました。
・来課者への対応は、担当者が不在でも正確及び迅速に対応ができるようロゴチャット等を活用した情報共有を行ったことにより、円滑で効率的な窓口対応を実施できました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・固定資産税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された価格等が評価の見直しなどにより変更となった案件について、当該納税者への説明責任を果たし理解を得ていただけるよう対応していきます。
・来課者への対応は、課内でロゴチャット等を活用した情報共有を行うことにより、担当者が不在でも正確に対応できる体制をつくり、円滑で効率的な窓口対応を行います。
・地方公共団体に対し利用が義務付けられた、標準化基準に適合した情報システムへの切り替えの年度となるため、昨年に引き続き、事業者や関係者と協議検討を重ね、国からの情報収集を行いながら、移行すべき対象を正確に洗い出すことにより、的確にシステムの移行を行います。
・令和9年度の固定資産税の評価替えに向け、土地や家屋の現地調査・家屋調査、基準年度評価のための評価替鑑定を計画的かつ効率的にすすめ、適正な課税事務が出来るよう準備を進めます。
・オンラインで開催されている研修会や会議等に引き続き参加するとともに、現地で行われる実地研修などにも積極的に参加し、職員のスキルアップを図り、専門的な知識を持つ人材の育成を行います。
・民間委託や電算システム等を活用した業務改善を行い、課税事務の効率化をめざします。

【資産税課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	固定資産税賦課事業	7-③	53,741	53,741	審査申出の申請件数			61,499	審査申出の申請件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					10件以下	0件	S		10件以下		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
2	固定資産税評価替事業	7-③	21,008	21,008	審査申出の申請件数			66,112	審査申出の申請件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					10件以下	0件	S		10件以下		

各所属の「評価」と「重点取組」

組織名	収納課	作成者(評価者)	収納担当参事　西　光一
関係する『総合計画』施策	7－③　健全な財政運営		

組織の概要(主な業務)

持続可能な市政運営の実現と市民の信頼を保つため、堅実かつ安定的な自主財源の確保と税負担の公平性の確保に努めます。そのため社会情勢に柔軟に対応した納税環境を整備することで、税の自主納付の推進と納期内納付の推進を図るとともに、地方税法等に基づく厳正で適正な滞納整理等の強化に努め、滞納を累積しない取組や滞納解消へ向けての取組を進め、収納率の向上に努めます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・三重地方税管理回収機構に職員を派遣し、滞納整理のレベルアップを図るとともに、滞納額の解消に努めました。
・年間を通じて、職員の意識を高め、差押えに取り組みました。(令和6年度の差押え件数:約1,100件)

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・翌年度への繰越(滞納繰越分)を増加させないよう、現年度課税分の徴収強化に取り組みます。
・納税環境のデジタル化が進む中、納付の利便性の向上と収納確保に向け、納付機会の拡充について調査・研究を行います。
・納税環境整備が進む中で、口座振替やインターネット等を活用した納税環境づくりに努め、既存業務の見直しを行っていきます。
・不動産の公売について、インターネット公売システムを活用して実施します。また自主納付を促すことも目標とします。

【収納課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	市税等過誤納還付金	7-③	100,000	100,000	市税の現年課税分の収納率			100,000	市税の現年課税分の収納率		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					98.60%	98.81%	S		98.70%		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
2	市税徴収事業	7-③	83,402	78,631	市税の現年課税分の収納率			90,683	市税の現年課税分の収納率		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					98.60%	98.81%	S		98.70%		

組織名	債権回収対策課	作成者（評価者）	課長　小林　一雅
関係する『総合計画』施策	7－③　健全な財政運営		

組織の概要（主な業務）

債権回収対策課は、自主財源の確保と市民負担の公平性を図るため、税外未収債権の徴収強化と適正管理の促進を主な業務としています。
強制徴収公債権（公課）については、所管課から移管された債権の滞納処分などを実行し、徴収強化を図っています。
非強制徴収公債権・私債権については、所管課の債権回収に必要な法的手続きの実行を支援しています。
所管課職員等を対象に研修会を開催し、債権の適正管理・回収に関する理解の増進及び意識の向上を図っています。
所管課ヒアリング等を通じて、債権の適正管理について指導・助言を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・移管債権（5公課）の徴収率は37.3%となり、目標であった30%を達成することができました。
・公課を所管する課と債権管理に関する知識や情報を共有する場を設けました。
・非強制徴収公債権及び私債権に対する法的手続き（支払督促24件、通常訴訟3件、強制執行5件）を実施しました。
・一般職員及び新規採用者を対象にした債権の適正管理に関する研修を実施しました。受講した職員の満足度は、目標値85%に対して85.5%でした。
・全庁的な未収債権調査をもとに所管課にヒアリングを実施し、債務者ごとの回収計画等について助言・指導を行いました。法的手続きを依頼された所管課の満足度は97.6%でした。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・債権所管課と債権回収のノウハウを共有するには至りませんでした。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・債権所管課が関係法令等に基づいた適正な債権管理を行えるように、引き続き、所管課ヒアリングや研修を通じて指導・助言を行っていきます。

【債権回収対策課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	債権回収対策事業	7-③	1,416	1,416	①移管債権の徴収強化(徴収率) ②職員向け研修、法的支援・相談に関する債権所管課の満足度			1,416	①移管債権の徴収強化(徴収率) ②職員向け研修、法的支援・相談に関する債権所管課の満足度		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					①30.0% ②85.0%	①37.3% ②89.5%	S		①30.0% ②85.0%		

【債権回収対策課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	債権管理職員研修会	7-③			債権管理の職員研修会の開催				債権管理の職員研修会の開催		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					2回	2回	S		2回		

組織名	環境課	作成者(評価者)	環境担当参事　下倉　基彦
関係する『総合計画』施策	6－①　自然と生活の環境保全		
	6－⑥　上下水道の整備		

組織の概要(主な業務)

松阪市環境基本条例第3条に定める基本理念に基づき、松阪市環境基本計画に定めるめざすべき環境像「うるおいある豊かな環境につつまれるまち　まつさか」の実現にむけてさまざまな取組を推進します。

政策係：環境における市の方向性(計画やビジョン等の策定)の検討、啓発活動に伴うイベントの企画や環境学習等の実施。
「松阪市ゼロカーボンビジョン」及び「松阪市地球温暖化対策実行計画」に基づく脱炭素社会実現にむけた取組の推進。
保全係：公害等に関する届出及び相談業務、狂犬病予防及び畜犬登録等の窓口業務。
墓苑係：篠田山霊苑の管理・保全及び篠田山斎場の運営等、火葬・斎場の管理・運営業務。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・脱炭素化住宅等促進補助金については、目標値の200件を大きく上回る282件の補助金交付を行い、脱炭素社会へ向けて市民が「自分のこと」として取り組むという意識の向上に繋げました。
・狂犬病予防注射において集合接種からかかりつけ動物病院への移行を行ったことで接種率が76.98%(令和4年度)から81.09%(令和6年度)と向上しました。
・南海トラフの巨大地震を想定し市内のし尿等収集運搬許可事業者12社と災害時における防災協定の締結を行いました。
・人体火葬炉の耐用年数は25年から30年であり、昭和63年から平成2年に入れ替えを行って以来、34年が経過しており老朽化していたことから令和4年度より2炉ずつ入れ替え工事を行い、昨年度で全ての入れ替えが完了しました。今後もご遺族の皆様に安心してご利用いただけるようになりました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・環境啓発活動事業における「環境フェア」の来場者数が3,512人にとどまりました。今年度は市の広報媒体以外の活用についても費用対効果の高いものを選択し、広く市民へ向けた周知を行うよう改善し、実施します。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・2050年カーボンニュートラル実現にむけ、松阪市ゼロカーボンビジョン及び松阪市地球温暖化対策実行計画に示した温室効果ガス排出削減に向けた取組を推進します。

・脱炭素化住宅等促進補助金(ZEH、家庭用蓄電池、断熱窓改修など、全8設備)
・太陽光発電設備等設置費補助金
・公共施設LED化、太陽光発電設備の設置
・公用車のEV化、及びEV充電器の整備

【環境課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
1	畜犬登録等事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			4,802	4,912	狂犬病予防注射の接種率			5,337	狂犬病予防注射の接種率の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					73.0%	81.1%	S		70.0%			
2	行旅死亡人等取扱事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,365	1,960	行旅死亡人等の事務処理			1,453	行旅死亡人等の事務処理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
3	公衆便所管理事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			5,140	5,410	トイレの不具合件数			3,820	トイレの不具合件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					月1回以下	月1回以下	S		月1回以下			
4	共同簡易飲料水供給施設管理事業	6-⑥	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,224	1,529	木梶、栃谷両地区の利用者からの苦情件数			1,324	木梶、栃谷両地区の利用者からの苦情件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
5	犬猫去勢避妊手術費補助金	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			3,600	3,600	犬猫の殺処分数			4,300	多頭飼育崩壊を防止するため、犬猫のメスの避妊手術件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10頭・匹以下	0頭	S		50件			
6	環境衛生一般経費	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			2,956	4,756	備蓄消毒薬剤の数量及び消費期限の管理			2,092	備蓄消毒剤の適正な管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		180本			
7	環境調査事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			3,182	2,963	騒音・振動・悪臭に関する苦情件数			4,824	調査に起因する騒音・振動・悪臭に関する苦情未処理件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					月1件以下	月1件以下	S		0件			
8	環境啓発活動事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			3,282	3,003	環境フェアの来場者数			2,350	環境フェアの来場者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4,000人	3,512人	B		4,000人			
9	脱炭素化住宅等促進補助金	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			14,000	19,000	補助金の交付件数			19,000	補助金の交付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200件	282件	S		250件			
10	太陽光発電設備等設置費補助金	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			15,939	15,939	補助金の交付件数			7,972	補助金の交付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20件	20件	S		20件			
11	環境保全一般経費	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,706	1,706	環境審議会の開催回数			6,882	環境審議会の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回以上	1回	S		1回以上			
12	火葬施設解体事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			9,889	9,889	解体工事に伴う苦情件数			―	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		―	―	―	
13	斎場・火葬場管理事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			105,156	101,256	利用者からの苦情・要望への対応率			100,389	業務委託の進捗状況管理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
14	篠田山墓地管理事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			20,037	20,037	利用者からの苦情・要望への対応率			24,223	業務委託の進捗状況管理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
15	斎場・火葬場施設整備事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			129,345	129,345	工事の工程進捗状況管理率			24,720	修繕の進捗状況管理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
16	篠田山霊苑施設整備事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			73,752	20,969	工事の工程進捗状況管理率			93,505	修繕の進捗状況管理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
17	し尿業者許可事業	6-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			91	91	2年に1回の更新件数率			10	2年に1回の更新件数率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―			

【環境課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	し尿転送業務負担金	6-①	7,480	7,480	飯南・飯高管内の利用者からの苦情件数			7,480	転送中の苦情件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	松阪地区広域衛生組合分担金	6-①	327,320	327,320	し尿等の処理率			326,970	し尿等の処理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			

【環境課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	環境基本計画の周知活動	6-①			計画の周知に向けた冊子(こども版)の小学5年生児童への配布				計画の周知に向けた冊子(こども版)の小学5年生児童への配布			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			

組織名	清掃事業課	作成者(評価者)	課長　左路　有
関係する『総合計画』施策	4－④　スポーツと連動したまちづくりの推進		
	6－②　資源循環型社会の推進		

組織の概要(主な業務)

清掃事業課は、ごみの分別・収集・処理を市民、事業者、行政が連携して取り組み、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、無駄なく資源を有効に利用できる資源循環型のまちづくりをめざします。
管理係:一般廃棄物処理業の許可、一般廃棄物集積所補助金申請　ほか
収集係:一般廃棄物の収集運搬、リサイクル処理　ほか
資源循環係:廃棄物の資源化・減量化、廃棄物減量のための補助　ほか

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・家庭系ごみ一人一日当たりのごみ排出量は、徐々に減量してきており、目標値682gのところ665gとなりました。
・不法投棄、持去りパトロールの実施を行うことで、不法投棄、集積所からのごみの持去り行為の一定の抑止につながりました。
・廃棄物集積所設置補助金の交付要綱を改正し、より利用しやすい補助金となり快適な集積所が増加しました。
・毎日のミーティング時での注意喚起や、過去の公務災害事例を職員が目につきやすい所に張り出すことにより、各々が注意をするようになり公務災害が減少しました。
・リサイクル事業については、委託業者への適切な指導による手選別をしっかり行うことにより、今年度も資源物の分別基準の品質検査はA判定となりました。
・ごみ減量・3R推進のための啓発講座開催数が目標値を達成し、コロナ禍後の対面啓発を重視し、わかりやすく効果的な啓発を行うことができました。
・生ごみの堆肥化容器等購入補助金の申請については、一定期間無料で生ごみ処理機を貸し出すことにより、市民の生ごみ減量化への意識の高まりとともに、市民への広報啓発等を重点的に行うことで、目標申請件数を大きく上回りました。
・リサイクルセンター管理事業については、適正な管理を行い、安全に施設の見学ができるように努め多くの方に見学していただき、市民の資源物分別に対する啓発が行えました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・塵芥収集車購入事業については、今回の更新車両については必要な車両ではありますが、常時使用する車両ではなかったため車両の稼働率は64.83%にとどまりましたが、今後、稼働率を上げるよう配車計画等を検討します。
・集団回収による資源物の回収量は、減少傾向にあり、スーパー等の民間事業者による回収が多くなってきていることや、実施団体の減少等が考えられますが、実施団体についてはそれらの活動意義等を訴え、引き続き活動を維持していただくようお願いしていきます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・家庭系ごみの分別の徹底や、食品ロス削減に関する調査研究をしていきます。
・不法投棄およびごみの持去りの防止のために引き続き監視体制の強化、啓発の推進により不法投棄、ごみの持去りをさせない環境づくりに取り組みます。
・適正なごみ処理体制を維持するために、冊子『ごみ・分別ガイドブック』等の周知や啓発、業務量に応じた人員配置によるごみ処理体制の強化等に取り組みます。

【清掃事業課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	清掃一般経費	6-②	13,853	12,742	家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量			11,875	家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					682g以下	665g	S		666g以下			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	松ヶ崎公園管理事業	4-④	18,564	17,031	グラウンド利用者数			18,697	グラウンド利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					24,000人以上	22,900人	A		24,000人以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	リサイクルセンター施設整備事業	6-②	―	―	―			21,505	リサイクルセンター施設の見学者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		1,200人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	塵芥収集事業	6-②	508,189	488,280	監視パトロールの実施(不法投棄・持ち去り禁止等)			532,424	監視パトロールの実施(不法投棄・持ち去り禁止等)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					48回	51回	S		48回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	廃棄物集積所設置補助金	6-②	2,250	2,250	申請件数			2,250	申請件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25件以上	36件	S		25件以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	塵芥収集車購入事業	6-②	12,760	12,760	購入車両の稼働率			1,938	購入車両の稼働率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					86%以上	64.83%	B		80%以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	塵芥処理一般経費	6-②	12,392	11,443	公務災害の件数			10,822	公務災害の件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5件以下	1件	S		5件以下			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	リサイクル事業	6-②	68,646	64,298	資源物の分別基準の品質検査			68,307	資源物の分別基準の品質検査			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					A判定	A判定	S		A判定			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	ごみ減量対策事業	6-②	2,897	2,462	ごみ減量のための啓発講座開催数			2,656	ごみ減量のための啓発講座開催数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30件	58件	S		30件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	生ごみ堆肥化容器等購入補助金	6-②	1,500	2,500	申請件数			3,000	申請件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60件	182件	S		70件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	資源物集団回収活動補助金	6-②	9,006	6,006	集団回収量			7,506	集団回収量			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2,000t	2,051t	S		2,000t			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	リサイクルセンター管理事業	6-②	17,406	17,065	リサイクルセンター施設の見学者数			21,031	リサイクルセンター施設の見学者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,200人	3,658人	S		1,200人			

【清掃事業課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	自治会等の要請によるごみ回収 地域の一斉清掃、草刈　等に応じて収集する。	6-②			出勤回数				出勤回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					130回	158回	S		130回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	充電式小型家電による発火対策 啓発、収集、処理方法を関係課等で協議(3回以上)する。	6-②			充電式小型家電によるパッカー車発火件数				充電式小型家電によるパッカー車発火件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3件以内	1件	S		3件以内			

組織名	清掃施設課	作成者(評価者)	課長　野口　伸也
関係する『総合計画』施策	6－②　資源循環型社会の推進		

組織の概要(主な業務)

清掃施設課では、一般廃棄物のうち燃えるごみの焼却処理をはじめ、燃えないごみや粗大ごみの破砕選別処理、並びに燃えるごみを焼却した後の焼却灰や燃えないごみ等を破砕選別した後の破砕残渣などの埋立処分を行っています。
また、既存の一般廃棄物最終処分場の埋立割合が令和8年度末に100%(満杯)に達することが見込まれることから、新たな施設の整備に努め、令和9年度の供用開始を目指しています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・クリーンセンターの焼却処理に係る排出ガスを協定書基準値以下とする管理を行い、周辺地域の環境保全に努めました。
・一般廃棄物最終処分場の浸出水処理に係る放流水を協定書基準値以下とする水質を保持し、周辺地域の環境保全に努めました。
・新最終処分場施設整備に係る整備計画用地の取得について、令和6年9月に地権者の皆様のご同意をいただき用地買収を完了することができました。
・令和7年3月に、新最終処分場施設整備工事(土木)請負契約を締結することができました。
・上川町遊歩道公園の利用申込者数は、目標756人に対し、907人でした。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・燃えないごみに混入したリチウムイオン電池、カセットボンベ、スプレー缶等を破砕処理することで生じる火災検知器の作動により高速回転式破砕機が緊急停止した回数は136回(前年度比48回増)でした。今後も、燃えないごみ収集時の仕分けをはじめ、市民の皆様にごみの分け方、出し方の周知を図り、適正な燃えないごみの受け入れに努めてまいります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・クリーンセンターの焼却処理に係る排出ガス、並びに一般廃棄物最終処分場の浸出水処理に係る放流水の水質をそれぞれ協定書基準値以下とする管理を行い、周辺地域の環境保全に努めます。
・クリーンセンターに持ち込まれた一般廃棄物の搬入者に対して、3R(リデュース・リユース・リサイクル)に資するようごみの分け方、出し方などの啓発に努めます。
・燃えないごみの破砕処理に係る高速回転式破砕機の円滑な運転に資するよう、充電式小型家電並びに危険ごみ(リチウムイオン電池、カセットボンベ、スプレー缶等)の分別指導やホームページ、広報誌等を活用し、啓発に取り組みます。
・新最終処分場の整備について、令和9年度の供用開始をめざし、適正な進捗管理に取り組んでまいります。
・クリーンセンター建設発生土に係る未活用となっている残土をウッドピア松阪北地区産業用地へ流用するために搬出を行い、搬出後の跡地を小規模災害や火災等において、受入容量を超える廃棄物を受け入れる必要が生じた際に、一時的に廃棄物の保管措置を講じるためのスペースの確保に努めます。

【清掃施設課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	クリーンセンター管理事業	6-②	18,930	18,914	排気ガスの排出値を地元協定値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④NOx(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類			19,803	排気ガスの排出値を協定書基準値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④NOx(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					①0.01g/㎥N ②50ppm ③50ppm ④100ppm ⑤ 0.1ng-TEQ/㎥N	①0.001g/㎥N ②21.8ppm ③10.5ppm ④81ppm ⑤ 0.056ng-TEQ/㎥N	S		①0.01g/㎥N ②50ppm ③50ppm ④100ppm ⑤ 0.1ng-TEQ/㎥N		
2	最終処分場管理事業	6-②	7,320	7,320	処理水を協定書基準値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質)			7,497	処理水を協定書基準値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L	①2.0mg/L ②8.4mg/L ③検出せず	S		①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L		
3	上川町遊歩道公園管理事業	6-④	15,713	13,292	利用申込者数			17,847	利用申込者数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					756人	907人	S		912人		
4	ごみ処理事業	6-②	340,241	338,572	排気ガスの排出値を協定書基準値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④NOx(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類			336,894	排気ガスの排出値を協定書基準値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④NOx(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					①0.01g/㎥N ②50ppm ③50ppm ④100ppm ⑤ 0.1ng-TEQ/㎥N	①0.001g/㎥N ②21.8ppm ③10.5ppm ④81ppm ⑤ 0.056ng-TEQ/㎥N	S		①0.01g/㎥N ②50ppm ③50ppm ④100ppm ⑤ 0.1ng-TEQ/㎥N		
5	最終処分場事業	6-②	41,392	34,857	処理水を協定書基準値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質)			43,212	処理水を協定書基準値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L	①2.0mg/L ②8.4mg/L ③検出せず	S		①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L		

【清掃施設課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	最終処分場施設整備事業	6-②	14,850	14,850	処理水を協定書基準値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質)			28,385	処理水を協定書基準値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L	①2.0mg/L ②8.4mg/L ③検出せず	S		①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L			
7	クリーンセンター施設整備事業	6-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			―	―	―			50,000	業務の進捗状況に対する評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		A			
8	多目的研修集会所解体事業	6-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			17,688	16,289	業務の進捗状況に対する評価			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					A	S	S		―	―	―	
9	新最終処分場施設整備事業	6-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			106,583	29,586	業務の進捗状況に対する評価			1,058,695	業務の進捗状況に対する評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					A	A	S		A			
10	新最終処分場環境整備事業	6-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			37,800	27,745	業務の進捗状況に対する評価			48,400	業務の進捗状況に対する評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					A	A	S		A			

【清掃施設課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	ごみ処理事業	6-②			家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量				家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					680g以下	665g	S		666g以下			

組織名	戸籍住民課	作成者（評価者）	マイナンバーカード担当参事　山本　誠
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

戸籍住民課では、以下の業務を行っています。
・住民票の写し・戸籍・印鑑登録証明書等の証明書発行業務
・印鑑登録業務
・婚姻等の戸籍届、住所異動届等の受付
・おくやみコーナーでのワンストップサービス
・マイナンバーカードの普及促進及び交付申請業務

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・マイナンバーカードの申請・交付手続きは、本庁、4振興局の5か所に加え令和3年中に開設したマイナンバーカードセンターで実施するとともに、令和6年度は351回の出張申請を実施しました。カードの交付率は従来保険証廃止等の外的な要因もあり大きく向上しました。夜間、土日開庁のセンターの存在もあり、大きな混乱は無く手続きを進めることができました。
・戸籍住民課で手続きを完結させるワンストップ窓口を開始しています。同じ質問を繰り返さないこと、移動時間の削減により最大の30分の滞在時間削減を達成しました。
また、在留カード等の券面読み取り機器を導入したことで、1件当たり4分の処理時間削減を実現しました。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・マイナンバーカードの交付率は大きく向上し、約9割に達しています。未交付の方をターゲットとして事業を推進していきます。
未交付の方々のうち外出する手段が限定されている方々に対し、個別出張申請を継続していくとともに、申請から10年目のカード更新についても申請サポートを実施していきます。また令和7年12月より従来保険証が完全廃止されることに伴い、企業に対する出張申請会を開催していきます。
・戸籍のフリガナ記載について、通知書印刷発送、届出対応等、適正に実施します。
・住民情報システムの標準化対応を確実に実施し、戸籍住民課が管轄する住民記録システムに混乱が生じないように運用します。
・『ワンストップ窓口』の対象手続きを増やし、更なる滞在時間の削減を目標とします。
・在留カードの券面読み取り機器を導入したことによる削減効果は、市民だけでなく、職員にも効果が及ぶもので、1件当たり4分の処理時間削減が見込めることから、年間の処理削減時間56時間の削減をめざします。
・キオスク端末の更改を検討することにより、処理速度向上の実現と千円札の利用を可能とし、利用者の利便性の向上、待ち時間の短縮をめざします。

【戸籍住民課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	マイナンバーカード交付事業	7-①	86,658	81,511	マイナンバーカードの申請率			99,020	マイナンバーカードの交付率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					89.0%	100.39%	S		85.5%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	戸籍住民基本台帳一般経費	7-①	84,698	81,467	手続きに要する所要時間の削減(R元年度比)			116,819	手続きに要する所要時間の削減(R元年度比)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					15.0%	18.0%	S		15.0%			

組織名	地域安全対策課	作成者（評価者）	課長　大野　千賀子
	5－①　交通安全対策の充実		
	5－②　防犯対策と消費者保護の充実		

組織の概要（主な業務）

「交通安全対策の充実」では、松阪市民の交通安全意識の高揚、交通ルールの遵守、交通マナーの向上を推進するため、様々な交通安全対策や啓発活動を行い、交通事故死者数ゼロのまちをめざします。
「防犯対策と消費者保護の充実」では、安全で安心なまちづくりをすすめるため、地域や関係団体と連携し、犯罪による被害者ゼロのまちをめざします。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・こどもから高齢者を対象とした交通安全教室、街頭啓発、交通安全推奨像伝達式や反射材着用推進推奨像伝達式等の交通安全対策に取り組み、反射材等の啓発物品を配って交通安全を呼び掛けました。
・安全・安心施策推進協議会を5回開催し、「松阪市安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画（第四期）」を作成しました。
・地域の防犯対策の一環として、防犯カメラを新たに設置する自治会に対して、購入費および設置工事費の補助金を交付しました。その結果、目標の10台を上回る18台の防犯カメラが設置され、地域の防犯力と住民の安心感の向上を図ることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・昨年度、交通事故死者数の全国ワースト順位を前年以上と目標を立てて取り組みましたが、全国ワースト2位という結果になってしまいました。今年度目標を達成するために、地道ではありますが、引き続き警察署等と連携し交通死亡事故の減少に取り組んでまいります。
・「交通安全教室の延べ参加者数」の目標19,000人に対して実績が12,218人、「ドラレコ運転診断受講者数」の目標60人に対して実績が46人、「放置自転車対策啓発人数」の目標7,000人に対して実績が5,970人と目標には達しませんでした。今後は、SNSや地元メディア等を通じた広報活動の強化などの改善策を実施し、目標達成に向けて取り組んでまいります。
・65歳以上の高齢者を対象に、特殊詐欺被害防止を目的とした機器の購入費用の一部を補助する取り組みを実施しましたが、被害件数は目標の5件に対し46件と、大きく目標を上回る残念な結果となりました。今年度も年金支給月の15日を中心に松阪地区生活安全協会等と連携し、啓発活動を実施していくとともに、これまで同様に、地域での出前講座の開催、SNSやメール配信サービスを通じた情報提供などを行い、高齢者の特殊詐欺被害の発生防止に取り組んでまいります。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

※犯罪被害者等日常生活支援事業では、可能な限り平等な支援が受けられるように「犯罪被害者等支援条例」を作成します。
・高齢者の交通事故防止の取組として、反射材着用の推進を図ります。また、何歳まで運転できるか等、運転を見直したりする機会にしていただくため、高齢ドライバー運転能力自己診断事業を実施し、受講者数の目標を60人とします。
・こどもから高齢者まで「交通安全」を生涯教育の一環として、年齢層に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育事業に取り組みます。
・全ての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されていますが、依然として乗車用ヘルメットの着用率は低いため交通安全教室や市ホームページ等で、頭部を守ることの重要性を訴えていきます。
・年金支給月の15日を中心に松阪地区生活安全協会等と連携した街頭啓発活動や出前講座を通じて防犯意識の向上をめざします。
・65歳以上の高齢者を対象とした、特殊詐欺等被害防止を目的に製造された機器を購入する際の費用の一部を補助すること等により、高齢者の特殊詐欺被害防止を図ります。
・防犯カメラは、犯罪の抑制防止や犯罪発生時における犯人の特定及び検挙に効果があることから自治会による設置に対して補助を行うことで、防犯環境に配慮したまちづくりを推進します。
・地域における防犯や交通安全や防災の意識向上をめざし、学校、保護者、地域などとの協働による地域ふれあいタウンウォッチングを引き続き実施していきます。
・今年度は「広報まつさか」で交通安全対策と防犯対策の特集ページを設けるなどして、引き続き交通事故件数、交通事故死傷者数、および特殊詐欺被害件数の減少をめざします。

【地域安全対策課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	交通安全啓発事業	5-①	5,069	4,871	交通安全啓発延べ人数			5,069	交通安全啓発延べ人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					7,000人	10,215人	S		7,000人			
2	交通安全教育推進事業	5-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			3,331	3,331	交通安全教室延べ参加者数			3,452	交通安全教室延べ参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					19,000人	12, 218人	C		19,000人			
3	自転車駐車対策事業	5-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			8,678	8,678	放置自転車対策啓発延べ人数			8,678	放置自転車対策啓発延べ人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					7,000人	5, 970人	B		7,000人			
4	交通安全対策一般経費	5-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			6,041	5,867	交通事故死者数全国ワースト順位　前年以上			6,041	交通事故死者数全国ワースト順位　前年以上			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					交通事故死者数全国ワースト順位　前年より向上	83位 ↓ 2位	E		交通事故死者数全国ワースト順位　前年より向上			
5	高齢ドライバー運転能力自己診断事業	5-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			541	390	ドラレコ運転診断受講者数			541	ドラレコ運転診断受講者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60人	46人	B		60人			
6	安全・安心なまちづくり推進事業	5-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,429	1,373	安全・安心施策推進協議会等の開催回数			1,274	安全・安心施策推進協議会等の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	5回	S		2回			
7	防犯対策事業	5-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			8,446	8,446	防犯啓発活動等の開催回数			8,601	防犯啓発活動等の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					14回	13回	A		14回			
8	防犯カメラ設置補助金	5-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,000	1,000	防犯カメラの設置台数			1,000	防犯カメラの設置台数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10台	18台	S		10台			
9	犯罪被害者日常生活支援事業	5-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			975	975	犯罪被害者の相談件数			975	犯罪被害者の相談件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3件	2件	C		3件			
10	特殊詐欺等被害防止機器購入補助金	5-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			800	800	特殊詐欺等被害件数			800	特殊詐欺等被害件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5件	46件	E		5件			

組織名	人権・多様性社会課	作成者（評価者）	課長　大川　悟司
関係する『総合計画』施策	4－⑤　人権尊重・多様性社会の推進		

組織の概要（主な業務）

人権・多様性社会課は、以下の実現をめざしています。
・一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる差別をなくすための人権意識を高め、すべての人々が希望と誇りを持って社会に参加できる地域社会
・性別、国籍、障がい等にかかわらず個人として尊重され、個性と能力を十分に発揮することができる多様性社会（Diversity）
・誰も自死に追い込まれることのない社会

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・人権問題についての正しい理解と認識を深めていただくため、人権啓発強調月間や人権週間にあわせて街頭啓発や講演会、映画会等を実施し啓発を行いました。講演会「心をつなぐ集い」では、参加者の満足度が98.7%でした。
・人権関係職員等養成講座を開催し、人権教育啓発リーダーの養成を行いました。
・自死対策に関する事業として、松阪市雇用・生活・こころと法律の合同相談会を9月・12月・3月に開催し、こころに悩みを持つ方の相談を複合的に受けることができました。また、心の悩みを抱える方への相談の場として、公認心理師によるこころの相談会を毎月1回開催しました。
・外国人住民に対し、母国語による生活情報等の提供・説明や窓口業務の支援を行いました。
・男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな事業を実施し、フォーラム参加者の満足度は目標以上となりました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・自死対策を支える人材の育成に向けてメンタルパートナー講座を実施しましたが、受講者数は目標に達成することができませんでした。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・現行の「松阪市男女共同参画プラン」が最終年度となりますので、審議会等における女性委員の登用率が目標値の35%達成できるよう、各課、関係機関等にさらに意識を持っていただくための啓発を行っていきます。
・人権問題についての正しい理解と認識を深めていただき、あらゆる差別をなくすため継続して啓発事業を実施していきます。
・誰も自死に追い込まれることのないよう、自死予防対策、啓発に努めていきます。
・「男女共同参画プラン」の改定を行います。
・関係機関等と連携しながら多文化共生社会・多様性社会の確立に努めていきます。

【人権・多様性社会課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	人権啓発事業	4-⑤	4,311	4,311	人権講演会参加者満足度			4,087	人権講演会参加者満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	98.7%	S		95.0%			
2	地域自死対策強化事業	4-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			758	758	メンタルパートナー養成講座参加者数			882	メンタルパートナー養成講座参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300人	48人	E		300人			
3	人権啓発一般経費	4-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			2,991	2,991	人権施策審議会の開催回数			2,991	人権施策審議会の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	2回	S		2回			
4	男女共同参画行政推進事業	4-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,703	1,703	男女共同参画松阪フォーラム参加者満足度			1,675	男女共同参画松阪フォーラム参加者満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	99.0%	S		95.0%			
5	国際交流事業団体補助金	4-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			756	756	補助金交付団体数			617	補助金交付団体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4団体	0団体	E		4団体			
6	多文化共生推進事業	4-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			1,129	1,129	多文化共生講演会(シンポジウム)の参加者数			1,085	多文化共生講演会(シンポジウム)の参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					150人	40人	E		150人			
7	生活オリエンテーション事業	4-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			8,811	8,811	通訳、翻訳対応件数			8,724	通訳利用者の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10,000件	3,366件	D		70.0%			
8	多様性社会一般経費(男女共同参画一般経費)	4-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			3,169	3,169	男女共同参画審議会の開催回数			3,566	男女共同参画審議会の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	2回	S		3回			

組織名	健康福祉総務課	作成者（評価者）	健康福祉総務担当参事　池田　博紀
関係する『総合計画』施策	2－③　地域福祉・生活支援の充実		

組織の概要（主な業務）

健康福祉総務課は、少子高齢化や人口減少が進むなか、複雑な課題を抱えた世帯や制度の狭間と言われるような世帯の課題解決のために、重層的支援体制を構築するとともに、保健・福祉・子育て等幅広い分野を担う健康福祉部内の横断的施策の企画及び総合調整を行っています。

地域福祉の担い手である民生委員児童委員の活動を支援し、地域課題解決のための住民自治協議会の活動と連携しながら、地域における支え合い活動の普及を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域社会をめざします。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・身近な地域で相談を受け止める「福祉まるごと相談室」を開設済みの6か所に加え、新たに中央・幸地区、神戸・徳和地区、花岡地区、東部地区の4地区を開設し、包括的な支援体制を構築しました。
・福祉まるごと相談室では、地域の課題を地域とともに解決を図るため、住民自治協議会や民生委員児童委員協議会の定例会や、地域行事等へ参加し、顔の見える関係づくりに向けて取り組むことができました。また、連携が進んでいる地域では、高齢者の見守り支援や居場所づくりなど、地域におけるつながりづくりや支え合い活動を進めました。
・福祉まるごと相談室の取組を強化していくために、地域まるごとサポートチームを結成し、福祉まるごと相談室を中心に、健康と福祉の主要な機関が集まり、担当地域の個別課題・地域課題について共有を図り、各関係機関の強みを活かし、地域ニーズや課題解決をすすめるための組織づくりを進めました。
・ひきこもり相談窓口をひきこもり地域支援センター「そ・えーる」に格上げし、窓口体制を専属2名体制に増員し、自立に向かうきっかけを得る居場所づくりや家族会の開催などの支援内容の充実を図りました。また、よりそいサポーター養成講座を開催し、地域での支援体制の構築を進めました。
・重層的支援体制整備事業において、令和6年度より多機関協働事業を直営で実施し、複雑化、複合化した問題に対して、重層的支援会議・支援会議において支援機関等によるチームでの課題解決を進めました。また、松阪市重層的支援体制整備庁内連携会議や支援機関等対象に重層的ネットワーク会議に取り組み、連携強化を図ることができました。
・民生委員児童委員の活動負担軽減に向けて、見守り対象者の住所異動情報や施設入退去情報など、行政情報の提供を開始しました。
・令和7年12月の民生委員児童委員一斉改選に向け、なり手確保につなげるため、市長と語る会やアンケート調査により民生委員児童委員のニーズ把握に努め、活動に寄り添った行政サポート体制の次年度構築に向けて道筋をつけることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・地域福祉活動をより強固に展開していくためには、福祉まるごと相談室が、民生委員児童委員とより連携した取組が不可欠であることから、福祉まるごと相談室の管轄と民生委員児童委員協議会の地区割りの統一に向けて、引き続き取り組む必要があります。
・支援機関同士が情報共有し、更なる連携を図っていくために、住民に寄り添った相談・支援業務を行うためのシステム導入に向けて、検討していく必要があります。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・地域共生社会をめざし、包括的な支援体制を構築するため、「福祉まるごと相談室」の市内全域13か所設置に向けて、残る3か所の設置を進めます。
・子ども支援研究センター設置予定の福祉まるごと相談室においては土日・祝日の開設を行い、市内全域の民生委員・児童委員活動をサポートする機能をもった民生委員・児童委員休日サポートセンターの開設を進めます。
・福祉まるごと相談室では、紙おむつ専用袋の無料配布を実施し、子育て世代の身近な相談先としての認知度を上げ、困りごとをキャッチできるよう取り組みます。
・民生委員児童委員の一斉改選に向け、充足率100％をめざし、地域福祉の担い手確保に取り組みます。
・民生委員・児童委員の見守り活動における困りごとへの対応、緊急時の対応など各地区に設置した福祉まるごと相談室が民生委員・児童委員に寄り添い、活動のサポートに取り組みます。
・「ひろがる・つながるフードドライブ連携協定」を締結したフードバンク愛知の協力のもと、生活困窮世帯への食品支援に向けて検討をすすめます。

【健康福祉総務課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	社会福祉協議会補助金	2-③	135,012	135,012	災害ボランティアセンターサポートスタッフの養成者数			139,472	災害ボランティアセンターサポートスタッフの養成者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					170人	174人	S		194人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	保護司会補助金	2-③	1,548	1,548	更生保護サポートセンター開設日数			1,548	更生保護サポートセンター開設日数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					240日/年	236日/年	A		240日/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	遺族会補助金	2-③	693	693	上部団体役員会への参加率			693	上部団体役員会への参加率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					75.0%	83.0%	S		75.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	厚生団体補助金	2-③	40	40	松阪地区母親大会参加者数			40	松阪地区母親大会参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80人	470人	S		80人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	民生委員児童委員協議会連合会活動費補助金	2-③	4,719	4,719	①活動日数(一人平均) ②相談支援件数(一人平均) ③研修参加回数(一人平均)			5,596	活動日数(一人平均)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①7日/月 ②2回/月 ③1回/年	①8.9日/月 ②1.6日/月 ③1.1回/年	A		8日/月			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	民生委員児童委員一斉改選事業	2-③	0	0	年度内の業務進捗率			1,123	民生委員・児童委員選出率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	社会福祉統計調査事業	2-③	371	56	調査依頼時の実積率			0	調査依頼時の実積率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	戦没者追悼式事業	2-③	880	880	追悼式出席者数			0	追悼式出席者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300人	228人	B		300人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	社会福祉法人指導監査等事業	2-③	1,015	1,015	設立認可、定款変更等の届出受理後、2週間以内の処理			1,015	設立認可、定款変更等の届出受理後、2週間以内の処理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	地区民生委員児童委員協議会補助金	2-③	10,055	10,055	研修の実施、地域活動の実施			10,055	研修の実施、地域活動の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					各3回	各7.8回	S		各5回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	重層的支援体制推進事業費	2-③	222,730	222,730	福祉まるごと相談室の設置数(該当住民自治協議会数)			252,729	福祉まるごと相談室の相談対応件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10か所(35協議会)	10か所(35協議会)	S		4,300件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	福祉まるごと相談室整備事業	2-③	12,500	2,000	福祉まるごと相談室の設置数			24,600	福祉まるごと相談室の設置数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10か所	10か所	S		13か所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	住居等における不良な生活環境改善事業費	2-③	1,658	1,658	福祉的な支援による不良な生活環境改善件数			1,605	福祉的な支援による不良な生活環境改善件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1件	0件	E		1件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	社会福祉一般経費	2-③	4,051	4,191	経費の効率化(当初予算額からの削減額)			5,844	経費の効率化(当初予算額からの削減額)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30千円	563千円	S		300千円			

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	福祉会館管理運営事業	2-③	12,636	10,027	会館利用団体等の利用回数			11,483	会館利用団体等の利用回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,840回	2,723回	S		2,300回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	隣保館管理運営事業	2-③	31,840	30,743	来館者の施設利用満足度			33,988	来館者の施設利用満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					良い90%	89.5%	A		良い90%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	隣保館施設整備事業	2-③	40,942	12,613	改修工事完了に向けた進捗管理			18,506	改修工事完了に向けた進捗管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	隣保館事業	2-③	7,920	7,083	各隣保館における対前年度利用者比率			7,787	各隣保館における対前年度利用者比率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	101.9%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	災害弔慰金	2-③	5,000	5,000	支給対象者の把握率			5,000	支給対象者の把握率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	小災害見舞金	2-③	1,300	1,300	対象者への見舞金支給までの期間			1,300	対象者への見舞金支給までの期間			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3日以内	1週間以内	C		3日以内			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	民生委員・児童委員サポート事業費	2-③	0	0	―			8,285	民生委員・児童委員休日サポートセンターの相談対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			

事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	第4期地域福祉(活動)計画の推進業務	2-③			計画関連事業の進捗管理				第4期地域福祉計画・活動計画関連事業の進捗管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	80.0%	B		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	民生委員児童委員協議会連合会事務局	2-③			正副会長会議・理事会の開催				正副会長会議・理事会の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					各11回	各11回	A		各11回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	日本赤十字社松阪支部事務局	2-③			社資・義援金の募金等の適正管理				社資・義援金の募金等の適正管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	A		100.0%			

組織名	障がい福祉課	作成者（評価者）	障がい福祉担当参事　青木　覚司
関係する『総合計画』施策	2－⑤　障がい福祉の推進		

組織の概要（主な業務）

障がい者が自らの意思に基づき、社会のあらゆる分野の活動に参加・参画し、その人らしく生き生きと自立した生活を送ることができるよう障がい者やその家族からの相談に応じ、関係機関と連携して必要な障害福祉サービスを提供します。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・介護給付費等の支給に関する審査及び判定等について、障がいの種別に応じた2つの合議体により計24回開催し、介護給付に係る障害支援区分や支給要否等について、公正・公平で円滑な支給決定を行いました。
・重度の障がい者の外出支援（自動車燃料費助成給油券の交付）を拡充したことにより、重度障がい者の社会参加の促進が図れました。
・意思疎通が困難な方のコミュニケーションや情報収集などの日常生活を支援するために手話通訳者及び要約筆記者の確保に取り組みました。また、手話奉仕員養成講座を実施し手話奉仕員の育成に取り組みました。
・障がい者の地域移行を進める上で障がい者が安心して住める住まいの確保を推進するためグループホームの整備を図り、松阪市内で5施設増加しました。
・松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例が施行10周年を迎えたことから、手話についての関心と理解をさらに深めることを目的に、10周年記念イベントを実施しました。（参加者　約700名）

〔達成できなかったこと・改善すべき点〕

・障害福祉サービスの提供事業所による福祉避難所の協定締結に取り組みましたが、新たな施設との協定締結には至りませんでした。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・障がい者の相談支援事業を適正かつ円滑に実施するため、令和8年度に障がい福祉課内に基幹相談支援センターを設置し相談支援機能の強化を図ります。
・地域で自立した生活を支援するためグループホームの整備を推進します。
・障がいのある人が安心して避難生活を送れるよう福祉避難所の取組を進めます。
・障がい福祉施策を総合的・計画的に推進し、障がい者の住みよいまちづくりを構築することを目的に、障がい者計画等の策定に取り組みます。

【障がい福祉課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	重度障がい者外出支援事業	2-⑤	29,430	29,430	重度障がい者外出支援事業利用者数			31,767	重度障がい者外出支援事業利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,000人	1,149人	S		1,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	障がい者ケア事業	2-⑤	2,374	2,374	障がい者等からの相談件数			2,374	障がい者等からの相談件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					55件	25件	D		55件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	障がい者団体活動事業補助金	2-⑤	2,233	2,233	各障がい者団体の組織率			1,997	各障がい者団体の組織率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8.0%	6.7%	B		8.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	障がい者計画等策定事業	2-⑤	―	―	―			5,562	策定業務の進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	心身障害者扶養共済掛金助成金	2-⑤	72	72	三重県心身障害者扶養共済掛金助成金対象者数			72	三重県心身障害者扶養共済掛金助成金対象者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1人	1人	S		1人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	手話普及啓発事業	2-⑤	2,789	2,788	手話施策推進会議市民委員の参画			2,354	手話施策推進会議市民委員の参画			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3人	3人	S		3人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	障がい者福祉給付事業	2-⑤	2,092	2,092	重度障がい者(児)紙オムツ給付件数			2,092	重度障がい者(児)紙オムツ給付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					350件	386人	S		350件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	特別障害者手当等給付事業	2-⑤	89,151	89,151	特別障害者手当受給者数			92,427	特別障害者手当受給者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					220人	250人	S		220人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	障がい者福祉一般経費	2-⑤	31,720	30,722	介護給付費等給付件数			36,025	介護給付費等給付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					32,000件	31,102件	A		32,500件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	介護給付費等給付事業	2-⑤	4,568,823	4,828,640	介護給付費等給付件数			5,340,486	介護給付費等給付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					32,000件	31,102件	A		32,500件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	自立支援医療費給付事業	2-⑤	229,287	229,287	自立支援医療費(育成医療・更生医療)給付決定件数			229,287	自立支援医療費(育成医療・更生医療)給付決定件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					220件	203件	A		220件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	障害者補装具費給付事業	2-⑤	51,243	51,243	障害者補装具費給付件数			51,243	障害者補装具費給付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300件	308件	S		300件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	障害者日常生活用具給付等事業	2-⑤	48,291	48,291	障害者日常生活用具給付件数			48,291	障害者日常生活用具給付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4,000件	4,175件	S		4,000件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	障害者日常生活支援事業	2-⑤	104,332	104,332	日中一時支援利用者数			105,630	日中一時支援利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					330人	328人	A		330人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	移動支援事業	2-⑤	84,000	84,000	移動支援利用者数			84,000	移動支援利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300人	376人	S		300人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	地域活動相談支援事業	2-⑤	39,825	39,825	相談支援実人数			39,825	相談支援実人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2,360人	2,574人	S		2,380人			

【障がい福祉課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	意思疎通支援事業	2-⑤	14,739	12,508	聴覚障がい者の意思疎通支援のための登録手話通訳者数			16,344	聴覚障がい者の意思疎通支援のための登録手話通訳者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12人	14人	S		14人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	福祉ホーム運営事業補助金	2-⑤	320	320	福祉ホーム利用者数			320	福祉ホーム利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1人	1人	S		1人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	障害者総合支援認定審査事業	2-⑤	10,949	10,949	障害者自立支援認定審査件数			11,433	障害者自立支援認定審査件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					550件	649件	S		600件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	自立支援協議会事業	2-⑤	807	807	会議等開催回数			893	会議等開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4回	27回	S		25回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	障害者福祉センター管理運営事業	2-⑤	6,292	5,792	障害者福祉センター利用者登録人数			6,747	障害者福祉センター利用者登録人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					120人	99人	B		120人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
22	障害者福祉センター施設整備事業	2-⑤	27,500	25,080	利用者登録人数			0	利用者登録人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					120人	99人	B		ー			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
23	障害者福祉センター活動事業	2-⑤	15,922	15,679	障害者福祉センター社会参加促進事業利用人数			17,861	障害者福祉センター社会参加促進事業利用人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100人	94人	A		100人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
24	障害児通所支援事業	2-⑤	1,013,340	1,204,394	障害児通所支援給付件数			1,345,417	障害児通所支援給付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					14,000件	17,075件	S		16,500件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
25	障害児福祉手当等給付事業	2-⑤	24,212	24,212	障害児福祉手当受給者数			25,085	障害児福祉手当受給者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					120人	111人	A		120人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
26	障害福祉サービス事業所等運営支援交付金	2-⑤	ー	ー	ー			10,154	対象事業者への交付率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					ー	ー	ー		100.0%			

組織名	保護自立支援課	作成者（評価者）	保護自立支援担当参事　原田　純弥
関係する『総合計画』施策	2－③　地域福祉・生活支援の充実		

組織の概要（主な業務）

生活保護制度は、資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するとともに、自立を助長することを目的とし、生活困窮者対策の中の最後のセーフティーネットとしての役割を担っています。このため、保護自立支援課では生活に困窮する方に、社会保障や生活困窮の支援対策、様々な生活課題に対応する福祉サービスなどの情報提供に努めるとともに、生活保護適正実施の基本となる訪問・面接活動により生活保護受給者の自立阻害要因を把握し、個々に必要な支援等を行います。
また、生活困窮世帯学習支援事業では、経済的理由等により学習環境の厳しさのある子どもたちに学習機会の提供を行い、基礎学力の向上に対するサポートを行います。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・令和6年度の重点目標として「訪問調査活動の充実」として面接率80%の設定で結果94.86%を達成しました。毎月訪問状況の確認、指導を行っています。
・生活保護受給者のマイナンバーカード取得率65%の設定で結果66.1%を達成しました。面接時にケースワーカーより必要性を説明し、本人だけで手続きが難しい場合は支援を行い普及に努めました。
・後発医薬品の使用割合を92.1%で目標を達成しました。今後も後発医薬品の奨励を行い理解を求めていきます。
・生活困窮者各事業は、目標数値を超えた実績に繋がりました。事業委託先である松阪市社会福祉協議会と連携及び情報交換を強化しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・就労自立支援プログラムによる就労開始件数30人を達成しましたが、よりハローワークとの連携を図ることで、支援を強化します。
・医療検討会の検討件数の目標100件に対し88件で目標達成できませんでした。今後は就労可否の他にも生活習慣病の気配のある方も含め嘱託医の意見をいただくようにします。
・生活困窮世帯学習支援事業は、利用登録者の参加率が目標値85%に対し82.4%と下回っているため、魅力ある学習室づくりに取り組むとともに、対象生徒への周知を行い登録者の増及び参加率の向上を図ります。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

①医療扶助のオンライン資格確認の導入を受けマイナンバーカード取得率アップをめざします。
・令和6年4月1日時点の生活保護受給者のマイナンバーカード取得率は66.1%ですが、医療扶助のオンライン資格確認の効率を向上させるためにも取得率アップが必要です。未取得者に対し、訪問時に取得の推進支援を行い取得率70%を目標とします。

②就労支援活動に取り組みます。
・ハローワークと連携を図り、年間30人以上が就労開始できるよう支援を行います。

【保護自立支援課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	中国残留邦人等生活支援給付事業	2-③	5,375	5,375	支援・相談員訪問面談回数			5,512	支援・相談員訪問面談回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25回/年	54回/年	S		25回/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	生活困窮者自立相談支援事業	2-③	20,703	20,703	生活困窮者自立相談受付件数			21,938	生活困窮者自立支援相談プラン作成件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					450件/月	467件/月	S		85件/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	生活困窮者住居確保給付金支給事業	2-③	4,176	2,506	給付終了時の就労又は増収率			4,883	給付終了時の就労又は増収率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60.0%	77.7%	S		60.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	生活困窮者家計改善支援事業	2-③	5,646	5,646	生活困窮者家計相談件数			6,035	生活困窮者家計再生プラン作成件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					35件/月	76件/月	S		30件/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	生活困窮者就労準備支援事業	2-③	6,293	6,293	生活困窮者就労準備支援事業対応件数			6,652	生活困窮者就労準備支援プログラム作成件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60件/年	263件/年	S		5件/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	生活困窮世帯学習支援事業	2-③	6,021	4,021	利用登録者の参加率			6,173	利用登録者の参加率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					85.0%	82.4%	A		85.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	物価高騰対応重点支援給付金事業	2-③	1,833,304	2,340,960	支給決定者への給付率			558,397	支給決定者への給付率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	生活保護受給者就労支援事業	2-③	3,271	3,271	自立支援プログラムによる就労開始、自立件数			3,661	自立支援プログラムによる就労開始、自立件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30件/年	30件/年	S		30件/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	生活保護システム標準化事業	2-③	0	0	マイナンバーカード取得率			0	マイナンバーカード取得率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					65.0%	66.1%	S		70.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	嘱託医師報酬	2-③	900	900	医療検討会での検討件数			900	医療検討会での検討件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100件	88件	B		100件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	生活保護適正実施推進事業	2-③	5,725	7,059	後発医薬品の使用割合			5,985	後発医薬品の使用割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	92.1%	S		90.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	生活保護一般経費	2-③	18,308	17,172	訪問計画に対する面接率			17,253	訪問計画に対する面接率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	94.8%	S		80.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	生活保護扶助費	2-③	3,980,000	3,884,000	訪問計画に対する面接率			3,929,960	訪問計画に対する面接率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	94.8%	S		80.0%			

組織名	高齢者支援課	作成者（評価者）	高齢者支援担当参事　藤牧　郁子
関係する『総合計画』施策	2－④　高齢者福祉の推進		

組織の概要（主な業務）

高齢者支援課は、高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅福祉サービスや養護老人ホームの入所手続き、成年後見市長申立、介護予防教室の実施、認知症の人や家族の支援に取り組んでいます。
高齢者サービス係、地域包括支援係、老人福祉センター（松寿園）の3つの係で業務を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・高齢社会を迎え、今後ニーズが高まることが予想される「在宅医療と介護の連携」をテーマとした「在宅医療市民講演会」を開催し260人の参加がありました。
・「もめんノート」は令和6年度2,156冊を配布し書き方を学んだ市民の人数の累計が17,327人になりました。地域包括支援センター職員が中心となり、エンディングノートで自身の想いを記入することと同時に、家族との「人生会議」の大切さも伝えました。
・認知症初期集中支援チームは、認知症の疑いのある方への早期対応に努めています。令和6年度は30件の新規相談のうち27件は相談受付から14日以内に対応することができました。
・「成年後見センター」は年間281件の相談に応じ、認知症高齢者・精神障がい者やその家族への支援を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・老人クラブは、クラブ数・会員数ともに減少傾向が続いています。
・老人福祉センター「松寿園」の利用者数が減少しています。
・「地域ケア会議」は重層的支援体制組織が増えたことから、会議の総数は減少していませんが、地域包括支援センターが主催する会議が減少しました。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・地域包括ケアの推進をめざし、「在宅医療と多職種連携」をテーマとした市民啓発や多職種勉強会を開催し、周知に努めます。
・「もめんノート」は地域包括支援センターによる地域での書き方講座を継続するとともに、家族間で話し合い自身の想いを伝える「人生会議」の大切さを伝えます。
・「成年後見センター」は、「支援員」を増員することで、相談への対応や制度が必要な人への支援を早期に行うための体制づくりを行います。
・認知症に対する理解を広く周知し、認知症当事者とそのご家族を地域で支援する仕組みである「チームオレンジ」を増やし、認知症になっても地域で安心して暮らし続けることができる体制づくりを行います。

【高齢者支援課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	飯南ふれあいセンター管理事業	2-④	10,679	10,679	複合利用施設としての年間利用人数			10,433	複合利用施設としての年間利用人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8,000人	12,703人	S		8,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	飯南ふれあいセンター施設整備事業	2-④	44,946	39,213	工期内での完成			46,178	工期内での完成			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年度内	年度内	S		年度内			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	エンディングサポート事業	2-③	561	561	市民啓発活動回数			526	補助金の申請者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回/年	5回/年	S		5人/年			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	高齢者虐待防止緊急一時保護事業	2-④	308	308	緊急時の初動開始(対応検討含)			308	緊急時の初動開始(対応検討含)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					24時間以内	24時間以内(1件)	S		24時間以内			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	老人クラブ活動事業補助金	2-④	7,002	6,101	活動補助申請のクラブ数			6,372	活動補助申請のクラブ数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					40件	32件	B		40件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	長寿者祝事業	2-④	3,499	3,499	満100歳訪問対象者へのお祝い			4,078	満100歳訪問対象者へのお祝い			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60人	40人	C		60人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	高齢者等活力推進事業	2-④	9,203	9,203	お元気応援ポイント事業の登録団体数			8,160	お元気応援ポイント事業の登録団体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					730団体	792団体	S		760団体			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	成年後見サポート事業	2-④	12,659	12,659	相談件数			13,579	相談件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					260件	281件	S		280件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	認知症高齢者等個人賠償保険事業	2-④	659	659	保険加入者数			662	保険加入者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					400人	404人	S		450人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	2-④	4,512	3,512	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業の延参加者数			3,906	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業の延参加者数(累計)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					580人	693人	S		2,160人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	地域介護予防活動支援事業	2-④	10,860	10,860	いきいきサポーター登録者数			11,055	いきいきサポーター登録者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					850人	863人	S		870人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	生活支援体制整備事業	2-④	27,858	27,858	地域資源の紹介機関紙の発行(年間)			29,795	地域資源の紹介機関紙の発行(年間)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	3回	S		3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	地域包括支援センター事業	2-④	148,771	148,771	センターでの総合相談等個別対応件数			157,817	センターでの総合相談等個別対応件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4,000件	4,194件	S		4,100人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	老人福祉一般経費	2-④	7,440	7,440	「もめんノート」の市民への周知活動回数			5,245	「もめんノート」の書き方講座を学んだ市民の延べ人数(累計)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80回	52回	C		17,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	高齢者生活管理指導短期宿泊事業	2-④	698	698	短期宿泊による一時的養護者数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8人以下	1人	B		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	緊急通報装置貸与事業	2-④	9,738	9,738	緊急通報装置貸与台数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					510台	374台	B		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	高齢者在宅生活支援事業	2-④	911	911	延べサービス提供時間数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					450時間	294時間	C		―	―	―	

【高齢者支援課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	寝具丸洗乾燥事業	2-④	1,488	1,488	延べ利用者数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300人	227人	B		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	訪問理美容サービス事業	2-④	135	135	延べ利用者数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30人	37人	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	日常生活用具給付事業	2-④	590	590	延べ利用者数			350	延べ利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30人	15人	C		30人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	老人ホーム入所措置事業	2-④	278,622	278,622	入所措置利用延べ人数			276,739	入所措置利用延べ人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,480人以下	1,403人	S		1460人以下			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
22	松寿園管理運営事業	2-④	15,519	15,519	施設貸館の稼働率			18,327	施設貸館の稼働率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70.0%	59.0%	B		70.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
23	飯高高齢者生活福祉センター管理事業	2-④	11,711	12,695	一定期間の居住を希望される高齢者への対応率			11,711	一定期間の居住を希望される高齢者への対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
24	飯高高齢者生活福祉センター施設整備事業	2-④	2,149	1,857	工期内での完成			10,005	工期内での完成			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年度内	年度内	S		年度内			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
25	飯高老人福祉センター管理運営事業	2-④	10,022	9,881	複合利用施設としての年間利用件数			11,388	複合利用施設としての年間利用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,000件	1,848件	S		1,000件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
26	飯高老人福祉センター施設整備事業	2-④	0	0	年度内の進捗率			53,221	年度内の進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
27	指定管理者選定委員会事業	2-④	―	―	開催回数			―	開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		―			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
28	老人福祉費国県支出金返還金	2-④	597	623	県が示す期間内での手続き完了			485	県が示す期間内での手続き完了			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年度内	年度内	S		年度内			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
29	医療介護連携システム事業	2-④	330	385	システム使用者数			330	システム使用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					900人	1,055人	S		950人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
30	介護予防・生活支援サービス事業	2-④	282,390	282,390	サービス延べ件数			286,630	サービス延べ件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					14,300件	13,316件	A		14,300件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
31	高額介護予防サービス費等相当事業	2-④	1,400	1,400	延べ件数			1,300	延べ件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					312件	251件	B		312件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
32	介護予防ケアマネジメント事業	2-④	39,644	39,644	ケアマネジメント延べ件数			39,370	ケアマネジメント延べ件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					9,200人	8,005人	B		9,200人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
33	一般介護予防事業	2-④	50,881	50,881	一般介護予防事業の延べ参加者数			48,193	①一般介護予防事業の延べ参加者数 ②介護予防動画配信登録アカウント数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8,500人	9,866人	S		①8,200人 ②400アカウント			

【高齢者支援課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
34	高齢者支援事業	2-④	54,526	54,526	紙オムツ給付延べ利用者数			52,915	紙オムツ給付延べ利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					9,000人	7,764人	B		9,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
35	安心生きがい支援事業	2-④	495	495	チームオレンジの立ち上げ数			379	チームオレンジの立ち上げ数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2か所	3か所	S		3か所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
36	在宅医療・介護連携推進事業	2-④	25,712	25,735	多職種勉強会参加人数			26,552	多職種勉強会参加人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200人	244人	S		200人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
37	認知症総合支援事業	2-④	37,328	37,328	認知症初期集中支援チームの初回訪問(受付日より14日以内)実施率			39,567	認知症初期集中支援チームの初回訪問(受付日より14日以内)実施率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					85.0%	90.0%	S		85.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
38	地域ケア会議推進事業	2-④	27	27	地域ケア会議開催回数			21	地域ケア会議開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					35回	19回	C		20回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
39	審査支払手数料	2-④	1,266	1,266	総合事業の審査支払にかかる件数			1,368	総合事業の審査支払にかかる件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					24,000人	21,278人	B		24,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
40	地域包括支援センター事業	2-④	148,771	148,771	センターでの総合相談個別対応件数			0	センターでの総合相談個別対応件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4,000件	4,194件	S		4,100件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
41	生活支援体制整備事業	2-④	27,858	27,858	地域資源の紹介機関紙の発行(年間)			0	地域資源の紹介機関紙の発行(年間)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	3回	S		3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
42	高齢者在宅福祉支援事業	2-④	―	―	―			21,298	緊急通報装置貸与台数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		400台			

組織名	介護保険課	作成者(評価者)	課長　大川　忍
関係する『総合計画』施策	2－④　高齢者福祉の推進		

組織の概要(主な業務)

介護保険課は、「第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」に基づき、「介護を受けながら安心してできる暮らし」を支えるため、介護保険料の賦課徴収、介護度の認定にかかる訪問調査・審査、介護サービス事業者の指定や運営に係る指導・監査、介護給付の適正化などに取り組んでいます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づき、介護給付の適正化と保険料収納の適正管理に努め、安定した介護保険事業の実施に取り組みました。
・ケアプラン検証を2事業所、ケアプラン点検を8事業所に対して実施するなど介護給付の適正化を図る事業を計画どおり実施しました。
・介護保険料の収納については、従前からの督促・催告と合わせ、令和5年度から65歳到達の2か月前に口座振替を勧奨する案内を発送し、初回の納付漏れを防止したこともあり、現年度の収納率は3月末で98.8%となり、5月末では、目標値(99.3%)を上回る結果となりました。
・介護認定審査会は、目標どおり305回開催しました。令和7年1月からは、試行的にオンライン審査会を開始し、委員が会場まで出向く時間が削減でき効率化が図れました。
・指定をしている介護事業所に対し、集団指導1回、運営指導24回を計画どおり実施し、適正な事業運営ができるよう支援しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・「第11次高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画」策定のための委員会の立ち上げ、各種調査等に取り組みます。
・物価高騰対策として、介護サービス事業所等に対し運営支援交付金による支援を行います。
・事業所が人材確保や職場環境の整備に活用することを目的とし、「高齢者施設・介護事業所に従事する職員の意識調査」を実施します。

【介護保険課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	介護保険事業特別会計繰出金	2-④	2,917,368	2,868,832	ケアプラン点検等事業所数			2,966,965	ケアプラン点検等事業所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10事業所	10事業所	S		10事業所			
2	介護保険暫定サービス利用者負担助成金	2-④	122	122	認定申請後暫定サービスを利用したが、認定調査前に死亡した件数			122	認定調査前に死亡された暫定サービス利用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3件以内	0件	S		0件			
3	社会福祉法人等利用者負担軽減措置事業	2-④	100	50	軽減措置実施法人の割合			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	85.51%	B		―	―	―	
4	ホームヘルプ等利用者負担軽減措置事業	2-④	―	―	―			208	負担軽減措置事業利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		50人			
5	離島等地域特別加算利用者負担軽減措置事業	2-④	90	107	負担軽減措置事業利用者数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30人	55人	S		―	―	―	
6	福祉有償運送運営協議会事業	2-④	188	188	輸送中の事故件数			197	輸送中の事故件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
7	地域介護・福祉空間整備費補助金	2-④	7,730	0	対象事業者への補助制度の周知			―	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―	―	―	
8	公的介護施設等整備費補助金	2-④	7,640	0	施設整備数			4,253	対象事業者への補助制度の周知			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2件	0件	―		100.0%			
9	一般管理経費	2-④	54,856	47,022	介護給付適正化研修会への参加			75,705	「第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」策定の進捗			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	2回	S		―			
10	介護保険事業計画等策定事業	2-④	―	―	―			404	①策定委員会の立ち上げ・開催②在宅実態調査の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		①1回 ②600件			
11	三重県国民健康保険団体連合会負担金	2-④	900	900	第三者行為求償事務研修会への参加回数			900	第三者行為求償事務研修会への参加回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	2回	S		1回			
12	賦課徴収事業	2-④	28,203	27,134	介護保険料の収納率向上(現年度)			32,527	介護保険料の収納率向上(現年度)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					99.3%	99.3%	S		99.3%			
13	認定調査等事業	2-④	118,046	117,084	三重県介護保険審査会への要介護認定不服申し立て件数			123,302	三重県介護保険審査会への要介護認定不服申し立て件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
14	認定審査会運営事業	2-④	78,018	76,311	公平・公正かつ効率的な審査判定の実施回数			77,016	公平・公正かつ効率的な審査判定の実施回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					305回	305回	S		298回			
15	趣旨普及事業	2-④	885	885	①介護保険ハンドブック送付数 ②イベント等における啓発冊子等の配布部数			773	①介護保険ハンドブック送付数 ②イベント等における啓発冊子等の配布部数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①65歳到達者全員 ②1,500部	①65歳到達者全員 ②1,000部	B		①65歳到達者全員 ②1,500部			

【介護保険課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	地域密着型サービス運営委員会事業	2-④	112	112	介護事業所の不正請求件数			112	介護事業所の不正請求件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	介護サービス事業所監査事業	2-④	169	169	指定更新事業所に対する運営指導割合			174	指定更新事業所に対する運営指導割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	介護給付適正化等事業	2-④	5,034	5,034	ケアプラン点検等事業所数			5,274	ケアプラン点検事業所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10事業所	10事業所	S		10事業所			

組織名	保険年金課	作成者(評価者)	課長　服部　隆典
関係する『総合計画』施策	1－①　こども・子育て支援の推進		
	2－①　健康づくりの推進		
	2－④　高齢者福祉の推進		
	2－⑤　障がい福祉の推進		

組織の概要(主な業務)

保険年金課は、病気にかかった時に安心して医療が受けられるよう、また将来の生活の保障である年金が受給できるよう、制度の安定した運営に取り組んでいます。

急速な高齢化、人口減少、働き方の変化、被用者保険への加入等、国民健康保険の加入者は年々減少傾向にあります。被保険者数の減少により、医療給付費は減少傾向でありますが、一人当たりの医療費は増えています。将来にわたって医療保険制度を持続させるためには、医療費適正化の取組が必要であります。そのためにも、特定健康診査の受診率向上やジェネリック医薬品の普及促進等を一層進めていきます。

また、障がい者、一人親家庭等の母又は父及び児童並びにこどもの保健の向上及び福祉の増進を図るために、福祉医療費の助成を行っていきます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・特定健康診査の実施などにより疾病予防や医療費抑制を図り、国民健康保険・後期高齢者医療制度の安定した運営に努めました。
・医療費適正化の取組として、医療費通知・ジェネリック医薬品の差額通知などを行いました。
・国民健康保険税の納税奨励として、納税通知書発送時にチラシを同封するなど、啓発に努めました。
・糖尿病性腎症重症化予防事業は、受診勧奨と保健指導を実施しました。また、慢性腎臓病と生活習慣病に関する市民公開講座を開催し、疾病予防の啓発を行いました。
・後期高齢者医療保険料の口座振替奨励、納期限到来の事前通知による納付のうっかり忘れ防止など、保険料収納率の向上に努めました。
・現行の「国民健康保険被保険者証」及び「後期高齢者医療被保険者証」の新規発行廃止に関して、窓口対応時の事前説明の他、市のホームページや広報紙を利用して周知に努めました。
・国民年金について、日本年金機構と連携し協力体制を強化する中で、資格異動・免除申請・裁定請求などの迅速・適切な処理に努めました。
・こども医療費助成事務に関して、令和6年9月1日診療分から資格審査要件であった保護者の所得制限を撤廃し、高校生世代を含めた全額助成としました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・特定健診については、受診期間の延長や、啓発などの効果で、昨年度より受診率が上がりましたが、目標の44.3%に対し41.1%にとどまりました。
・糖尿病性腎症重症化予防事業における、受診勧奨対象者の受診率については、個別通知をして勧奨を行いましたが、目標の29.1%に対し20.7%にとどまりました。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・国民健康保険運営協議会での協議を踏まえ、国民健康保険の安定的な運営をめざしていきます。
・引き続き、国民年金、後期高齢者医療制度の安定的な運営をめざしていきます。
・かかりつけ医等医療機関と連携し、ナッジ理論を活用しながら受診勧奨を行い、特定健康診査受診率の対前年度比の増に努めます。同じく糖尿病性腎症重症化予防事業についても、対象者が健康的な生活が維持できるように、保健師による保健指導を実施します。
・福祉医療費の適正な助成を行い、障がい者等の福祉の増進に努めます。
・令和8年度から「子ども・子育て支援金制度」が創設されることにより、国民健康保険税からの「子ども・子育て支援金」の徴収が必要となります。そのため、「国民健康保険税率」の改正を行い、システム改修等を含めた準備を行います。

【保険年金課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	国民健康保険事業特別会計繰出金	2-①	1,418,184	1,292,357	特定健診の受診率			1,340,415	特定健診の受診率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					44.3%	41.1%	A		47.4%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	医療費助成事業(障がい者)	2-⑤	521,079	426,079	助成データチェック業務に要する日数			521,488	助成データチェック業務に要する日数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25日/月	25日/月	S		25日/月			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	国民年金事務事業	2-④	5,344	5,335	国民年金制度の周知に向けた「広報まつさか」への記事掲載回数			1,805	国民年金制度の周知に向けた「広報まつさか」への記事掲載回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	11回	S		5回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	後期高齢者医療事業特別会計繰出金	2-④	2,670,632	2,605,551	財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率)			2,752,439	財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					99.5%	99.3%	A		99.5%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	医療費助成事業(こども)	1-①	618,289	614,631	市民意識調査における児童・家庭福祉の推進の満足度			646,007	市民意識調査における児童・家庭福祉の推進の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3.05以上	3.02	A		3.05以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	医療費助成事業(一人親家庭等)	1-①	116,585	116,585	助成データチェック業務に要する日数			116,786	助成データチェック業務に要する日数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25日/月	25日/月	S		25日/月			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	一般管理経費	2-①	121,803	130,714	ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知回数			136,299	ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	2回	S		2回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	国保事業協力交付金	2-①	1,500	1,307	①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数			1,500	①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①1,500件 ②300件	①1,296件 ②312件	A		①1,500件 ②300件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	三重県国民健康保険団体連合会負担金	2-①	3,171	3,085	第三者行為求償事務研修会への参加回数			3,014	第三者行為求償事務研修会への参加回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	5回	S		1回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	賦課徴収事業	2-①	170	137	賦課徴収専門講座・研修の受講人数			159	賦課徴収専門講座・研修の受講人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3人	4人	S		3人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	納税奨励事業	2-①	5,009	5,009	国保税納付における口座振替の割合			5,855	国保税納付における口座振替の割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					対前年比増	-4.50%	E		対前年比増			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	国保運営協議会事業	2-①	361	361	国保運営協議会の開催回数			361	国保運営協議会の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	2回	S		2回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	保健衛生普及事業	2-①	11,640	11,640	①医療費のお知らせ ②ジェネリック医薬品の差額通知			12,052	①医療費のお知らせ ②ジェネリック医薬品の差額通知			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①2回 ②2回	①2回 ②2回	S		①2回 ②2回			

【保険年金課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
14	保健事業負担金	2-①	3,420	3,420	①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数			3,068	①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					①1,500件 ②300件	①1,296件 ②312件	A		①1,500件 ②300件		
15	健康フェスティバル補助金	2-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			2,700	0	健康フェスティバルへの参加者数			2,700	健康フェスティバルへの参加者数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					3,500人	未開催	ー		3,500人		
16	歯と口腔の健康まつり補助金	2-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			900	224	歯と口腔の健康まつりへの参加者数			900	歯と口腔の健康まつりへの参加者数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					2,000人	200人	E		2,000人		
17	疾病予防事業	2-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			250	250	糖尿病重症化予防受診勧奨における受診率			250	糖尿病重症化予防受診勧奨における受診率		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					29.1%	20.7%	B		35.3%		
18	高額医療費資金貸付事業	2-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			2,400	2,400	高額医療費資金貸付申請に対する実施			2,400	高額医療費資金貸付申請に対する実施		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					申請に基づき実施	申請無	ー		申請に基づき実施		
19	出産費資金貸付事業	2-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			1,200	1,200	出産費資金貸付に対する実施			1,200	出産費資金貸付に対する実施		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					申請に基づき実施	申請無	ー		申請に基づき実施		
20	特定健康診査等事業	2-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			176,787	176,172	特定健診の受診率			178,151	特定健診の受診率		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					44.3%	41.1%	A		47.4%		
21	一般管理経費	2-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			25,569	25,782	財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率)			36,550	財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					99.5%	99.3%	A		99.5%		
22	徴収事業	2-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			7,232	7,232	口座振替での納付件数			9,364	口座振替での納付件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					28,000件	37,211件	S		28,000件		

組織名	健康づくり課	作成者(評価者)	課長　田島　栄子
	2－①　健康づくりの推進		
	2－②　地域医療の推進		

組織の概要(主な業務)

令和6年度から「こども家庭センター」が健康センターはるるに設置(母子保健係が移行)したこと、新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種が令和6年3月31日で終了したことから、健康づくり課は、「保健予防係」「地域医療係」の2係となりました。
保健予防係は、予防接種事業、健康増進事業、がん検診、歯と口腔の健康づくり等を担当しています。
地域医療係は、休日・夜間応急診療所、一次二次救急医療体制、地域医療活動等を担当しています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・「第3次松阪市健康づくり計画」推進の1年目として、3つの重点目標の①おいしくバランスよく食べよう②毎日カラダを動かそう+10(プラステン)③自分にあった健康管理をしようの普及啓発のため、医師講演会や生活習慣病予防教室等を実施し、延9,102人の市民の参加がありました。また、松阪市行政チャンネル「いきいき健康情報」のなかで自宅で簡単に取り組める運動を紹介するなど生活習慣の改善に向けたアプローチができました。
・フッ化物洗口事業では、小中学校の継続校への支援を継続しました。また、令和6年度は、フッ化物洗口事業を中学校3校で新たに開始し、県下においても先進的にむし歯予防に取り組みました。
・「松阪地区の一次二次救急医療体制のあり方」について、関係機関とともに調査、協議を行いました。また、三基幹病院に置ける救急搬送患者に対する選定療養費の取組について、広報まつさか・自治会回覧・関係機関へのチラシ配布やポスター掲示等周知を図りました。
・新型コロナウイルスワクチンの定期接種(B類疾病)の開始にあたり、医療機関と連携し接種体制整備を行い、円滑な接種をすすめることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・市がん検診の受診率は低く、その要因として検診に対する関心の低さ、受診に対する優先度の低さなどが考えられ、早期発見、早期治療のためにがん検診に対する正しい知識の普及や受診率向上に向けた新たな取組が必要です。
・「一次二次救急医療体制のあり方」について、引き続き協議が必要です。また、松阪地区の救急医療体制について、市民に分かりやすい周知が必要です。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・「第3次松阪市健康づくり計画」の2年目として、市民、地域、行政がどのような取組が必要であるかをワークショップを開催し、市民と意見交換を行うなど、計画を推進し、全世代を通して重点施策「健康応援プロジェクト」に取り組みます。
・令和7年度新規事業である「がん患者支援」について、市民や各関係機関に周知し、利用につなげます。
・フッ化物洗口事業の小中学校での継続校への支援を充実し、中学校4校で新規に開始し、歯と口腔の健康づくりの推進を図ります。
・「一次二次救急医療体制のあり方」について、継続協議を行い、安定した松阪地区の救急医療体制維持のため、市民に分かりやすい周知や、医療機関の適正受診等の普及啓発を行います。

【健康づくり課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	食生活改善推進員支援事業	2-①	315	315	食生活改善推進員研修会参加者数			253	食生活改善推進員研修会参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					800人	905人	S		800人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	献血推進協議会運営費補助金	2-①	160	160	定期献血における年間献血者数			140	定期献血における年間献血者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					500人	766人	S		500人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	予防接種事業	2-①	533,425	533,127	定期A類接種率			529,273	定期A類接種率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	98.9%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	感染症予防事業	2-①	216	216	新型インフルエンザ対策に係るBCP策定率			327	新型インフルエンザ対策に係るBCP策定率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	予防接種健康被害対策事業	2-①	20,383	20,383	予防接種健康被害発生時の健康被害調査委員会の開催			21,340	予防接種健康被害発生時の健康被害調査委員会の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	食生活改善推進協議会補助金	2-①	362	362	食生活改善推進員地区グループ活動回数(委託事業を除く)			310	食生活改善推進員地区グループ活動回数(委託事業を除く)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					210回	268回	S		210回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	骨髄移植ドナー支援事業助成金	2-①	320	320	ドナー数			210	ドナー数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2人	0人	E		2人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	予防接種県外接種費用助成金	2-①	2,377	4,805	助成件数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					140件	191件	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	おたふくかぜワクチン接種費用助成金	2-①	5,000	3,500	おたふくかぜワクチン1回接種率(3歳児)			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	89.5%	A		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	麻しん及び風しんワクチン接種費用助成金	2-①	210	210	MRワクチン接種率(年中児)			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	97.4%	A		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	風しんワクチン接種費用助成金	2-①	500	300	助成件数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100件	48件	D		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	特別の理由による任意予防接種費用助成金	2-①	279	279	助成件数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20件	1件	E		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	予防接種費用助成金	2-①	―	―	―			11,207	おたふくかぜワクチン1回接種率(3歳児)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		95.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2-①	133,333	166,512	新型コロナワクチン接種率			124,092	新型コロナワクチン接種率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60.0%	13.8%	E		60.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	HPVワクチン任意接種費用助成金	2-①	160	160	助成対象接種回数			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10回	3回	D		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	予防一般経費	2-①	8,337	8,337	松阪保健所管内市町保健衛生業務対策協議会が開催する研修会への保健予防係保健師出席率			9,032	松阪保健所管内市町保健衛生業務対策協議会が開催する研修会への保健予防係保健師出席率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					85.0%	86.3%	S		85.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	健康づくり推進事業	2-①	3,211	3,113	松阪市健康づくり推進協議会の開催			3,513	松阪市健康づくり推進協議会の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			

【健康づくり課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	健康教育事業	2-①	5,633	4,338	健康教育利用者数			5,627	健康教育利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8,000人	10,273人	S		9,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	健康相談事業	2-①	472	472	健康相談利用者数			475	健康相談利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,000人	1,259人	S		1,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	健康診査事業	2-①	341,086	332,285	大腸がん検診受診率(40~69歳)			341,026	大腸がん検診受診率(40~69歳)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					15.0%	8.0%	C		15.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	中学生ピロリ菌除菌治療費助成金	2-①	73	73	助成券発行対象者への受診勧奨率			73	助成券発行対象者への受診勧奨率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
22	松阪市民病院事業会計繰出金	2-①	15,978	15,978	空調設備更新改修の実施			95,750	空調設備更新改修の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
23	健康センター管理運営事業	2-①	31,771	30,568	年間利用延べ人数(休日夜間応急診療所を除く)			31,884	年間利用延べ人数(休日夜間応急診療所を除く)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30,000人以上	34,166人	S		30,000人以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
24	健康センター施設整備事業	2-①	1,243	1,243	施設整備の実施			2,000	施設整備の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
25	三雲保健福祉センター管理運営事業	2-①	18,803	18,803	年間利用延べ人数			19,112	年間利用延べ人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					14,000人	12,726人	A		14,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
26	三雲保健福祉センター施設整備事業	2-①	3,993	3,993	施設整備の実施			4,686	施設整備の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
27	飯高保健センター管理運営事業	2-①	6,402	5,644	年間利用延べ人数			6,839	年間利用延べ人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3,700人	2,866人	B		3,700人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
28	飯高保健センター施設整備事業	2-①	29,359	25,854	施設整備の実施			1,020	施設整備の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
29	健診センター管理運営事業	2-①	800	1,650	健診センター施設修繕の実施			800	健診センター施設修繕の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
30	歯科センター管理運営事業	2-②	5,722	5,722	歯科休日応急診療所開設率			5,703	歯科休日応急診療所開設率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
31	地域医療推進事業	2-②	33,690	32,916	休日夜間応急診療所開設率			33,201	休日夜間応急診療所開設率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
32	病院群輪番制病院運営費補助金	2-②	34,596	34,596	二次救急開設率			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
33	救急病院運営費補助金	2-②	―	―	―			52,506	二次救急開設率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
34	地域医療安定化対策支援補助金	2-②	5,060	5,060	かかりつけ医がある割合			5,060	かかりつけ医がある割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	74.90%	A		80.0%			

【健康づくり課】事務・事業管理シート

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">関係施策</th><th colspan="6">令和6年度</th><th colspan="5">令和7年度</th></tr>
<tr><th>当初予算(千円)</th><th>最終予算(千円)</th><th colspan="4">活動指標</th><th>当初予算(千円)</th><th colspan="4">活動指標</th></tr>
<tr><td rowspan="3">35</td><td rowspan="3">小児救急輪番制運営事業補助金</td><td rowspan="3">2-②</td><td rowspan="3">12,812</td><td rowspan="3">12,812</td><td colspan="4">小児二次救急開設率</td><td rowspan="3">統合</td><td colspan="4">－</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td></tr>
<tr><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>S</td><td></td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">36</td><td rowspan="3">休日夜間応急診療所管理運営事業</td><td rowspan="3">2-②</td><td rowspan="3">126,973</td><td rowspan="3">129,734</td><td colspan="4">休日夜間応急診療所開設率</td><td rowspan="3">126,668</td><td colspan="4">休日夜間応急診療所開設率</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td></tr>
<tr><td>100.0%</td><td>100.0%</td><td>S</td><td></td><td>100.0%</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">37</td><td rowspan="3">飯高診療所事業</td><td rowspan="3">2-②</td><td rowspan="3">2,627</td><td rowspan="3">2,277</td><td colspan="4">飯高診療所開設日数(3施設合計日数)</td><td rowspan="3">2,546</td><td colspan="4">飯高診療所開設日数(3施設合計日数)</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td></tr>
<tr><td>580日</td><td>599日</td><td>S</td><td></td><td>580日</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">38</td><td rowspan="3">飯高診療所医療機器整備事業</td><td rowspan="3">2-②</td><td rowspan="3">16,995</td><td rowspan="3">13,761</td><td colspan="4">医療機器整備の実施</td><td rowspan="3">2,640</td><td colspan="4">医療機器整備の実施</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td></tr>
<tr><td>100.0%</td><td>100%</td><td>S</td><td></td><td>100.0%</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">39</td><td rowspan="3">飯南眼科クリニック事業</td><td rowspan="3">2-②</td><td rowspan="3">21,095</td><td rowspan="3">21,095</td><td colspan="4">飯南眼科クリニック開設日数</td><td rowspan="3">22,279</td><td colspan="4">飯南眼科クリニック開設日数</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td></tr>
<tr><td>228日</td><td>232日</td><td>S</td><td></td><td>226日</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">40</td><td rowspan="3">がん患者支援助成金</td><td rowspan="3">2-①</td><td rowspan="3">－</td><td rowspan="3">－</td><td colspan="4">－</td><td rowspan="3">3,052</td><td colspan="4">がん患者ウィッグ等購入費助成件数</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td></tr>
<tr><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td></td><td>50件</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">41</td><td rowspan="3">医療機関等における物価高騰対策支援事業補助金</td><td rowspan="3">2-②</td><td rowspan="3">－</td><td rowspan="3">－</td><td colspan="4">－</td><td rowspan="3">25,320</td><td colspan="4">申請のあった医療機関等への交付率</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td></td></tr>
<tr><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td></td><td>100.0%</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

組織名	こども未来課	作成者（評価者）	課長　加藤　知孝
関係する『総合計画』施策	1－①　こども・子育て支援の推進		
	1－②　未就学児への支援		

組織の概要（主な業務）

こども未来課は、保育幼稚園係、保育園、幼稚園、認定こども園、小規模保育事業所及びこども手当・給付係で構成し、未就学児の子育て環境に関わる業務に取り組んでいます。
保育幼稚園係では、公私立保育園・公立幼稚園・公立こども園・公立小規模保育事業所の運営及び補助金等、病児・病後児保育・一時預かり事業、子育て支援センターに関すること等を実施しています。
また、こども手当・給付係では、児童手当、児童扶養手当を始めとする各種給付業務及びひとり親に関する支援などを実施しています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」及び令和4年度に定めた閉園基準の適用をした、「阿坂幼稚園」が総園児数15人未満3年目となったことから、住民説明会を開催し令和8年度末の閉園を報告しました。また、総園児数が11人となった「港幼稚園」が総園児数15人未満1年目となったことから、地域及び保護者へ報告しました。「射和幼稚園」及び「つばな保育園」については、地区の住民代表者へ、園児数等の現状説明と今後について説明させていただきました。
・「みなみこども園」については、移転先を南小学校に決定し、移転改築について、「こども園と小学校の保護者」及び「学校運営協議会」へ意見聴取会を開催し令和9年4月に開園を予定していることを説明しました。
・「こども誰でも通園」については、県内唯一の実施自治体であり不安の中の運営でありましたが、登録者68人延べ601人の利用があり、多くの子どもが家庭とは異なる環境での経験を積む機会を提供できました。
・「保育士確保対策事業」では、「保育のおしごと就職・相談会」や「保育園・幼稚園・認定こども園見学バスツアー」等を開催し、保育の仕事に就きたいと考えている学生、潜在保育士など191人の参加がありました。
・保育園を希望する3歳児未満の支援の必要なこどもに対する受け入れについてシステム的な運用をしていく方向性ができました。
・児童手当の制度改正について、オンライン申請を導入したことなどにより給付を円滑に実施することができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・保育園等における離職者を出さないための取組として、年休の取得等、今後より一層働きやすい職場環境づくりに取り組む必要があります。
・保護者の育児負担軽減を図るため、認可外保育施設で使用できる「一時預かり利用チケット」を配布していますが、申込に対して利用が少なく伸び悩んでいることから、アンケートの意見を参考に利用しやすいものに改善していく必要があります。
・食材料費の仕入れ方法を、牛乳に加えて肉についても入札による調達を行ったことで適正な価格の把握には努められましたが、食材料費の抑制には繋がりませんでした。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・支援の必要なこどもに対する受け入れの方法をはじめとして、公立園と私立園それぞれの役割を明確化することで、円滑な運営につなげます。
・献立内容の見直し及び食材料費の調達方法の見直しを引き続き継続しつつ、今後の保育園・幼稚園のあり方を見据えた給食業務の委託化の拡充をしていきます。
・保育園を希望する3歳児未満の支援の必要なこどもに対する受け入れシステムの本格実施を行い、公立と私立の役割分担を明確化していきます。
・「こども誰でも通園」の本格実施を見据えて事業の拡充を図っていきます。
・「養育費の実態調査」「養育費の相談体制の強化・拡充の検討」などによりひとり親の支援対策の強化を図っていきます。

【こども未来課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	児童手当支給事業	1-①	2,620,657	2,624,529	現況届の提出率			3,450,362	現況届の提出率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	98.8%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	交通遺児入進学卒業祝金支給事業	1-①	150	150	広報・窓口等による周知期間			150	広報・窓口等による周知期間			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12か月	12か月	S		12か月			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	子育て支援センター管理運営事業	1-①	34,987	34,987	公立子育て支援センターの延べ年間利用者数			43,424	公立子育て支援センターの延べ年間利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					26,000人	25,037人	A		27,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	私立保育園子育て支援センター運営事業	1-①	19,200	19,200	私立子育て支援センターの延べ年間利用者数			19,200	私立子育て支援センターの延べ年間利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					14,000人	10,977人	B		15,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	育児負担軽減支援事業	1-①	3,000	3,000	申請者数			3,250	申請者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					500人	359人	B		700人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	病児・病後児保育事業	1-①	29,162	29,162	病児・病後児保育施設延べ利用児童数			39,579	病児・病後児保育施設延べ利用児童数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					700人	401人	C		700人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	三世代同居・近居支援補助金	1-①	8,078	8,078	助成世帯数			8,078	助成世帯数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					35世帯	29世帯	B		35世帯			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	一時預かり事業	1-①	14,730	14,730	一時預かり延べ利用人数			14,998	一時預かり延べ利用人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					450人	411人	A		500人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	子育てのための施設等利用給付事業	1-②	49,440	49,440	給付率			49,440	給付率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	こども誰でも通園実施事業	1-①	3,581	3,156	こども誰でも通園利用者の満足度			4,642	こども誰でも通園の実利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	100.0%	S		108人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	保育士確保対策事業	1-①	633	450	募集人数に対する参加人数の割合			490	潜在保育士復職・就職支援研修会の参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	94.0%	S		50人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	保育士修学支援事業	1-②	11,186	11,186	修学資金貸付申込件数			14,440	修学資金貸付申込件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					15件	7件	D		10件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	私立保育園管理運営事業補助金	1-②	184,612	184,712	私立認可保育園の受入れ児童数			207,521	私立認可保育園の受入れ児童数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2,490人	2,403人	A		2,400人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	私立保育園延長保育促進事業補助金	1-②	10,268	14,240	私立認可保育園の延長保育延べ利用児童数			14,240	私立認可保育園の延長保育延べ利用児童数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					14,000人	8,318人	C		10,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	私立保育園運営事業	1-②	2,805,661	2,796,090	私立認可保育園の受入れ児童数			3,202,433	私立認可保育園の受入れ児童数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2,560人	2,403人	A		2,400人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	私立保育園障がい児保育事業補助金	1-②	108,960	108,960	私立認可保育園の障がい児保育実施園数			103,224	私立認可保育園の障がい児保育実施園数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					16園	14園	B		16園			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	私立保育園低年齢児保育推進事業補助金	1-②	12,350	14,625	私立認可保育園の受入れ0～2歳児数			14,625	私立認可保育園の受入れ0～2歳児数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,070人	962人	A		1,100人			

【こども未来課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度					
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
18	私立保育園施設整備費補助金	1-②	350,857	331,658	整備着工園数				ー	ー				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					2件	2件	S			ー	ー	ー		
19	地域型保育給付事業	1-②	42,829	52,400	0～2歳児の受入児童数（10/1時点）				48,823	私立小規模保育事業施設の受入れ児童数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					1,610人	1,494人	A			19人				
20	保育園・認定こども園管理運営事業	1-②	1,189,055	1,177,345	公立保育園・認定こども園の受入れ児童数				1,178,578	公立保育園・認定こども園の受入れ児童数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					1,690人	1,648人	A			1,625人				
21	保育園広域入園事業	1-②	25,583	25,583	申請受付から決定までに要する期間				28,905	申請受付から決定までに要する期間				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					25日以内	25日以内	S			25日以内				
22	保育園・認定こども園施設整備事業	1-②	65,173	47,241	緊急修繕整備率				101,074	緊急修繕整備率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					100.0%	100.0%	S			100.0%				
23	保育園一般経費	1-②	5,953	5,953	公立保育園・認定こども園の受入れ児童数				7,159	公立保育園・認定こども園の受入れ児童数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					1,690人	1,648人	A			1,625人				
24	自立支援教育訓練給付金	1-①	3,800	3,800	対象講座修了者数				4,840	新規申請者数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					8人	8人	S			7人				
25	高等職業訓練給付金	1-①	18,291	18,291	取得資格を活用した就業者数				29,203	新規申請者数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					3人	3人	S			5人				
26	児童扶養手当支給事業	1-①	703,439	703,439	現況届の提出率				730,261	現況届の提出率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					100.0%	97.0%	A			100.0%				
27	ファミリーサポートセンター利用支援補助金	1-①	332	332	延利用件数				332	延利用件数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					300件	199件	C			300件				
28	母子寡婦福祉会活動補助金	1-①	715	715	会員数				415	会員数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					140人	137人	A			140人				
29	母子・父子寡婦福祉資金貸付事務事業	1-①	94	94	申請受付から県担当部署へ送付するまでの日数				93	申請受付から県担当部署へ送付するまでの日数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					5日以内	5日以内	S			5日以内				
30	養育費確保事業	1-①	650	650	養育費を受け取っていない方への勧奨率				650	養育費を受け取っていない方への勧奨率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					100.0%	100.0%	S			100.0%				
31	児童センター管理運営事業	1-①	8,641	8,641	1日あたりの平均利用者数				9,581	1日あたりの平均利用者数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					7人	13人	S			7人				
32	幼稚園管理運営事業	1-②	296,764	289,464	公立幼稚園の受入れ児童数				300,541	公立幼稚園の受入れ児童数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					650人	445人	C			315人				

【こども未来課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度					
33	幼稚園施設整備事業	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			10,305	8,263	緊急修繕整備率				16,186	緊急修繕整備率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					100.0%	100.0%	S			100.0%				
34	公立幼稚園等施設型給付事業	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			862	862	他市町における公定価格の算定回数の確認				867	他市町における公定価格の算定回数の確認				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					1回	1回	S			1回				
35	子育てのための施設等利用給付事業	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			67,620	67,620	給付率				67,620	給付率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					100.0%	100.0%	S			100.0%				
36	私立幼稚園振興補助金	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			300	300	私立幼稚園の内科・歯科検診受診に対する補助率				300	私立幼稚園の内科・歯科検診受診に対する補助率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					100.0%	100.0%	S			100.0%				
37	私立幼稚園等施設型給付事業	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			113,108	113,108	公定価格の算定確認回数				126,340	公定価格の算定確認回数				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					2回	2回	S			2回				
38	実費徴収に係る補足給付事業	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			2,327	2,327	スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間)				1,901	スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間)				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					25日以内	25日以内	S			25日以内				
39	私立幼稚園ワンモアベイビー支援補助金	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			776	776	スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間)				792	スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間)				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					25日以内	25日以内	S			25日以内				
40	副食材料費負担金	1-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標				
			6,600	6,600	スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間)				6,380	スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間)				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					25日以内	25日以内	S			25日以内				
41	みなみこども園移転改築事業費	1-②	当初予算（千円）	最終予算（千円）	活動指標				当初予算（千円）	活動指標				
			―	―	―				13,514	移転改築工事の進捗率				
					目標	実績	評価			目標	実績	評価		
					―	―	―			20.0%				

組織名	こども家庭センター	作成者（評価者）	所長　森本 亜由美
関係する『総合計画』施策	1－①　こども・子育て支援の推進		

組織の概要（主な業務）

こども家庭センターは、母子保健係・こども家庭支援係・子育て応援係の3係で、多様な価値観・考え方を尊重しつつ自分らしく結婚・出産・子育ての希望をかなえられるように「こどもと子育てを総合的に支える」という考えのもと誰もが幸せな人生を送れる松阪市をめざします。

母子保健係は「松阪版ネウボラ」を推進する母子保健事業を実施し、こども家庭支援係は、家庭での困りごとを聞き家庭児童相談、児童虐待相談、女性相談に対応します。子育て応援係は、こども・子育て支援推進、少子化対策として、こどもと子育てをされる方の視点に立って施策を考えます。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・令和6年4月に開設した「こども家庭センター」において、母子保健部門と児童福祉部門で支援するケースの支援方針・方法等を合同ケース会議を通した適正なケース管理をめざしました。
・すくすく応援パッケージとして、伴走型相談支援とたまひよギフトの経済的支援の一体的実施に合わせて、全ての妊娠届出者に対し「子育てガイド&たまひよプラン」を活用したサポートプランの作成を行いました。妊娠届出時、妊婦とともに立てたプランを赤ちゃん訪問時に一緒に確認し、保護者は子育ての見通しを持つことにつながり、必要なサービス、支援につなげることができました。
・新規事業である「児童育成支援拠点事業」「親子関係形成支援事業」を児童家庭支援センター よいほ に委託して実施しました。家庭環境に課題があり、居場所のないこどもとその保護者の安全安心の場所となりました。また、こどもとのかかわりに悩みを抱える保護者を対象に実施したペアレントプログラムでは、課題を抱える保護者がこどもとの関わり方を見直す機会となりました。両事業を通じ、継続的な支援体制が作れました。
・ひとり親家庭への支援情報等を発信する公式LINEアカウントを開設し、定期的な情報発信を行いました。フードバンク愛知、松阪市社会福祉協議会、松阪市の3者連携協定「ひろがる・つながるフードドライブ連携協定」締結に基づき、フードバンク愛知の実施するひとり親家庭への食品支援パントリーの情報発信も実施することができました。ひとり親家庭に対する必要な情報提供のみならず、直接的な物資支援の展開にもつながりました。
・育児前、育児中の男性を対象としたパパ向けの育児・家事講座を実施し、講座終了者を「スマイルパパ」に認定しました。
・第3期子ども・子育て支援事業計画を包含する「松阪市こども計画」の策定を行いました。松阪市のこども施策を一体として作成した計画であり、今後、関係機関での推進を図ります。
・松阪市の少子化対策・子育て支援の推進のため設置されていた「松阪市子ども・子育てプロジェクト庁内推進委員会」は、目的が重なる協議の場があること、新型コロナウイルス感染拡大時から稼働が止まっていたなかでも子育て支援施策の充実が図られたことから、令和6年度末で解散しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・こども家庭センターの設置目的である「児童福祉と母子保健の一体尾的な支援体制の構築」に関しては、途中段階であると考えます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・合同ケース会議で、リスクアセスメントを活用し児童福祉と母子保健が役割分担をしながら、連携してケースの支援・管理ができるよう体制を見直します。
・新規事業の「支援児童等見守り強化事業」を福祉まるごと相談室、松阪市社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら進めます。
・産後ドゥーラ等、新たな地域資源を開拓をし「子育て家庭訪問支援事業」の拡充をめざします。
・多胎児支援内容の拡充を図ります。（ふたごちゃん・みつごちゃんサロンの土曜日開催、多胎児先輩ママ訪問）
・妊婦のための支援給付金におけるスムーズな支給と相談の必要な方への対応ができるよう努めます。妊娠時、妊娠中、産後の切れ目ない支援に加え、妊娠が継続しなかった方も支援給付金となり、相談対応が必要になることも想定されます。グリーフケアへの対応力向上のため、計画的に研修受講していきます。
・パパ向け講座を継続するなかで、『スマイルパパ』認定者の活躍の場やパパの仲間づくりに取り組みます。
・こども施策に関わる各機関で、こどもをまんなかにこどもの権利を尊重した取組をこども計画をもとに進めます。

【こども家庭センター】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	こども家庭センター運営事業	1-①	7,119	6,919	こども家庭センター利用者数			7,985	こども家庭センター利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					18,000人	21,657人	S		18,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	家庭児童相談事業	1-①	14,871	14,592	相談、通告に対する対応率			13,692	相談、通告に対する対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	子育て世帯訪問支援事業	1-①	3,544	3,544	相談に対する対応率			4,723	相談に対する対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	子育て支援ショートステイ事業	1-①	998	1,148	相談に対する対応率			1,147	相談に対する対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	女性保護事業	1-①	69	39	DV相談等に対する対応率			4,126	DV相談等に対する対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	母子生活支援施設入所事業	1-①	14,815	14,681	施設からの自立世帯数			15,983	施設からの自立世帯数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1世帯	0世帯	E		1世帯			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	助産施設入所事業	1-①	3,904	3,904	申請受付から入所決定まで日数			4,000	申請受付から入所決定まで日数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5日以内	5日以内	S		5日以内			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	要保護児童対策事業	1-①	726	698	児童虐待による死亡等重篤件数			835	児童虐待による死亡等重篤件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	児童育成支援拠点事業	1-①	6,433	6,433	相談に対する対応率			12,900	相談に対する対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	親子関係形成支援事業	1-①	300	300	受講者アンケートの満足度			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	100.0%	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	子ども・子育て支援推進事業	1-①	4,469	4,469	子ども・子育て支援事業計画の点検・評価事業数			1,207	子ども・子育て支援事業計画の点検・評価事業数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					118事業	118事業	A		120事業			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	ひとり親家庭支援事業	1-①	482	393	LINE登録者数			436	LINE登録者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100人	672人	S		670人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	児童養護施設退所者等支援給付金	1-①	100	100	制度の周知率			200	制度の周知率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	ファミリーサポートセンター事業	1-①	11,440	11,440	年度末の登録会員数			12,375	年度末の登録会員数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					660人	693人	S		670人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	子育て応援事業者認定・表彰事業	1-①	78	78	認定事業所数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10事業所	9事業所	A		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	地域少子化対策重点推進事業	1-①	982	674	受講者アンケートの満足度			948	受講者アンケートの満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	92.6%	S		90.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	母子保健事業	1-①	132,845	120,845	産後ケア事業の利用者満足度			135,329	産後ケア事業の利用者満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	98.5%	S		95.0%			

【こども家庭センター】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	乳幼児健康診査事業	1-①	29,874	28,874	1歳6か月、3歳児健康診査受診率			31,934	1歳6か月、3歳児健康診査受診率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	98.8%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	まつさかすくすく応援パッケージ事業	1-①	111,395	107,429	たまごギフトひよこギフト支給率			114,712	たまごギフトひよこギフト支給率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	特定不妊治療費助成金	1-①	14,937	11,937	助成件数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					230件	296件	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	特定不妊治療費・不育症治療費助成金	1-①	―	―	―			17,467	特定不妊治療費・不育症治療費助成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
22	妊婦一般健康診査県外受診費助成金	1-①	1,995	1,995	助成件数			1,804	妊婦一般健康診査県外受診費助成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					210件	199件	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
23	未熟児養育医療給付事業	1-①	18,059	18,059	給付対象者利用率			19,145	給付対象者利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
24	不育症治療費助成金	1-①	1,445	1,145	助成件数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					15件	14件	A		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
25	1か月児健康診査受診費助成金	1-①	4,869	4,369	健康診査費用助成率			1,239	健康診査費用助成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
26	産婦健康診査県外受診費助成金	1-①	360	360	助成件数			330	産婦健康診査県外受診費助成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70件	53件	B		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
27	新生児聴覚スクリーニング検査助成事業	1-①	3,166	2,666	検査受検率			2,898	検査受検率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	90.1%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
28	支援対象児童等見守り強化事業	1-①	―	―	―			4,392	延べ訪問世帯数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		15世帯			

【こども家庭センター】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	出前講座「児童虐待について」	1-①			出前講座の実施				出前講座の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	1回	D		2回			

組織名	子ども発達総合支援センター	作成者(評価者)	所長　松田　武己
関係する『総合計画』施策	1－①　こども・子育て支援の推進		

組織の概要(主な業務)

子ども発達総合支援センターは、心身の発達に心配がある又は障がいのある児童及びその家族へ途切れのない支援を提供することを目的に事業展開をしています。主として、心身の発達を促す療育・訓練を提供するとともに、保育園、幼稚園、認定こども園及び小中学校等関係機関との連携・協働によって子育て、就園・就学及び発達に関する相談支援を行っています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・保護者からの満足度調査については、事業別に行った結果、いずれもおおむね高い評価を得ました。
・ペアレントトレーニングについては、6月に外部講師を招聘して研修会を開催し講師となる職員の養成を図るとともに、対象者を退所後1年未満の保護者まで拡大し事業への参加を呼び掛けました。
・福祉避難所の開設準備、開設、避難者受入れ訓練については、10月26日に市防災訓練として実施し、超初動体制について班別の業務を確認しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・保護者からの満足度調査については、地域の他のお子さんと活動する機会を望む声が一定数あったことから新方式の地域スクール事業の開催を周知します。
・ペアレントトレーニングについては、拡大した対象者の参加が得られなかったことから利用児童とは別に4・5歳児童がみえる保護者にも参加を呼びかけることにします。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・欠員補充等の職員の確保については、早期に募集を開始しサービスの提供体制の維持に努めます。
・従前の地域スクール事業については、住民自治協議会との共催方式等により実施することでセンターと地域の結びつきを強化します。
・就学前の巡回相談については、公立園から試行的に心理士(師)に加えて理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の派遣を追加し、多様な相談内容に応えていきます。

【子ども発達総合支援センター】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	子ども発達総合支援センター管理運営事業費	1-①	89,358	89,358	利用者アンケートの満足度			90,714	利用者アンケート満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	93.3%	A		95.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	子ども発達総合支援センター施設整備事業費	1-①	11,363	11,363	利用者アンケートの満足度			13,343	利用者アンケート満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	93.3%	A		95.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	育ちサポート推進事業費	1-①	15,391	15,391	就園・就学及び発達に関する相談についての個別保護者アンケート満足度			17,128	就園・就学及び発達に関する相談についての個別保護者アンケート満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	93.1%	A		95.0%			

組織名	商工政策課	作成者(評価者)	課長　川上　健一郎
関係する『総合計画』施策	3－③　商工業の振興		
	3－⑦　雇用・勤労者福祉の充実		
	5－②　防犯対策と消費者保護の充実		
	6－③　地域公共交通の充実		

組織の概要(主な業務)

商工政策課では、「人口減少対策」として、若い世代の人口流出に歯止めをかけ、市民の皆さまが安全・安心で快適な生活を実現できる基盤を築くため、商工業環境の充実、創業支援、中小企業・小規模事業者の事業力向上支援、魅力的な就労環境の整備や雇用機会の創出と安定、勤労者福祉の向上、安全・安心な消費生活環境の整備、利便性の高い地域公共交通の確保・維持に取り組みます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・ワークセンター松阪において、備品の更新や指定管理者との事業改善の取組によって、利用者数が110,075人となり、前年度より大幅に増加しました。
・松阪市内企業を中心に南三重就活ナビへの登録を周知した結果、登録会員企業数(延べ数)が255社となり、前年度より増加しました。
・就労の広場における職業相談員による職業相談件数が1,037件となり、目標数値を上回りました。また、就職につながった数も51人となり、前年度を上回る結果となりました。
・消費生活センターを周知するため、出前講座などを実施しました。消費生活センターの相談件数は1,599件となり、前年度実績の1,447件を大幅に上回りました。また、解決率は99.7%となり、目標値の99.0%以上を達成しました。
・女性起業家等つながり交流創出事業においては、セミナーの平均参加者数が15.1人となり、目標数値を上回りました。また、未起業者の掘り起こしにつながりました。
・創業に関わる各種事業において、目標を上回る実績を達成し、ハード面・ソフト面の両方で創業者に向けた支援を行いました。
・産業支援センターにおいて、相談件数目標700件に対し、929件と大きく目標を上回り、市内事業所に対する支援を行いました。
・飯高管内の公共交通について、令和6年4月から新しい交通システムであるデマンド交通「かはだ」の運行を開始しました。
・令和4年度に新設した路線バス利用促進事業では、公共交通に親しみ、利用促進を図るため、路線バス運賃無料デーを1回(日曜日)実施しました。その結果、前週比で乗車件数が4.0倍となり、バス乗車の機会創出につながりました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・障がい者雇用率は2.41%となり、前年度の2.28%から大幅に改善しました。しかし、令和6年4月より法定雇用率が2.30%から2.50%へ引き上げられたため、法定雇用率に到達しませんでした。障がい者雇用をしていない事業所だけでなく、障がい者雇用を推進している企業にもさらに雇用促進を働きかけるため、助成制度や支援制度について啓発を進めていきます。
・副業人材活用支援補助金においては、三重県産業支援センターとの連携を通じて事業の周知を行いました。しかし、各企業における人材不足という課題に直面し、副業人材ではなく正規職員を求める企業が多い状況となり、結果として事業の活用はゼロでした。
・住民主体のコミュニティ交通の導入について、令和6年度中に新たな地域からの要望はなく、1地域のままですが、住民自治協議会ごとに公共交通の視点で情報を整理した「地域公共交通カルテ」を作成し、全協議会宛てに配布しました。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・障がい者雇用では、令和6年4月1日より段階的に法定雇用率が引き上げられます。ハローワーク松阪などとこれまで継続してきた事業を引き続き実施し、0人事業所だけでなく、障がい者雇用を推進している企業にも更なる雇用促進を働きかけるため、助成制度や支援制度について啓発を進めていきます。
・新設の松阪市中小企業奨学金返還支援補助金について、市内中小企業が奨学金返還手当等の規則を制定することにより、地元就職やUIJターン就職に繋がります。市内の中小企業へ制度の周知啓発を丁寧に実施し、企業や対象者に制度を利用していただけるよう努めます。
・商店街連合会と連携をとり、創業支援事業や昔の風情を生かした中心市街地の空き家・空き店舗改装事業を活用しつつ、商店街に人流を復活させるための有効な手段を検討していきます。
・ポイント還元キャンペーン事業を通じて家計支援を行い、市内事業所での消費を喚起し、地域経済の活性化を図っていきます。
・産業支援センターと連携し、中小企業や小規模事業者が抱える課題に寄り添い、課題解決に向けた取組を進めていきます。
・山間地域である飯南管内、宇気郷地区において、既存の公共交通を地域特性やニーズに合わせた交通システムに修正するため、地元と協議しながら再編を進めていきます。
・松阪市地域公共交通計画においてリーディング(重点)事業と位置づけされたおでかけ交通の確保について、全住民自治協議会に配布した「地域公共交通カルテ」を基に、地域の要望を聞き取り、新たな地域からコミュニティ交通導入の要望があれば、市として積極的に支援していきます。
・公共交通の利用促進事業として、小中学生を対象に夏休み期間中のコミュニティバス運賃無料キャンペーンを実施します。将来を担う子どもたちに気軽に公共交通に親しむ機会を創出するとともに、継続的な利用促進を図ります。

【商工政策課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	勤労者総合福祉推進事業補助金	3-⑦	27,200	27,200	補助団体登録会員数の維持			27,200	補助団体登録会員数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					±0人	-47人	E		±0人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	勤労者地域づくり活性化事業補助金	3-⑦	600	600	行事等参加者数の維持			600	行事等参加者数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					±0人	0人	S		±0人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	勤労者生活資金貸付金	3-⑦	8,000	8,000	協調融資枠の活用率			8,000	協調融資枠の活用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	93.1%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	高年齢者就業機会確保事業補助金	3-⑦	10,880	10,880	補助団体登録会員数の維持			15,340	補助団体登録会員数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					±0人	40人	S		±0人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	障がい者雇用促進事業	3-⑦	450	450	障がい者雇用・就労促進フォーラム参加者数			489	障がい者雇用・就労促進フォーラム参加企業数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100人	74人	B		10社			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	南三重地域若者地元定着推進事業	3-⑦	1,750	1,750	マッチング支援サイト事業所掲載件数(延べ)			1,750	マッチング支援サイト新規会員登録求職者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					260社	255社	A		+50人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	労働一般経費	3-⑦	4,216	4,216	職業相談員による職業相談件数			4,563	職業相談員による職業相談件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					840件	1,037件	S		1,020件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	ワークセンター松阪管理運営事業	3-⑦	30,245	30,245	ワークセンター松阪利用者数			30,954	ワークセンター松阪利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10万人	110,075人	S		10万人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	ワークセンター松阪施設整備事業	3-⑦	3,918	3,037	ワークセンター松阪利用者数			43,215	ワークセンター松阪利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10万人	110,075人	S		10万人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	企業内人権啓発事業	3-⑦	117	117	事業所に対する人権啓発実施率(雇用保険被保険者数30人以上の事業所)			117	事業所に対する人権啓発実施率(雇用保険被保険者数30人以上の事業所)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	消費生活関連事業	5-②	8,530	8,530	消費生活出前講座開催回数			9,101	消費生活センター相談件数(件)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					24回	13回	C		1,450件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	商工一般経費	3-⑦	811	811	部局長シート「施策3-⑦」評価			1,508	部局長シート「施策3-⑦」評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆☆	S		☆☆☆			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	小規模事業資金保証料補給金	3-③	3,500	3,500	周知する媒体数			2,500	周知する媒体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3媒体以上	3媒体以上	S		3媒体以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	商店街活性化総合事業補助金	3-③	5,315	5,315	営業店舗数の維持(R3～)			5,300	営業店舗数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					±0事業所	-14	E		±0事業所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	商工団体補助金	3-③	28,500	28,500	会員数の維持			28,500	会員数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					±0事業所	-19	E		±0事業所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	創業も充実！松阪市店舗魅力アップ事業	3-③	10,000	10,000	補助申請件数(創業者)			15,000	補助申請件数(創業者)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10件	17件	S		10件			

【商工政策課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	創業・再挑戦アシスト資金保証料補給金(R4⁻)	3-③	5,000	5,000	創業・再挑戦アシスト資金融資制度利用件数(R4⁻)			4,500	創業・再挑戦アシスト資金融資制度利用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					35件	45件	S		35件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	女性起業家等のつながり交流創出事業	3-③	1,914	1,914	講座参加人数			2,258	講座参加人数(平均)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					15人	15人	S		15人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	豪商のまち松阪起業家支援事業	3-③	4,200	4,200	相談支援から創業につながった人数(R3⁻)			4,200	相談支援から創業につながった人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30人	33人	S		30人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	産業支援センター運営事業	3-③	35,949	35,949	相談件数			32,286	相談件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					700件	929件	S		800件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	生活支援！松阪みんなの商品券事業	3-③	499,823	471,502	商品券販売率			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	82.2%	A		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
22	商工振興一般経費	3-③	964	964	部局長シート「施策3-③」評価			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆☆	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
23	中心市街地活性化複合施設運営事業	3-③	1,020	1,020	モニタリング回数			1,147	モニタリング回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年12回	年12回	S		年12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
24	中心市街地活性化複合施設整備事業	3-③	3,207	3,207	モニタリング回数			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年12回	年12回	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
25	副業人材活用支援補助金	3-③	1,116	1,116	事業活用社数			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5社	0社	E		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
26	産業振興センター管理運営事業	3-③	19,657	19,657	年間利用率			19,133	年間利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					35.0%	39.5%	S		35.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
27	地域公共交通システム事業	6-③	228,920	228,920	住民1人あたりの公共交通年間利用回数			238,287	住民1人あたりの公共交通年間利用回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8.00回	7.50回	A		8.00回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
28	コミュニティ交通運行事業補助金	6-③	500	500	補助金交付団体数			500	補助金交付団体数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2団体	1団体	C		2団体			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
29	路線バス利用促進事業	6-③	2,032	2,032	路線バスの利用者の前週同曜日比			廃止	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2.4倍	4.0倍	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
30	昔の風情を生かした中心市街地の空家・空店舗改修補助金	3-③	―	―	―			14,233	補助申請件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		14件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
31	公共交通支援出資事業	6-③	―	―	―			302,706	株式購入			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		―			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
32	中小企業奨学金返還支援補助金	3-⑦	―	―	―			2,240	補助金を利用した対象者の数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		15人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
33	生活支援！最大15%ポイント還元キャンペーン事業	3-③	―	―	―			241.002	市内事業所決済金額			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		1,320,000千円			

組織名	観光交流課	作成者（評価者）	課長　小泉　恵美
関係する『総合計画』施策	3－⑤　観光・交流の振興		

組織の概要（主な業務）

観光交流課は、松阪市の魅力を国内だけでなく海外へと発信し、観光誘客の拡大に取り組むとともに、受け入れ環境の整備を行い、国内外の都市間でのヒト・物・情報の交流を推進しています。
令和7年3月策定の「松阪市観光振興ビジョン」で定めた、市がめざすべき未来像実現のために、観光客の周遊性・滞在性を高め、地域経済が活性化する取組を行います。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・国際交流員（CIR）が交代する年度でしたが、インバウンド受入体制整備にむけて、メニュー翻訳や語学研修等CIR派遣が活用され、 利用者からは満足の評価を得ています。
・総合案内を担う施設である道の駅飯高駅や豪商のまち松阪観光交流センターへの入館者数は増加してきています。
また、まつりの入込客数も増加傾向にあることから、松阪市を訪れる人は増えていると考えられます。
・観光客の少ない冬に開催したイベントは開催期間を縮小したことから来場者数は減少となっていますが定着してきています。
取り組んだコンテンツを活かし、事業所や施設と連携して、松阪市ならではの企画として継続して取り組んでいきます。
・定住自立圏において、3町と連携してスタンプラリーなどの事業に取り組むことで、入込客数増加につながっています。
・SNSを活用した情報発信として、観光情報officialインスタグラムアカウント「visit_matsusaka」と英語インスタグラムアカウント「discover_matsusaka」において、旬な情報発信に取り組み、フォロワー数を獲得に努めました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・個々の施設への入館者数に減少が見られます。
イベントと連携し夜間開館等に取り組んでいるが開催期間等で入館者数が増減します。
各施設本来の魅力ある情報の発信に心がけ、安定した来館につなげていきます。
・SNSでの情報発信に取り組んだことからフォロワーは増加していますが、ホームページのビュー数は減少しています。
スポット情報の発信だけでなく、周遊するモデルコースの紹介など、ニーズに沿った情報発信に取り組んでいきます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

観光プロモーションやWeb・SNS等を活用した効果的な観光施策の展開を行い、観光にかかる各種データの収集・分析を進め、旅行者ニーズにあった効果的な情報発信を行います。
また、松阪市を旅の目的地として選択してもらえるよう、情報発信やイベント実施に取り組み、令和7年3月に策定した「松阪市観光振興ビジョン」で定めた市がめざすべき未来像『行きたくなるまち「まつさか」』の実現に取り組みます。
令和7年度は近隣県からの誘客にむけ、関西圏に特化し、情報を発信し、イベントに参加していきます。

【観光交流課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
1	国際交流員(CIR)活用事業	3-⑤	4,918	4,918	国際交流員派遣事業の実績				5,097	国際交流員派遣事業の実績			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					12件	12件	S			12件			
2	観光客誘致事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			20,826	20,826	観光プロモーションサイトページビュー数				19,610	観光プロモーションサイトページビュー数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					430,000ビュー	330,069ビュー	B			430,000ビュー			
3	観光協会運営費補助金	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			13,000	13,000	職員雇用に係る補助割合				13,000	職員雇用に係る補助割合			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					50.0%	49.98%	S			50.0%			
4	観光協会事業補助金	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			20,326	20,326	観光協会主催4大祭り(初午、宣長、祇園、氏郷)の参加人数				21,100	観光協会主催4大祭り(初午、宣長、祇園、氏郷)の参加人数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					320,000人	410,000人	S			320,000人			
5	都市間交流事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			5,501	4,490	観光・交流事業の実施回数				7,194	観光・交流事業の実施回数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					15事業	16事業	S			16事業			
6	インバウンドプロモーション事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			4,552	3,433	観光情報多言語サイトページビュー数				6,166	観光情報多言語サイトページビュー数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					10,000ビュー	14, 419ビュー	S			16,000ビュー			
7	豪商のまち松阪プロモーション事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			9,000	9,000	プロモーション期間中施設利用者数(10施設)(対前年比)				終了	―			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					110.0%	84.0%	B			―	―	―	
8	茶倉駅施設管理事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			8,305	8,305	施設利用者数(対前年比)				7,541	施設利用者数(対前年比)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					105.0%	100.0%	A			105.0%			
9	観光施設管理運営事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			6,397	6,397	管理施設の観光レクリエーション入込客数(松阪公園、伊勢山上、大石不動院、松名瀬海水浴場)(対前年比)				7,112	管理施設の観光レクリエーション入込客数(松阪公園、伊勢山上、大石不動院、松名瀬海水浴場)(対前年比)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					105.0%	101.90%	A			105.0%			
10	観光情報センター管理運営事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			10,937	10,937	施設利用者数(対前年比)				11,606	施設利用者数(対前年比)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					110.0%	97.4%	B			105.0%			
11	飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			1,658	1,658	施設利用者数(対前年比)				1,122	施設活用に向けた事務手続進捗率			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					110.0%	117.9%	S			100.0%			
12	飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			1,501	1,959	施設利用者数(対前年比)				1,501	施設利用者数(対前年比)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					110.0%	84.2%	B			110.0%			
13	香肌峡健康の森運動公園施設管理事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			500	500	施設利用者数(対前年比)				500	施設利用者数(対前年比)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					110.0%	97.3%	A			110.0%			
14	指定管理者等選定委員会事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			104	104	審査選定委員会　開催回数(1施設あたり)				127	審査選定委員会　開催回数(1施設あたり)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					年2回	年2回	S			年2回			
15	魅力ある観光地づくり支援事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			10,904	10,904	まつさか交流物産館来館者数(対前年比)				統合	―			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					101.0%	110.6%	S			―	―	―	
16	飯高総合案内施設管理事業	3-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			1,811	2,073	施設利用者数(対前年比)				1,811	施設利用者数(対前年比)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					110.0%	151.8%	S			110.0%			

【観光交流課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	定住自立圏観光連携事業	3-⑤	2,100	2,100	定住自立圏域の観光レクリエーション入込客数			2,100	定住自立圏域の観光レクリエーション入込客数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3,500,000人	3,726,103人	S		3,600,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	豪商のまち松阪観光・文化施設管理事業	3-⑤	75,000	75,000	4施設の入館者数(豪商、長谷川、小津、原田)の維持(対前年比)(R3⁻)			73,400	4施設の入館者数(豪商、長谷川、小津、原田)の維持(対前年比)(R3⁻)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					110.0%	94.9%	A		110.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	まつさか地域資源魅力発信事業	3-⑤	3,235	3,235	観光インフォメーションサイト「ワクワク」サイトページビュー数(R3⁻)			14,011	観光インフォメーションサイト「ワクワク松阪」サイトページビュー数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					330,000ビュー	215,498ビュー	C		330,000ビュー			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	氏郷が築いた松坂城魅力発信事業	3-⑤	2,363	2,363	お城エキスポ等でのアンケート取得数			2,431	お城エキスポ等でのアンケート取得数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2,200件	2,752件	S		2,100件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	松阪観光客支援・宿泊施設飲食店応援クーポン事業	3-⑤	10,000	10,000	クーポン配布枚数執行率			終了	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	96.5%	A		ー	ー	ー	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
22	アフターコロナを見据えたシティプロモーション事業	3-⑤	33	33	専用電子雑誌のページビュー数			終了	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					40,000ビュー	1,582ビュー	E		ー	ー	ー	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
23	松阪冬の滞在型コンテンツ磨き上げ事業	3-⑤	21,000	8,500	イベント参加人数			終了	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5,000人	4,300人	A		ー	ー	ー	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
24	観光一般経費	3-⑤	3,756	3,756	部局長実行宣言に掲げる観光交流課の宣言に対する評価(R3～)			4,427	部局長実行宣言に掲げる観光交流課の宣言に対する評価(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆☆☆	☆☆☆	C		☆☆☆☆☆			

組織名	地域ブランド課	作成者（評価者）	地域ブランド担当参事　中林　正明
関係する『総合計画』施策	3－⑥　松阪牛・地域ブランドの振興		

組織の概要（主な業務）

特産品の販路拡大のほか、ブランド大使の情報発信とマスコットキャラクター「ちゃちゃも」により市のPRを図っています。また、ふるさと応援寄附金を通じて特産品PRや誘客、地域活性化、財源確保に努めています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・ふるさと納税については、Web広告によるPRをはじめ、全国的に人気の高い日常生活品や、精肉の部位、容量、セット商品等の拡充に取り組んだ結果、ポータルサイト内の牛肉、すき焼きカテゴリーで人気第1位を獲得し、他の返礼品へも相乗効果が得られました。さらにはサムネイル画像の改修を重点的に進め、申し込みサイト内での閲覧率が向上したことなどが大きな要因となり、寄附額は目標額を上回り、全国の多くの方々から応援していただくことが出来ました。（寄附額24億7，500万円）
・地域特産品の販路拡大、推進については、本市と地域活性化に関する連携協定を結ぶ首都圏の民間事業者の協力を得て、飲食店等への利用提案を行うなどにより、新たに39か所の販路拡大につなげることができました。また、地産地消の推進については、松阪茶生産農家と連携した新茶イベントの開催をはじめ、まつさか食のまちアドバイザー村林新吾氏による特産品を使用した料理教室を行うなど、地域特産品のPRに努めることが出来ました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・マスコットキャラクターちゃちゃもの活用については、改めて市民に愛着を持ってもらえるよう、松阪農業公園ベルファームにおけるちゃちゃもイベントの開催や、オンライン貸出申請の周知などによりPRに務めましたが目標値には届きませんでした。令和7年度は市制20周年記念イベント等の開催など、着ぐるみだけでなくイラストのさらなる活用が期待できることから、市部局内だけでなく、おみやげ品等のパッケージ利用も含め、民間事業者（ふるさと納税返礼品事業者等）への利用提案を行うことで、松阪市のイメージアップと認知度向上につなげていきます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・ふるさと納税の推進については、返礼品の魅力を高めるためのサムネイル画像の改修や寄附額の増加が予想される9月と12月に合わせたWeb広告の配信に取り組みます。また、本市への注目度を高めるため、ポータルサイトを通じた使途実績の特集ページの拡充やメルマガ配信を活用した返礼品のPR強化を図り、さらなるファン獲得をめざしていきます。
・地域特産品の販路拡大については、本市と関わりのある民間事業者等の協力を得るなどにより、関西圏や関東圏における飲食店等への利用提案を推進します。また市内においてもまつさか食のまちアドバイザーによる料理教室の開催や松阪茶関係者と連携した新茶イベントの開催等により、地産地消の推進に取り組んでいきます。

【地域ブランド課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	ふるさと特産品PR事業	3-⑥	771,367	1,251,094	応援寄附金額			779,993	応援寄附金額			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20億円	24億円	S		21億円			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	地域特産品ブランド戦略事業	3-⑥	7,947	7,207	松阪ブランドの販路確立			7,858	松阪ブランドの販路確立			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25か所	39か所	S		25か所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	ブランド大使・マスコットキャラクター活用事業	3-⑥	2,115	1,663	マスコットキャラクターのデザイン・着ぐるみの利用件数			1,829	マスコットキャラクターのデザイン・着ぐるみの利用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					180回	154回	B		185回			

組織名	競輪事業課	作成者（評価者）	競輪事業担当参事　福島　慎也
関係する『総合計画』施策	7－③　健全な財政運営		

組織の概要（主な業務）

競輪事業課では、自転車競技法に基づき、自転車その他の機械振興や体育事業などの公益増進、市の自主財源確保を目的に、自転車競走を行っています。ファンや地域に愛される競輪場をめざすとともに、モーニングからミッドナイトまで全ての時間帯で開催を実施することにより、全国のネットユーザーの顧客の幅を広げており、更なる収益増加を図っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・競輪事業として、前年度収益から6億5千万円を一般会計へ繰り出しすることができたこと、競輪事業財政調整基金に約3億円を積み立てることができたことで地方財政の健全化に寄与及び競輪事業運営の安定・健全化を図ることができました。
・競輪開催では、モーニングからミッドナイトまで、全ての時間帯で競輪レースを提供することができ、あらゆる世代の満足度向上に繋げることができました。
・イベント及び自転車の振興では、ファンや地域に愛される競輪場をめざすこと、自転車競技者の拡大及び振興を目的として、リンリン朝市を毎月実施しました。併せて補助輪外し教室、自転車乗り方教室を行うことができました。
・競輪選手及び自転車競技者の育成支援（主にフィジカル強化）のための「松阪サイクルトレーニングセンター」を予定どおり完成することができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・入場者数について、ネット視聴・ネット投票へのシフトなどがあり減少傾向ではありますが、レースの迫力や魅力は競輪場でしかあじわえない醍醐味であり見ていただきたいので、イベントを含む施策を検討し入場者を増やす改善に取り組みます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・一般会計への繰り出し、及び競輪場施設等整備基金への積み立てを計画的に行えるよう、来場者並びに全国のネットユーザーに対し、モーニングからミッドナイトまで全ての時間帯で競輪開催を提供し、収益の増加・安定的な経営に努めます。
・補助輪外し教室、自転車乗り方教室、サイクルクラブ等を通じて自転車の普及・振興、競技者の拡大を図ります。
・令和7年度から新たに管理する松阪スポーツセンター（宿舎）及び松阪サイクルトレーニングセンター（ジム）について円滑な運営と積極的な活用を行います。

【競輪事業課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	総務一般経費	7-③	10,307	11,102	収支差額の財政調整基金積立金額			13,555	収支差額の財政調整基金積立金額			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1億円	2億9千万円	S		1億円			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	普通競輪開催事業	7-③	21,669,253	26,248,055	ミッドナイト競輪の開催			21,977,400	ミッドナイト競輪の開催			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8節24日	8節24日	S		8節24日			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	日本競輪選手会三重支部補助金	7-③	2,240	2,240	三重支部所属選手訓練研修会			2,240	三重支部所属選手訓練研修会			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6回	6回	S		6回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	スポーツ振興研修センター補助金	7-③	43,585	43,585	一般宿泊者数			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					450人	931人	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	記念競輪開催事業	7-③	5,195,055	5,923,484	記念競輪売上金額			5,615,625	記念競輪売上金額			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50億円	64億	S		50億円			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	包括業務委託事業	7-③	403,480	403,480	包括受託事業者へのモニタリング			1,019,850	包括受託事業者へのモニタリング			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	一般会計繰出金	7-③	―	650,000	一般会計への繰出金			―	一般会計への繰出金			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1億円	6億5千万円	S		1億円			

組織名	企業誘致連携課	作成者(評価者)	課長　三谷　良樹
関係する『総合計画』施策	1－①　こども・子育て支援の推進		
	3－④　企業誘致・連携の推進		

組織の概要(主な業務)

市内への新規企業進出や市内企業の工場拡張等の再投資に対し、用地確保、行政手続き、操業後のフォローアップをワンストップ サービスで提供します。
市内企業の経営力向上のため、マーケティングから販売促進に至るまで切れ目なく支援します。
成長産業や企業重要拠点等の誘致、企業間・産学官金連携を推進します。
都市圏での企業誘致ネットワークを拡充します。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・市内への本社移転や新規事業の設備投資に関して、1件の立地協定を締結しました。
・新商品開発や受発注・人材マッチング、販路開拓に向けて、10件の企業間連携及び産学官連携を支援しました。
・東京及び大阪において「松阪市産業経済人交流会」を開催し、延べ83名の参加がありました。
・新たな産業用地整備(ウッドピア松阪北地区)について、造成設計が完了したことから、造成工事に着手し、今後の企業誘致活動の進展に寄与しました。
・中小企業のカーボンニュートラル実現に向けて、省エネ診断や省エネ機器への更新を促進(27件)しました。
・市内事業者の子育て応援の機運を醸成するため、「企業支援くるみん認定取得奨励金」により、仕事と子育ての両立支援に取り組む事業者(2件)を支援しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・令和6年度は企業立地件数が目標を下回りましたが、令和7年度には新たな産業用地が整備されることから、企業訪問等、企業誘致活動に注力する必要があります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・企業誘致活動のベースとなる企業等への訪問やリモート面談を積極的に行います。
　企業等訪問延べ件数:400件
・ハンズオン支援対象事業の効果的な実施のため、他企業・支援機関・大学等との連携を図ります。
　ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数:25件
・中小企業のカーボンニュートラル実現に向けた取組を支援します。
　省エネ最適化診断申込件数:10件
・中小企業の子育て支援を加速する取組を支援します。
　一般事業主行動計画の策定事業者数:200社(累計)
・松阪市未来につなぐ森林管理J-クレジットを販売します。
　販売量:2,000t-co2

【企業誘致連携課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	企業誘致推進事業	3-④	13,460	9,910	企業等訪問延べ件数			13,447	企業等訪問延べ件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					400社	461社	S		400社			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	企業立地促進奨励金	3-④	55,000	40,000	企業等訪問延べ件数			55,000	企業等訪問延べ件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					400社	461社	S		400社			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	産業経済人交流事業	3-④	3,474	1,837	交流会参加者数			3,444	交流会参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100人	83人	B		100人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	中小企業伴走型支援事業	3-④	5,000	5,000	ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数			5,000	ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25社	16社	C		25社			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	中小企業販路拡大支援補助金	3-④	2,500	2,500	ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数			2,500	ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25社	16社	C		25社			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	産業用地整備事業	3-④	200,000	182,800	期末の事業進捗率			293,000	期末の事業進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	80.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	中小企業カーボンニュートラル推進事業	3-④	24,500	24,500	省エネ診断等受診企業数			24,500	省エネ診断等受診企業数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10社	21社	S		10社			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	企業支援くるみん認定取得奨励金	1-①	1,764	900	一般事業主行動計画の策定事業者数(累計)			1,259	一般事業主行動計画の策定事業者数(累計)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200社	187社	A		210社			

組織名	農水振興課	作成者（評価者）	農水振興担当参事　西口　敏弘
関係する『総合計画』施策	3－①　農業・水産業の振興		
	3－⑥　松阪牛・地域ブランドの振興		

組織の概要（主な業務）

農業の振興のうち平坦地域においては、担い手農家を中心とした水稲、小麦、大豆の2年3作の作付けを推進し、中山間地域では獣害に強い作物の作付振興に加え、農地の保全や防護柵の設置などの支援に取り組んでいます。
水産業については、漁業拠点となる猟師漁港の長寿命化に係る改修工事を行うとともに、アサリ、ガザミなどの水産資源の増殖に向けた支援に取り組んでいます。
松阪牛の振興については、世界のブランド「松阪牛」のPRを国内外で行うとともに、「特産松阪牛」の肥育農家に対する支援に取り組んでいます。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・有害鳥獣対策について、猟友会の協力のもと捕獲によって有害鳥獣を減らし、被害農地を守るための防護柵への支援を行うなど、農作物の被害軽減に取り組みました。
・第73回松阪肉牛共進会を中心とした「松阪牛まつり」を開催し、特産松阪牛など地域特産品のPRを行い、来場者数40,000人で目標を超える実績を達成することができました。
・特産松阪牛の素牛（兵庫県産子牛）の導入について、特産松阪牛肥育頭数の維持・増頭などをめざし、市内肥育農家に96頭の導入支援を行い、その生産振興に取り組みました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・茶園耕作放棄地の再生について、取り組まれる方が少なく、目標の面積を達成することができませんでした。今後も耕作放棄地の抑制を図るため、関係機関と連携して事業内容を広く周知するなど、目標達成に向けて取り組みます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・地域農業の活性化と持続可能な農業の実現を図るため、各地域や担い手とともに将来を見据えた「地域計画」の作成に努めます。
・認定農業者など担い手に対して、規模拡大や経営安定化に必要な農業用機械・施設の導入について支援を行い、農地集積率の向上を図ります。
・特産松阪牛の生産振興を図るため、市内肥育農家への素牛導入支援を継続して行い、経営の安定化と特産松阪牛の増頭を図ります。また、引き続き松阪牛の魅力を情報発信するとともに、松阪牛独自のシステム「松阪牛個体識別管理システム」の周知に努め、システムの認知度向上をめざします。

【農水振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	松阪牛まつり事業	3-⑥	23,100	23,100	来場者数			23,278	来場者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					35,000人	40,000人	S		35,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	農業総務一般経費	3-①	3,838	3,838	部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価			5,400	部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆	C		S			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	茶園耕作放棄地再生補助金	3-①	850	200	耕作放棄地再生面積			500	耕作放棄地再生面積			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1.7ha	0.2ha	E		3,000㎡			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	有害鳥獣対策事業	3-①	6,315	6,315	鳥獣による農作物被害減少額(前年比)			7,861	鳥獣による農作物被害減少額(前年比)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200千円	−1,488千円	E		200千円			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	有害鳥獣捕獲補助金	3-①	28,030	28,030	鳥獣による農作物被害減少額(前年比)			32,430	鳥獣による農作物被害減少額(前年比)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200千円	−1,488千円	E		200千円			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	有害鳥獣防護柵設置補助金	3-①	3,300	3,300	鳥獣による農作物被害減少額(前年比)			3,500	鳥獣による農作物被害減少額(前年比)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200千円	−1,488千円	E		200千円			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	農業後継者対策補助金	3-①	150	90	「松阪地区農村青少年クラブ連絡協議会」のうち市内会員数(R3⁻)			150	「松阪地区農村青少年クラブ連絡協議会」のうち市内会員数(R3⁻)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5名	5名	S		5名			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	特産振興補助金	3-①	2,200	2,200	特産振興作物のうち産地強化計画作物の作付面積(なばな、モロヘイヤ、ブロッコリー)(R3⁻)			2,200	特産振興作物のうち産地強化計画作物の作付面積(なばな、モロヘイヤ、ブロッコリー)(R3⁻)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,780a	3,100a	S		1,800a			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	茶防霜施設設置補助金	3-⑥	630	630	関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率(R3～)			630	関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30.0%	38.7%	S		30.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	松阪茶PR推進事業	3-①	1,717	1,717	関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率(R3～)			1,720	関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30.0%	38.7%	S		30.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	アライグマ対策事業	3-①	1,162	2,362	捕獲頭数			統合	−			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					200頭	672頭	S		−	−	−	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	農業振興一般経費	3-①	3,447	3,011	部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価			統合	−			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆	C		−	−	−	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	農山村振興一般経費	3-①	300	300	部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価			統合	−			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆	C		−	−	−	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	松阪牛発祥の地肥育手法伝承事業	3-①	500	500	取材等対応回数			1,000	取材等対応回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		24回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	松阪肉牛協会補助金	3-⑥	350	350	枝肉共進会の優秀牛(A-5、B-5)出品率(R3⁻)			350	枝肉共進会の優秀牛(A-5、B-5)出品率(R3⁻)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	85.4%	A		90.0%			

【農水振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	松阪肉牛共進会出品奨励事業補助金	3-⑥	800	800	市内農家の共進会本選出品頭数(R3～)			800	市内農家の共進会本選出品頭数(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					7頭	11頭	S		7頭			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	特産松阪牛出荷奨励事業補助金	3-⑥	4,000	4,000	特産松阪牛出荷頭数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50頭	72頭	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	松阪牛PR推進事業	3-⑥	4,000	4,000	松阪牛個体識別管理システムの認知度			4,000	松阪牛個体識別管理システムの認知度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					75.0%	63.6%	B		75.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	松阪食肉公社食の安全安心対策支援事業負担金	3-⑥	18,820	18,820	「公社のあり方」について、三重県、関係市町との協議回数			18,428	「公社のあり方」について、三重県、関係市町との協議回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	5回	S		3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	特産松阪牛素牛導入促進事業補助金	3-⑥	12,000	12,000	導入頭数(R6～)			15,000	導入頭数(R6～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60頭	96頭	S		75頭			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	畜産振興一般経費	3-⑥	722	722	部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価(R4～)			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆☆☆	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
22	経営所得安定対策直接支払推進事業	3-①	16,636	16,636	水田への高収益作物(野菜、花き等)の作付面積(R3～)			18,761	水田への高収益作物(野菜、花き等)の作付面積(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					67.6ha	49.68ha	B		70.0ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
23	水田活用推進対策補助金	3-①	43,750	43,750	事業対象となった麦・大豆の作付け面積の拡大率(対前年比)			43,750	事業対象となった麦・大豆の作付け面積の拡大率(対前年比)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2.8%	2.4%	B		2.8%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
24	中山間地域水田活用推進対策補助金	3-①	2,275	2,275	奨励作物などの作付面積(R3～)			2,275	奨励作物などの作付面積(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,100a	1,339a	S		1,100a			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
25	ジャンボタニシ防除対策補助金	3-①	5,890	5,890	ジャンボタニシの被害発生ほ場面積(R5～)			4,950	ジャンボタニシの被害発生ほ場面積(R5～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					130a	377a	E		120a			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
26	環境保全型農業直接支払交付金	3-①	11,046	5,699	市内の「みえの安心食材」実認定経営体数(R4～)			9,636	市内の「みえの安心食材」実認定経営体数(R4～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					71経営体	63経営体	B		73経営体			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
27	農業経営基盤強化促進事業	3-①	3,294	3,294	認定農業者等担い手農家への農地集積率(R3～)			526	認定農業者等担い手農家への農地集積率(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					61.4%	56.8%	A		62.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
28	中山間地域等直接支払事業交付金	3-①	16,167	16,167	本事業の加入集落数			16,167	本事業の加入集落数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					21集落	21集落	S		21集落			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
29	農業経営基盤強化資金等利子補給促進補助金	3-①	3,210	3,210	本事業の新規活用件数			3,210	本事業の新規活用件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3件	7件	S		4件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
30	新規就農者総合支援補助金	3-①	20,550	18,750	青年就農計画認定経営体数(R3～)			23,550	青年就農計画認定経営体数(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8経営体	7経営体	B		8経営体			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
31	機構集積協力補助金	3-①	3,810	0	農地中間管理機構を活用した年間新規集積面積(R3～)			16,240	農地中間管理機構を活用した年間新規集積面積(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20ha	―	―		10ha			

【農水振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
32	がんばる認定農業者等支援補助金	3-①	5,500	5,500	成果目標(規模拡大など)の達成度(R3～)			5,500	成果目標(規模拡大など)の達成度(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
33	担い手確保・経営強化支援補助金	3-①	32,000	4,227	成果目標(規模拡大など)の達成度(R3～)			32,000	成果目標(規模拡大など)の達成度(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
34	ベルファーム施設管理事業	3-①	47,830	47,830	施設の入園者数(R6～)			47,510	施設の入園者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					550,000人	526,497人	A		551,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
35	ベルファーム施設整備事業	3-①	20,311	22,208	施設の入園者数(R6～)			10,290	施設の入園者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					550,000人	526,497人	A		551,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
36	飯南茶業伝承館管理事業	3-⑥	1,157	1,157	施設の利用者数			1,148	施設の利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					150人	172人	S		150人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
37	飯高産業振興センター管理事業	3-①	7,112	6,804	施設の利用者数(R3～)			7,427	施設の利用者数(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2,550 人	2, 552人	S		3,150人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
38	飯南和紙和牛センター管理運営事業	3-①	416	416	深野和紙の保存(紙漉き体験人数)(R3～)			1,072	深野和紙の保存(紙漉き体験人数)(R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					275人	267人	A		275人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
39	飯高地域資源活用交流施設管理事業	3-①	24,746	24,864	施設の入込客数			25,302	施設の入込客数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					364,000人	359, 746人	A		370,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
40	飯高地域資源活用交流施設整備事業	3-①	91,881	89,088	施設の入込客数			64,764	施設の入込客数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					364,000人	359, 746人	A		370,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
41	水産業総務一般経費	3-①	582	582	部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価			549	部局長の実行宣言に掲げる農水振興課の宣言に対する評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆☆	S		S			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
42	稚鮎等放流事業補助金	3-①	2,450	2,450	目標増殖量の達成度			2,450	目標増殖量の達成度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
43	川鵜対策事業補助金	3-①	140	140	各内水面漁協が掲げる川鵜捕獲(70羽)の達成度(R6～)			140	各内水面漁協が掲げる川鵜捕獲(70羽)の達成度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	75.7%	B		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
44	水産資源増殖事業補助金	3-①	3,300	3,300	覆砂の実施面積(R6～)			3,300	ガザミの放流量			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					140㎡	250㎡	S		16万尾			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
45	水産物消費拡大推進事業補助金	3-①	400	400	市の水産特産品のPR回数(R6～)			400	市の水産特産品のPR回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4回	5回	S		4回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
46	漁港海岸施設管理事業	3-①	1,865	1,865	漁港海岸等の清掃活動等の実施(R6～)			3,237	漁港海岸等の清掃活動等の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年3回	年4回	S		年3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
47	漁港機能保全事業	3-①	50,076	47,356	猟師漁港機能保全事業(第二期)の進捗率(R3～R6)			―	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―	―	―	

組織名	林業振興課	作成者(評価者)	課長　長谷　直哉
関係する『総合計画』施策	3－②　林業の振興		

組織の概要(主な業務)

林業を取り巻く環境は、長期にわたる国産材の需要低迷により、生産活動が停滞し、未整備森林が増加するなど、極めて厳しい状況となっています。このような現状に対応するため、「木材生産」「森林環境保全」「地域材利用」を施策の3本柱として、森林整備の促進、及び森林資源の活用に向けた取り組みを進めています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・木材搬出等の効率化を図るため、林道の開設、舗装工事を実施するとともに、重機使用や原材料支給により林道、作業道の保全を図りました。
・山腹崩壊等の危険がある斜面上部の森林整備をはじめ、集落に隣接する危険木やライフライン(配電線)を寸断する恐れのある支障木の事前伐採を行い、防災対策を図りました。
・未整備森林の公益的機能が発揮できるよう、森林所有者への意向調査に基づき、森林境界の明確化や間伐等の森林整備を進めました。
・森林公園は、SNSによる情報発信や様々なイベントを開催したほか、バンガロー設備の充実化を図るなど、利用者の拡大に向けた取り組みを行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・並材の平均価格は依然高い状態が続いている原木もある中、コロナ禍により生産制限をしていた製造会社が集材を再開したことで未利用間伐材の需要が増え、木質バイオマス活用量は目標を達成することができませんでした。
令和7年度は、主伐を推進する「緑の再生事業」、「森林作業道整備事業」の周知を強化し推進を図り、未利用間伐材の活用はもとより、素材生産量の拡大を図ります。
・松阪の木を使用した新築木造住宅への建築支援については、支援対象となる住宅の延床面積を70㎡以上から60㎡以上に緩和し需要拡大を図ったことから前年度の59棟から74棟に増加したものの、建築資材の高騰により着工時期を見合わせる建築主も多く、目標棟数を達成することができませんでした。
令和7年度は、事業の一本化と併せて補助金単価の見直しによる支援の拡充を図るとともに、県内外に広くPRを行い松阪産材の利用拡大を推進します。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・林道開設や舗装工事をはじめ、小規模森林の集約化による木材生産活動の効率化を推進するとともに、主伐を促進するための植林及び下刈りの経費、森林作業道作設の支援を行い、従来の間伐材の搬出支援も行うことで、森林整備の促進と素材生産量の増大につなげていきます。
・未整備森林を対象とした森林所有者への意向調査による間伐を実施し、森林の持つ公益的機能の発揮を促進していきます。
・松阪の木を使用した木造住宅の建築促進を通じて、地域材の需要拡大を図ります。
・プロジェクト計画及び森林経営計画に基づいた間伐による森林整備を進めるとともに、これまで施業を行った森林を対象に算出した、令和5年度と令和6年度分のCO_2吸収量によるJ-クレジットの創出に取り組みます。

【林業振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	緑化推進事業	3-②	350	350	緑化苗木等の配布自治会数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10自治会	5自治会	C		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	林業総務一般経費	3-②	4,690	4,690	部局長の実行宣言に掲げる施策3－②に対する評価			5,775	部局長の実行宣言に掲げる施策3－②に対する評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					☆☆☆	☆☆☆	S		☆☆☆			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	地域森林集約化推進事業補助金	3-②	3,955	3,955	森林経営計画増加面積			3,955	森林経営計画増加面積			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					40ha	26ha	C		35ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	森林作業道整備事業補助金	3-②	8,500	5,000	支援する森林作業道の延長			5,000	支援する森林作業道の延長			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8,500m	1,162m	E		5,000m			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	森林環境創造事業	3-②	12,280	12,280	「環境林づくり協定」に基づく間伐面積			12,280	「環境林づくり協定」に基づく間伐面積			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50ha	36ha	B		40ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	森林環境学習事業	3-②	3,000	2,992	森林環境学習実施対象小学校数			3,000	森林環境学習実施対象小学校数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2校	2校	S		1校			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	里山の森林安全安心対策事業	3-②	15,073	15,368	集落や公共施設周辺の間伐及び支障木の伐採箇所			15,073	集落や公共施設周辺の間伐及び支障木の伐採箇所			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					9箇所	18箇所	S		9箇所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	林業労働者退職金共済掛金補助金	3-②	300	300	補助を行う飯南・飯高地域の林業事業所数			300	補助を行う飯南・飯高地域の林業事業所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6事業所	6事業所	S		6事業所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	森林経営計画作成推進事業補助金	3-②	6,050	6,050	森林経営計画作成面積			6,050	森林経営計画作成面積			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50ha	69ha	S		50ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	木質バイオマス有効活用対策事業補助金	3-②	6,500	3,250	未利用間伐材などの運搬重量			5,000	未利用間伐材などの運搬重量			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					25,000t	7,578t	D		10,000t			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	松阪荒滝生活環境保全林管理事業	3-②	760	638	保全林の草刈面積			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1.92ha	1.92ha	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	松阪創造の森施設管理事業	3-②	1,777	1,777	施設・管理道路の点検			3,638	施設内の下草刈面積			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		3.72ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	松阪ちとせの森施設管理事業	3-②	1,221	1,221	施設内の下草刈面積(年2回)			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0.85ha/2回	0.85ha/2回	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	林地台帳整備事業	3-②	2,266	2,266	森林情報の更新率			2,266	森林情報の更新率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	嬉野どんぐりの森管理事業	3-②	50	50	施設内の下草刈面積			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,000㎡	1,000㎡	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	いきいき松阪の森づくり事業補助金	3-②	28,475	28,475	利用間伐促進事業への支援			28,979	利用間伐促進事業への支援			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					18,000㎡	9,917㎡	C		18,000㎡			

【林業振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
18	林業支援センター運営事業	3-②	9,973	9,741	原木・製材品の販路拡大				10,415	原木・製材品の販路拡大			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					5社	9社	S			5社			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
19	森林資源管理事業	3-②	90,608	90,608	未整備森林における間伐面積				128,019	未整備森林における間伐面積			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					250ha	182ha	B			250ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
20	流域防災機能強化対策事業	3-②	5,700	5,700	三重県災害緩衝林事業計画と連動した森林整備面積				5,700	三重県災害緩衝林事業計画と連動した森林整備面積			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					15ha	9ha	C			15ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
21	松阪の木利用推進事業補助金	3-②	6,750	3,263	支援する「松阪の木」を使用した新築木造住宅数				650	「松阪の木」PR活動			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					40棟	13棟	D			3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
22	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3-②	20,200	20,200	施工延長				20,200	施工延長			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					500m	560m	S			500m			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
23	森林有害鳥獣被害対策事業補助金	3-②	700	500	防護柵設置、修繕補助に係る交付件数				700	防護柵設置、修繕補助に係る交付件数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					20件	7件	D			20件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
24	木造住宅建築促進事業補助金	3-②	37,125	27,580	支援する「松阪の木」を使用した新築木造住宅数				40,950	支援する「松阪の木」を使用した新築木造住宅数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					115棟	74棟	C			115棟			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
25	Jークレジット創出事業	3-②	2,200	2,200	造林、間伐によるCO2吸収量(間伐1ha≒5t-CO2)				2,700	造林、間伐によるCO2吸収量(間伐1ha≒5t-CO2)			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					3,000t-CO2	―	―			3,300t-CO2			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
26	緑の再生事業補助金	3-②	4,660	4,660	植林及び下刈り面積				11,660	植林及び下刈り面積			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					20ha	25ha	S			60ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
27	森林公園管理運営事業	3-②	30,275	30,275	施設の来場者数				30,275	施設の来場者数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					83,000人	96,075人	S			90,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
28	飯高林業総合センター管理運営事業	3-②	8,063	7,863	施設の利用者数				7,600	施設の利用者数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					1,800人	2,101人	S			1,800人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
29	治山事業	3-②	3,648	3,648	要望に基づく治山事業計画書作成				3,648	要望に基づく治山事業計画書作成			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					5箇所	3箇所	C			5箇所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
30	林道・作業道整備事業	3-②	91,151	91,151	嬉野上小川町地内の林道トロセ線開設工事				100,971	嬉野上小川町地内の林道トロセ線開設工事			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					200m	191m	A			200m			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
31	飯南・飯高市有林管理事業	3-②	2,830	3,870	松阪市森林経営計画に基づく市有林の巡視、下刈り、境界測量団地数				2,510	松阪市森林経営計画に基づく市有林の巡視、下刈り、境界測量団地数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					7団地	6団地	A			5団地			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
32	飯南・飯高市有林整備事業	3-②	26,995	26,995	松阪市森林経営計画に基づく間伐面積				21,061	松阪市森林経営計画に基づく間伐面積			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					28.20ha	38.76ha	S			40ha			

【林業振興課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
33	林業施設災害復旧事業	3-②	4,000	16,200	被災林道の復旧工事にかかる迅速な現場対応の実施			4,000	被災林道の復旧工事にかかる迅速な現場対応の実施		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					100.0%	100.0%	S		100.0%		
34	市制20周年記念木製パズル作製事業	3-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			―	―	―			495	市内の小学校へ配布		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					―	―	―		36校		

【林業振興課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	森林活プロジェクト	3-②			未利用間伐材等の運搬重量				未利用間伐材等の運搬重量		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					1,800t	339t	E		1,000t		

組織名	農村整備課	作成者（評価者）	農村整備担当参事　田畑　昌之
関係する『総合計画』施策	3－①　農業・水産業の振興		
	5－④　浸水対策の充実		

組織の概要（主な業務）

農業者とともに自然環境に配慮しながら、安定した農業生産が維持できるように、施設整備と水環境の保全並びに資源を確保し、生産性の向上を通じて農業の体質強化を図ります。また、多面的な機能を有している農地を保全し、農村に住む人が自然の恩恵を受けて暮らせるような、農業基盤整備事業を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業において、黒部第二、黒部第三、三雲南部、三雲南部2期、三雲南部3期、三雲北部、三雲北部2期、嬉野田村、中ノ庄、各地区の排水機場のポンプや電気設備を更新するなど、耐用年数の延伸とライフサイクルコストの低減に取り組みました。
・県営ほ場整備事業において、区画整理や用排水路整備など、寺井地区、北谷地区の環境整備を行い、寺井地区については完了しました。また、塚本船江地区で計画策定に取り組みました。
・県営ため池等整備事業において、坊谷池の改修工事とため池5箇所の豪雨・耐震・劣化状況評価業務委託、山口池の事業計画書（基礎調査等）を作成し、用水の安定供給と防災の強化に取り組みました。
・多面的機能支払交付金事業において、83組織の活動団体に農地維持・資源向上など地域の共同活動を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に努めました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・県営ほ場整備事業において、山室地区は区域界整理等が必要となったため国への事業計画書提出が先送りとなりました。また、塚本船江地区の事業計画書策定業務については、用地問題等により年度内完成ができず、繰越となりました。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・県営基幹水利ストックマネジメント事業において、市内各地区の排水機場の長寿命化に取り組みます。
・県営ほ場整備事業において、北谷地区の環境整備を引き続き行います。また、山室地区及び塚本・船江地区について、令和8年度の事業計画採択をめざし、令和7年度中の問題解決に向け三重県と協議しながら取り組みます。
・県営ため池等整備事業において、坊谷池の改修工事とため池16か所の豪雨・耐震・劣化状況評価業務委託、山口池の事業計画書（とりまとめ等）を作成し、用水の安定供給と防災の強化に取り組みます。
・多面的機能支払交付金事業において、地域の共同活動を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に努めます。

【農村整備課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	市単土地改良事業	3-①	58,759	68,385	工事実施箇所			68,900	地元要望に対する支援率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					9か所	7か所	B		100.0%			
2	公共事業等附帯事業	3-①	10,000	4,311	工事実施個所			ー	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1地区	1地区	S		ー	ー	ー	
3	県営ため池等整備計画事業 ※R7より 県営ため池等整備事業へ統合	3-①	41,500	86,500	事業実施箇所			統合	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6か所	6か所	S		ー	ー	ー	
4	三雲地区モデル事業排水施設管理事業	3-①	5,791	5,601	上下水道部と公共下水道供用開始地域の接続状況の確認等の協議			5,791	上下水道部と公共下水道供用開始地域の接続状況の確認等の協議			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			
5	小規模土地改良事業補助金	3-①	2,000	2,000	受益者との調整			2,000	受益者との調整			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10日以内	10日以内	S		10日以内			
6	多面的機能支払交付金事業	3-①	221,275	200,451	本事業の組織数の維持			225,501	本事業の組織数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					84組織	83組織	A		81組織			
7	県営ため池等整備事業負担金 ※R7より 県営ため池等整備事業	3-①	16,000	10,500	事業実施箇所			134,100	県営事業実施箇所			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1地区	1地区	S		2地区			
8	土地改良施設維持管理適正化事業補助金	3-①	1,400	1,400	事業実施箇所			2,000	事業実施箇所			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1か所	3か所	S		1か所			
9	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 ※R7より 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業(農地費)	3-①	3,024	12,283	事業実施箇所			19,989	県営事業実施箇所			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1か所	2か所	S		3か所			
10	農業水路等長寿命化・防災減災事業交付金事業	3-①	0	0	ー			6,300	事業実施箇所			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					ー	ー	ー		2か所			
11	農地一般経費	3-①	13,685	12,766	ビーフロードの月例点検			13,948	ビーフロードの月例点検			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					月1回	月1回	S		月1回			
12	県営ほ場整備事業土地改良区補助金	3-①	4,500	4,500	補助金対象土地改良区数			1,500	補助金対象土地改良区数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3改良区	3改良区	S		2改良区			
13	県営ほ場整備計画事業 ※R7より 県営ほ場整備事業へ統合	3-①	26,000	24,618	土地改良区と県との調整			統合	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6回	6回	S		ー	ー	ー	
14	県営ほ場整備事業負担金 ※R7より 県営ほ場整備事業	3-①	29,100	20,054	土地改良区と県との調整			17,700	土地改良区と県との調整			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6回	6回	S		6回			
15	湛水防除施設管理事業	5-④	68,039	69,309	排水機場の月例点検の実施			67,713	排水機場の月例点検の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					月1回	月1回	S		月1回			
16	土地改良施設維持管理適正化事業補助金	5-④	80,850	71,543	事業実施箇所			27,818	事業実施箇所			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1か所	2か所	S		1か所			
17	基幹水利施設技術管理強化特別指導事業	5-④	19,268	19,158	排水機場の運転管理における指導・援助の実施			18,927	排水機場の運転管理における指導・援助の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					月3回	月3回	S		月3回			

【農村整備課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
18	湛水防除施設整備事業	5-④	15,800	14,920	湛水防除施設の機械・電気設備の補修・更新機場数				10,000	湛水防除施設の機械・電気設備の補修・更新機場数			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					2機場	3機場	S			3機場			
19	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 ※R7より　県営基幹水利施設ストックマネジメント事業(湛水防除)	5-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			63,190	74,267	事業実施箇所				78,060	県営事業実施箇所			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					7地区	8地区	S			9地区			
20	農地等災害復旧事業	3-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			1,500	182,734	受益者との調整				1,500	受益者との調整			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					30日以内	60日以内	C			30日以内			

組織名	文化課	作成者(評価者)	文化担当参事　松葉　和也
関係する『総合計画』施策	4－③　文化の振興		

組織の概要(主な業務)

文化課は文化芸術の振興と文化財の保存活用に関する業務を行っています。文化芸術の振興は、地域や文化団体等と協働して推進するとともに、文化ホールなどを拠点に鑑賞や参加機会の充実を図っています。また、文化財の保存活用は、法令による保護措置を行うとともに、博物館施設などを拠点に保存や活用を通じて市民の文化に対する愛着や誇りを醸成する取組を進めています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・市美術展覧会のデジタル特別企画として、デザイン・イラスト部門及びスマホ写真部門を新たに設置し、出品者の新規開拓及び来場者数の増加を図りました。
・松阪合唱フェスティバル及び松阪吹奏楽フェスティバルを開催し、参加者及び来場者から高い評価を得ることができました。
・文化芸術団体との共催事業や文化センター自主事業では、市民のニーズを把握した催し物を実施した結果、市民の文化芸術への関心が深まるとともに、幅広い年代への文化振興が図られ、市民から高い評価と満足度を得ることができました。
・クラギ文化ホールの改修工事を予定通り完了することができ、安全安心で快適な空間となる施設に生まれ変わりました。
・令和5年度の小津安二郎生誕120年記念事業、三井高利生誕400年・三井越後屋創業350年事業で構築した関係者・関係団体との協力体制のもと、充実した内容の企画展や講演会等を開催することができました。
・宝塚1号墳出土埴輪が国宝に指定された効果もあり、松阪市ホームページ「文化情報」へのアクセス数は高い水準を維持しました。
・殿町武家屋敷生垣等保存整備事業は、確実に指標を達成することができました。
・郷土資料室においては市民参加の勉強会を着実に実施することで、郷土に関する歴史学習の場の提供を行い、市民の学ぶ意欲に応えることができました。
・旧長谷川治郎兵衛家の保存修理に必要となる基本計画等を策定し、整備検討委員会の承認を得ることができました。
・松坂城跡保存整備事業では、整備検討委員会において専門家や市民代表に諮りつつ、文化庁、県教育委員会、庁内関係部署との調整を行い、計画通りに進めることができました。
・歴史民俗資料館では魅力ある企画展を開催し、また観光事業との連携を図ることで、目標を大幅に上回る入館者数がありました。
・国宝を常設展示しているはにわ館第1展示室において、保存管理のため展示ケースの改修や免震シートの設置等を行い、文化財を適切に管理し、安全に公開展示できる体制を整えることができました。
・国宝船形埴輪を中心に普及公開を図るため、観光部門や民間団体と連携し各種イベントや商品開発等を行ったことにより、はにわ館の来館者数前年度比200%を達成することができました。
・松浦武四郎記念館の開館30年記念事業を実施し、これまでの歩みを振り返るトークイベントや記念誌の出版のほか、特別展「武四郎と龍馬」を開催するなど、これからの記念館の発展と新たな武四郎の魅力を市内外に発信することができました。
・松浦武四郎記念館では重要文化財の保存修理事業を行い、修理後の資料を定期的に展示しながら、文化財保護の必要性を啓発することに努めました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・松坂城跡入込客数は伸びている一方、御城番屋敷の入館者数は目標値を下回りました。文化財の利活用を図るとともに、施設のさらなる認知度向上に努めます。
・コミュニティ文化センターの利用率について、クラギ文化ホールが工事中のため当該施設の利用が増加すると見込んでいましたが、目標である90%を達成できず、前年度比でほぼ横ばいの状況でした。コロナ禍前に復しつつあるとはいえ、一度離れた文化センターの利用者や団体数を完全に戻すことは困難な状況ですが、クラギ文化ホールのリニューアル工事を終えたことから、貸館の更なる利用率の向上に向けて魅力ある自主事業の実施に取り組みます。
・旧長谷川治郎兵衛家の入館者数が昨年度に比べて減少しましたが、魅力ある企画展の実施、来館者に対する丁寧な対応により入館者の満足度や理解度は高まったものと考えています。
・蒲生氏郷顕彰基金積立金について、寄付件数の目標は達成できませんでしたが、引き続き事業の認知度向上に努めます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・市制20周年記念事業として市美術展覧会を開催することで、市展の認知度向上を図り、出品者及び来場者の増加をめざします。
・クラギ文化ホールの改修工事を終え、より快適で安全安心に利用しやすい空間へと生まれ変わったホールを活用し、様々な場面でより多くの市民に利用していただけるよう会館運営に取り組みます。また、本年は市制20周年記念事業も多く実施することから、たくさんの市民に参加していただき、感動および夢と希望、勇気を実感してもらえるよう取り組みます。
・市制20周年記念事業として、「松阪市の指定文化財案内」の改訂及び刊行を行います。
・市制20周年記念事業として、はにわ館特別展を開催します。

【文化課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	本居宣長記念館補助金	4-③	37,580	37,580	本居宣長記念館の1日当たりの入館者数			40,683	本居宣長記念館の1日当たりの入館者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70.0人	68.6人	A		70.0人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	市美術展覧会開催事業	4-③	3,747	3,747	市美術展覧会への出品者数			4,414	市美術展覧会への出品者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300人	239人	B		300人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	芸術文化活動奨励金・勲功賞交付事業	4-③	788	788	芸術文化活動奨励金の交付件数			788	芸術文化活動奨励金の交付件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					9件	9件	A		9件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	音楽文化活動事業	4-③	1,754	1,754	フェスティバル鑑賞の満足度			1,754	フェスティバル鑑賞の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	99.0%	S		90.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	文化芸術団体共催事業	4-③	449	204	催物の満足度			909	催物の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	96.1%	S		90.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	小津安二郎顕彰事業(小津安二郎青春館等管理運営事業)	4-③	9,262	9,262	歴史民俗資料館の1日当たりの入館者数			9,261	歴史民俗資料館の1日当たりの入館者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					58人	78人	S		58人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	文化振興一般経費	4-③	5,147	5,147	松阪市HP「文化情報」ページへのアクセス件数			5,579	松阪市HP「文化情報」ページへのアクセス件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60,000件	68,416人	S		60,000件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	文化財保存管理活用事業	4-③	22,693	22,693	御城番屋敷の1日当たりの入館者数			24,907	御城番屋敷の1日当たりの入館者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					118人	82人	C		118人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金	4-③	801	801	補助対象となる生垣の総延長の維持			801	補助対象となる生垣の総延長の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					693m	693m	S		650m以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	無形民俗文化財保存活用補助金	4-③	1,218	1,218	市指定民俗文化財の活動件数の維持			1,218	市指定民俗文化財の活動件数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					18件	14件	B		18件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	埋蔵文化財発掘調査事業	4-③	6,180	6,180	埋蔵文化財発掘調査への啓発普及活動を実施した回数			6,239	埋蔵文化財発掘調査への啓発普及活動を実施した回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	3回	S		3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	市内遺跡緊急発掘調査事業	4-③	13,860	11,860	埋蔵文化財発掘調査への啓発普及活動を実施した回数			13,842	埋蔵文化財発掘調査への啓発普及活動を実施した回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	3回	S		3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	埋蔵文化財活用事業	4-③	1,117	1,117	活用普及の啓発活動への参加者アンケート満足度			1,117	活用普及の啓発活動への参加者アンケート満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					86.0%	90.0%	S		86.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	郷土資料室資料保存管理事業	4-③	7,174	7,174	古文書解読勉強会の開催日数(R3⁻)			4,849	古文書解読勉強会の開催日数(R3⁻)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6回	10回	S		6回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	文化財保存整備事業補助金	4-③	1,277	1,277	指定文化財件数の維持			1,473	指定文化財件数の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					279件	277件	A		279件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	指定文化財保存修理事業	4-③	3,539	3,539	これまでに修理を終えた資料の年間公開点数(貸出も含む)			6,818	これまでに修理を終えた資料の年間公開点数(貸出も含む)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					6点以上	12点	S		6点以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	旧長谷川治郎兵衛家保存整備事業	4-③	33,559	33,559	旧長谷川治郎兵衛家の1日当たりの入館者数			941	旧長谷川治郎兵衛家の1日当たりの入館者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					55人	39人	B		55人			

【文化課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	松坂城跡保存整備事業	4-③	19,530	18,109	松坂城跡入込客数			19,048	松坂城跡入込客数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					165,000人	177,971人	S		165,000人			
21	松阪市民文化会館管理運営事業	4-③	33,622	29,260	会館利用率			61,920	会館利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					77.0%	ー	ー		77.0%			
22	松阪市民文化会館施設整備事業	4-③	1,309,209	1,290,838	会館利用率			0	会館利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					77.0%	ー	ー		77.0%			
23	松阪コミュニティ文化センター管理運営事業	4-③	46,657	46,657	会館利用率			42,771	会館利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	74.6%	B		90.0%			
24	松阪コミュニティ文化センター施設整備事業	4-③	7,494	6,444	会館利用率			107,602	会館利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	74.6%	B		90.0%			
25	嬉野ふるさと会館管理運営事業	4-③	45,244	44,684	会館利用率			46,181	会館利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					86.0%	78.5%	A		86.0%			
26	嬉野ふるさと会館施設整備事業	4-③	5,170	5,170	会館利用率			20,887	会館利用率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					86.0%	78.5%	A		86.0%			
27	文化センター自主事業	4-③	12,155	12,155	催物の満足度			13,714	催物の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	74.6%	B		90.0%			
28	文化財センター管理運営事業	4-③	80,248	80,248	文化財センターの1日当たりの来館者数			78,249	Google検索による「文化財センター」のクチコミ評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					198人	147人	B		★4.0以上			
29	文化財センター特別企画展等事業	4-③	16,914	16,914	はにわ館の1日当たりの来館者数			14,774	はにわ館来館者アンケートで展示について「良かった」80%以上			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					55人	45人	B		80%以上			
30	文化財センター施設整備事業	4-③	25,975	25,975	文化財センターの1日当たりの来館者数			2,175	文化財センターの1日当たりの来館者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					198人	147人	B		198人			
31	歴史民俗資料館管理運営事業	4-③	17,190	17,081	歴史民俗資料館の1日当たりの入館者数			17,976	歴史民俗資料館の1日当たりの入館者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					58人	78人	S		58人			
32	松浦武四郎記念館管理運営事業	4-③	20,070	20,057	記念館の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く)			18,644	Google検索による「松浦武四郎記念館」のクチコミ評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					29人	29人	S		★4.0以上			
33	松浦武四郎記念館特別企画展等事業	4-③	3,340	3,340	記念館の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く)			2,780	記念館来館者アンケートで展示について「良かった」80%以上			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					29人	29人	S		80%以上			
35	松浦武四郎誕生地管理運営事業	4-③	4,512	4,512	誕生地の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く)			4,218	Google検索による「松浦武四郎誕生地」のクチコミ評価			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10人	11人	S		★4.0以上			
36	松浦武四郎記念館交流事業	4-③	1,879	1,879	記念館の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く)			1,879	松浦武四郎inウポポイ来場者アンケートで「良かった」80%以上			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					29人	29人	S		80%以上			
37	蒲生氏郷顕彰基金積立金	4-③	420	420	寄付件数			210	寄附件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					20件	13件	C		20件			

組織名	建設総務課	作成者（評価者）	課長　大野　桂
関係する『総合計画』施策	5－④　浸水対策の充実		
	6－⑤　道路等の整備		
	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

建設総務課は、道路や河川、港湾等の整備に関する「国県等との連絡調整・要望」等他機関との連絡調整を行っています。
県施行事業の負担金に関する管理、建設部内の予算管理、事業調整及び庶務を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・国、県に対する要望活動では、松阪市が加盟する9つの期成同盟会等の要望活動を確実に実施することで、国直轄事業および県施行事業の予算確保に繋げました。特に、令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算で配分が低調であった国道368号仁柿峠バイパスについて、通常、秋に実施する要望活動を春にも実施したことで、大幅な予算確保に繋がり事業進捗を図ることができました。
・県施行急傾斜地崩壊対策事業では、目標としていた工事施工延長100mが施工されたことで、急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命や財産を守り、安全で安心した生活環境を確保することができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・海岸環境改善活動におけるSNS情報発信においては、海開き前の海岸清掃の状況を事前事後の内容を同時に発信したことで、予定していた5回に対し4回の発信となり未達成となりました。今年度は発信する内容を精査し、海岸環境改善活動の発信に努めていきます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・国、県に対する要望活動では、道路・河川・港湾等の課題や地域のニーズを把握し、インフラ整備促進のため、引き続き、要望活動を確実に実施していきます。
・建設部各課の予算執行管理を行い、適切な予算執行に努めていきます。
・消防署、自衛隊などの受援団体や地域の住民自治協議会（自治会）及び防災協力事業者と連携を図ることで、南海トラフ地震などの大規模自然災害に備え、業務継続計画をブラッシュアップしていきます。

【建設総務課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	建設総務管理事業	7-①	6,102	6,102	道路・河川・港湾に関する要望回数			6,525	道路・河川・港湾に関する要望回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年2回	年2回	S		年2回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金	5-④	15,100	6,832	工事施工延長(他事業区間を含む)			8,500	工事施工延長(他事業区間を含む)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100m	100m	S		140m			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	県施行海岸環境整備事業負担金	6-⑤	540	327	海岸環境改善活動におけるSNSの情報発信数			540	海岸環境改善活動におけるSNSの情報発信数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	4回	B		5回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	県施行街路事業負担金	6-⑤	―	―	―			7,706	期末の事業進捗率(R9までは調査・設計、R10～共同溝工事及び引込線工事)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		3.0%			

各所属の「評価」と「重点取組」

組織名	土木課	作成者(評価者)	課長　宇田　寛之
関係する『総合計画』施策	5－①　交通安全対策の充実		
	5－④　浸水対策の充実		
	6－④　都市空間・住環境の整備		
	6－⑤　道路等の整備		

組織の概要(主な業務)

土木課は、快適な住環境を推進し安全・安心な生活のための道路・橋梁の整備、浸水被害の軽減を図るため治水及び雨水対策等の河川・排水路の整備、良好な公園環境の提供に向けた公園の整備と総合運動公園の円滑な運営を行います。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・総合雨水対策10か年戦略事業などの浸水対策や、道路・橋りょうや公園の整備については、概ね目標を達成することができ、市民が安心して暮らせる環境づくりに取り組むことができました。
・橋りょう長寿命化修繕事業では、明光院橋・後谷川橋・楠木橋・白土橋の修繕工事(4橋)を実施し、橋梁の耐用年数の大幅な引き延ばしとライフサイクルコストの抑制に取り組みました。
・東出線道路改良事業については、地震や風水害における指定避難場所(宮前小学校・飯高中学校)への土砂災害警戒区域を回避した避難路として、、令和3年度から社会資本整備総合交付金を活用、延長350mの道路新設工事に着手し、令和6年度で事業が完了しました。
・総合雨水対策10か年戦略事業では、松阪地区浸水対策検討会で策定した対策実施計画書に基づき、百々川流域の碁太川の事業を実施し、地域の浸水対策に取り組みました。
・公園施設長寿命化対策支援事業について、カネボウ跡公園のアスレチック遊具等の更新を行いました。
・総合運動公園スケートパークでは、令和5年にリニューアルの改修を実施したことで、一般社団法人日本スケートボード協会主催の全日本アマチュア選手権大会を開催しました。今後も、大会の誘致や選手の育成の場に活用されるよう、知名度の向上と持続可能な運営を進めていきます。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・橋りょう耐震対策事業については、交付金の配分減。準用河川九手川改修事業については、自治会との調整並びに用地交渉により繰越事業となったことから、活動指標が目標値を下回りました。
地元協議を密に行うとともに、計画的な事業実施ができるよう、しっかり交付金の要望を行い、進捗率の向上、改善を図ってまいります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・総合雨水対策10か年戦略事業や浸水対策事業等では、対策実施計画書に基づき、浸水対策の充実を図り、碁太川の河川改修工事を実施していきます。
・道路事業である道路ネットワーク整備事業、通学路歩行空間整備事業により、道路改良によるアクセス整備や道路ネットワークの強化と歩行空間の確保を目的とした市道拡幅や路肩整備の実施ししていきます。
・公園施設長寿命化対策支援事業では、長寿命化計画に基づく修繕工事に着手し、公園施設の老朽化に対する安全対策の強化、将来の改築・更新に係るコスト縮減や平準化を図ります。
・都市公園維持管理事業では、市制20周年記念事業として、一般社団法人日本スケートボード協会主催のプロ大会を開催し、全国のプロスケーターが松阪市に集結することで、松阪市総合運動公園スケートパークの知名度の向上を図ります。

【土木課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	道路橋りょう一般経費	6-⑤	5,537	5,537	消耗品費の削減率(前年費)			5,323	消耗品費の削減率(前年費)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1.0%	10.7%	S		1.0%			
2	道路整備単独事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			167,573	166,050	事業完了予定路線数			174,104	事業完了予定路線数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2路線	2路線	S		3路線			
3	地方創生道整備事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			68,000	108,000	期末の事業進捗率			81,000	期末の事業進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	87.0%	B		15.0%			
4	東出線道路改良事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			42,000	32,340	期末の整備率			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―	―	―	
5	道路ネットワーク整備事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			93,000	61,088	代表路線の事業進捗率(木の郷1号線)			86,000	代表路線の事業進捗率(木の郷1号線)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70.0%	61.1%	B		100.0%			
6	橋りょう耐震対策事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			44,000	35,069	対策完了箇所数			67,000	対策完了箇所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2箇所	1箇所	C		1箇所			
7	通学路歩行空間整備事業	5-①	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			9,000	5,850	代表路線の事業進捗率(大平尾猟師海岸線)			36,000	代表路線の事業進捗率(大平尾猟師海岸線)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					11.0%	10.3%	A		30.0%			
8	踏切道改良事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			27,500	24,703	整備完了箇所数			37,100	整備完了箇所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1箇所	1箇所	S		1箇所			
9	橋りょう長寿命化事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			161,500	163,596	橋りょうの直営点検数			115,000	橋りょうの直営点検数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					260橋	260橋	S		260橋			
10	河川改良単独事業	5-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			116,000	116,000	年間の整備延長			125,000	年間の整備延長			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100m	104m	S		280m			
11	準用河川九手川改修事業	5-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			90,000	36,000	年間の整備延長			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					24m	16m	C		―	―	―	
12	浸水対策事業	5-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			126,000	125,400	雨水ポンプ場整備箇所数			119,480	雨水ポンプ場整備箇所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1箇所	1箇所	S		3箇所			
13	総合雨水対策10か年戦略事業	5-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			94,000	94,000	事業着手箇所数			90,000	年間の整備延長			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1箇所	1箇所	S		60m			
14	都市公園維持管理事業	6-⑤	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			254,922	255,922	定期点検により使用禁止の判定があった遊具の修繕実施率			310,263	公園施設の修繕数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		20施設			
15	都市公園整備事業	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			112,751	112,751	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した事業の実施			153,471	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した施設の設置数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1公園	1公園	S		1棟			
16	公園施設長寿命化対策支援事業	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			2,000	2,000	長寿命化事業の実施			100,000	長寿命化事業を実施する施設数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		30遊具			
17	公園一般経費	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			332	332	緑化に関する活動			440	緑化に関する活動			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					年2回	年2回	S		年2回			

【土木課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	道路橋りょう災害復旧事業	6-⑤	2,000	182,503	被災した施設の復旧率(国災は除く)			2,000	被災した施設の復旧率(国災は除く)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	95.6%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	河川災害復旧事業	5-④	2,000	97,279	被災した施設の復旧率(国災は除く)			2,000	被災した施設の復旧率(国災は除く)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	90%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	公園施設災害復旧事業	6-④	2,000	0	被災した施設の復旧率(国災は除く)			2,000	被災した施設の復旧率(国災は除く)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	0%	―		100.0%			

組織名	建設保全課	作成者(評価者)	課長　鈴木　英之
関係する『総合計画』施策	5－①　交通安全対策の充実		
	5－④　浸水対策の充実		
	6－②　資源循環型社会の推進		
	6－⑤　道路等の整備		

組織の概要(主な業務)

建設保全課は、生活道路や小河川、排水路などの維持管理に努めています。
施設管理については、老朽化などの課題がありますが、側溝修繕や道路舗装修繕などを継続的に行うことにより、安全で快適な生活空間の維持をめざします。また、地域住民からいただく多種多様な要望に対しては、緊急度や重要度などを考慮し、地域間のバランスや必要性を考慮した優先順位を考えて事業の実施をします。交通安全対策事業としては、事故が起きた箇所などを分析し、交通弱者にも配慮した交通環境の改善に努めます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・道路・河川維持修繕事業では、地元要望760件について、関係する各自治会等と調整のうえ約62%を実施し、生活環境の充実を図ることができました。
・中川駅東西連絡地下道管理事業では、定期点検等により健全なエレベーターの管理を行い、連絡地下道の安全で快適な利用を維持することができました。
・道路などの施設管理については、歩道・地下道の定期的な清掃業務や、街路樹・道路照明灯・排水ポンプ施設・調整池等の維持管理について、概ね目標を達成することができ、安全で快適な生活空間の維持に取り組むことができました。
・交通事故防止安全対策事業では、通学路の危険個所や交通量の多い市道への路面表示の改善や転落防止策などの安全対策に取り組みました。
・緊急輸送道路等舗装維持修繕事業では、災害発生時に緊急輸送道路が健全に機能するために、轍やクラック等の修繕を目的に舗装の打替えに取り組みました。
・ゼロカーボンシティ宣言を表明するなかで公共施設である道路照明灯をLED化し、省電力化を図り省エネの推進に寄与することを目的として、修繕計画に基づき令和6年度時点での目標値70%に対し71．5%のLED化を実施しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・交通事故防止安全対策事業では、通学路合同点検による安全対策要望箇所において18路線を実施しましたが、一つ一つの対策箇所の事業規模が大きかったため目標値に及びませんでした。
今後は、要望箇所と事業量のバランスを検討し、必要であれば目標値の見直しを行います。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・市民が身近に接する、6，600路線、延長約1，948kmにもおよぶ認定市道のほか、小河川や排水路など決して少なくない施設数ですが、それらを常時良好な状態に保ち、通学路の安全対策を含め、安心・安全な市民生活の確保に努めます。また、地域住民の要望に対する十分な調整や協議及び地域間バランス、優先順位を考慮した速やかな事業実施を行います。
・災害発生時に重要な物流経路となる緊急輸送道路の老朽化した舗装の修繕工事を実施し災害発生時に機能する輸送ルートの確保を図ります。
・夜間時の安全確保と、ゼロカーボンへの取組として道路照明灯のLED化や、実施通学路合同点検で抽出された対策必要箇所への交通安全対策に取り組み安全性向上の拡充を図ります。

【建設保全課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	道路維持修繕事業	6-⑤	413,206	413,206	要望に対する実施達成率			419,466	要望に対する実施達成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					65.0%	62.4%	A		65.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	雪寒対策道路維持事業	6-⑤	2,975	7,975	雪寒時の道路維持管理を図るため積雪回数を上回る凍結防止対策回数			2,975	雪寒時の道路維持管理を図るため積雪回数を上回る凍結防止対策回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	25回	S		1回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	街路樹剪定等事業	6-⑤	18,752	18,752	大きくなり過ぎた周辺へ悪影響を及ぼしている樹木の剪定本数			21,293	大きくなり過ぎた周辺へ悪影響を及ぼしている樹木の剪定本数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					620本	719本	S		620本			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	道路照明灯LED化事業	6-⑤	40,000	40,000	道路照明灯LED化の割合			40,000	道路照明灯LED化の割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70.0%	71.5%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	交通安全対策施設整備事業	5-①	27,160	27,160	安全な道路環境の整備を図る交通安全対策実施箇所数			25,760	安全な道路環境の整備を図る交通安全対策実施箇所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100箇所	75箇所	B		100箇所			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	道路施設点検事業	6-⑤	9,000	8,000	道路附属施設点検箇所数			9,000	道路附属施設点検箇所数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					85基	86基	S		87基			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	新最終処分場関連維持修繕事業	6-⑤	9,700	9,700	環境整備要望の実施件数			7,500	環境整備要望の実施件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4件	3件	B		4件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	交通事故防止安全対策事業	5-①	24,976	15,076	交通量の多い幹線市道・小中学校周辺の通学路を対象とした交通安全対策実施路線数			16,000	交通量の多い幹線市道・小中学校周辺の通学路を対象とした交通安全対策実施路線数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30路線	18路線	C		15路線			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	中川駅前・連絡道管理事業	6-⑤	16,486	16,486	エスカレーターの良好な稼働率(維持管理不備を原因とする停止日数を除いた日数)			15,748	エスカレーターの良好な稼働率(維持管理不備を原因とする停止日数を除いた日数)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	緊急輸送道路等舗装維持修繕事業	6-⑤	71,000	71,000	緊急輸送道路等舗装維持修繕事業による道路等の延長			71,000	緊急輸送道路等舗装維持修繕事業による道路等の延長			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2.6Km	2.4Km	B		1.0Km			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	道路維持一般経費	6-⑤	64,883	58,491	安定した道路維持専用車両の運行			61,610	安定した道路維持専用車両の運行			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					78,000km	93,131km	S		78,000km			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	河川維持修繕事業	5-④	52,181	52,181	要望に対する実施達成率			45,921	要望に対する実施達成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					65.0%	62.4%	A		65.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	樋門・樋管等管理事業	5-④	25,958	23,671	樋門管理者等からの不具合に関する報告や修繕要望を受けた際の対応率			25,667	樋門管理者等からの不具合に関する報告や修繕要望を受けた際の対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			

【建設保全課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	調整池管理事業	5-④	10,753	10,753	調整池に関する不具合に関する要望等を受けた際の対応率			11,328	調整池に関する不具合に関する要望等を受けた際の対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	水防施設管理事業	5-④	1,077	1,077	水防倉庫28箇所の土のう袋の備蓄枚数			1,077	水防倉庫18箇所の土のう袋の備蓄枚数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					28,000袋	28,000袋	S		28,000袋			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	水防一般経費	5-④	248	177	水防法に関する研修への参加及び訓練実施の回数			174	水防法に関する研修への参加及び訓練実施の回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		1回			

組織名	地籍用地課	作成者（評価者）	課長　掛橋　誠一郎
関係する『総合計画』施策	6－⑤　道路等の整備		

組織の概要（主な業務）

地籍用地課は令和7年度に新設されました。近い将来、高い確率で予測される南海トラフ巨大地震に伴う津波被害が懸念されている状況にあるなか、早期の復旧・復興策として地籍調査を33年ぶりに再開し、国土調査法に基づく一筆ごとの地番・地積・地図作成に係る地籍調査を実施します。また、道路・河川・公園等の用地取得のほか道路・水路用地の寄附、用途廃止、私有地と市道等の境界確認を行います。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・用地対策事業の未登記物件の処理については、財産管理推進委員会の未登記処理促進の意向に従い、測量及び分筆、相続登記による解決方法及び費用を積算し、年次計画をたてて処理をすすめており、令和6年度も計画どおり、小片野町地内において2件の未登記物件の処理を実施いたしました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・新規事業の地籍調査推進事業は、地籍調査事業計画の策定と調査地域の選定をします。
・境界立会いの申請から立会いまでの期間を出来る限り短縮し、申請者のニーズに答えていきます。
・担当職員については、地籍調査の先進地視察・用地交渉研修・境界立会研修・登記研修等を偏ることなく受講させ用地実務能力の向上を図ります。

【地籍用地課】事務・事業管理シート

<table>
<tr><th rowspan="2">No.</th><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">関係施策</th><th colspan="5">令和6年度</th><th colspan="4">令和7年度</th></tr>
<tr><th>当初予算(千円)</th><th>最終予算(千円)</th><th colspan="3">活動指標</th><th>当初予算(千円)</th><th colspan="3">活動指標</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td rowspan="3">用地対策事業</td><td rowspan="3">6-⑤</td><td rowspan="3">14,020</td><td rowspan="3">14,020</td><td colspan="3">未登記財産の処理</td><td rowspan="3">15,279</td><td colspan="3">未登記財産の処理</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>2件</td><td>2件</td><td>S</td><td>2件</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2</td><td rowspan="3">地籍調査推進事業</td><td rowspan="3">6-⑤</td><td rowspan="3">－</td><td rowspan="3">－</td><td colspan="3">活動指標</td><td rowspan="3">2,700</td><td colspan="3">活動指標</td></tr>
<tr><td colspan="3">－</td><td colspan="3">「地籍調査事業計画」策定にかかる進捗率</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td><td>目標</td><td>実績</td><td>評価</td></tr>
<tr><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>50.0%</td><td></td><td></td></tr>
</table>

組織名	住宅課	作成者(評価者)	課長　久保　忠秀
関係する『総合計画』施策	6－④　都市空間・住環境の整備		

組織の概要(主な業務)

松阪市では、住宅に困窮する低額所得者に対し低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定や社会福祉の増進に寄与することを目的として、昭和40年代を中心に市営住宅や改良住宅の整備を進めました。
現在、住宅課が管理する市営住宅の戸数は1,609戸で、基本業務としては、市営住宅及び関連施設の維持・管理、入退去事務や使用料(家賃)の徴収などの業務を行っています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・市営住宅維持修繕では、住みよい住環境を提供するため、ベランダ帯防水の実施目標40戸に対し、58戸の修繕を行いました。また、市営住宅修繕工事では、目標どおり物置改修16戸の修繕工事を実施しました。なお、市営住宅修繕工事については、令和7年度から公営住宅ストック改善事業に統合します。
・市営住宅解体事業では、老朽化した市営住宅4棟と関連施設(集会所)1棟を解体し、目標の5棟を達成しました。
・公営住宅ストック改善事業では、長寿命化計画に基づき、屋上防水、外壁改修、給水システム改修の対象となる計9棟の改修工事を目標どおり実施しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・市営住宅管理運営事業では、現年度家賃徴収率が目標の98．0%を少し下回る96．4%となりました。滞納者には、継続して督促を、悪質な場合は催告を実施するなど、徴収に向けて粘り強く取り組んでいきます。
・住宅新築資金等貸付事業では、過年度滞納分の徴収率が目標の2.0%に対して目標を下回る1.0%となりました。一括償還の見込みが少なくなり、また、納付のない方のからの徴収は非常に困難な状況になりつつありますが、催告状などにより粘り強く取り組んでいきます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・中層耐火構造の住棟の長寿命化を図るため、計画に沿って、屋上防水・外壁改修・ベランダ手摺塗装・受水槽改修の工事を実施します。
・老朽化が進んだ市営住宅の除却(解体)と住替えを進めます。

【住宅課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
1	市営住宅管理運営事業	6-④	47,915	41,158	現年度家賃徴収率の向上				48,670	現年度家賃徴収率の向上			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					98.0%	96.4%	A			98.0%			
2	市営住宅維持修繕費	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			97,371	97,371	ベランダ帯防水				96,112	空家修繕			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					40戸	58戸	S			20戸			
3	市営住宅修繕工事費	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			14,124	10,936	物置改修				統合	ー			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					16戸	16戸	S			ー	ー	ー	
4	市営住宅解体事業	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			46,352	38,372	老朽化市営住宅等の解体				35,882	老朽化市営住宅等の解体			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					5棟	5棟	S			3棟			
5	公営住宅ストック改善事業	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			226,839	199,839	屋上防水、外壁(手摺)改修、給水システム(受水槽)改修				245,036	屋上防水、外壁(手摺)改修、給水システム(受水槽)改修			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					9棟	9棟	S			9棟			
6	一般管理経費	6-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標			
			827	632	滞納繰越分の徴収率				715	滞納繰越分の徴収率			
					目標	実績	評価			目標	実績	評価	
					2.0%	1.0%	C			1.0%			

組織名	都市計画課	作成者（評価者）	課長　大島　威
関係する『総合計画』施策	6－④　都市空間・住環境の整備		

組織の概要（主な業務）

都市計画課は二つの係で構成しています。 まちづくり計画係：「中心市街地のまちづくり」「都市計画の決定及び変更」「都市計画図」に関することなど、まちづくりに関する計画を推進します。景観係：景観法に基づく「景観計画の策定及び変更」、「建築、開発行為等の届出」、三重県屋外広告物条例に基づく「屋外広告物」の許可事務に関することなど、よりよい景観の形成を図っていきます。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・屋外広告物事業では、許可事務、措置命令・指導事務などを行い、屋外広告物適正化旬間中には、主要道路のパトロールを4回実施し、違反屋外広告物の簡易除却を行いました。
・都市計画審議会事業では、都市計画審議会に諮問する案件がなかったため開催いたしませんでした。それに伴い都市計画変更事業の実施もなしとなっています。
・都市景観推進事業では、景観計画に基づく届出制度の運用や歴史的建造物保存制度の運用に向けた取組みを推進しました。また、市内の良好な景観を後世に残すため、次世代を担う小中学生を対象に「まつさか景観絵画コンクール」を開催し、874人もの作品応募がありました。コンクール入賞作品については、広く市民の方々に観賞してもらうよう、市内5か所で展示し普及啓発に努めました。
・中心市街地整備事業では、松阪駅西地区複合施設整備を進めるため、想定以上に長期化するコロナ禍による社会不安、国際情勢の変化や急激な円安に伴う建設資材の高騰により、人流の変化やコスト面からこれまでのスキームが通用しないこと、また、建設中における資材コストの推移が見通せないなどの理由から、事業者募集の時期の見直しを行った経過があります。
これらの経緯を踏まえて、令和5年度は社会情勢の動向を注視しながら、今後速やかに事業が進めるように土地境界確定作業を行い、令和6年度は、建設資材等の高騰は続き、人件費についても上昇傾向にあるが、事業者の動向を調査するため、204社に対してアンケート調査を行い、21社に対してヒアリングを実施いたしました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・中心市街地整備事業では、平成31年3月に策定いたしました「松阪駅西地区複合施設基本構想」から6年が経過し、この期間による社会情勢、生活様式の変化等について、令和7年度に「市民ワークショップ」を開催し、基本構想は尊重しつつ、事業者動向等を確認しながら事業者募集をめざして進めていきます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・屋外広告物事業では、屋外広告物適正化旬間中（9月予定）には、市内をパトロールし、公衆に対する危害の防止、美観風致の維持に努めます。
・都市景観推進事業では、社会の多様性やライフスタイルの変化などを踏まえ、重点地区や候補地において、継続的に意見交換会や景観まちづくり通信の発行などを行い、地域の景観まちづくり活動を支援し、持続的な景観保全に努めます。
・中心市街地整備事業では、市民ワークショップの開催、事業者へのアンケート、ヒアリングを継続的に進め、松阪駅西地区の整備に向け、民間事業者の公募・契約締結をめざします。
・都市計画変更事業では、急速な人口減少や災害に対する防災意識の高まりなど、社会情勢の変化を踏まえた適切な土地利用を図るため、地域のニーズに沿った地区計画等を検討していきます。
・現行の都市計画マスタープランが令和7年度に計画期間の終期を迎えることから、新しい都市計画マスタープランの策定に向けて市の課題に向けた地域との協議等を進め、新たな都市計画マスタープランを策定していきます。

【都市計画課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	屋外広告物事業	6-④	3,454	3,314	屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数			3,952	屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	4回	S		3回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	都市計画審議会事業	6-④	374	187	審議会開催時の可決を経る。			366	審議会開催時の可決を経る。			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	0回	ー		1回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	都市景観推進事業	6-④	5,994	5,748	まつさか景観絵画コンクール作品応募者数			5,985	まつさか景観絵画コンクール作品応募者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					600人	874人	S		600人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	都市計画マスタープラン策定事業	6-④	10,142	9,773	計画策定の進捗率			9,322	計画策定の進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					60.0%	60.0%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	都市計画基礎調査事業	6-④	6,000	4,906	調査項目に対する進捗率			ー	ー			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	A		ー	ー	ー	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	都市計画変更事業	6-④	4,900	0	適正な納品率			4,400	適正な納品率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	0.0%	ー		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金	6-④	400	400	補助対象となる生垣の総延長の維持			400	補助対象となる生垣の総延長の維持			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					310m以上	338.6m	S		310m以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	都市計画一般経費	6-④	8,105	7,455	都市計画全事業の目標達成率			7,604	都市計画全事業の目標達成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	中心市街地整備事業	6-④	6,000	4,772	松阪駅西地区複合施設誘致への事業者ヒアリング数			34,730	市民意識調査(中心市街地の賑わいをつくるまちづくり)の満足度指数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3社以上	21社	S		2.56以上			

組織名	営繕課	作成者(評価者)	営繕担当参事　山本　直弘
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要(主な業務)

　営繕課は、建築係・営繕係・設備係の3係の構成となっており、市の公共施設における営繕工事及びその関連業務を適正かつ着実に実施し、誰もが安全・安心に使用できる公共施設の建設や機能が充実し快適な施設となるよう創意工夫をして設計及び工事を行っています。
　また、公共施設の健全な維持保全のため、施設管理部局等と連携して、定期点検の業務を実施しています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・「飯高駅宿泊施設新築工事」、「粥見小学校屋内運動場外壁等改修工事」、「豊地小学校校舎空調設備改修工事」、また、災害時のガラス飛散防止のため「本庁舎窓ガラスフィルム工事」など、『工事36件　約9億円、委託業務13件　約4,300万円』の発注を行い、「鎌田中学校、機殿小学校屋内運動場外壁等改修工事」、「清生町団地C9・C12棟屋上防水改修工事」などの繰越事業を含め、『工事38件　約11億円、委託業務10件　約2,800万円』について、工期内に完了することができました。
　また、第一隣保館や市営住宅に係る5件の工事を債務負担行為による発注とし、円滑な施工確保や市内事業者の経営健全化へ寄与する取組を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・令和7年度においては、債務負担行為による「第一隣保館トイレ改修工事」や市営住宅の改修工事のほか、当年度発注で「飯南産業文化センター特定天井改修工事」や「三雲北こども園外1園特定天井改修工事」などの特定天井改修工事や「旧立野町別館解体工事」などの大規模な解体工事、「松阪市武道館空調設備設置工事」、「嬉野体育センター空調設備設置工事」などの設備工事、また、新築として上水道施設である「(仮称)新八田ポンプ場ポンプ室棟新築工事」があります。
・利用しながらの工事も多く、利用者や周辺に配慮した工事の進捗に努め、特に大規模な解体工事等については近隣に配慮し事故の無いよう安全対策に留意した工事監理に努めます。また、スケジュール管理や情報共有を適切に行い担当課との連携に努めます。

【営繕課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	営繕管理事業	7-①	6,190	6,190	営繕業務を適正に実施する			6,406	営繕業務を適正に実施する		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					100.0%	100.0%	S		100.0%		

組織名	建築開発課	作成者(評価者)	建築開発担当参事　水越　敏
関係する『総合計画』施策	6－④　都市空間・住環境の整備		
	6－⑤　道路等の整備		

組織の概要(主な業務)

建築開発課は、建築基準法等に関する建築行政や、都市計画法等に関する宅地開発行政を行っており、その業務のほとんどが許認可事務であることから、これらの業務に係る事前相談や指導等においては適正かつ迅速な対応を、手続き書類等の審査においては厳格かつ円滑な審査を行っています。また、狭あい道路問題や空き家問題の解消にも取り組んでおり、市民が安心して暮らせるまちづくりの推進に努めています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・建築開発事業において、建築・宅地開発等の事前相談が368件あり、その内の343件(93.2%)を迅速(処理日数7日以内)に処理することができました。また、建築確認申請等の手続き360件、開発行為許可申請等の手続き279件を適正に審査し、円滑な処理を行い、安全で安心、便利で快適に暮らせる「まちづくり」を図ることができました。
・空家等対策事業において、地域住民から215件の相談があり、その内の189件(87.9%、目標値80.0%)に対して所有者等を調査し、判明した所有者等に対して、現状写真とともに適正な管理を依頼する文書を送付し、所有者自身による改善を促すことができました。
・狭あい道路整備促進事業において、道路後退用地等の所有者から寄附を受けた道路後退用地等41件をアスファルト舗装等による拡幅整備を行い、狭あい道路問題の解消を図ることができました。
・不良空家等除却促進補助金において、37件の事前判定申請があり、不良空家等に該当した内の24件に対して除却費用の一部を支援し、危険な空き家の減少を図ることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・狭あい道路整備促進補助金において、道路後退用地等の所有者から寄附を受けた道路後退用地等25件に対して助成金や報償金を活用して用地を取得し、狭あい道路問題の解消を図ることができましたが、目標補助件数を達成することができませんでした。引き続き、道路後退用地等の所有者に対して当事業を周知して道路後退用地等の寄附を促していきます。
・中心市街地空家等解消リセット推進事業において、中心市街地で除却された8件の空き家の所有者に対して固定資産税等の増額分を支援し、中心市街地にある空き家の減少を図ることができましたが、目標補助件数を達成することができませんでした。当事業は令和5年度までの取組ですが、引き続き、中心市街地にある空き家の減少に努めていきます。
・まちなか空家流通促進補助金において、まちなか空家利活用促進制度への登録が7件増加し、成約した8件の内、不動産登記や家財整理処理等を行った5件に対して、その費用等の一部を支援し、空き家の利活用を図ることができましたが、目標補助件数を達成することができませんでした。引き続き、当事業を周知して利活用制度への登録を促すとともに空き家の利活用を促進していきます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・狭あい道路の問題を解消するため、狭あい道路整備促進補助金の周知を行い、道路後退用地等の確保を進めるとともに、取得した道路後退用地等の拡幅整備を進めていきます。
・空き家の減少を図るため、不良空家等除却促進補助金の周知を行い、空家の除却を促すとともに、まちなか空家流通促進補助金の周知を行い、利活用制度への登録を促し、成約に繋げることによる空家の利活用(減少)を進めていきます。

【建築開発課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	建築開発事業	6-④	13,438	12,607	事前相談等の処理率(迅速化件数／総件数)			13,438	事前相談等の処理率(迅速化件数／総件数)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					93.0%	93.2%	S		93.0%		
2	空家等対策事業	6-④	16,537	16,537	相談処理率(処理件数/相談件数)			19,042	相談処理率(処理件数/相談件数)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					80.0%	87.9%	S		90.0%		
3	狭あい道路整備促進事業	6-⑤	23,120	29,151	拡幅整備件数			22,060	拡幅整備件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					40件	41件	S		38件		
4	不良空家等除却促進補助金	6-④	6,000	6,000	補助件数			6,000	補助件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					24件	24件	S		24件		
5	狭あい道路整備促進補助金	6-⑤	12,540	12,540	補助件数			12,090	補助件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					38件	25件	C		40件		
6	中心市街地空家等解消リセット推進事業	6-④	2,400	2,400	補助件数			1,000	補助件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					24件	8件	D		10件		
7	まちなか空家流通促進補助金	6-④	2,000	2,000	補助件数			2,100	補助件数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					10件	5件	C		7件		

組織名	消防団事務局	作成者（評価者）	局長　高橋　淳也
関係する『総合計画』施策	5－③　防災・危機管理対策の充実		

組織の概要（主な業務）

消防団事務局は、消防団運営を円滑に進める部局として、消防団が活動しやすい環境づくりに努め、消防団活動のより一層の充実を図ることで、魅力ある消防団づくりにつなげます。
消防団の災害対応能力の維持向上を図るため、資機材を充実させるとともに、知識・技能の習得に努め、広域消防等と連携を密にし、地域防災力の要として充実強化させます。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・消防団員の災害対応能力の向上と士気の高揚を図るため、訓練や研修会等を年間事業計画のとおり実施することができました。
・令和6年度は機能別団員（予防広報団員）29人が入団し、各種イベントや街頭での消防団員募集や防火広報などの啓発活動のほか、応急手当指導員の資格を習得し、応急手当の普及啓発活動の推進など、市民の皆様に消防団活動への理解と関心を持っていただき、消防団活動の活性化に取り組むことができました。
・消防用機械器具や消防団車両を計画的に更新配備することができ、消防団の活動拠点となる消防団車庫などの維持管理や適正配置、また、消防水利についても、良好な状態で使用できるよう適切な維持管理に努め、消防体制の充実強化が図れました。
・住民自治協議会に参画する消防団員（分団長以上）7人が新たに防災士の資格を取得し、地域の防災リーダーとして活動ができるよう環境整備を図り、住民に対して防災意識への向上につながりました。
・消防団による避難行動要支援者の避難支援体制について、消防団と協議を重ね、避難行動要支援者リストを作成しました。
・津波災害時の消防団活動・安全管理マニュアルの見直しを図り、消防団会議や毎年実施する新入団員訓練においても、教育項目に津波災害時の消防団活動（30分ルール）を加え、津波災害時における消防団活動の安全管理について周知することができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・消防団員の確保については、分団機能別団員（予防広報団員）による活動により、住民への消防団活動への理解や関心を広めることができましたが、消防団員数の増加にはつながりませんでした。引き続き、各種イベントや街頭での啓発活動や情報発信を行い、消防団員の確保に努めます。
・消防団協力事業所の認定事業所は、新たに2事業所が認定されましたが、事業所に勤務する消防団員の退団により認定基準に適合しなくなった事業所があったため、結果的には1事業所の増加となりました。数値目標には達成できていますが、消防団員が長く活動を続けられる環境づくりを進めます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・消防団員の活動特性は、地域密着性、即時対応力、要員動員力であり、消防団による地域防災体制の充実強化を図るには、減少傾向にある消防団員の確保が非常に重要であるため、各種イベントや街頭での積極的な啓発活動や様々な媒体の活用を行い、消防団活動への理解と関心を持っていただけるよう市民の皆様に消防団の魅力を積極的に発信して、消防団員の確保に取り組みます。
・消防団活動の活性化を図るため、事業所に対して理解と協力を求め、消防団協力事業所の認定数を増やし、被雇用者が入団しやすく、そして、消防団員が長く活動を続けられる環境づくりに取り組みます。
・消防団活動の強化と効率化を図るため、消火栓や防火水槽、そして、消防団活動の拠点となる消防車庫などの消防施設の適切な維持管理や適正配置、消防団車両や消防用機械器具の計画的な更新配備を進めます。
・地域の消防力を低下させないことに配意しながら、地域の実情に応じた分団の統合や消防団員の適正配置について消防団組織の再編を進めます。
・津波災害時における消防団活動について、南海トラフ巨大地震の被害想定などの見直しが公表されたため、その内容と松阪市消防団活動・安全管理マニュアルとの整合性を図り、マニュアルを主体とした活動が円滑に展開できるよう各地域に応じた活動要領や安全管理体制の確立を進めます。
・災害時における避難行動要支援者リストを活用した避難や救助の在り方について、消防団による避難行動要支援者への支援体制を引き続き研究します。

【消防団事務局】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	松阪地区広域消防組合分担金	5-③	2,112,995	2,111,715	救急出動における平均現場到着時間			2,245,725	救急出動における平均現場到着時間			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					8分以内	8分18秒	A		8分以内			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	消防団員消防・水防手当	5-③	56,706	54,706	消防団員訓練等出動に伴う参加率			54,735	消防団員訓練等出動に伴う参加率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	消防団員報酬	5-③	49,408	45,308	消防団員の条例定数充足率			49,426	消防団員の条例定数充足率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	83.8%	B		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	消防団員退職報償金等	5-③	40,039	30,050	消防団員退職報償金該当者の支払い			38,978	消防団員退職報償金該当者の支払い			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金	5-③	30,520	30,520	公務災害補償費加入率			30,520	公務災害補償費加入率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	消防団員等福祉共済加入掛金	5-③	3,900	3,660	福祉共済加入率			3,900	福祉共済加入率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	小型動力ポンプ付積載車等購入事業	5-③	37,290	28,270	火災等の災害対応率			26,500	火災等の災害対応率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	消防団防災資機材等整備事業	5-③	6,988	5,415	消防団員貸与物品の貸与率			6,618	消防団員貸与物品の貸与率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	消防団員公務災害補償費	5-③	2,002	2,260	公務災害補償費加入率			2,037	公務災害補償費加入率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	消防団員健康診断事業	5-③	848	480	自営業の消防団員定期健康診断受診率			941	自営業の消防団員定期健康診断受診率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	55.3%	C		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	非常備消防一般経費	5-③	21,337	21,703	研修会等の参加率			22,420	研修会等の参加率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	水道事業会計繰出金	5-③	12,034	12,034	新規公設消火栓設置・維持管理率			27,529	新規公設消火栓設置・維持管理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	消防施設管理事業	5-③	2,387	1,387	消火栓点検維持管理率			1,279	消防施設維持管理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	消防防災施設整備事業	5-③	37,381	37,177	団車庫維持管理率			12,111	団車庫維持管理率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	消防・防災訓練センター管理運営事業	5-③	364	284	訓練センター施設使用満足度			296	訓練センター施設使用満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	消防施設解体事業	5-③	4,321	4,321	撤去要望達成率			6,300	撤去要望達成率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			

【消防団事務局】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
17	消防救急デジタル無線(共通波)整備事業負担金	5-③	10,270	10,270	無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率			0			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					100.0%	95.0%	A				

【消防団事務局】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
1	「消防団協力事業所表示制度」の推進取組	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
					消防団協力事業所の認定数				消防団協力事業所の認定数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					31事業所	31事業所	S		32事業所		
2	「消防団入団促進活動」の推進	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
					消防団員数				消防団員数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					1,250人	1,191人	B		1,250人		
3	「消防団分団再編」のあり方検討	5-③	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
					消防団分団再編数				消防団分団再編数		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					1分団	ー	ー		1分団		

組織名	会計管理課	作成者（評価者）	会計管理者　前﨑　高志
関係する『総合計画』施策	7-①　行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

会計管理課では、松阪市が実施する各種事業に伴う各部局の予算執行や収入調定等について会計書類が関係法令や条例及び規則等に照らして適正に事務処理がされているか審査を行っています。また、大切な財産である公金の運用については、安全かつ堅実に管理・運用しています。さらに適正な会計事務を行うため、会計事務に関する実務能力の向上、効率的な執行が行えるよう改善をはかっています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・令和6年6月から公共料金口座振替サービスを導入しました。これにより納付書の作成、審査、納入済通知書の整理等が不要となり、事務の効率化が大幅に進みました。
・円滑な会計事務を進めるため全職員に対して事務に必要な情報を随時周知したほか、会計事務に必要な知識等を『会計管理課からのお願い』として10回周知、また、2年ぶりにLoGoフォームを使用して「財務スタディ100」を実施し、職員の財務・契約・会計処理等に対する意識および知識の向上に努めました。
・支払希望日を超過した伝票の滞留チェックを月3回行い、関係部署へ確認を求めることで支払遅延の防止に努めました。
・金融機関等の安全性を把握し、安全で堅実な資金運用を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・会計事務の効率化、事務改善に向け、会計事務に携わる職員のスキルアップと財務会計システムの改修などを適切に行っていく必要があります。
・会計事務にかかる課題や改善点について、継続的して取組を進めていく必要があります。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・会計事務の効率化、事務改善に取り組みます。
・水道料金、下水道使用料についても公共料金口座振替サービスを導入します。
・公金の有利な預け入れに取り組みます。

【会計管理課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	会計管理一般経費	7-①	27,366	29,544	資金の運用率(預託金額/総資金額)			55,806	資金の運用率(預託金額/総資金額)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					90.0%	87.7%	A		90.0%		

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	適正な会計事務の推進	7-①			インフォメーションでの周知				インフォメーションでの周知		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					7回	10回	S		7回		

組織名	市民病院事務部経営管理課	作成者（評価者）	課長　柳川　久史
関係する『総合計画』施策	2－②　地域医療の推進		

組織の概要（主な業務）

昭和21年9月に健康保険松阪市民病院として開設。平時は急性期病床269床（感染症病床2床）、緩和ケア病床20床、地域包括ケア病床39床の計328床の総合病院です。

市内の基幹病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院）と連携・協力しながら松阪地域の二次救急医療（入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療）の一翼を担うとともに、災害拠点病院、感染症指定医療機関、地域医療支援病院等として地域の皆さまに信頼される質の高い医療サービスの提供に努めています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・令和6年度は、指定管理者制度の導入に向け、民間委託等検討委員会の開催や、指定管理者審査選定委員会の事務局として、資料作成、日程調整、委員との連絡調整等を行い、公正かつ円滑な審査・選定の運営に努めました。

また、議会への議案上程に向けては、必要資料の作成や手続きの進行管理を着実に進めた結果、3月には指定管理者の指定に係る議決を得ることができました。

あわせて、職員面談の窓口体制を整備し、希望者との個別面談を実施するとともに、各所属の管理職との意見交換を通じて、職員の意向や不安の把握に努めました。

さらに、令和4年度に発生した不適切事務の再発防止に向けて、令和5年度から見直しを進めてきた契約・支払事務については、令和6年度において実務レベルでの改善を着実に推進しました。具体的には、契約内容および支払内容のダブルチェックを行うとともに、支払状況をエクセルで一元管理し、支払金額の適正性確認を徹底しました。これらの取組により、契約・支払事務におけるリスクの抑制を図ることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・指定管理者制度の導入に向けた準備を進める中で、制度移行後の職員の処遇に関する詳細な情報が得られず、提供が十分に行えなかったことから、一部の職員から不安や戸惑いの声が寄せられています。現時点では、指定管理者との調整が継続しており、確定的な情報が限られる中での説明には難しさがあるものの、今後も可能な範囲で丁寧な情報提供に努め、職員が安心して業務に取り組めるよう、引き続き対応を進めてまいります。

また、令和8年4月からの指定管理体制への円滑な移行に向けて、今後も計画的かつ着実に準備を進めていく必要があります。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・令和8年4月1日から社会福祉法人恩賜財団済生会支部三重県済生会による指定管理が支障なく始められるように、実務的で具体的な協議・調整を継続します。

また、指定管理者制度の活用においては、職員の待遇等の協議・調整が極めて重要であることから、引き続き指定管理者と協議・調整を進めるとともに、職員面談等をしっかり実施し、職員の意向の把握と疑問・不安の解消に努めます。

さらに、医療、住まい、介護、生活支援、予防の切れ目のない地域包括ケアシステムの強化に向け、関係部門との連携に努めます。

【市民病院事務部】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	松阪市民病院事業会計繰出金	2-②	928,516	938,856	経常収支比率			2,342,029	自己資本比率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					101.0%	集計中	ー		50.0%			
2	IT推進事業	2-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			240,585	240,585	経常収支比率			202,098	自己資本比率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					101.0%	集計中	ー		50.0%			
3	医療機器更新事業	2-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			250,000	250,000	経常収支比率			350,000	自己資本比率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					101.0%	集計中	ー		50.0%			
4	建設附帯施設整備事業	2-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			183,068	183,068	経常収支比率			372,937	自己資本比率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					101.0%	集計中	ー		50.0%			
5	その他市民病院事業会計全事業費	2-②	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
			6,949,872	6,949,872	経常収支比率			7,053,262	自己資本比率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					101.0%	集計中	ー		50.0%			

組織名	上下水道総務課	作成者(評価者)	課長　森川　照章
関係する『総合計画』施策	6－⑥　上下水道の整備		

組織の概要(主な業務)

上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道(公共、農集、浄化槽)の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、上下水道総務課は総務全般に関する業務、上下水道部の予算会計に関する業務、水道料金・下水道使用料(公共、農集、浄化槽)・下水道受益者負担金などの賦課、徴収に関する業務を行っています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・令和6年10月から上下水道料金のスマホアプリ決済を導入し、支払いの利便性の向上に努めました。
・高須町公園多目的広場施設管理事業については、目標の年間利用者数300人に対し実績は503人で目標を達成できました。皆様に利用していただけるように適切な管理を行っていきます。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・給水収益が減少したことなどにより、水道事業の損益を示す営業収支比率は97.9%で目標の100%に2.1ポイント届きませんでしたが、経常収支比率は目標の110%に6.7ポイント届かないものの103.3%と黒字経営は維持することができました。今後も一層の経営の効率化を図り、市民の皆様に満足していただける事業運営を行なっていきます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。
・令和2年3月に策定した松阪市水道事業経営戦略について、投資財源を見直し経営戦略の検証を行います。
・持続可能な水道料金の研究に取り組んでまいります。

組織名	上水道建設課・ 北部上下水道事務所 西部水道浄化槽事務所	作成者（評価者）	課長　森　唯人
関係する『総合計画』施策	6－⑥　上下水道の整備		

組織の概要（主な業務）

上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して供給することで、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っております。
上水道建設課、北部上下水道事務所、西部水道浄化槽事務所は、水道管の新設や更新、給水に係る工事と水道管の維持管理等に係る業務を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

管路新設事業・老朽管更新事業等において、水道管の工事を行い、安定した水道水の供給に取り組みました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化（490m）、老朽管の更新（450m）を進めます。
・避難所などの重要施設へ接続する水道管の耐震化と災害時用給水栓（2施設）の整備を進めます。

組織名	水源管理課	作成者（評価者）	課長　脇野　光弘
関係する『総合計画』施策	6－⑥　上下水道の整備		

組織の概要（主な業務）

上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道（公共、農集、浄化槽）の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、水源管理課は自己水源の施設管理や水道水の水質管理、また県営水道との受水調整の業務を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・現在取り組んでいる嬉野地内の統合ポンプ場ですが、現地工事では地元自治会としっかりと調整を行い、造成工事を今年度内に完成させ、令和8年度完成に向けて取り組むことができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・嬉野地内の統合ポンプ場について、配水池築造工事等を今年度内に完成させ、ポンプ棟建築工事及び電気設備工事を令和8年度内完成に向けて取り組んでいきます。

組織名	下水道建設課 北部上下水道事務所	作成者(評価者)	課長　渡邊　吉基
	5－④　浸水対策の充実		
	6－⑥　上下水道の整備		

組織の概要(主な業務)

上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道(公共、農集、浄化槽)の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、下水道建設課、北部上下水道事務所は公共下水道の計画策定から事業の実施、下水道の使用に伴う排水設備工事、農業集落排水施設維持管理、また雨水のポンプ場等の更新工事や維持管理などの業務を行っています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・ストックマネジメント計画に基づき宮町ポンプ場の放流ゲートの更新を行いました。ポンプ場施設の不具合に対しては、迅速な修繕等での対応を行い安定した排水運転ができました。
・下水道による浸水対策の中長期的な計画であり、流域水害対策計画にも位置付けた雨水管理総合計画を策定しました。
・下水道整備においては、国の交付金が縮減される中、阿形町(桜通団地)、久保町などへの整備と日丘町他の詳細設計を実施し、令和6年度末の普及率は前年度比0.1ポイント増の63.2%となりました。また汚水整備区域の見直し検討業務に着手しました。
・公共下水道(雨水)事業計画に基づき、桜町1号雨水幹線及び石津町外で雨水整備を実施しました。雨水管理総合計画に基づき松阪市公共下水道事業計画(雨水)の見直しに着手しました

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・関連公共下水道事業については、国の交付金が減額されたことから目標とする汚水整備面積A=36.0haを3.2ha下回る32.8haの発注に留まりました。また、台風10号による豪雨では、市内で道路冠水が発生するなど雨水整備の重要性と、三雲管内における汚水の流下ができない状態の発生により、不明水対策(調査)の必要性が再認識されました。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・雨水整備については継続事業である桜町1号雨水幹線、神道川雨水幹線の整備工事を進めるとともに、雨水管理総合計画に基づく公共下水道事業計画の見直しに着手します。
・汚水整備については、A=25.9haの下水道普及促進を図るとともに、マンホールトイレ設置など地震対策を進めます。また、浄化槽、農集を踏まえた効率的な汚水整備計画の策定に向けて検討を継続します。

組織名	西部水道浄化槽事務所	作成者(評価者)	所長　高橋　克弥
	6－⑥　上下水道の整備		

組織の概要(主な業務)

上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道(公共、農集、浄化槽)の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、西部水道浄化槽事務所は飯南、飯高管内の水道事業、公共浄化槽事業を統括しています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・令和6年度は、新たに17基の公共浄化槽を設置し、公共用水域の水質保全に寄与しました。
・公共浄化槽に関する情報を毎月「飯南かわら版」や「飯高とっときたより」に掲載し、市民への情報発信を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・公共浄化槽整備率63．6%を目標に「飯南かわら版」や「飯高とっときたより」への掲載など、公共浄化槽に関する情報を積極的に発信し、整備率の向上と公共用水域の水質保全を図ります。

【上下水道総務課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	浄化槽設置整備事業補助金	6-⑥	27,736	27,710	補助金申請に対する交付率			27,726	補助金申請に対する交付率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	下水道事業会計繰出金(公共浄化槽)	6-⑥	110,520	102,580	飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率			107,536	飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					66.0%	68.6%	S		63.6%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	水道事業会計繰出金	6-⑥	72,956	73,604	①経常収支比率(経常収益/経常費用) ②営業収支比率(営業収益/営業費用) ※受託工事除く。			58,080	経常収支比率(経常収益/経常費用) ※受託工事除く。			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①110.0% ②100.0%	①103.3% ② 97.9%	A		110.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	下水道事業会計繰出金(農業集落排水)	6-⑥	61,214	57,110	農業集落排水処理施設使用料の収入率			59,521	農業集落排水処理施設使用料の収入率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					99.6%	99.3%	A		99.6%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	都市下水路管理運営事業	6-⑥	141,481	139,841	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水路等の維持管理			180,081	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水路等の維持管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					発生ゼロ	発生ゼロ	S		発生ゼロ			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	都市下水路施設整備事業	6-⑥	36,700	36,700	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理			55,252	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					発生ゼロ	発生ゼロ	S		発生ゼロ			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	雨水施設ストックマネジメント事業	6-⑥	123,400	78,233	長寿命化計画達成率 (対策済みのポンプ場/対策すべきポンプ場)			58,660	管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					77.0%	77.0%	S		発生ゼロ			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	下水道事業会計(公共下水道)繰出金	6-⑥	3,138,742	2,883,411	汚水整備面積			3,074,425	汚水整備面積			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					36.0ha	32.8ha	A		25.9ha			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	高須町公園多目的広場施設管理事業	6-⑥	2,850	2,850	施設の年間利用者数			2,850	施設の年間利用者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300人	503人	S		300人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	管路新設事業	6-⑥	105,000	130,800	配水支管の整備延長			45,000	配水支管の整備延長			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					280m	684m	S		300m			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	老朽施設更新事業	6-⑥	10,600	9,427	老朽化を原因とするトラブル発生件数			74,600	老朽化を原因とするトラブル発生件数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					発生ゼロ	発生ゼロ	S		発生ゼロ			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	老朽管更新事業	6-⑥	63,500	63,500	基幹管路の整備延長			232,000	Ⓐ基幹管路の整備延長 Ⓑ耐震化施設数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					470m	491m	S		Ⓐ110m Ⓑ2施設			

【上下水道総務課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	その他水道事業会計全事業	6-⑥	3,692,990	3,277,313	①経常収支比率(経常収益/経常費用) ②営業収支比率(営業収益/営業費用) ※受託工事除く。			3,551,406	①経常収支比率(経常収益/経常費用) ②営業収支比率(営業収益/営業費用) ※受託工事除く。		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					①110.0% ②100.0%	①103.3% ② 97.9%	A		①110.0% ②100.0%		
14	関連公共下水道事業	6-⑥	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			3,503,370	3,077,111	汚水整備面積			3,762,393	汚水整備面積		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					36.0ha	32.8ha	A		25.9ha		
15	中勢沿岸流域下水道事業松阪処理区(負担金)	6-⑥	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			145,844	69,421	下水道普及率			262,413	下水道普及率		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					62.6%	63.2%	S		63.0%		
16	水洗化促進事業	6-⑥	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
			13,200	6,468	本庁・三雲・嬉野管内の公共下水道水洗化率(人口)			12,000	本庁・三雲・嬉野管内の公共下水道水洗化率(人口)		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					81.0%	79.0%	A		79.5%		

組織名	教育総務課	作成者(評価者)	教育総務担当参事　西浦　有一
関係する『総合計画』施策	1－③　学校教育の充実		

組織の概要(主な業務)

子どもたちが学ぶことの楽しさや喜びを実感できる快適な学習環境を創造するとともに、次世代を担う子どもたちにとってより良い教育環境を確保するため、小中学校の活性化について取組を進めます。
子どもたちや地域住民が安心して集い、誰もが利用しやすい学校施設を整備するため、「松阪市学校施設等長寿命化計画」に基づき、ユニバーサルデザインの視点を取り入れながら、老朽化が進行する学校施設の改修等を計画的に進めます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・市において「松阪市教育大綱」が策定されたことから、教育の総合的な基本計画として今後取り組むべき具体的施策を示した「松阪市教育ビジョン(第4期)R8～」の策定について、第1回目の検討委員会を開催し、策定に着手しました。
・「松阪市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」に基づき、第1期の対象校としている学校(複式学級が発生している小学校)とその関連校である10校において協議を進めてきました小中学校の再編活性化について、東部中学校区6小学校の再編、松ケ崎小学校と米ノ庄小学校の再編が決定しました。(令和8年4月開校予定)
・老朽化が著しい学校施設の校舎と屋内運動場について、「松阪市学校施設等長寿命化計画」に基づき、非構造部材の耐震対策として、外壁と照明設備等の改修を実施し、防災機能強化と教育環境の整備を図りました。
小学校:校舎　1校、屋内運動場　2校　　中学校:屋内運動場　1校
・小中学校体育館への空調設備整備について、「小中学校体育館空調設備設置に関する発注支援業務」に着手しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・小中学校の再編活性化対象校及び隣接校においては、学校規模適正化の具体的な方向性が示されるまでは大規模改修を行わないことから、学校施設の改築等が行えない状況があります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・松阪市教育ビジョン(第4期)R8～の策定について検討委員会を開催し令和7年度中の策定をめざします。
・小中学校の再編活性化について、令和8年4月開校予定の東部北小学校、東部南小学校、よねのしょう小学校において、子どもたちが新たな学校生活に円滑に移行できるよう、さらに具体的な協議・調整を進めます。閉校となる学校施設及び跡地の活用については、地域の避難所としての機能を保持するとともに、他の公共施設への転用や民間活用も含めた検討を地域とともに進めます。また、第2期の対象校としている学校(複式学級の発生が見込まれている小学校)とその関連校において協議を開始していきます。
・小中学校体育館への空調設備整備について、令和7年度は発注支援業務委託により空調設備整備の方向性を整理し、令和8年度から工事着手が出来るよう進めます。

【教育総務課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	教育委員会一般経費	1-③	3,438	3,290	教育課題に対する先進地視察を行い、教育委員会定例会にその内容を報告する			3,433	教育課題に対する先進地視察を行い、教育委員会定例会にその内容を報告する			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	私立高等学校振興補助金	1-③	1,000	1,000	高校教育の向上に対する事業の補助金支給			1,000	高校教育の向上に対する事業の補助金支給			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	スクールバス運営事業	1-③	29,234	28,334	職員による定期点検の毎月実施			31,215	職員による定期点検の毎月実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	教育ビジョン策定事業	1-③	112	112	検討委員会を開催し、教育ビジョンの改訂を行う。			1,318	検討委員会を開催し、教育ビジョンの改訂を行う。			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1回	1回	S		4回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	原田二郎奨学金給付事業	1-③	3,655	3,521	各学校を通して募集案内し、市広報に1回以上掲載			3,774	各学校を通して募集案内し、市広報に1回以上掲載			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					各1回以上	2回	S		各1回以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	学校規模適正化事業	1-③	1,564	741	協議する対象校の数			2,027	協議する対象校の数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					10校	10校	S		8校			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	教育改革推進事業	1-③	560	176	松阪市教育改革推進会議の開催回数			464	松阪市教育改革推進会議の開催回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回以上	2回	C		3回以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	不登校生徒進学支援給付事業	1-③	1,700	850	該当者全員への支援給付			1,700	該当者全員への支援給付			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	教育委員会事務局一般経費	1-③	15,059	14,917	事務の効率化を図り、1人当残業時間数3%削減			16,295	事務の効率化を図り、1人当残業時間数3%削減			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3%削減	16. 6%削減	S		3%削減			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	小学校施設管理運営事業	1-③	589,335	549,851	職員による定期点検の実施			596,369	職員による定期点検の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	小学校施設整備事業	1-③	164,771	297,733	工事の安全を図って事故の発生率			81,710	工事の安全を図って事故の発生率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0.0%	0.0%	S		0.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	中学校施設管理運営事業	1-③	237,562	222,795	職員による定期点検の毎月実施			246,980	職員による定期点検の毎月実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					12回	12回	S		12回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	中学校施設整備事業	1-③	109,371	126,790	工事の安全を図って事故の発生率(R3⁻)			33,334	工事の安全を図って事故の発生率(R3⁻)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0.0%	0.0%	S		0.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	三重県多気郡多気町松阪市学校組合分担金	1-③	31,237	30,838	負担金算定に係る事務協議			35,428	負担金算定に係る事務協議			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					3回	3回	S		3回以上			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	小学校空調設備整備事業	1-③	—	—	—			25,008	R7:発注方法の決定R8:空調設備設置工事発注状況R9:空調設備の整備校数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					—	—	—		発注方法の決定			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	小学校統合整備事業	1-③	—	—	—			126,482	R7:不足する教室の整備状況R8:閉校となった学校の備品所管替率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					—	—	—		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	中学校空調設備整備事業	1-③	—	—	—			9,606	R7:発注方法の決定R8:空調設備設置工事発注状況R9:空調設備の整備校数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					—	—	—		発注方法の決定			

組織名	学校教育課	作成者(評価者)	課長　三田　篤
関係する『総合計画』施策	1－③　学校教育の充実		

組織の概要(主な業務)

・経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者への支援に取り組んでいます。
（要保護及び準要保護児童生徒援助事業・特別支援教育就学奨励事業など）
・児童生徒及び教職員の心身の健康の保持増進に取り組んでいます。
（児童生徒の健康診断事業・学校職員健康診断事業など）
・児童生徒の安全対策に取り組んでいます。
（児童生徒安全対策支援事業、遠距離通学支援など）
・児童生徒の体力向上の推進、健康教育に取り組んでいます。
（部活動地域移行支援事業、学校水泳民間プール施設活用事業など）
・教職員の円滑な人事及び服務規律の確保に取り組んでいます。
（教職員の適正配置・欠員補充、教職員の時間外在校等時間の縮減、学校における働き方改革の推進、教職員の綱紀粛正など）

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・フッ化物洗口については、健康づくり課や関係小中学校、歯科医師会と連携し、学校現場の理解と協力体制のもと、全36小学校および5中学校で取組を進めることができました。令和6年度は、比較的規模の大きい中学校でも、実施日や準備方法を工夫することで実施することができました。令和7年度から実施を予定している4中学校に対しても、事前説明等を行い、準備を進めることができました。
・部活動地域連携については、部活動指導員を市内全中学校に計24名を配置することができました。「松阪市中学校部活動のあり方検討会」を6回開催し、現在の課題や今後の部活動のあり方についての協議を重ねる中で、コミュニティ・スクールを活用した「地域連携」の在り方について検討し、部活動ボランティアの配置について調査研究を行いました。また、松阪市における中学校部活動の現状や方向性についてまとめたチラシを作成し、保護者、地域に向けて発信し周知を図りました。令和7年2月には「松阪市部活動ガイドライン・まつさか地域クラブ活動方針」を策定することができました。
・学校水泳民間プール施設活用事業については、3校が民間プール施設を活用し、検証をすすめることができました。民間プール施設を活用することで安全に学校プール水泳が実施できたとともに、民間プール施設活用への児童生徒、保護者アンケートでは「民間施設での水泳授業に満足している」という質問に対して93.67%が満足しているという回答でした。 これまでの検証をもとに民間プール施設活用における実施方針と基準を定めることができました。
・中学校におけるピロリ菌検査については、平成30年度から事業を開始し、健康づくり課と各中学校とで連携しながら取り組み、7年目となる令和6年度は市内中学校で96.9%の同意書提出率となりました。
・各小中学校での欠員(産育休、病休、介護休等)に迅速に対応し、長期の欠員状態を出すことなく、講師を配置することができました。
・教職員の時間外在勤等時間の縮減については、一人当たりの月平均時間外労働時間の松阪市の目標【月平均19.6時間以下】のところ、【月平均19.7時間】とわずかに達成することができませんでした。また、一人当たりの休暇取得についても【年19.5日】と、目標の【年21.7日以上】を達成することができませんでした。
・文部科学省「学校における働き方改革推進事業」を受け、実証校2校(小学校1中学校1)において検証を行い、職員が主体的になってアイデアを出し合うことで取組を推進していくことができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・教職員のストレスチェック実施率は前年度および公立学校共済組合全体の平均83.5%を上回り98.9%でしたが、高ストレス判定者が昨年度より0.3%増え、全体の平均と同様の11. 4%となっております。令和7年度は、100%の実施率をめざし、教職員への周知を図っていくとともに、高ストレス判定者の削減に努めます。
・教職員の時間外在校等時間の縮減に向けた取組については、月45時間及び年360時間を超える教職員がいる学校がありました。その主な要因としては家庭訪問や教育相談、部活動、授業準備等への対応でした。子どもたちと真摯に向き合う教職員がたくさんいることで学校教育が充実していく一方で働き方改革の推進については課題があるという現状です。引き続き、教職員一人ひとりの勤務状況に注視するとともに、教職員の学校長と連携を密にして取組をすすめます。また、文部科学省「学校における働き方改革推進事業」を受け実証校による検証を行うこととで、出てきた課題をもとに更に改善をすすめていく必要があります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・児童生徒の健康課題については、学校や関係機関と連携しながら「安心・安全な学校生活」の実現を図ります。
・食育については栄養と食事に関する授業の充実、給食時間及び給食指導の充実に向けた取組を推進していきます。
・フッ化物洗口については、小中学校21校で全学年実施、20校で実施学年の拡大となります。中学校では、4校が新たに実施となるため、関係者との協議および準備を進めていきます。本市の取組は、県内でも先進的なものであることを踏まえ、今後もさらに効果的な実践となるよう取り組んでいきます。
・中学校部活動指導については、「松阪市中学校部活動のあり方検討会」を令和6年度に引き続き開催し、コミュニティ・スクールを活用した人材確保・人材育成の体制づくり、教職員の兼職兼業、学習指導要領との整合や次期改訂時の見直しに向けた検討等、中学校部活動指導の「地域連携」における課題について調査研究を行っていきます。また、「松阪市部活動ガイドライン・まつさか地域クラブ活動方針」を運用するとともに、情勢に合わせてその内容の検討や見直しも行い、中学校部活動の適切な「地域連携」の推進を図ります。
・学校水泳民間プール施設活用については、これまで検証校であった2校で民間プール施設活用を実施していきます。また、公共施設プールを活用する、民間プール施設インストラクターを学校に招聘する等の新たな取組を行いながら、これまでの検証等をもとに、すべての児童が、民間プール施設の施設面、安全面、指導面等のよさを受けることができる機会を均等に設けていくために更なる民間施設プールの有効活用について研究を進めます。
・管理職のリーダーシップのもと、教職員の時間外在勤等時間の縮減につながる具体的な取組(「定時退校日の設定」「年休取得増進」「校時の工夫」「外部人材活用」「ICT活用」「教科担任制」等)を実施し、よりよい働き方の実現をめざします。また、文部科学省「学校における働き方改革推進事業」の実証校2校(小学校1中学校1)での検証をもとに、「教育の質を高める　教職員のやりがいを高める働き方改革」をめざして研究をすすめます。今年度も引き続き実証校2校による検証に取り組み、市全体に展開していきます。
・各学校でのコンプライアンス研修等の取組を推進し、教職員の綱紀粛正及び服務規律の確保の徹底を行います。

【学校教育課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	高等学校・大学入学援助金	1-③	1,000	560	①広報まつさかへ掲載 ②松阪市HPへの掲載			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①2回 ②3か月	①2回 ②3か月	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	児童生徒体育文化行事参加旅費等補助金	1-③	3,500	3,500	補助金申請への申請者数			3,780	補助金申請への申請者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					800人	731人	A		800人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	児童生徒安全対策支援事業	1-③	8,172	8,172	黄色帽子・ヘルメットの支給率			6,899	黄色帽子・ヘルメットの支給率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	学校教育活動支援員活用事業	1-③	4,330	4,330	①部活動指導員の配置 ②スポーツ文化エキスパート外部指導者の配置 ※①②を合わせた配置人数は、R5の15名に対し、R6は28名と増加。			7,143	①部活動指導員の配置 ②スポーツ文化エキスパート外部指導者の配置 ③様々な関係者からの意見収集(検討会等)の回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①11校 ②10校	①11校 ②3校	C		①11校 ②10校 ③5回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	部活動地域移行支援事業	1-③	441	441	様々な関係者からの意見収集(検討会等)の回数			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回	6回	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	要保護及び準要保護児童生徒援助事業	1-③	120,971	115,252	広報まつさかへ掲載			111,651	広報まつさかへ掲載			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	2回	S		2回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	特別支援教育就学奨励事業	1-③	11,312	11,312	対象者へチラシ配布			11,864	対象者へチラシ配布			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	遠距離通学支援事業	1-③	3,764	3,764	対象児童生徒への交通費支給率			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	教育振興一般経費	1-③	702	702	修学旅行引率者経費の支給率			4,202	修学旅行引率者経費の支給率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	要保護及び準要保護児童生徒援助事業	1-③	107,893	106,885	広報まつさかへ掲載			107,751	広報まつさかへ掲載			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2回	2回	S		2回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	特別支援教育就学奨励事業	1-③	6,959	6,959	対象者へチラシ配布			7,753	対象者へチラシ配布			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	遠距離通学支援事業	1-③	1,596	1,536	対象児童生徒への交通費支給率			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	教育振興一般経費	1-③	1,436	1,496	修学旅行引率者経費の支給率			3,470	遠距離通学支援事業の対象生徒への通学定期券給付率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	結核対策事業	1-③	201	201	結核高蔓延国からの転入児童の検査受診率			統合	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	児童・生徒の健康診断事業	1-③	50,166	50,166	健康診断実施校			50,194	健康診断実施校			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					47校	47校	S		47校			

【学校教育課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	学校職員健康診断事業	1-③	11,274	11,274	ストレスチェック受診率			12,055	ストレスチェック受診率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	98.9%	A		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	学校プール夏季休業中管理運営補助金	1-③	500	157	補助金申請に対する支給率			500	補助金申請に対する支給率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	50.0%	C		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	松阪市学校保健会補助金	1-③	132	132	保健会主催研修会への参加校			130	保健会主催研修会への参加校			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					47校	47校	S		47校			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
19	日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金	1-③	11,454	11,454	災害申請に対する支給率			11,267	災害申請に対する支給率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
20	学校水泳民間プール施設活用事業	1-③	4,926	4,926	児童及び保護者の満足度			5,545	児童及び保護者の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	93.7%	S		80.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
21	学校保健体育一般経費	1-③	29,126	29,126	AED講習会参加者数			24,083	AED講習会参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,500人	1,186人	B		1,500人			

組織名	学校支援課	作成者(評価者)	課長　脇葉　敦
関係する『総合計画』施策	1－①　こども・子育て支援の推進		
	1－③　学校教育の充実		

組織の概要(主な業務)

人口減少・少子高齢化の進行、技術革新やグローバル化の進展など、変化の激しいこの時代においては、子どもたち一人ひとりが、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな未来を切り拓いていく資質や能力を育成することが求められています。

そこで、質の高い深い学びを実現するため、探究的な学習の充実を図るとともに、1人1台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、全ての子どもたちの可能性を引き出す教育活動を進めます。また、誰もが学びやすい環境づくりを進め、多様化するさまざまな課題を抱えた児童生徒ついて、就学前から義務教育修了後18歳までの途切れない見守りや支援を行います。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・学力向上については、市標準学力調査等から把握した課題を踏まえ、授業改善に取り組んできました。また、各種調査の教育ログを利活用した「個別最適な学び」を進めることにより、全国学力・学習状況調査の結果が、小学校において、9年連続、全国値を上回り、中学校においても、全教科平均が全国値を上回りました。中でも、正答率の低かった層における学力の向上が見られました。
・安全・安心な学びの場を作る「学級経営マイスター事業」やソーシャルスキルを育成する「スリンプルプログラム」を実施し、子どもたちの他者と関係を築く力や自尊感情を育成しました。これらのことにより、学習状況調査の「自分には良いところがありますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問では、経年的に大幅な上昇がみられ、子どもたちの自己肯定感や自己有用感等が向上しました。
・不登校児童生徒支援計画「いきいき学校プロジェクト」を実施し、相談員や支援員を配置したことで、年間の相談対応件数が、令和4年度19,646件、令和5年度27,787件、令和6年度38,606件と大幅に増加し、不登校をはじめとする児童生徒や保護者との新たな関わりを構築することができました。また、学校内外の誰かとつながれている不登校児童生徒の割合が、令和3年度の72.1%から89.0%(全国61.2%)となり、登校の状態に改善が見られた不登校児童生徒の割合についても、令和3年度21.9%から50.8%(全国30.2%)となり、全国平均を大きく上回りました。
・地域の教育力活用については、全ての小中学校がコミュニティ・スクールになりました。協議会の実態に合わせた支援を行うことにより、特色ある取組が進められ、放課後や夏休みに「地域未来塾」が行われたり、別室登校している生徒を地域の方々が見守る取組が行われたりしました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・不登校児童生徒や保護者の多くが、誰かとつながることができ、登校の状態に改善が見られるようになりました。しかし、不登校児童生徒数は依然高い数値での推移が続いており、誰ともつながれていなかったり、状態に改善が見られなかったりする児童生徒が一定数いる状況です。また、不登校以外にもさまざまな課題や不安を抱える子どもたちが、暴力行為や問題行動等さまざまな形でその思いを表出している現状があり、子どもたちの自尊感情やソーシャルスキルを育む取組を推進するとともに、より積極的な訪問支援を行ったり、さまざまな課題を抱える子どもの思いを聞いたりできる相談体制を整備することで、不登校をはじめとする、児童生徒一人ひとりの心に寄り添った取組を行っていく必要があります。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・さまざまな課題を抱える子どもたちへの支援として、新たに、「こころのウェルビーイングの向上」「誰一人取り残さない学びの場」「多様な学びを支援する体制」を3つの柱とする「児童生徒にじいろ支援計画」を実施し、誰一人取り残すことのない、子どもたちの心の安定や社会的自立を支援する取組を進めます。その中で、AIを活用してメンタル不調の予兆を把握し、早期対応につなげるシステムの構築や積極的なアウトリーチ型支援を進めるとともに、就学前の不安や悩みを抱える保護者への支援の充実を図ります。
・学力向上については、OECDと連携・協力し、AIによる分析データをフィードバックする非認知能力等を育成する研究を進めていきます。また、自己肯定感を高める指導方法の工夫・改善を進めます。さらに、様々な社会変化や技術革新に対応した教員の資質向上を図るために、教育イノベーションプロジェクトをはじめ、企業や大学と連携し、教科横断的な学習を進めるSTEAMプロジェクトなど、現代的な諸課題の解決に求められる資質・能力の育成を図る研究・実践を進めていきます。
・全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなり、PTAとコミュニティ・スクールが有効かつ継続的に連携・協働ができる在り方など、研究を進めていきます。
・多発する交通事故への対策として、子どもたちの命を守ることができるよう、関係機関と連携した交通安全教室や、保護者を含めた交通安全の取組を進めていきます。また、1人1台端末を活用し、学校と家庭・関係機関が連携した交通安全教育の充実を図ります。
・子どもたちが、人権についての理解と認識を深め、差別的な行動に対して適切な行動がとれるよう、各中学校区で「なかまづくり」「人権学習」「学力・進路保障」を柱とする9年間の人権教育カリキュラムを策定・活用し、家庭・地域と連携を図りながら、組織的・系統的に人権教育の推進を図ります。
・特別な支援を必要とする児童生徒の増加とともに、教育的ニーズが多様化していることから、それぞれのニーズに応じた教育が受けられるよう、学びの場の充実や学校生活アシスタント・メディカルサポートアシスタントの適切な配置に取り組みます。また、特別支援学校に在籍する子どもと副籍校の子どもが、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができるよう、交流及び共同学習の取組を進めます。

【学校支援課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	英語コミュニケーション力向上推進事業	1-③	74,098	72,256	中学校卒業段階で英検3級以上相当の英語力を習得した生徒の割合			76,840	中学校卒業段階で英検3級以上相当の英語力を習得した生徒の割合		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					60.0%	61.0%	S		60.0%		
2	人権教育ネットワーク推進事業	1-③	4,191	4,073	「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合			3,238	「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					80.0%	82.2%	S		80.0%		
3	特色ある学校づくり推進事業（R7より、教育ビジョン推進事業）	1-③	13,520	13,520	教育内容と、教育活動に必要な物的・人的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に取組を進めた学校の割合			20,880	教育内容と、教育活動に必要な物的・人的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に取組を進めた学校の割合		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					95.0%	100.0%	S		95.0%		
4	特別支援教育推進事業	1-③	167,180	150,977	校内委員会を開催し、指導及び支援体制の整備を行った学校の割合			188,929	校内委員会を開催し、指導及び支援体制の整備を行った学校の割合		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					100.0%	95.7%	A		100.0%		
5	不登校・いじめ等対策事業	1-③	63,346	60,932	学級満足度尺度調査(Q-U)における自分の学級の状態に満足している児童生徒の割合			65,084	学級満足度尺度調査(Q-U)における自分の学級の状態に満足している児童生徒の割合		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					65.0%	68.0%	S		67.0%		
6	地域の教育力活用推進事業（R7より、教育ビジョン推進事業）	1-③	7,974	5,878	コミュニティ・スクールに係る周知活動や充実を図るための研修会を行った総回数			統合	―		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					20回	24回	S		―	―	―
7	羽ばたけ子どもたち！チャレンジ応援事業	1-①	600	600	事業後の支援対象者の満足度			600	事業後の支援対象者の満足度		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					90.0%	100.0%	S		90.0%		
8	学力向上推進事業	1-③	15,762	15,159	標準学力調査における標準スコアの平均値			13,575	標準学力調査における標準スコアの平均値		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					50.5pt	48.8pt	A		50.5pt		
9	教育指導一般経費	1-③	5,905	5,755	部局長の実行宣言に掲げる学校支援課の宣言に対する評価			6,140	部局長の実行宣言に掲げる学校支援課の宣言に対する評価		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					☆☆☆☆☆	☆☆☆	C		☆☆☆☆☆		

組織名	子ども支援研究センター	作成者（評価者）	所長　中西　祐司
関係する『総合計画』施策	1－③　学校教育の充実		

組織の概要（主な業務）

「研修・ICT教育係」では、教職員のスキルアップや今日的な課題の解決のための研修を進めるとともに、GIGAスクール構想におけるタブレット端末の利活用を推進し、教材開発や教育活動の事例創出及び発信に取り組みます。
「教育システム係」では、学校現場におけるICT機器に係る業務を集約し、一体的なICT環境の整備を行うとともに、教育DXの推進に向けた取組を進めます。
「学びアシスト係」では、教育相談及び不登校児童生徒、外国人児童生徒に対する教育支援に取り組みます。教育相談や個別カウンセリング、教育支援センター（鈴の森教室、やまゆり教室）での小集団指導や個別指導を通じて、年々増加する不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を支援します。また、初期適応支援教室「いっぽ」や就学前支援教室「ふたば」において、日本に来て間もない外国人児童生徒に対する日本語初期適応指導を通じて、日本の学校、文化・習慣にスムーズに適応出来るよう受入体制を充実させます。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・先行実施校での知見を活かすことで、学習eポータルの市内全中学校導入を果たすとともに、学習環境の運用モデルを構築しました。
・企業や大学との連携から、経年的なデータを元にした検証を行い、取組の改善に生かしました。
・児童生徒用タブレット端末を活用し、防災意識を高める動画の配信を行うとともに、LTEモデルの特性を活かすことのできる震災を想定した個人の安否を確認する仕組みを構築しました。
・GIGAスクール構想にて整備したネットワーク環境について、ネットワークアセスメントを市内小中学校8校を対象に実施し、通信帯域や遅延の発生状況について調査を行った結果、文部科学省が示す推奨帯域と比べ平均約1.5倍となっており、GIGAスクール構想の第2期を見据え、高水準のシステム整備ができていることが確認できました。
・教育情報セキュリティポリシー策定のため、文部科学省が示す「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」をもとに他市町事例もふまえ、松阪市教育情報セキュリティポリシーの素案を作成し、次年度策定に向けた基盤ができました。
・個別の対応を必要とする児童生徒が増加する中、やまゆり教室においては、指導員との1対1の関係づくりから始める支援を大切にすることで、対人関係や活動内容に改善が見られました。鈴の森教室とやまゆり教室とを合わせ、出席日数増加等の改善が見られた児童生徒の割合は約65%となっています。（対象児童生徒：20人中13人）
・不登校に悩む保護者の思いに寄り添い、支援に取り組むことができました。（保護者会等　7回実施、のべ59人参加）
・初期適応支援教室「いっぽ」においては、児童生徒44人に対し日本語の初期指導や学校生活への適応指導を行いました。また、就学前支援教室「ふたば」においては、26人の未就学児を対象に日本語指導等を実施し、小学校入学への不安解消を図りました。
・母語スタッフを外国人児童生徒の在籍する学校へ派遣し、児童生徒の学習支援や保護者への配付文書の翻訳、家庭訪問時の通訳など、外国人児童生徒及び保護者と学校とをつなぎ、安心して学校生活が送れるようにしました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・教育データの利活用により子どもたちが得意を伸ばしたり、苦手を克服したりと自らの学びを調整することができるよう、モデル校を中心にデジタルドリル等の取組を進めてきましたが、全市展開できるよう取組事例を分かりやすく発信していく必要があります。
・「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、学校内外の様々な研修機会や、校長等による適切な指導助言を通じて、教職員の資質向上に取り組む必要があります。多様化する今日的課題に対応するため、教職員の自主性を活かした研修制度の構築が求められます。
・発達特性を含め、人と関わることへの強い不安感を抱く子どもたち、その保護者らへの適切な支援に継続的に取り組む必要があります。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・文部科学省指定リーディングDXスクール事業を軸に、端末活用による個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ主体的で対話的で深い学びを実現を探求し、好事例の情報共有と発信を進めていきます。
・企業や大学との連携を継続し、経年的なデータを元に検証を行うとともに、有識者による効果検証を実施し、改善方策に努めます。
・児童生徒用タブレット端末を活用し、LTEモデルの特性を活かし、経済格差が教育格差につながらないよう、ICTを活用した松阪らしい指導方法や教材の開発と発信に取り組みます。
・タブレット端末の利活用を進めるとともに、統合型校務支援システムを導入することで、子ども達の学習状況や心身の状態に関するデータを可視化し、一人ひとりに応じたきめ細やかな支援を進める等、教育ログの活用により教育の質の向上に取り組みます。
・令和6年度に引き続き、ネットワークアセスメントを実施します。特に課題のあった学校については、改善点の分析を行い、児童生徒が安心してタブレット端末の利用ができるよう通信安定性の向上や必要に応じた帯域幅の増強等ネットワーク環境の整備に取り組みます。
・福祉まるごと相談室や各中学校にじいろ教室等、関係機関との情報共有や連携を深め、不登校児童生徒及びその保護者への包括的な支援に取り組みます。また、高校等との連携をいっそう充実させ、子どもたち一人ひとりの社会的自立に向けたキャリア教育の推進に取り組みます。
・来日する外国人児童生徒の増加に対して、母語スタッフによる学習面・生活面での適応支援、また、進路ガイダンス等による適切な情報提供をはじめとした学校でのさらなる受入体制の充実を図り、外国人の子どもたちが共生社会の一員として意欲的に未来を切り拓くことが出来るよう支援体制の構築に取り組みます。
・子どもも保護者も共に学ぶことのできる、外国人児童生徒用「いっぽ」教室教材の開発に取り組みます。

【子ども支援研究センター】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	教科書及び指導書導入事業	1-③	109,742	100,439	小中学校教員への教師用教科書及び指導書の支給率			31,174	小中学校教員への教師用教科書及び指導書の支給率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	新たな学びの創造事業	1-③	402,407	400,260	教育データの利活用を通じて、学習指導や校務効率化に取り組んだ学校の割合			359,483	教育データの利活用を通じて、学習指導に取り組んだ学校の割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70.0%	72.3%	S		74.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	外国人児童生徒受入促進事業	1-③	29,126	28,682	小中学校における外国人児童生徒の就学率			31,242	小中学校における外国人児童生徒の就学率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	教育支援センター推進事業	1-③	2,795	2,795	通室生の学校復帰や社会的自立に向けた状態の改善率			3,061	通室生の学校復帰や社会的自立に向けた状態の改善率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					72.0%	65.0%	A		72.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	教育研究事業	1-③	901	901	研修員が調査・研究のために学校等を訪問した回数			842	研修員が調査・研究のために学校等を訪問した回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					40回	60回	S		40回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	教職員研修事業	1-③	1,177	1,177	教職員研修講座の受講者の満足度			1,357	教職員研修講座の受講者の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					95.0%	99.6%	S		95.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	教育相談事業	1-③	7,094	7,094	幼児・児童・生徒及び保護者等に対する教育相談実施日			7,301	幼児・児童・生徒及び保護者等に対する教育相談実施日			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					267日	267日	S		267日			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	子ども支援研究センター管理運営事業	1-③	17,584	14,818	適応指導教室「鈴の森教室」の利用日数			14,697	適応指導教室「鈴の森教室」の利用日数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					186日	186日	S		187日			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	子ども支援研究センター施設整備事業	1-③	4,224	4,224	工事期間中における事故発生率			78,397	工事期間中における事故発生率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0.0%	0.0%	S		0.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	子ども支援研究一般経費	1-③	2,249	2,249	センターだより、ホームページ、動画配信、説明会等で情報発信を実施した回数			2,592	センターだより、ホームページ、動画配信、説明会等で情報発信を実施した回数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					15件	21件	S		15件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	校務デジタル化促進事業	1-③	90,211	85,337	校務用システム稼働率			371,461	クラウド環境を活用した校務DXを徹底している学校の割合			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		90.0%			

組織名	生涯学習課	作成者(評価者)	課長 小泉 明弘
関係する『総合計画』施策	1－① こども・子育て支援の推進		
	4－① 市民活動・社会教育の推進		

組織の概要(主な業務)

生涯学習課は、地域に必要とされる社会教育や青少年健全育成への取り組み、市民の読書活動や趣味クラブ等の自己学習に対する支援など、市民の教養を高める活動を通して、人づくり・繋がりづくり・地域づくり活動を行っています。また、小学生を対象とした放課後の良質な居場所づくりを通して、共働き世帯や一人親世帯に対する子育て支援を行っています。主な業務として、公民館・図書館の管理運営、青少年健全育成事業の推進、二十歳のつどいの開催、放課後児童クラブの運営支援などを行っています。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・放課後児童クラブ内のトラブルについて、令和6年度より教員OBを雇用し学校・クラブ間で情報共有等を行い、早期に解決できる体制づくりができました。
・長期休業中子どもの居場所づくり事業では、165名の児童に安全・安心な居場所の提供ができました。
・青少年育成事業については、青少年センターを見直し、センター職員を不登校児の対応等、現在の社会情勢に沿った体制に改めました。
・公民館のコミュニティセンター化については、適宜地区公民館へ説明を行い、一定の理解を得る事ができました。
・公民館のあり方について、社会教育委員会議へ諮問を行い、答申が出されました。それを受け、公民館運営基本方針(仮称)の策定準備として、県内自治体や市内公民館に対し、アンケート調査を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・放課後児童クラブの運営について、『放課後児童健全育成事業の今後のあり方について【提言書】』にあるように、指定管理者制度を利用した放課後児童クラブ運営の仕組みづくりができませんでした。次年度では、検討する組織を設置しスケジュール感をもって進めていきます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・放課後児童クラブの運営について、指定管理者制度への早期移行に向けた取組を行います。
・松阪市公民館のあり方等について(答申):令和6年12月社会教育委員会議より提出されたことを受け、『松阪市公民館運営基本方針(仮称)』の策定をすすめ、コミュニティセンター化後の生涯学習活動の支援体制の構築を行います。また、コミュニティセンター化を見据え、公民館連絡協議会の体制や事業の見直しを行います。
・長期休業中子どもの居場所づくり事業は、さらに利用ニーズが高まることが予想されるため、新たな保育場所確保や指導員の確保を早期に行い、高まるニーズに対応できる体制を作ります。
・PTA活動と各学校に設置されたコミュニティスクールの活動等について、関係部局と協力しながら整理、統合を図ります。

【生涯学習課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	教育集会所管理運営事業	4-①	2,488	2,256	教育集会所利用者の安全確保のための点検の実施			2,471	教育集会所利用者の安全確保のための点検の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					23回	26回	S		23回			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	PTA連合会運営費補助金	4-①	877	877	PTA連合会行事への延べ参加人数			877	PTA連合会行事への延べ参加人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					500人	0人	E		500人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	社会教育一般経費	4-①	2,257	2,084	三重県社会教育委員連絡協議会への延べ出席者数			2,415	三重県社会教育委員連絡協議会への延べ出席者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					30人	37人	S		30人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	生涯学習振興事業	4-①	7,922	7,572	講座開設数			7,699	講座開設数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					865講座	957講座	S		900講座			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	公民館管理運営事業	4-①	167,805	164,030	公民館講座満足度			177,918	公民館講座満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	83.4%	S		90.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	生涯学習センター管理運営事業	4-①	22,763	21,118	嬉野公民館講座講座延べ参加者数			23,181	嬉野公民館講座講座延べ参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,000人	1,379人	S		1,000人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
7	図書館管理運営事業	4-①	168,199	168,192	貸出冊数			168,713	Ⓐ貸出冊数 Ⓑイベントへの参加者数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					870,000冊	763,503冊	B		Ⓐ870,000冊 Ⓑ200人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
8	学校読書室等支援事業	4-①	36,492	36,492	図書館を使った調べる学習コンクール出点作品点数			42,160	図書館を使った調べる学習コンクール出点作品点数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100点	179点	S		100点			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
9	青少年健全育成事業	4-①	6,921	6,921	青少年育成のつどい講演会の満足度			7,539	青少年育成のつどい講演会の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					90.0%	96.7%	S		90.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
10	二十歳のつどい開催事業	4-①	5,172	4,172	二十歳のつどい実行委員会への参加者			991	二十歳のつどい実行委員会への参加者			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					28人	32人	S		28人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
11	子ども会連合会補助金	4-①	279	279	子ども会連合会の登録人数を増やす			279	子ども会連合会の登録人数を増やす			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					1,500人	1,106人	B		1,500人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
12	放課後子ども教室推進事業	4-①	2,068	1,881	放課後子どもプラン運営委員会の参加率			2,394	放課後子どもプラン運営委員会の参加率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					70.0%	72.7%	S		70.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
13	青少年センター運営事業	4-①	6,928	6,518	青少年相談件数			終了	―			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					50件	39件	B		―	―	―	
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
14	小学校長期休業子どもの居場所づくり事業	1-①	22,033	18,323	利用者の満足度			22,888	利用者の満足度			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					80.0%	97.0%	S		80.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
15	放課後児童クラブ活動事業	1-①	10,012	9,727	研修会への参加人数			12,948	研修会への参加人数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					300人	150人	C		300人			

【生涯学習課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
16	放課後児童クラブ活動事業補助金	1-①	329,027	329,027	法人等への委託クラブ数			361,333	法人等への委託クラブ数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					23クラブ	18クラブ	B		26クラブ			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
17	生涯学習センター施設整備事業	4-①	―	―	―			1,319	事業の進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
18	指定管理者選定委員会事業	1-①	―	―	―			118	指定管理施設の進捗率			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					―	―	―		100.0%			

組織名	スポーツ課	作成者(評価者)	課長　吉田　和敏
関係する『総合計画』施策	4－④　スポーツと連動したまちづくりの推進		

組織の概要(主な業務)

スポーツ課は、様々なスポーツ大会やイベントの開催等を通じて、子どもから大人までライフステージに応じたスポーツ活動の機会を提供しています。また、市最大のスポーツイベント「みえ松阪マラソン」の事務局として、交流人口の増加や地域経済への波及効果などをめざし、スポーツと連動したまちづくりに取り組んでいます。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・スポーツ施設長寿命化計画(案)についてパブリックコメント(意見数:5件)を実施し、市内のスポーツ施設の基本方針を取りまとめ、個別施設計画の検討を行い、スポーツ施設長寿命化計画を令和7年3月に策定しました。
・スポーツのチカラプロジェクトでは、出前授業に加え住民自治協議会を対象に、楽しみながら健康になる目的で出前講座を11件実施しました。
・パリオリンピック、パラリンピックの開催にあたり、6月5日に「パリ五輪松阪市出身選手応援実行委員会」を発足し、応援することができました。
・みえ松阪マラソン2024の関連イベントとして、11月30日に「Run フェスタまつさか」を開催し、パリ五輪代表の上山選手をはじめ、日本のトップアスリートが所属する「住友電工陸上競技部」による陸上競技教室を実施し小学生32名、中学生34名が参加されました。
・RUNNETでは12月開催のフルマラソン7,000人以上の大規模大会の中で、2年連続第1位の評価をいただきました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・みえ松阪マラソンでは、荷物の受け渡し(寒い中長時間待つ状況)の解消、交通規制時間の早期決定と事前周知の徹底(特にコース及び主要国道以外の細かな道路の規制情報の事前周知の強化)、う回路案内の更なる徹底に取り組みます。

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・みえ松阪マラソン2025については、公式イメージソングを配信しPR活動等に努め、定員をマラソンの部10,000人、ファンランの部1,500人、健康ウオークの部1,500人となるよう取り組みます。
・市制20周年記念事業である「ダンスドリームプロジェクト～松阪市のミライを担う君たちへダンスを通じて伝えたいメッセージ」を進めるとともに令和8年度以降の構想も検討します。
・スポーツ施設長寿命化計画に基づき、三十三銀行アリーナの空調設備については、令和8年度から工事着工できるよう取り組みます。

【スポーツ課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
1	スポーツ推進委員活動事業	4-④	2,867	2,867	スポーツ推進委員連絡協議会の実施大会への参加人数				2,609	スポーツ推進委員連絡協議会の実施大会への参加人数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					1,000人以上	1,059人	S			1,000人以上		
2	全国大会等出場派遣支援事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			8,228	8,928	スポーツ激励金交付対象者数				7,878	スポーツ激励金交付対象者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					500人	564人	S			500人		
3	スポーツ大会等運営事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			4,035	4,035	市長杯スポーツ大会の参加者数				3,891	市長杯スポーツ大会の参加者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					4,000人	3,700人	A			4,000人		
4	みえ松阪マラソン事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			120,713	129,855	フルマラソン参加申込者数				174,413	フルマラソン参加申込者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					7,000人以上	9,258人	S			7,500人以上		
5	市スポーツ協会加盟団体育成強化補助金	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			1,850	1,850	会長杯参加者総数				1,850	会長杯参加者総数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					2,600人	2,220人	B			2,600人		
6	スポーツ少年大会等補助金	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			490	490	スポーツ少年団各種大会への参加者数				470	スポーツ少年団各種大会への参加者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					1,900人	2,037人	S			1,900人		
7	スポーツ少年団補助金	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			4,071	4,071	スポーツ少年団登録者数				4,071	スポーツ少年団登録者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					1,200人	863人	B			1,200人		
8	総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			200	200	スポーツ教室の加入者総数				200	スポーツ教室の加入者総数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					450人	270	C			450人		
9	三重県市町対抗駅伝大会事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			1,300	1,300	代表選考会参加者数				1,300	代表選考会参加者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					50人	32人	C			50人		
10	スポーツのチカラプロジェクト推進事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			3,888	3,121	地域や小中学校での講座等開催数				8,945	プロジェクト参加人数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					20回	20回	S			700人		
11	体育振興一般経費	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			6,833	6,833	部局長シート「施策4-④」における令和5年度の評価				7,406	部局長の実行宣言に掲げるスポーツ課の宣言に対する評価		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	S			☆☆☆☆☆		
12	体育施設管理運営事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			42,690	42,690	体育施設8施設の利用者数				46,250	体育施設8施設の利用者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					115,000人	99,929人	B			115,000人		
13	体育施設整備事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			―	―	―				127,535	投資的事業10か年計画書記載の当該年度事業の実施数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					―	―	―			5件		
14	松阪公園プール管理運営事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			20,410	19,785	松阪公園プール利用者数				20,137	松阪公園プール利用者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					8,000人	4,786人	C			8,000人		
15	阪内川スポーツ公園管理運営事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			41,927	41,927	阪内川スポーツ公園施設利用者数				47,543	阪内川スポーツ公園施設利用者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					65,000人	58,069人	B			65,000人		
16	阪内川スポーツ公園施設整備事業	4-④	当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
			―	―	―				113,542	投資的事業10か年計画書記載の当該年度事業の実施数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					―	―	―			0件		

【スポーツ課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度						令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
18	スポーツ施設長寿命化計画策定事業	4-④	16,800	16,800	長寿命化計画作成進捗率				終了	ー		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					100.0%	100.0%	S			ー	ー	ー
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
19	中部台運動公園施設管理運営事業	4-④	119,314	119,314	中部台運動公園施設利用者数				80,107	中部台運動公園施設利用者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					150,000人	161,440人	S			150,000人		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
20	中部台運動公園施設整備事業	4-④	28,500	31,500	投資的事業10か年計画書記載の当該年度事業の実施数				8,778	投資的事業10か年計画書記載の当該年度事業の実施数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					1件	1件	S			1件		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標				当初予算(千円)	活動指標		
21	海洋センター管理運営事業	4-④	7,075	7,075	B&G海洋センターの利用者数				8,148	B&G海洋センターの利用者数		
					目標	実績	評価			目標	実績	評価
					3,800人	4,942人	S			3,800人		

組織名	給食管理課	作成者（評価者）	給食管理担当参事　瀬古　英司
関係する『総合計画』施策	1－①　こども・子育て支援の推進		
	1－③　学校教育の充実		

組織の概要（主な業務）

給食管理課では、学校給食が食育の「生きた教材」として活用されるよう、和食文化を伝える「和食の日」や旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」を実施し、和食文化や地産地消に取り組み、学級担任等と栄養教諭・臨時学校栄養職員が連携する中で、子どもたちが食に関する正しい知識と健全な食生活を実践できる資質・能力を身につけるため、教育現場と連携した食育を進めます。

近年、食物アレルギーを有する園児児童生徒は増加傾向にあり、給食対応が必要な子どもも多く、その症状も多様化していることから、「学校におけるアレルギー疾患対応の手引」に沿って安全性を最優先に適切な対応を行っています。

子育て支援として、第3子以降給食費無償化を実施すると共に、物価高騰の影響に対しては、給食費にかかる物価上昇分相当を支援することで、保護者負担の軽減に加え、必要な給食食材の確保と安定運営を図っています。

給食に関する業務では、感染症対策及び衛生管理を徹底し、園児、児童、生徒に安全で安心な給食の提供に努めています。学校給食施設は、定期的な保守点検や修繕で調理機器類の機能を維持するとともに、計画的な施設・設備の更新を行うことで衛生管理や作業効率の向上を図ります。また、感染症・食中毒、アレルギーや異物混入などに対する研修を行い、調理員の衛生管理に対する資質の向上を図ります。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・学校給食が「生きた教材」として食育時の活用が図れるよう、和食の日や各健康週間などに、行事食や食文化を伝える献立を作成し提供を行いました。【提供献立数：36回】
・学校では、栄養教諭、臨時学校栄養職員が学級担任等と連携して、学校給食を生きた教材として活用した給食指導（ICT活用等）を行いました。（栄養教諭（12人）臨時学校栄養職員（1人）により年間1,330回実施【R5:1,237回】）
・調理員を対象に研修会（衛生管理、令和6年度に実施された県の実地調査の伝達、保健所指導伝達、アレルギーのヒヤリハット等）を2回実施し、さらにリモート研修に参加するなど衛生管理の徹底と資質向上を図りました。
・食物アレルギー対応では、アレルギー原因物質となる食物の種類や症状の程度が一人ひとり異なるため、保護者面談等で状況を把握し、安全性を最優先に適切なアレルギー除去食の提供に努めました。
・第3子以降学校給食費無償化については、申請の利便性を高めると共に多子世帯の保護者負担の軽減を図りました。【R6認定実績：934件】
・物価上昇が続く中、給食物資も高騰しています。保護者負担の軽減および子どもたちの成長に必要な栄養を満たした献立を提供するため、給食費にかかる物価上昇分相当（10%）を支援しました。
・感染症対策として、給食時間に手洗い、配膳台・手指アルコール消毒等の、学校給食における感染予防対策に努めました。
・学校給食センターの調理設備更新としてコンテナ及び消毒保管庫（飯南）、給食用食缶（ベルランチ）を実施したほか、各給食室の調理機器類の定期的な保守点検や修繕、備品等の更新を行いました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・学校給食で「生きた教材」として活用される地場産物については、天候や生産者の減、近年の価格高騰などの要因から、昨年度に比べ地場産物使用割合は低調な状況となっています【R6地場産率：25.1%】引き続き、旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」の実施など、給食で使用する食材は可能な限り市内産や県内産のものを使用していきます。
・円安でエネルギー価格が高騰、物価上昇もあり、地場産食材納入業者の廃業や食材の価格改定や物流コスト等不採算部門の見直しなど、給食物資調達には昨年に引き続き影響が出ています。特に米価の高騰など物価変動が給食会計に大きな影響がでていることから、状況の把握と必要な支援や対応について検討します。
・国による学校給食無償化が進む可能性があり、現状の給食会計のあり方を検討する必要があります。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・「松阪市立小中学校再編活性化計画」に基づく学校再編に伴い、給食施設改修、改善などの必要な対応を行うと共に今後の給食施設の方向性について調整、研究を進めていきます。また、飯高学校給食センター森調理場については統合に向け整理、調整を行っていきます。
・物価高により学校給食の食材調達にも影響がでています。国の施策を注視し、支援のあり方など今後の学校給食の安定運営に努めます。
・第3子以降学校給食費無償化については継続し、多子世帯の保護者負担を軽減し、支援を図ります。
・食品ロスを減らすため、給食残渣の実態把握やアンケート等を実施し、給食残渣削減に向けた調査・研究を進めていきます。

【給食管理課】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	学校給食単独調理場管理運営事業	1-③	235,025	218,118	異物混入(金属)を発生させない			259,635	異物混入(金属)を発生させない			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	学校給食単独調理場施設整備事業	1-③	4,510	3,602	転倒事故を発生させない			4,477	転倒事故を発生させない			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
3	学校給食単独調理場備品等整備事業	1-③	19,318	16,001	献立変更を発生させない			39,570	献立変更を発生させない			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	1件	A		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
4	学校給食センター管理運営事業	1-③	507,592	507,592	異物混入(金属)を発生させない			532,342	異物混入(金属)を発生させない			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
5	学校給食センター備品等整備事業	1-③	14,105	14,105	献立変更を発生させない			67,912	献立変更を発生させない			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					0件	0件	S		0件			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
6	第3子以降学校給食無償化事業	1-①	33,788	32,338	無償化児童生徒数			60,374	無償化児童生徒数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					770	934	S		920			

組織名	議会事務局	作成者（評価者）	次長　新田　和弘
関係する『総合計画』施策	７－①　行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

市議会は二元代表制の一翼を担い、議事機関として市の意思を最終的に決定するほか、市政が適正に行われているかどうかを監視するなどの役割を有しています。議会事務局は、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、市議会が有する機能を十分に発揮し、市民の負託と信頼に応え、その役割を果たしていくことができるようサポートしています。

令和６年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・議会活動事業において、昨年度に引続き、本会議での一般質問及び代表質問時における説明資料を、タブレット端末を活用したデータ資料によるモニター表示とし、資料の見やすさ及び品質向上を図るとともにペーパーレス化ができました。
・議会活動事業において、議長や委員長等の議事運営や議員活動をサポートし、円滑な議会運営に努めることができました。
・議会広報事業において、９月定例会からタブレット採決システムを本格導入し、議事運営の効率化及び市民に向けた情報発信の充実を図ることができました。
・議会広報事業において、常任委員会等のＹｏｕＴｕｂｅライブ配信を行うことにより、市民に向けた議会活動の積極的な情報発信の充実に努めることができました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・議会広報事業において、議会報告会の参加者減少を改善するための具体的な検討ができませんでした。議員との連携及び情報共有を図りながら、議会報告会の形式見直しや市民が参加しやすい環境の整備に努めます。

令和７年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・定期的に開催される議会報告会のあり方の検討や各種団体等との意見交換会等について、特に広聴機能に重点を置き、議員との連携及び情報共有を図りながら取り組みます。
・議会活動の「見える化」や市民参加を図るため、様々な媒体を活用して、議会活動に関する情報の積極的な発信に努めます。
・事務局職員の能力向上に資する研修等に積極的に参加し、議会活動を適切にサポートできる人材育成に努めます。

【議会事務局】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	議会活動事業	7-①	8,945	8,945	議会機能の強化に資する研修会及び視察の実施			7,433	議会機能の強化に資する研修会及び視察の実施			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					7回	8回	S		7回			
2	政務活動費補助金	7-①	8,400	8,400	補助金の適切な交付			7,600	補助金の適切な交付			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					100.0%	100.0%	S		100.0%			
3	議会広報事業	7-①	10,010	10,010	広報発行部数			10,487	広報発行部数			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					64,500部/年4回	64,500部/年4回	S		64,000部/年4回			
4	会議録作成事業	7-①	4,270	4,270	会議録を次期定例会までに作成			4,437	会議録を次期定例会までに作成			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4回	4回	S		4回			
5	議会一般経費	7-①	10,183	10,183	事務局の体制整備と強化を図る研修会への参加			10,001	事務局の体制整備と強化を図る研修会への参加			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					4回	6回	S		4回			

組織名	農業委員会事務局	作成者（評価者）	局長　山路 伸之
関係する『総合計画』施策	3－①　農業・水産業の振興		

組織の概要（主な業務）

農業委員会は、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与することを目的に、市に設置された行政委員会です。
農地売買・賃借などの権利移動や農地転用の許認可業務のほか、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地等の利用の最適化の推進を行っています。また、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として設立された農業者年金の受託事務を行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・担い手の新規就農・参入者の確保については、5件の目標に対し9件で目標を上回りました。今後も農業委員・農地利用最適化推進委員における新規就農・参入者促進活動を推進していきます。
・耕作放棄地の発生防止・改善活動については、農業委員・農地利用最適化推進委員の協働による農地パトロール（9月～10月）や各委員において農地活用相談等を実施しました。
・農地利用最適化推進委員に予定通り2回の（7月・9月）タブレット端末研修を開催しました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・農業者年金の加入促進については、昨年度新規加入者は0人で目標を達成できませんでした。今後も引き続き、農業委員・農地利用最適化推進委員・農協と連携を取りながら対象者にPRを行い新規加入者の確保に努めていきます。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・農業者年金の加入促進活動による新規加入者の確保
・耕作放棄地等のフォローアップ（改善指導等）の促進
・認定農業者等担い手農家への農地集積率の促進

【農業委員会事務局】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	農業者年金事務事業	3-①	469	469	加入促進活動による新規加入者の確保			377	加入促進活動による新規加入者の確保			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					2人	0人	E		2人			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
2	農業委員会活動事業	3-①	25,487	25,487	①担い手の新規参入者数 ②耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等) ③全委員に対するタブレット端末使い方研修			28,347	①耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等) ②認定農業者等担い手農家への農地集積率 (R3～)			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					①5件 ②55件 ③2回	①9件 ②55件 ③2回	S		①55件 ②62.0%			

組織名	監査委員事務局	作成者(評価者)	局長　尼子　宗成
関係する『総合計画』施策	7－③　健全な財政運営		

組織の概要(主な業務)

監査委員事務局は、監査委員が「松阪市監査基準」に基づき実施する監査等を補助することにより、市政の適正性、効率性、透明性を担保し、市民の行政に対する信頼を高めることを使命としています。
主な業務として、各組織の「定期監査」「決算審査」「例月出納検査」を補助し、住民監査請求に基づく監査等に適正に対応します。

令和6年度の評価(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

【達成できたこと】

・令和6年度松阪市監査実施方針及び監査計画に基づく監査等については、すべて予定どおり実施しました。
・住民監査請求が1件提出されましたが、期限内にすべての手続きを処理しました。
・監査事務を補助する職員の自己研鑽に資する研修会等への参加について、対面による研修会5回、オンライン等による研修・講座を5回受講し、知識と専門能力の向上に努めました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

令和7年度の重点取組(個々の事業については次ページ以降をご覧ください。)

・監査実施計画に基づく監査等について、一部の外局職員には監査会場への移動時の交通事故・違反リスクを回避するとともに、業務の効率化を図るため、リモートによる参加を促し、計画的に実施します。
・監査と審査等における各種意見書や報告書の作成については、監査委員と職員間の連携を密にしながら、適切な数値と表現等であるかしっかり確認します。
・住民監査請求等の手続きや各種監査の意見書の作成について、予定期日内に適正に処理をします。
・事務局職員が監査に関する専門知識やスキルを高めるため、研修や講座に積極的に参加し、修得した知識やスキルを事務局職員で共有します。

【監査委員事務局】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度				
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標			
1	監査委員活動事業	7-③	7,124	7,124	事務局員の研修参加回数			7,124	住民監査請求等の手続きや各種監査の意見書の作成について、予定期日内に適正に処理をする。			
					目標	実績	評価		目標	実績	評価	
					5回以上	10回	S		期限内			

組織名	選挙管理委員会事務局	作成者（評価者）	局長　湯川　一樹
関係する『総合計画』施策	7－①　行政サービスの充実		

組織の概要（主な業務）

選挙管理委員会は、公正な選挙を行うため地方自治法により設置が義務付けられた市長から独立した機関です。市議会において選挙された4人の委員で構成され、この職務を補助執行するため、事務局が設置されています。選挙の管理執行及び直接請求、住民投票等の選挙に関係のある事務のほか、裁判員候補予定者の選定、明るい選挙推進協議会と連携して公正な選挙や投票率向上に向けた啓発活動も行っています。

令和6年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

・投票所入場券の封筒において、選挙の案内の音声コードを印字し、音声コードの場所を示す切り欠きを入れて、希望者には、点字シールを貼り付ける等、高齢者や障がいのある方に配慮した対応に努めました。
　また、学校の協力を得て、第一小学校、第三小学校、松江小学校、伊勢寺小学校、阿坂小学校、港小学校、てい水小学校、山室小学校、豊地小学校、中川小学校、鵠小学校、三雲中学校、松阪あゆみ特別支援学校にて出前授業による模擬選挙や生徒会選挙、選挙機材の貸出しを実施し、新規としては、4校で模擬選挙等を実施し啓発に努めました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

・選挙管理委員会が行うことができる投票率向上のための効率的な啓発について模索しています。

令和7年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

・選挙事務においては、選挙人や事務従事者等の投票所の環境を良好にするため、エアコンが設置されている公共施設へ変更するよう取り組みます。
・選挙公報の配布においては、配布率の向上に取り組みます。
・また、将来の有権者に向けた啓発活動に積極的に取り組みます。

【選挙管理委員会事務局】事務・事業管理シート

No.	事業名	関係施策	令和6年度					令和7年度			
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
1	選挙管理委員会事業	7-①	4,601	4,601	「選挙管理委員会事務局」の各年度の評価			3,924	「選挙管理委員会事務局」の各年度の評価		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					☆☆☆☆☆	☆☆☆	C		☆☆☆☆☆		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
2	選挙啓発事業	7-①	742	546	小学校、中学校、高校での模擬投票、出前授業の新規実地校			1,419	小学校、中学校、高校での模擬投票、出前授業の新規実地校		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					1校	4校	S		1校		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
3	参議院議員選挙費	7-①	―	―	―			65,455	投票率の向上		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					―	―	―		55.0%		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
4	市議会議員選挙費	7-①	―	―	―			122,019	投票率の向上		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					―	―	―		50.0%		
			当初予算(千円)	最終予算(千円)	活動指標			当初予算(千円)	活動指標		
5	三重県知事選挙費	7-①	―	―	―			59,702	投票率の向上		
					目標	実績	評価		目標	実績	評価
					―	―	―		40.0%		

令和７年度 部局長の「実行宣言」

発　　行　　令和７年７月
発 行 者　　松阪市
〒515-8515　松阪市殿町 1340 番地 1
編　　集　　企画振興部　経営企画課
TEL：0598-53-4319
Email：kei.div@city.matsusaka.mie.jp